# 令 和 ４ 年 度
# 主要施策の成果報告書

群馬県みなかみ町

# 令和４年度　主要施策の成果報告書　目次


## 第１編　政策体系と行政組織

### 第１章　総合計画の概要

第１節　総合計画の政策体系　2
第２節　計画の進行管理　2
第３節　将来像　3
第４節　基本目標　3
■政策体系表　4

### 第２章　組織・機構

■町長部局、町議会、教育委員会　6
■施策・所属別評価対象事務事業数一覧　7

## 第２編　執行状況

### 執行状況について

１　行政評価による状況把握　9
２　施策評価とは　9
３　SDGs（持続可能な開発目標）　9
■事務事業シートの見方　9
■施策マネジメントシートの見方　10
■施策・会計別決算総括表　12

### Ⅰ　誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち

１　地域福祉の推進　14
２　高齢者福祉の充実　20
３　子育て支援の充実　36
４　障害者福祉の充実　50
５　健康づくりの推進　58
６　医療の充実　66
７　消防防災対策の強化　76
８　生活安全対策の推進　84
９　道路の安全性と利便性の確保　90
１０　公共交通の維持・確保　100
１１　水道の整備　106
１２　循環型社会づくりの推進　110

### Ⅱ　豊かな自然と共生するまち

１３　人と自然の共生の推進　114
１４　生活環境の保全　124
１５　まちなみの整備　134
１６　獣害対策の推進　140

### Ⅲ　活力にあふれるまち

１７　観光の振興　144
１８　農業の振興　162
１９　商工業の振興　178

### Ⅳ　豊かな心と文化を育むまち

２０　学校教育の充実　184
２１　生涯学習の推進　196
２２　生涯スポーツの推進　202
２３　文化財の保存と活用　208

### Ⅴ　地域をささえるひとづくり

２４　平和と人権の尊重　214
２５　交流連携の推進　218
２６　移住定住の促進　224
２７　町民による地域づくりの推進　230

### Ⅵ　効率的で効果的な行政運営

２８　計画的な財政運営の推進　234
２９　事業効果の向上の推進　242
３０　効率的な組織運営の推進　250

施策体系外　258

# 第１編　政策体系と行政組織

第１章　総合計画の概要

第２章　組織・機構

# 第１章　総合計画の概要

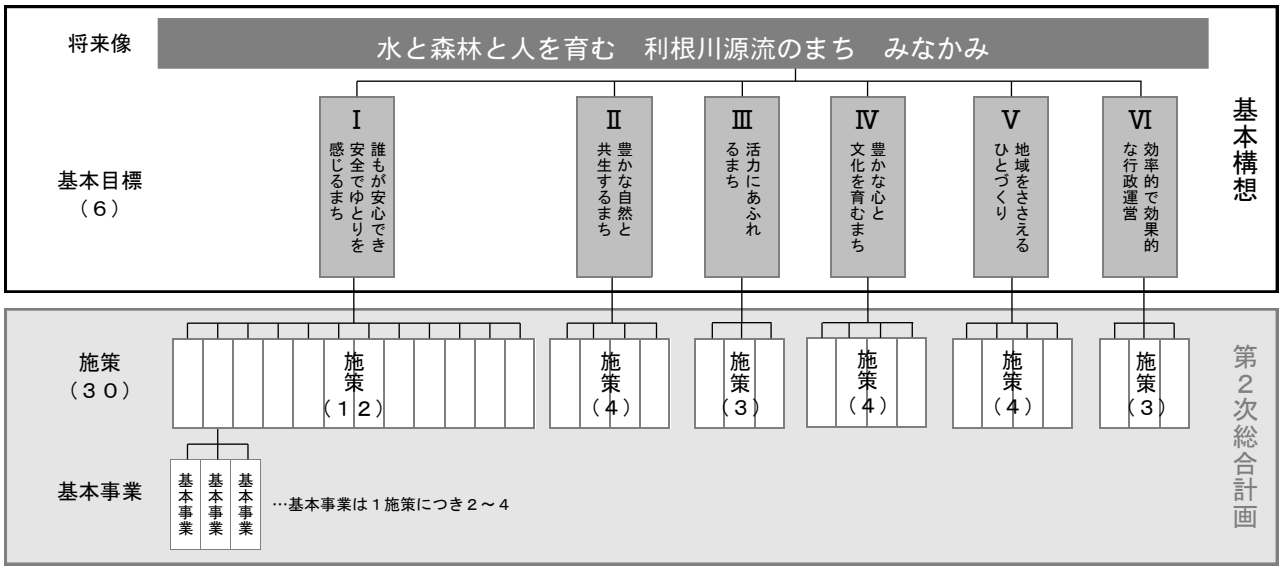
## 第１節　総合計画の政策体系

第2次みなかみ町総合計画は、本町の目指すべき方向とそれを実現するための施策を明らかにする総合的で体系的なまちづくりの指針であり、「基本構想」と「基本計画」で構成されます。

「基本構想」は、本町の現状とまちづくりの課題を踏まえ、目指すべきまちの将来像と、これを実現するための施策の基本的な方向を示すものです。また、「基本計画」は、「基本構想」をもとに、その目標を達成するため、施策の具体的な内容を分野別に体系化したものです。

政策体系とは、まちづくりのビジョン（目的）達成のための課題を、「基本目標>施策>基本事業」という3つの階層に区分、構成し体系付けたもので、各階層はそれぞれ「目的・手段」の関係にあります。

### ■政策体系の概念図




- 施策とは、まちづくりの基本理念や将来像を実現するための政策課題として設定する基礎単位（=まちづくりの課題）
- 基本事業は、施策の目的や目標達成のための主な課題
- 事務事業は、施策や基本事業の意図実現のために行う具体的な手段

## 第２節　計画の進行管理

総合計画に示された方針や目標の進行管理や、意図実現のために行う具体的な手段である事務事業の効率的かつ効果的な執行には、行政評価の手法を活用します。行政評価では、施策ごとに定めた方針や目標の達成度を、施策評価により評価し、その評価結果から各施策の現状と課題などを明らかにして、次年度の取組方針に反映させます。

このように、総合計画の政策体系に沿った評価を行うことにより、計画→実施→評価のマネジメントサイクルを確立し、着実に総合計画を推進します。

## 第３節　将来像

この将来像は、美しい自然の恵みを活かし、各地域が育んできた歴史ある特性と文化を、住民が誇りを持って受け継ぎ、そして、まち全体の特性へと発展させていくとともに、町民が経済的にも、精神的にも、ゆとりのある豊かな暮らしが実現できることをめざしています。

また、利根川源流のまちとして、生命と経済活動を支えていることを誇りとし、首都圏住民と交流を深めつつ森・山・川を守るとともに、水と森と空気を大切にする水源地域としての存在感をもつ地球環境にやさしいまちをめざしています。

**水と森林と人を育む　利根川源流のまち　みなかみ**

## 第４節　基本目標

### １　誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち

社会情勢の変化により懸念される地域コミュニティの衰退や地域のつながりの希薄化を抑制するため、次世代を担う子どもたちを産み育てることのできる環境整備を推進するとともに、町民の誰もが支え合い、安心や安全、ゆとりを感じながら、健康で生きがいを持って暮らすことのできるまちを目指します。

### ２　豊かな自然と共生するまち

「ユネスコエコパーク」に登録された自然資源の重要性や可能性を町民に認識させるとともに、地域経済に寄与するための利活用を図ります。また、環境負荷の軽減や良好な景観の形成に配慮したまちづくりを推進し、都市的な環境と自然が共生するまちを目指します。

### ３　活力にあふれるまち

町が潤い、町民が豊かさを感じるために、地域の産業の活力を生み出し、地域の特性や優位性を活かした産業の振興や、魅力ある新たな産業と雇用の場を創出し、将来にわたって持続的に発展を遂げるまちを目指します。

### ４　豊かな心と文化を育むまち

町民一人ひとりが、夢と誇りを持つとともに、学校教育や生涯学習、文化、スポーツなどを通じ、感性を育み、地域の貴重な歴史的・文化的資源を活かして、次代を担う心豊かな人づくりを目指します。

### ５　地域をささえるひとづくり

地域の基盤が脆弱化しつつあるため、地域で抱える問題を地域で解決するための仕組みを整え、町民、地域、団体、企業、行政などの多様な主体がそれぞれの役割と責任を持ち、地域コミュニティの持続性を向上させるとともに、郷土に愛着を抱く人づくりを目指します。

### ６　効率的で効果的な行政運営

限られた経営資源で、社会経済情勢の変化や多様化・高度化する町民ニーズに的確に対処するために、行政の経営力を強化し、質を重視した行政サービスを実現するとともに、健全な行政運営を目指します。

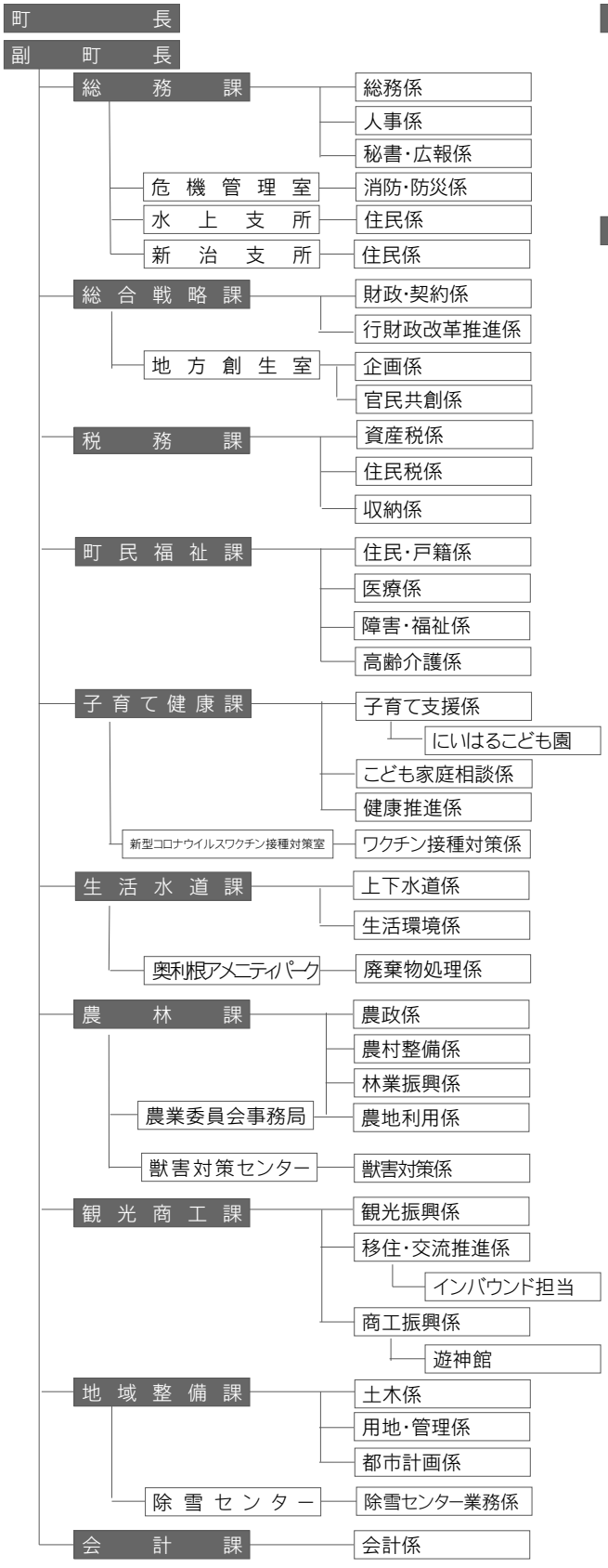
## ■政策体系表

| 基本目標 | 施策 | | 基本事業 | |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 1 | 地域福祉の推進 | 1 | 地域で支え合う意識の高揚 |
| | | | 2 | 最低限度の生活の保障 |
| | 2 | 高齢者福祉の充実 | 3 | 介護予防の充実 |
| | | | 4 | 生きがいづくりと 社会参加の促進 |
| | 3 | 子育て支援の充実 | 5 | 子どもの健康増進 |
| | | | 6 | 子育てするための環境の充実 |
| | | | 7 | 子育てのための経済的な支援 |
| | | | 8 | 青少年の健全育成支援 |
| | 4 | 障害者福祉の充実 | 9 | ノーマライゼーション社会の実現 |
| | | | 10 | 生活支援の充実 |
| | | | 11 | 就労支援の充実 |
| | | | 12 | 社会参加の促進 |
| | 5 | 健康づくりの推進 | 13 | 健康な心と体の維持・増進 |
| | | | 14 | 病気の早期発見 |
| | 6 | 医療の充実 | 15 | 地域医療の充実 |
| | | | 16 | かかりつけ医制度の普及 |
| | | | 17 | 医療保険制度の健全な運営 |
| | 7 | 消防防災対策の強化 | 18 | 防災意識の高揚 |
| | | | 19 | 消防団員確保と活動環境の整備 |
| | | | 20 | 防災体制の強化 |
| | | | 21 | 災害危険箇所対策の推進 |
| | 8 | 生活安全対策の推進 | 22 | 交通安全・防犯意識の高揚 |
| | | | 23 | 交通安全・防犯設備の充実 |
| | | | 24 | 消費者保護対策の推進 |
| | 9 | 道路の安全性と利便性の確保 | 25 | 道路整備の推進・促進 |
| | | | 26 | 道路の安全性の確保 |
| | | | 27 | 冬期間の道路網の確保 |
| | 10 | 公共交通の維持・確保 | 28 | 公共交通の確保 |
| | | | 29 | 公共交通の利便性の確保 |
| | 11 | 水道の整備 | 30 | 安全な水道水の安定供給 |
| | | | 31 | 水道事業の健全運営 |
| | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 32 | ごみの減量の推進 |
| | | | 33 | ごみの資源化の推進 |
| Ⅱ 豊かな自然と共生するまち | 13 | 人と自然の共生の推進 | 34 | 保全活動の推進（まもる力） |
| | | | 35 | 自然資源の活用（いかす力） |
| | | | 36 | 豊かな自然の啓発（ひろめる力） |
| | 14 | 生活環境の保全 | 37 | 生活排水の適正処理 |
| | | | 38 | 公害防止対策の推進 |
| | | | 39 | 公衆衛生対策の推進 |

| 基本目標 | 施策 | | 基本事業 | |
|---|---|---|---|---|
| Ⅱ 豊かな自然と共生するまち | 15 | まちなみの整備 | 40 | まちなみ形成活動の推進 |
| | | | 41 | 適正な土地利用の推進 |
| | 16 | 獣害対策の推進 | 42 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 |
| | | | 43 | 農林産物被害の軽減 |
| | | | 44 | 人的被害対策の推進 |
| Ⅲ 活力にあふれるまち | 17 | 観光の振興 | 45 | 観光情報の発信 |
| | | | 46 | 観光資源の充実 |
| | | | 47 | 国際観光の推進 |
| | 18 | 農業の振興 | 48 | 地域の農産物の利用促進 |
| | | | 49 | 生産基盤の維持・保全 |
| | | | 50 | 担い手の育成・確保 |
| | 19 | 商工業の振興 | 51 | 商業事業者の経営改善 |
| | | | 52 | 工業事業者の安定経営 |
| Ⅳ 豊かな心と文化を育むまち | 20 | 学校教育の充実 | 53 | 教育水準の向上 |
| | | | 54 | 教育環境の整備 |
| | 21 | 生涯学習の推進 | 55 | 学習意欲の高揚 |
| | | | 56 | 学習機会の充実 |
| | | | 57 | 学習環境の整備 |
| | 22 | 生涯スポーツの推進 | 58 | スポーツ意欲の高揚 |
| | | | 59 | スポーツ機会の充実 |
| | | | 60 | スポーツ環境の整備 |
| | 23 | 文化財の保存と活用 | 61 | 文化財の保存 |
| | | | 62 | 文化財の活用 |
| Ⅴ 地域をささえるひとづくり | 24 | 平和と人権の尊重 | 63 | 人権意識の高揚 |
| | | | 64 | 相談・保護体制の強化 |
| | | | 65 | 男女共同参画の推進 |
| | | | 66 | 平和意識の高揚 |
| | 25 | 交流連携の推進 | 67 | 交流連携機会の創出 |
| | | | 68 | 交流連携の強化 |
| | 26 | 移住定住の促進 | 69 | 町の魅力と情報の発信 |
| | | | 70 | 移住定住環境の整備 |
| | 27 | 町民による地域づくりの推進 | 71 | 地域づくりを担う意欲の向上 |
| | | | 72 | 担い手の育成 |
| | | | 73 | 活動しやすい環境づくり |
| Ⅵ 効率的で効果的な行政運営 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 74 | 積立基金の活用 |
| | | | 75 | 財源の確保 |
| | | | 76 | 公共施設の効率的な運営 |
| | | | 77 | 町有資産の利活用による財源の確保 |
| | 29 | 事業効果の向上の推進 | 78 | 事業効果の向上 |
| | | | 79 | 広報広聴体制の充実 |
| | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 80 | 効果的な組織運営 |
| | | | 81 | 人材の育成 |

# 第２章　組織・機構

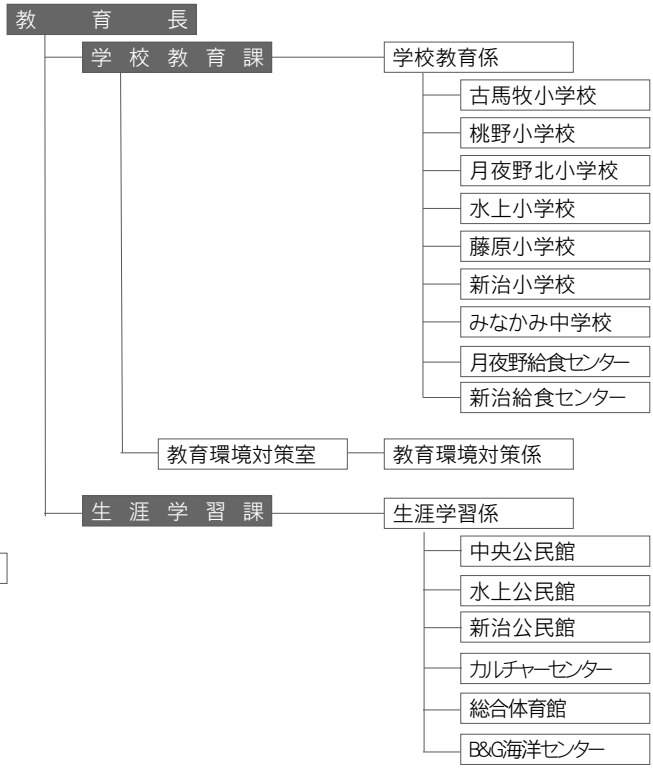
## ■町長部局




## ■町議会

令和4年4月1日現在

## ■教育委員会




## ■行政施設

| 区分 | 住所 | 電話<br>FAX |
|---|---|---|
| 役場本庁舎 | 〒379-1393<br>みなかみ町後閑318 | 62-2111<br>62-2291 |
| 水上支所 | 〒379-1692<br>みなかみ町湯原64 | 72-2111<br>72-4610 |
| 新治支所 | 〒379-1498<br>みなかみ町布施365 | 64-0111<br>64-0852 |
| 観光センター | 〒379-1313<br>みなかみ町月夜野1744-1 | 25-5017<br>62-3211 |
| 奥利根アメニティパーク | 〒379-1414<br>みなかみ町布施2806-1 | 64-1167<br>64-1097 |
| 月夜野農村環境改善センター | 〒379-1313<br>みなかみ町月夜野938-1 | 25-5015<br>25-8353 |

# ■施策・所属別評価対象事務事業数一覧

| 施策＼所属 | | 総務課 | 総合戦略課 | 税務課 | 町民福祉課 | 子育て健康課 | 生活水道課 | 農林課 | 観光商工課 | 地域整備課 | 会計課 | 議会事務局 | 学校教育課 | 生涯学習課 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域福祉の推進 | 1 | | | 9 | | | | | | | | | | 10 |
| 2 | 高齢者福祉の充実 | | | | 53 | | | | | | | | | | 53 |
| 3 | 子育て支援の充実 | | | | 2 | 37 | | | | | | | | 3 | 42 |
| 4 | 障害者福祉の充実 | | | | 22 | | | | | | | | | | 22 |
| 5 | 健康づくりの推進 | | | | 5 | 15 | | | 1 | | | | | | 21 |
| 6 | 医療の充実 | 1 | | 3 | 25 | 2 | | | | | | | | | 31 |
| 7 | 消防防災対策の強化 | 20 | | | 2 | | | | | 2 | | | | | 24 |
| 8 | 生活安全対策の推進 | 9 | | | | | | | 2 | | | | | | 11 |
| 9 | 道路の安全性と利便性の確保 | | 1 | | | | | | | 26 | | | | | 27 |
| 10 | 公共交通の維持・確保 | 1 | 9 | | | | | | | | | | | | 10 |
| 11 | 水道の整備 | | | | | | 2 | | | | | | | | 2 |
| 12 | 循環型社会づくりの推進 | | | | | | 8 | | | | | | | | 8 |
| 13 | 人と自然の共生の推進 | | 3 | | | | 8 | 14 | 3 | 2 | | | | | 30 |
| 14 | 生活環境の保全 | | | | | | 31 | | | | | | | | 31 |
| 15 | まちなみの整備 | | 2 | | | | | 1 | 1 | 11 | | | | | 15 |
| 16 | 獣害対策の推進 | | | | | | | 8 | | | | | | | 8 |
| 17 | 観光の振興 | | | | | | | | 54 | 3 | | | | | 57 |
| 18 | 農業の振興 | | | | | | | 55 | 1 | | | | | | 56 |
| 19 | 商工業の振興 | | | | | | | | 13 | | | | | | 13 |
| 20 | 学校教育の充実 | | 1 | | | | | | | | | | 36 | 2 | 39 |
| 21 | 生涯学習の推進 | | | | | | | | | | | | | 13 | 13 |
| 22 | 生涯スポーツの推進 | | | | | | | | | 1 | | | | 10 | 11 |
| 23 | 文化財の保存と活用 | | | | | | | | | | | | | 11 | 11 |
| 24 | 平和と人権の尊重 | 1 | | | 5 | | | | | | | | | 1 | 7 |
| 25 | 交流連携の推進 | | | | | | | | 10 | | | | | | 10 |
| 26 | 移住定住の促進 | | 1 | | | | | | 5 | 4 | | | | | 10 |
| 27 | 町民による地域づくりの推進 | | 4 | | | | | | | | | | | | 4 |
| 28 | 計画的な財政運営の推進 | 3 | 8 | 10 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | 24 |
| 29 | 事業効果の向上の推進 | 8 | 9 | | | | | | | | | 1 | | | 18 |
| 30 | 効率的な組織運営の推進 | 17 | 1 | | | | | | | | | | | | 18 |
| | 施策体系外 | 3 | 1 | | 6 | | | | 1 | | | 5 | | | 16 |
| 合計 | | 64 | 40 | 13 | 129 | 54 | 49 | 78 | 92 | 49 | 1 | 7 | 36 | 40 | 652 |

# 第２編　執行状況

Ⅰ　誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち

Ⅱ　豊かな自然と共生するまち

Ⅲ　活力にあふれるまち

Ⅳ　豊かな心と文化を育むまち

Ⅴ　地域をささえるひとづくり

Ⅵ　効率的で効果的な行政運営

# 執行状況について

## 1　行政評価による状況把握

行政評価は、計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）というPDCAサイクル（行政マネジメントサイクル）のもと、評価結果を次の計画策定や事務改善に反映させ、社会経済情勢の変化や町民のニーズに合った行政サービスを提供するための有効な方法です。

本編では、各施策の評価結果である施策マネジメントシートと、その施策に関連付けられている事務事業シートを掲載しています。

## 2　施策評価とは

施策評価では、総合計画で定められた施策ごとの方針や目標が、どの程度達成されているのかを指標による客観的な数値により把握し、その背景や要因を考察することで現状と課題などを明らかにし、次年度以降にどのようなことに重点的に取り組む必要があるのか、その方向性を導き出します。

## 3　SDGs（持続可能な開発目標）

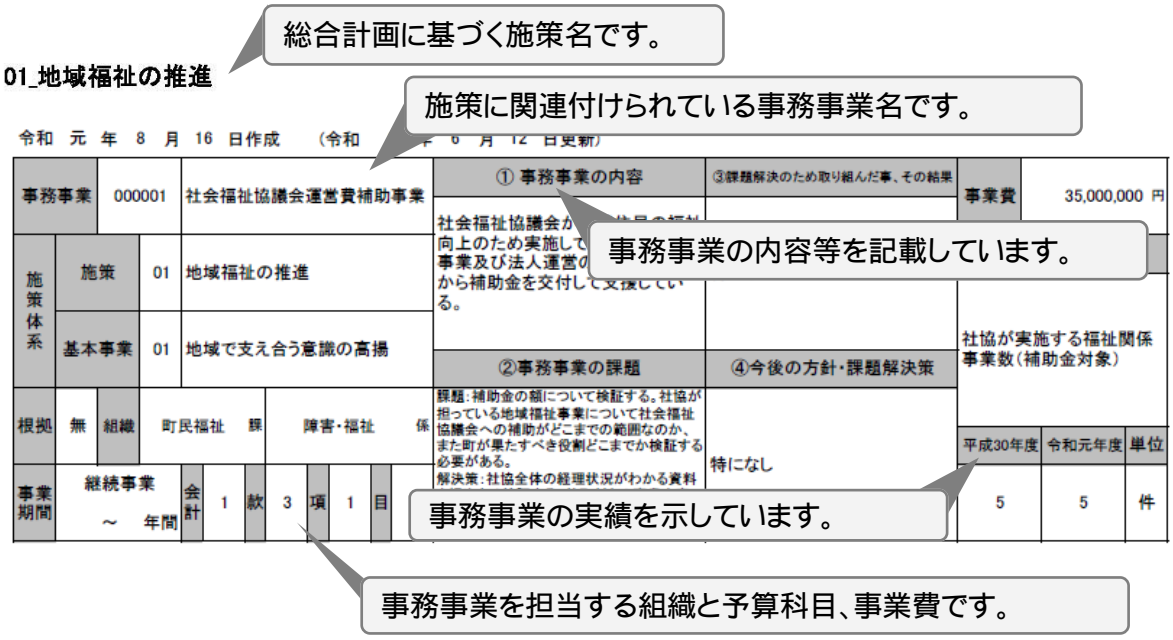
本町は、2019年（令和元年）7月1日「SDGs未来都市」に選定されました。 各施策を推進することがSDGs達成に向けた取り組みを推進することにつながると考え、施策ごとにSDGsの目標を関連付けています。

## ■事務事業シートの見方

### 事務事業シートとは

平成27年度決算までは、事務事業マネジメントシートという名称で、それぞれの事務事業を年度末における事後評価という形で実施してきましたが、従来の活用方法等を総合的に点検、検討した結果、平成28年度より年度中での活用に変更することと致しました。具体的には、「評価」から評価を踏まえた「計画」に重点を置き、様式を大幅に省略し、事務負担の軽減を図ったうえで、予算編成の指針として活用するものです。

なお、これに伴い実施計画事前評価シートの作成をしていましたが、これを省略しています。また、事務事業シートは、現年又は、繰越事業等で予算措置のあるものについて作成しています。



## ■施策マネジメントシートの見方

| 施策 | 1 | 地域福祉の推進 | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中島 修一 |

**施策の成果水準の分析と背景・要因の考察**

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☑ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①ボランティア活動参加者数は、平成30年度763人、令和元年度785人、令和２年度615人となり、前年度対比で170人、21.6%の減となった。新型コロナ感染症による活動の自粛が要因と考えられるが、ボランティアの高齢化も一因である。<br>②民生委[illegible]童委員の地域福祉活動・自主活動件数は、平成30年度1,508件、令和元年度1,760件、令和[illegible]り活動でき[illegible] |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①ボランティア活動参加者数は、公表されていないため比較できない。<br>②民生委員会児童委員の「地域福祉活動・自主活動」の件数は、「令和２年度福祉行政報告例」により民生委員会児童委員１人あたりの活動件数を換算し、比較すると本町19.8件、沼田市12.9件、片品村6.9件、川場村42.1件、昭和村8.1件となっている。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | ①ボランテ[illegible]<br>コロナウイルス感染症とボランティアの高齢化と考えられる。<br>②民生委員会児童委員の「地域福祉活動・自主活動」の件数は、目標値1,515件に対して1,268件と大幅に下回っている。新型コロナ感染症の影響により活動を自粛したためである。 |

**基本事業の成果指標**

| 基本事業名 | 成果指標名 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 地域で支え合う意識の高揚 | A | 地域で支え合う福祉活動を行っている町民の割合 | % | 実績値 | 30.6 | 27.4 | 29.5 | 26.9 | 36.5 | | |
| | | | | 目標値 | | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 |
| | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 最低限度の生活の保障 | A | 生活保護率 | % | 実績値 | 0.58 | 0.60 | 0.57 | 0.55 | 0.58 | | |
| | | | | 目標値 | | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.60 |
| | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | A | | | | | | | | | | |
| | B | | | | | | | | | | |
| 4 | A | | | | | | | | | | |
| | B | | | | | | | | | | |

**今後の課題と取り組み（案）**

| 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|
| 1 地域で支え合う意識の高揚 | ①自分が住んでいる地域への関心が薄れている。 | ①令和5年度までに重層的支援体制整備事業を実施し、住民同士の顔の見える関係性を築く地域づくりを行う。<br>・ボランティア活動や行政区の活動を行っている団体個人の取組を介し、ボランティア活動の参加を促すとともに地域の担い手を育てる。<br>・社会福祉協議会、小中学校と連携し福祉教育を推進する。<br>・地域住民が相互に交流を図ることができる拠点を増やす。<br>・商工会及[illegible]<br>[illegible]な見守り[illegible] |
| 2 最低限度の生活の保障 | ①生活[illegible]<br>い。<br>②県が[illegible]<br>れてお[illegible]<br>③生活[illegible] | [illegible]社会福祉[illegible]<br>[illegible]事業の活用[illegible]<br>[illegible]重層的支援[illegible]<br>[illegible]できる福祉[illegible]<br>[illegible]就労支援[illegible]<br>[illegible]支援する。 |
| 3 | | |
| 4 | | |

成果指標の実績値を過去のものと比較して、成果水準がどのように変化したのかを分析し、その背景・要因を考察しています。

成果指標の実績値を全国や県、近隣他市町村のものと比較して、どの程度の水準に位置するのかを分析し、その背景・要因を考察しています。

成果指標の実績値を目標値と比較して、目標をどれだけ達成できたかを分析し、その背景・要因を考察しています。

意図したことがどの程度達成できたか(成果)を、指標で示しています。目標値(下段)と実績値(上段)を年度ごとに設定・把握しています。

上記の評価結果を踏まえ、施策の成果向上に向けて、今後、解決すべき課題を基本事業ごとに示しています。

今後の課題を解決するために、次年度にどのようなことに取り組むのか、方向性を基本事業ごとに示しています。

# ■施策・会計別決算総括表

| 施策＼会計 | | 一般会計 | | | 特別会計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | うち現年予算 | うち繰越明許 | 国民健康保険 | 後期高齢者医療 | 介護保険 |
| 1 | 地域福祉の推進 | 206,323,376 | 157,678,486 | 48,644,890 | | | |
| 2 | 高齢者福祉の充実 | 482,134,259 | 482,134,259 | | | | 2,750,505,495 |
| 3 | 子育て支援の充実 | 909,992,334 | 888,030,056 | 21,962,278 | 5,427,646 | | |
| 4 | 障害者福祉の充実 | 546,656,475 | 546,656,475 | | | | |
| 5 | 健康づくりの推進 | 210,245,344 | 138,584,507 | 71,660,837 | 30,054,345 | 12,380,003 | |
| 6 | 医療の充実 | 598,021,072 | 598,021,072 | | 2,198,332,842 | 284,745,020 | |
| 7 | 消防防災対策の強化 | 566,209,270 | 527,032,770 | 39,176,500 | | | |
| 8 | 生活安全対策の推進 | 18,999,570 | 18,999,570 | | | | |
| 9 | 道路の安全性と利便性の確保 | 1,066,643,060 | 839,475,366 | 227,167,694 | | | |
| 10 | 公共交通の維持・確保 | 38,565,785 | 38,565,785 | | | | |
| 11 | 水道の整備 | 63,995,920 | 63,995,920 | | | | |
| 12 | 循環型社会づくりの推進 | 810,901,248 | 810,901,248 | | | | |
| 13 | 人と自然の共存の推進 | 168,981,940 | 120,088,940 | 48,893,000 | | | |
| 14 | 生活環境の保全 | 474,583,809 | 474,583,809 | | | | |
| 15 | まちなみの整備 | 281,008,121 | 281,008,121 | | | | |
| 16 | 獣害対策の推進 | 43,732,861 | 43,732,861 | | | | |
| 17 | 観光の振興 | 1,003,365,313 | 919,990,648 | 83,374,665 | | | |
| 18 | 農業の振興 | 365,960,901 | 299,553,677 | 66,407,224 | | | |
| 19 | 商工業の振興 | 242,990,265 | 242,990,265 | | | | |
| 20 | 学校教育の充実 | 1,239,069,199 | 1,219,522,401 | 19,546,798 | | | |
| 21 | 生涯学習の推進 | 91,438,651 | 91,438,651 | | | | |
| 22 | 生涯スポーツの推進 | 53,909,718 | 46,440,718 | 7,469,000 | | | |
| 23 | 文化財の保存と活用 | 9,484,281 | 9,484,281 | | | | |
| 24 | 平和と人権の尊重 | 727,078 | 727,078 | | | | |
| 25 | 交流連携の推進 | 12,167,922 | 12,167,922 | | | | |
| 26 | 移住定住の促進 | 213,181,899 | 213,181,899 | | | | |
| 27 | 町民による地域づくりの推進 | 17,639,447 | 17,639,447 | | | | |
| 28 | 計画的な財政運営の推進 | 2,794,023,057 | 2,789,316,707 | 4,706,350 | 13,675 | | 2,854 |
| 29 | 事務効果の向上の推進 | 196,407,007 | 189,290,007 | 7,117,000 | | | |
| 30 | 効率的な組織運営の推進 | 274,204,611 | 274,204,611 | | | | |
| | 施策体系外 | 440,639,032 | 439,539,032 | 1,100,000 | | | |
| | 職員（特別職を含む）人件費 | 1,698,087,923 | 1,698,087,923 | | | | |
| 合計 | | 15,140,290,748 | 14,493,064,512 | 647,226,236 | 2,233,828,508 | 297,125,023 | 2,750,508,349 |

単位：円、％

| 特別会計 | | | 水道事業会計 | | 合 計 | 構成比 | 施策番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下水道事業 | うち現年予算 | うち繰越明許 | 収益的支出 | 資本的支出 | | | |
| | | | | | 206,323,376 | 0.95% | 1 |
| | | | | | 3,232,639,754 | 14.85% | 2 |
| | | | | | 915,419,980 | 4.20% | 3 |
| | | | | | 546,656,475 | 2.51% | 4 |
| | | | | | 252,679,692 | 1.16% | 5 |
| | | | | | 3,081,098,934 | 14.15% | 6 |
| | | | | | 566,209,270 | 2.60% | 7 |
| | | | | | 18,999,570 | 0.09% | 8 |
| | | | | | 1,066,643,060 | 4.90% | 9 |
| | | | | | 38,565,785 | 0.18% | 10 |
| | | | 376,148,542 | 163,626,408 | 603,770,870 | 2.77% | 11 |
| | | | | | 810,901,248 | 3.72% | 12 |
| | | | | | 168,981,940 | 0.78% | 13 |
| 808,932,951 | 808,932,951 | | | | 1,283,516,760 | 5.90% | 14 |
| | | | | | 281,008,121 | 1.29% | 15 |
| | | | | | 43,732,861 | 0.20% | 16 |
| | | | | | 1,003,365,313 | 4.61% | 17 |
| | | | | | 365,960,901 | 1.68% | 18 |
| | | | | | 242,990,265 | 1.12% | 19 |
| | | | | | 1,239,069,199 | 5.69% | 20 |
| | | | | | 91,438,651 | 0.42% | 21 |
| | | | | | 53,909,718 | 0.25% | 22 |
| | | | | | 9,484,281 | 0.04% | 23 |
| | | | | | 727,078 | 0.01% | 24 |
| | | | | | 12,167,922 | 0.06% | 25 |
| | | | | | 213,181,899 | 0.98% | 26 |
| | | | | | 17,639,447 | 0.08% | 27 |
| | | | | | 2,794,039,586 | 12.83% | 28 |
| | | | | | 196,407,0007 | 0.90% | 29 |
| | | | | | 274,204,611 | 1.26% | 30 |
| | | | | | 440,639,032 | 2.02% | |
| | | | | | 1,698,087,923 | 7.80% | |
| 808,932,951 | 808,932,951 | 0 | 376,148,542 | 163,626,408 | 21,770,460,529 | 100.00% | |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |
| 施策 | 1 | 地域福祉の推進 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | ①地域で支え合う意識を高める。<br>②自立安定した生活を営む。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 地域で支え合う意識の高揚 | 町民 | 地域で支え合う意識を高める。 |
| | 2 | 最低限度の生活の保障 | 最低生活費をまかなえない人 | 最低限度の生活が保障される。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・地域住民やボランティア団体、社会福祉協議会や行政等が連携し、地域において支え合い共に暮らすことができる地域社会づくりを推進します。<br>・生活に困窮している町民が安定した生活を営むことができるよう、自立に向けた支援に取り組みます。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | ボランティア活動参加者数 | 人 | 実績値 | 841 | 832 | 763 | 785 | 615 | 713 | 754 |
| | | | | 目標値 | | 840 | 900 | 960 | 1,020 | 1,080 | 1,140 |
| | B | 民生委員・児童委員の地域福祉活動・自主活動件数 | 件 | 実績値 | 1,497 | 1,324 | 1,508 | 1,760 | 1,268 | 1,539 | 1,488 |
| | | | | 目標値 | | 1,500 | 1,505 | 1,510 | 1,515 | 1,525 | 1,536 |
| | C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A）数値が高まれば、町民が福祉活動を積極的に行っていると考え成果指標とした。<br>※社会福祉協議会が運営するボランティアセンターで取りまとめた、ボランティア活動保険への年間加入者数<br>B）地域に根ざした民生委員・児童委員の活動件数が増えれば、地域の支え合う意識が高まり、また、生活困窮者が自立した生活を送ることに繋がると考えられるため成果指標とした。<br>※民生委員・児童委員が行った地域福祉活動・自主活動の延べ件数 |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A）2011年の東日本大震災の復興活動でボランティア活動に参加する人が増加した。その後は大幅な増減はなく、継続して活動していることがうかがえる。現在の実績値を最低ラインとし、今後の町政を担っていく世代の方への意識付けを行うことで活動する人を増加させたく目標を設定する。<br>B）地域に根ざした民生委員・児童委員の活動指標としての地域福祉活動・自主活動件数が増えることは、地域支え合いが積極的に行われているといえることから成果指標とした。民生委員・児童委員一人が月2回活動することを目標とする。 |

| 施策のための役割分担 | 1．町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2．行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| 施策の目的・目標達成 | ・講習会や研修会に参加して福祉活動の理解を深める。<br>・自分ができる福祉活動・地域活動を見つけ、自ら参加する。<br>・地域活動を通じて地域の人と世代を超えた交流を図る。<br>・困っている人、援助を求めている人を見かけたら、積極的に声をかけ必要に応じて行政や警察に連絡する。<br>・生活保護から早期に自立できるよう努める。 | ・ボランティア団体の育成や情報の提供など、住民が地域福祉に参加できる体制づくりを推進する。<br>・福祉教育の充実や福祉イベントの充実など、地域福祉を支える人づくりに努める。<br>・被保護者や生活困窮者の生活自立を支援する。<br>・複雑な相談にも対応できるよう住民が気軽に相談し、分野を問わず柔軟に対応できる体制を構築する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1．施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2．施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・少子高齢化が益々進み、高齢者の単身世帯及び高齢者のみの世帯が更に増加する。<br>・高齢化に伴い元気な高齢者が地域の担い手となっていく。<br>・8050問題や子育てと介護のダブルケア、ひきこもりなど福祉の分野ごとの制度では対応が難しい複雑な課題が顕在化している。<br>・デジタル化の加速やテレワークの推進など、人との接触が制限され、地域の人付き合いが希薄になる。<br>・社会福祉法改正により令和3年4月に地域共生社会の実現に向けた新たな法定事業となる重層的支援体制整備事業が創設された。<br>・孤独・孤立対策推進法が交付され、令和6年4月1日に施行される。孤独・孤立対策の基本理念、国及び地方の推進体制等について定められている。 | ・孤立している若者、高齢者、障害者を地域ぐるみで支える仕組み、人材の育成が必要。<br>・核家族化が進んでいるので、高齢者と子どもたちのふれあえる恒常的な場所があると世代間交流が図られる。 |

| 施策 | 1 | 地域福祉の推進 | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①ボランティア活動参加者数は、令和2年度615人、令和3年度713人、令和4年度754人となり、前年度から微増となった。内訳として月夜野ボラ連、介護支援ボランティア等の登録が増えている。<br>②民生委員児童委員の地域福祉活動・自主活動件数は、令和2年度1,268件、令和3年度1,539件、令和4年度1,488件となり、前年度より51件減、3.3%減となった。新型コロナにより活動ができなかった期間から徐々に活動が戻ってきているものの、昨年度は民生委員児童委員の一斉改選により引継ぎ等の期間若干活動が少なくなったと考えられる。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①ボランティア活動参加者数は、公表されていないため比較できない。<br>②民生委員児童員の「地域福祉活動・自主活動」の件数は、「令和4年度福祉行政報告例」により民生委員児童委員1人あたりの活動件数を換算し、比較すると、本町23.3件、沼田市17.7件、片品村14.6件、川場村49.8件、昭和村4.1件となっている。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①ボランティア活動参加者数は、目標値1,140人に対して、754人と下回っている。新型コロナ感染症の影響やボランティアの高齢化等により目標値まで達成できなかったものと推測される。<br>②民生委員児童委員の「地域福祉活動・自主活動」の件数は、目標値1,536件に対して、1,488件と若干下回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域で支え合う意識の高揚 | A | 地域で支え合う福祉活動を行っている町民の割合 | % | 実績値 | 30.6 | 27.4 | 29.5 | 26.9 | 36.6 | 35.3 | 39.6 |
| | | | | | 目標値 | | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 最低限度の生活の保障 | A | 生活保護率 | % | 実績値 | 0.58 | 0.60 | 0.57 | 0.55 | 0.58 | 0.61 | 0.60 |
| | | | | | 目標値 | | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.60 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域で支え合う意識の高揚 | ①自分が住んでいる地域への関心が薄れている。<br>②複雑化複合化した問題を抱える人への対応が必要である。 | ①ボランティア活動や行政区の活動を行っている団体個人の取組を介し、地域で支え合う福祉活動への参加を促すとともに地域の担い手を育てる。<br>②地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業を推進していく。<br>③社会福祉協議会、小中学校と連携し福祉教育を推進する。<br>④分野ごとに整備されている居場所や拠点と情報共有をはかり、世代や属性を超えて住民同士が交流できる機会を提供する。また既存の居場所が適さない対象者（ひきこもり等）に新たな居場所整備を検討する。<br>⑤商工会及び社会福祉協議会を通じて、近隣住民の緩やかな見守りを行う福祉協力店や見守り安心サポーターを増やす。 |
| 2 | 最低限度の生活の保障 | ①生活困窮の相談が増えている。<br>②生活保護から自立する人が少ない。<br>③就労が定着しない人や社会に適応できない人が増えている。 | ①福祉まるごとサポートセンターを住民へ周知し、気軽に生活困窮の相談ができる環境を整備する。<br>②社会福祉協議会で実施している生活困窮者自立支援相談事業（県委託事業）と福祉事務所未設置町村相談事業（町委託事業）を連携し、困窮相談の充実をはかる。<br>③就労支援等を通して被保護者や生活困窮者の経済的自立を支援する。 |
| 3 | | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 行政相談事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 町内の行政相談委員が参加する研修会の費用の一部を補助する。<br>行政相談委員の任期は2年で、改選の際の候補者の推薦を市町村で行う。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 相談日開設日数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 12 | 12 / 日 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 更生保護女性会活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 149,040 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 地域の犯罪予防や青少年の健全な育成を願い、啓発活動を行っている、更生保護女性会の活動を支援するため補助金を交付している。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 会議・研修会の回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 2 | 12 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 保護司活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 42,550 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 保護司とは犯罪を犯した者の改善及び更生を助けることを目的とし、法務大臣より委嘱されている。みなかみ町には6名の保護司がおり、沼田利根保護司に所属し、研修会等の負担金の一部を補助する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 研修参加人数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 課題なし。 | なし | 0 | 0 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 行旅人救援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 行旅病人の救護、行旅死亡人の火葬等を行う。また、町の単独事業として行旅人（行旅中の生活困難者）に対して近接地までの旅費を支給（貸付）している。 | 管内業者（三東）と協議し、引取人の居ない遺体について、病院から安置所までの移送と方向性が決まるまでの間預かってもらえるよう依頼できた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 最低限度の生活の保障 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 病院で亡くなり身元引取人がいない場合、預かる場所が無い。また短時間で調査や対応策を検討しなければならず対応が困難。 | 特になし | 5 | 6 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 重層的支援体制移行準備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 18,700,322 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 地域住民等の様々な相談を包括的に受け止める体制を構築する。<br>お互いに支え合える地域づくりを実施する。 | ・庁内連携会議やワーキングにより多機関協働事業の実勢体制を構築し、関係者の共通理解と役割の整理した。<br>・福祉サービスを利用していない障害者に対し、ニーズ把握や支援を開始。<br>・各種教室等を実施し高齢者等への参加を支援し、地域の担い手を養成した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 福祉まるごとサポートセンターの相談件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 1 | ・重層的支援体制整備事業の共通理解と意思統一<br>・役場関係課・社協・障害者相談支援センター等各種支援機関等との連携<br>・町と社会福祉協議会の役割分担の明確化<br>・町民の参加 | R5年度より重層的支援体制整備事業（本事業）を実施に伴い、町民福祉課内に「福祉まるごとサポートセンター」を設置し、町民や事業所からの相談の窓口を設置し、事業の中心的役割を担い、地域共生社会の実現に向け取組んでいく。 | ― | 16 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 生活困窮者支援等のための地域づくり事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 地域住民相互の支え合いによる共助の取組の活性化を図り、生活困窮者を始め、支援が必用な人と地域とのつながりを適切に確保するとともに、これらを地域全体で支える基盤を構築することで地域福祉の推進を図る。 | ・地域福祉のニーズ調査「福祉アンケート」を実施した。<br>・地域住民の活動支援・情報発信等として、刈払機講習会、除雪講習会等を実施した。<br>・地域コミュニティを形成する居場所づくりとして、地域食堂（こども食堂）、わら細工の家を設置し利用を啓発した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 福祉ふれあいフェスティバルの参加者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 1 | 世代や属性超えての住民同士が交流できる多様な居場所の整備 | 居場所の充実や、世代を問わない地域食堂（こども食堂）の推進 | ― | 50 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 生活困窮者相談事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 福祉事務所を設置していない町村において生活困窮者やその家族等からの相談に応じ、必要な援助等を行う。相談者の属性や世代にかかわらず、相談能化と目や関係機関との協働による世帯全体へのチーム支援など必用な支援を行う。 | ・社会福祉協議会内に相談窓口の設置した。<br>・フードバンク事業の拡大<br>・オンライン相談 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 困窮相談数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 1 | 生活困窮者の一時的相談窓口としての町民・関係機関への周知。<br>県福祉事務所との連絡調整 | 自立支援事業との連携により、困窮者に対する相談事業の強化。<br>弁護士等と連携した債務整理 | ― | 38 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 107,596,215 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 電力・ガス・食料品等の価格高騰による国民の負担増をふまえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税の世帯）に対し1世帯あたり5万円を給付するもの。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 最低限度の生活の保障 | | | 事業実績 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 1 | なし | なし | ― | 2044 / 世帯 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 民生委員・児童委員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,170,659 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 厚生労働大臣より委嘱を受けた民生委員の活動を支援し、他機関との連携を図り、研修等活動の充実、委員間の連絡や調整をする協議会の運営補助を町が行う。 | 民生委員児童委員の存在意義や役割、協議会の設置の主旨や目的等、基本的な内容について再確認し、関係機関との連携体制を周知した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 会議開催件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 新型コロナの影響により従来の活動が数年にわたり実施できない状態にあったことに加えて、令和4年12月に一斉改選により全体の半数32名の方が入れ替わったため、活動内容を再構築していく必要がある。 | 各々の民生委員児童委員の活動を促進し、民生委員個人と関係機関が直接つながる体制を構築していく | 4 | 20　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 社会福祉協議会運営費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 20,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 01 | 地域福祉の推進 | 社会福祉協議会が地域住民の福祉向上のために実施している法人運営に対し、補助金を交付する。 | 町と社協の事業内容を洗い出し、調査を行いこれまで社協が実施していた事業を再検討し、事業別に補助金を選択することで運営に対しての補助金を充てることになった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域で支え合う意識の高揚 | | | 社協が実施する福祉関係事業数（補助金対象） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 法人運営の補助金に対して人件費、事業費などが適切に支出入されているが検証する必要がある。 | 今後、年度末に提出される実績にて適切に運営され人件費等が支出されているか検証をする。 | 1 | 1　件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 26 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |
| 施策 | 2 | 高齢者福祉の充実 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町内の高齢者 | 生きがいを持って、元気に暮らす。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 介護予防の充実 | 町内の高齢者 | 心とからだの能力や機能を維持・向上させる。 |
| | 2 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | 町内の高齢者 | 活動的で生きがいのある生活や人生を送る。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができる環境の整備を推進します。
・要介護状態とならずに、あるいは要介護状態となっても重度化を防ぐことで生きがいを持ち、いきいきと暮らすことができる環境づくりを推進します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 生きがいを感じている高齢者の割合 | % | 実績値 | 79.0 | 77.6 | 75.2 | 78.1 | 77.8 | 67.1 | 73.8 |
| | | | 目標値 | | 79.0 | 79.2 | 79.4 | 79.6 | 79.8 | 80.0 |
| B | 65歳平均自立期間（男性/女性） | 年 | 実績値 | 17.31/20.69 | 17.43/20.69 | 17.06/20.45 | 17.14/20.33 | 18.1/20.35 | 17.86/20.11 | 18.79/21.06 |
| | | | 目標値 | | 17.43/20.81 | 17.43/20.81 | 17.55/20.93 | 17.67/21.05 | 17.79/21.17 | 17.91/21.29 |
| C | 要介護認定率 | % | 実績値 | 21.3 | 21.2 | 21.6 | 21.6 | 22.1 | 22.5 | 22.0 |
| | | | 目標値 | | 21.3 | 21.3 | 21.3 | 21.2 | 21.1 | 21.0 |
| D | シルバー人材センター延べ就業人数 | 人 | 実績値 | 3,185 | 3,912 | 4,515 | 5,190 | 5,154 | 5,130 | 6,164 |
| | | | 目標値 | | 4,500 | 4,600 | 4,700 | 4,800 | 4,900 | 5,000 |
| E | ふれあいいきいきサロン数 | 箇所 | 実績値 | 35 | 40 | 41 | 41 | 32 | 33 | 31 |
| | | | 目標値 | | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考え成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※日常生活で生きがいを感じていますか。→60歳以上の方に限定して、「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合
B）期間が長ければ、高齢者が介護を必要とせず元気な状態であると考え成果指標とした。
※65歳以上の町民が、65歳から介護2以上の介護度となるまでの平均的な自立期間
C）数値が低ければ、高齢者が介護を必要とせず元気な状態であると考え成果指標とした。また、他団体との比較もしやすい。
※要介護認定率＝介護保険認定者数／高齢者（65歳以上の町民）人口、介護保険認定者数＝要支援＋要介護
D）数値が高まれば高齢者の社会進出が図られているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
E）高齢者の生きがい支援、閉じこもりの防止のための社会参加できる場所の水準として成果指標とした。
※社会福祉協議会に登録されているサロン数

**目標値設定の考え方**

A）過去4年間（2013～2016）の平均値は78.0%となり、成り行きでは、毎年ほぼ同じ割合で推移することが予想されるが、社会的交流の機会を充実させることにより、2022年度では80.0%を目指す。
B）過去4年間（2013～2016）の平均値は（男）17.40年/（女）20.46年となり、成り行きでは、毎年ほぼ同じ割合で推移することが予想されるが、健康志向の高まりや介護予防に対する意欲の向上を図る取り組みにより、2022年度では（男）17.91年/（女）21.29年を目指す。
C）2016年度の実績値は21.3%となり、成り行きでは後期高齢者の割合の増加により毎年同じ割合で推移することが予想されるが、介護予防教室やふれあいいきいきサロンへの参加を促したり、新たな介護保険サービス以外の通いの場の創出に取り組むことにより、2022年度では21.0%を目指す。
D）2016年度の延べ就業人数は3,185人。65歳以上を一律に「高齢者」とみる一般的な傾向は現実的ではないとして、70歳やそれ以降でも意欲や能力に応じた力を発揮できる時代が到来したことから、成り行きでは毎年100人程度増加することが予想され、2022年度では5,000人を目指す。
E）2016年度のサロン数は35カ所。各行政区1ヶ所位を目途に開設を目指していく。小さな行政区は共同開設、大きな行政区は、複数の開設を想定。介護予防サポーターや介護支援ボランティアの活動を充実させることにより、毎年1ヶ所の増加を目標として、2022年度に40カ所の開設を目指す。

| 施策の目標達成の目的・役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・健康や体力維持のため、介護予防に積極的に取り組む。<br>・認知症について正しい知識を習得し、当事者・家族の理解者となる。<br>・見守りや声かけなど、身近な高齢者の支援をする。<br>・事業所等は、高齢者が働きやすい環境づくりに努める。 | ・医療や介護、福祉の連携を図り、地域包括ケアシステムの構築を目指す。<br>・介護予防の必要性を周知し、町民が参加しやすい事業を推進する。<br>・介護保険制度の適正な運営を図る。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・一般的に65歳以上とされている高齢者の定義について、75歳以上とすべきだとする提言が発表されたり、75歳以上の運転免許保有者に対し、記憶力や判断力の認知機能検査を強化する改正道交法が施行された。<br>・介護分野での外国人の受け入れ拡大を柱とする改正入管法が施行され、在日外国人の高齢化も進む中、介護分野での外国人のニーズが高まっている。<br>・人生100年時代を見据えた社会の実現に関する議論も行われているが、2025年以降の人口構造の変化も見据えつつ、活力ある社会を実現し、国民一人一人が状態に応じた安全、安心で効率的・効果的な質の高い介護が受けられるよう、2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築を図ることが必要である。<br>・令和3年度からの第8期介護計画が策定され、保険料基準額が11%増になった。 | ・近くにふれあいいきいきサロン等が無く、色んな人と会って話したり、運動をやったりして楽しい時間を過ごしたいが、機会が少ない。<br>・今は元気でも、いつ支援をしてもらうことになるか心配がある。高齢者が増加する中だが、必要なときにサービスが受けられる町であってほしい。<br>・介護は大変ですが、デイサービスやショートステイなどがあり、とてもありがたい。<br>・健康寿命を延ばすための予防医療、運動施設に力を入れてもらいたい。「元気なお年寄りが多いみなかみ町」になれば首都圏からも人が集まってくると思う。<br>・高齢化社会が進むため、定年を迎えた方も健康で長生きできる町、活気・魅力あるまちづくりを進めて欲しい。<br>・買い物支援の継続、健診時の送迎サービスの要望。<br>・公共交通の不便さに対する不満やデマンドバスの運行への要望等。 |

| 施策 | 2 | 高齢者福祉の充実 | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | 令和4年度には、介護保険計画に係る65歳以上の方へニーズ調査を実施した。前回の調査は3年前に行っているが、その結果を元に要因を考察。<br>・生きがいを感じている高齢者の割合は、昨年度より6.7ポイント上回った。ニーズ調査では、「生きがいがある方」が「地域活動に参加している」割合が高い傾向があった。<br>・要介護認定率は、前年より0.5ポイント下がった。しかし、ニーズ調査のリスク分析によると、「運動機能の低下」は前回よりも低下がすすみ、「認知機能の低下」も前回より低下し、「社会的役割の低下」についても低下傾向が見られた。<br>・ふれあいいきいきサロン数は新型コロナ感染拡大の影響により、休止中のサロンが再開できず、継続できなかったところがあった。サロンは後継者不足も課題になっており、ニーズ調査でも「健康づくり活動や趣味の活動にお世話役として参加してみたいか」という問いには、前回調査より「参加したくない」が増加していた。<br>・シルバー人材センター延べ就労人数は、令和2年度に派遣業の資格を取得してから年々実績を伸ばしており、目標値の120%になっている。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ・要介護認定率は、令和5年2月現在、全国19.0%、群馬県17.50%、利根沼田圏域平均20.6%のところ、みなかみ町は22.0%であり、圏域内でも当町の認定率が最も高くなっている。<br>・ふれあいいきいきサロンは、当町31カ所、群馬県2,031カ所、利根沼田189カ所となっている。高齢者1,000人当たりのサロン数に換算すると、当町4.2カ所、群馬県平均3.4カ所、圏域平均6.6カ所となっている。しかし、町では新型コロナにより、サロンを休止中のところが再開していないなどあるため、他市町村でも活動していないサロンが含まれていると思われる。（なお、片品村などは、みなかみ町で行っている健康教室的なものが含まれており、町で現在行っている各地区の健康教室を入れると比較がしづらいことが分かっている。）<br>・シルバー人材センターの延就業人員数は、令和5年3月末現在において、当町6,164人（対前年比120%）、沼田45,035人（対前年比100%）、片品村4,475人（対前年比100%）、昭和村2,537人（対前年比99%）となっている。（川場村はデータ登録なし） |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>☐ 目標値を大きく下回った。 | ①「生きがいを感じている人の割合」を80%を目標としていたが、73.8%にとどまった。過去5年間の社会情勢の変化により、その割合も年度ごとに増減があった。<br>②「65歳以上の平均自立期間」については、女性はほぼ目標通りだった。男性については、0.8ポイント上回った。<br>③「要介護認定」は、22.0%となり、1ポイント目標に達しなかった。前年度よりも下がったが、依然として認定率は県内で4番目に高い水準できている。一般的に「単身・高齢者世帯」の割合が高い地域が比較的認定率が高いとされている。群馬県のひとり暮らし調査によると70歳以上の単身者等の割合は14.5%だったが、当町では16.8%と高い割合だった。<br>④シルバー人材センターの就業人員数は、目標より1,164人上回っており、正規会員も令和3年度166人だったのに対し、183人に増えている。<br>⑤サロンについて、新型コロナの影響により、休止や廃止が相次いで、目標数の78%程度になってしまった。また、生活支援体制整備事業により新たなサロンが始まったところがあったが、継続している既存のサロンでは、担い手不足が課題となっている。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 介護予防の充実 | A | 地域における介護予防事業の開催箇所数 | 箇所 | 実績値 | 実績なし | 16 | 18 | 18 | 18 | 19 | 18 |
| | | | | | 目標値 | | 16 | 16 | 18 | 18 | 19 | 19 |
| | | B | 認知症カフェ利用者数 | 人 | 実績値 | 実績なし | 2,968 | 2,745 | 2,115 | 354 | 177 | 435 |
| | | | | | 目標値 | | 1,600 | 1,700 | 1,900 | 2,100 | 2,200 | 2,300 |
| 3 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | A | 介護支援ボランティア登録者数 | 人 | 実績値 | 実績なし | 29 | 35 | 32 | 50 | 33 | 35 |
| | | | | | 目標値 | | 20 | 22 | 24 | 26 | 28 | 30 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 介護予防の充実 | ・令和4年度に実施した65歳以上の方へのニーズ調査では、「介護が必要になった理由」としては、「骨折・転倒」がもっとも多く、「高齢による衰弱」と「認知症」が前回より増加している。「転倒を防止する」運動や介護予防教室のなかで認知症に関することやフレイル予防を一層充実させる必要がある。<br>・健康教室に新たな人がなかなか入ってこないことやサロンの担い手不足により、各地域の集まりの場がさらに減ってしまわないか、懸念がある。<br>・雪の時期や盛夏の時期に、地区の運動教室などを実施できない月がある。継続した教室の実施を行う工夫が必要。 | ・健康なうちから介護予防の取り組み意識を高めるため、健康教室のバリエーションを増やし、早い段階で介護予防に関心を持ってもらう。<br>・「認知症予防」を重視した教室を充実させる。<br>・アドバイザー派遣事業を活用して、「集いの場」に関して見直しを行う。<br>・ICTを使った教室を検討。冬季に教室を実施していない水上地区を中心として、オンライン教室を実施し、効果を検証する。<br>・ケアプラン点検や各種専門職参加による地域個別ケア会議を通じて、自立支援に資するケアプラン作成のための支援を継続していく。 |
| 2 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | ・社協で募集しているボランティアが増えていない。<br>・「介護予防サポーター」が増えていない。コロナ禍により、養成講座を実施できなかった年度が続いたり、高齢で活動を辞める方が増えたことが原因となっていたが、令和4年度から養成を再開できた。今後、養成したサポーターの活躍の場を検討する。<br>・サロンの後継者不足やコロナ禍が続いた影響で、認知症カフェを辞めたところがあったりと、支える人の確保や社会資源を減少させないことが課題となっている。 | ・ニーズ調査の中で「誰かに支援してもらいたいこと」で、「急病の緊急時」、「雪かき」、「スマホなどの操作」がベスト3に上がっていた。ボランティアで対応できることもあるので、社会福祉協議会とも連携し、引き続き、工夫して募集していく。<br>・介護予防サポーター養成初級講座を令和4年度から再開できた。中級講座も引き続き開催し、地域の介護予防のリーダー的な人材を養成していき、サロンなどの活動を活発にしていく。（サポーターの活躍の場、機会づくり）<br>・オレンジサポーターの養成を行い、コーディネーターの配置や町内認知症カフェと連携するなど、チームオレンジの立ち上げを進める。<br>※チームオレンジとは･･･認知症初期段階から地域において把握した認知症方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズと認知症サポーター（スッテップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 国民年金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 556,566 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 国民年金市町村事務処理基準に基づき、国民年金法、国民年金法施行令、国民年金法施行規則などや地方自治法第245条の9第3項に基づき行う事業。 | 可搬型窓口装置で照会できない記録については、年金事務所への電話照会で対応した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 各種申請等進達件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | 可搬型窓口装置の導入により幅広い相談に対応できるようになったが、障害年金の相談受付など内容が複雑な案件は対応が難しい場合がある。 | 引き続き、日本年金機構の提示に従い業務を行う。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 2 | | | 831 | 772　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 老人クラブ活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,170,429 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 老人クラブが行う、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動やボランティア活動などの各種活動を支援することで、高齢者の社会参加を促進すると共に明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を目的とする事業。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 老人クラブ会員数(事業実績報告数) | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | 課題なし | 継続 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | | | 1,391 | 1,194　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 敬老祝金支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,419,522 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 多年にわたり社会に貢献された老人を敬愛し長寿を祝うと共にその福祉増進に寄与するため、敬老祝い金を支給する事業。 | 各家庭のニーズにあった使い方ができる、新たな支援金制度を敬老祝金としてまとめて実施できるか検討・協議を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 敬老祝金該当者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | 高齢者への支援が「福祉ゴミ袋」や「燃料費購入」など、その都度バラバラに実施していた。各世帯のニーズも違い、住民から支援に対する様々な要望があった。また、「ゴミ袋」の値段が下がったことにより、「福祉ゴミ袋」の役目が終わったため、廃止を検討する中、高齢者サービスを下げないことも課題となった。 | 次年度より、75歳以上の高齢者全員に毎年2,000円分のポイントがチャージされた「敬老祝金カード」を支給し、88歳及び100歳では、祝金をそれと別に支給することなり、制度のリニューアルを行うこととなった。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | | | 815 | 812　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | シルバー人材センター運営支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 高齢者の就労機会の創設、閉じこもり防止などの介護予防対策として設立されたシルバー人材センターの運営費です。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 就業延人数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | 令和2年度から補助事業として実施。今後受注件数及び会員数を増やし、高齢者福祉の充実を図る必要がある。 | 継続 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | | | 5,232 | 6,164　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 緊急通報システム運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 407,220 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | ひとり暮らし高齢者等で身体に緊急を要する疾病等を抱えている高齢者の緊急時体制を確保するため電話回線を利用した緊急通報体制の整備に資する事業。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 延利用月数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 課題なし | 継続 | 258 | 199　月 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 一人暮らし高齢者等配食サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,916,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 一人暮らし高齢者や老々世帯等で食事が作れない状態などにより栄養管理に偏りがみられる高齢者を対象に、週1回昼食を支援し健康保持を図ると共に安否確認を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 配食サービス延利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 地域ケア推進会議の部会等で健康保持を図ることを考慮すると、配食回数を増やせないかという意見がでている。 | 事業拡大について、検討する。 | 3,735 | 3,645　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 高齢者等紙おむつ支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,821,609 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 在宅で紙おむつ等を必要とする要援護高齢者等に紙おむつ等を支給する事業を実施することにより、該当者及びその家族の身体的・経済的負担の軽減を図り、もって福祉の増進に資することを目的とする事業。 | 令和3年度より、一般補助の補助割合を3分の1から4分の1へ、月上限を3,000円から2,000円に縮小して継続。<br>（要介護重度高齢者に対する支給は変更なし） | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 紙おむつ給付額 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 財源となっていた県補助金が令和3年度より廃止になる。 | 財源（県補助）がなくなったが、要望があるため、事業を縮小して継続 | 2,809 | 2,822　千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 高齢者世帯等冬期生活支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 137,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 労力的かつ経済的に自力で除雪等が困難な高齢者及び要援護者に対して、除雪費用の3分の2を助成(ワンシーズン上限4万円)、積雪により避難施設に緊急避難した場合は1ヶ月まで1泊2,500円を補助する事業。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 除雪等支援世帯（除雪、宿泊延べ）※R3及び4は除雪のみ | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 課題なし | 継続 | 40 | 5　世帯 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000028 | 高齢者世帯等ごみ袋無償配布事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,481,568 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 6月1日現在で65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、1世帯当たり福祉ごみ袋(小)を80枚配布することにより経済的負担の軽減と共に配達訪問することにより安否確認を行う事業。 | 福祉ゴミ袋配布や敬老祝金、臨時的な燃料費購入助成等の高齢者支援を一体的な事業とした、あらたな「敬老祝金事業」を5年度から実施することで、調整を行い、ゴミ袋の無償配布を廃止することとなった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 配布した世帯数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 3 | | 令和5年6月からゴミ袋の値段が半額以下になるため、事業実施の必要性を検討。 | 廃止 | 2,478 | 2,398 / 世帯 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000071 | 介護資格取得等支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 338,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護職員初任者研修の受講に要する費用の一部を助成し、町内の高齢者施設等で働く介護従事者の確保を図る。また、地域における認知症地域支援推進員の配置など、介護人材の確保を図る事業。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 初任者研修助成申請数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 3 | | 無し | 町内施設等で働く介護職員の増加及び資質の向上を目指し補助内容の充実を図る。 | 17 | 6 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 高齢者世帯空調機器設置費助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,913,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、おうち時間が増えた事により夏季に懸念される高齢者世帯の熱中症を予防するため、空調機(エアコン)の購入補助を行う。 | 回覧周知のほか、地域包括支援センターや社会福祉協議会との情報共有、民生委員協議会への周知依頼及び町内業者への個別周知を実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 空調機補助件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 3 | | 新規事業だったため、補助を希望する高齢者の人数が把握できていなかった。夏までに購入するとなると、周知期間が短かった。 | 臨時交付金を利用した事業のため、対象交付金がある場合、継続を検討。 | 0 | 37 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000074 | おでかけタクシー券事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,225,487 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 新型コロナ感染拡大により、外出する機会が減ってしまった運転免許を保有していない65歳以上の高齢者を対象に、申請により「みなかみハートのタクシーカード10,000ポイント」分を交付することで、社会活動の拡大を図るとともに、日常生活の利便性の向上を図る。 | ・利用者にはタクシーの事前予約を推奨し、配布カードにも記載した。<br>・町内郵便局に申請用紙を置いてもらうなど、申請に関する協力を依頼した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 3 | | ・町内タクシーの台数が少ないことと、決済用の端末機を携帯している車両でない場合、利用ができない。<br>・車がないなどで、役場まで申請に来るのが大変な方がいないか。 | 継続 | ― | 83 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 自立支援型ホームヘルプサービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 240,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険の認定結果において要介護状態が非該当の判定を受けた方で生活支援が必要な高齢者を対象に生活援助を支援する事業。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 生活援助利用延回数（要介護状態自立の方）・通院介助利用延回数（要介護状態要支援1以上の方） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 課題なし | 継続 | 51・127 | 51・87　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 生活管理指導短期宿泊事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,131,900 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 生活困窮者などで著しく栄養管理や生活管理が劣っている高齢者、若しくは虐待などで一時的緊急避難が必要な高齢者を保護し短期的（7日間）な生活管理指導を養護老人ホームで行う事業 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 利用延日数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 課題なし | 継続 | 0 | 231　日 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 在宅介護介護者慰労事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,640,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護認定により、要介護4又は5と認定された65歳以上の高齢者を居宅で1年以上継続して介護している介護者に慰労金を給付する事業。施設入所又は入院の累積が年間100日以上ある場合は対象外。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 在宅介護慰労金該当者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 課題なし | 継続 | 28 | 22　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000072 | 高齢者健康づくり促進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 50,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 高齢者の自主的な健康づくり及び運動習慣の定着を図り、高齢期に増加する高血圧及び高血圧性疾患の慢性化並びに重症化を予防する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 申請数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 無し | 事業内容の周知を図り利用者の増加に繋げ健康づくりを促す | 3 | 17　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 老人保護措置事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 37,792,106 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的理由により居宅にて生活することが困難な者、又は、虐待などで緊急に保護しなければならない高齢者を対象に養護老人ホームなどへ町が入所措置する事業。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 入所措置者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 課題なし | 継続 | 10 | 8　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 屋内ゲートボール場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,360,524 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 屋内ゲートボール場の維持管理及び運営。 | 大規模改修のための予算確保が困難だったため、ゲートボール場本体の調査及び休養棟のできる限りの修繕を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 3 | 本体施設は、老朽化により建替などの大規模修繕も必要な段階にきている。また、休養棟もシロアリ被害棟があり、修繕が必要となっている。 | 改修予算を継続して要求し、施設の安全確保と維持管理に努めていく。 | 213 | 1,115　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000033 | 介護保険利用者負担軽減事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 145,134 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 低所得者で生計が困難である者に、社会福祉法人が提供する介護サービス利用料について、法人の社会的役割から利用者負担を軽減することにより、介護保険の利用促進を図ることを目的として実施。本事業は、社会福祉法人が減免を行ったことに対する市町村等の補助金支給事務。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 申請件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 6 | 課題なし | 継続 | 127 | 127　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000035 | 【繰出金】介護保険特別会計（一般→介護） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 403,383,794 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護給付費繰入金、地域支援事業繰入金、その他一般会計繰入金(総務費分)、低所得者保険料軽減繰入金(消費税増税による軽減事業)があり、介護保険事業の町負担分を特別会計へ繰入を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 繰出金額 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 6 | 課題なし | 継続 | 410,747 | 403,384　千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000034 | 生活保護者主治医意見書作成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護サービスを受けることを希望する、40～64歳の生活保護者に対し、要介護認定調査のための主治医意見書の作成を医療機関に依頼、聴取する。作成された資料を審査会に送付し、審査判定を依頼する。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 40～64歳の生活保護者である要介護認定申請者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 6 | | なし | 継続 | 0 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000037 | 一般管理事業（介護） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,169,852 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護サービス受給者及び介護サービス提供事業者等との連絡業務、介護保険システム管理業務委託など | 介護サービスを必要な人に使ってもらえるよう、事業所等と連携した。介護保険管理システムを活用し、事業所や被保険者の手続や問い合わせ等に効率的に対応した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | サービス利用者率 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 1 項 1 目 1 | | 介護サービスを必要とする高齢者数は年々増加しているので、より効率的な事業運営が求められている。 | 認定の有効期間が最長4年になった事で、更新申請の件数は減ったが、新規で介護サービスを希望される方は横ばいなので、効率性を意識する。 | 84.5 | 83 / % |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000038 | 被保険者情報管理事業（介護） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,253,360 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険に係る電算システム借上及び電算保守管理委託料<br>（認定結果等の情報を、国保連合会や認定審査会と専用の電話回線を使用して共有する。） | 総務課での庁内一括契約のため、更新の際など、業務内容や委託料等を検討する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | サービス未利用者率 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 1 項 1 目 1 | | 本事業の主要な者は電算システム会社との委託であり、委託会社との協議等による委託料の見直し | 継続 | 15.5 | 17 / % |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000036 | 保険料賦課徴収事業（介護） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,662,299 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 65歳以上の方（第1号被保険者）を対象とし、介護保険料を賦課・徴収する事業。 | 町の広報、納付書同封文書、窓口来庁時などで制度の周知を図り、理解をいただくよう心がけた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 第1号被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 1 項 2 目 1 | | 急速に進む高齢化時代にあり、公的社会保険である同制度の重要性等の周知を更に図り、保険料の適切な賦課及び徴収を行っていく。 | 今後も引き続き、丁寧に周知徹底を心がけ、適切な制度運用をしていきたい。 | 7389 | 7332 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000039 | 介護認定審査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19,211,300 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 認定調査を決められた期日内（30日以内）に行う。申請の種類は、新規、区分変更、更新があり、区分変更や更新の申請は事業所への委託ができる。併せて主治医意見書を徴し、調査票とともに審査会に送付し審査の判定を依頼する。 | 近隣の病院からの意見書の聴取に、適宜訪問に行く等、認定にかかる時間を短縮できるようにつとめた。認定期間が延びたため、全体の申請数が減った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 要介護認定申請者数（新規・更新） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 1 項 3 目 1 | 更新申請に入件費と主治医意見書料で1件あたり2万円以上の経費がかかる。また病院からの勧めで安易に申請するケースも多い。委託調査では提出された調査票のチェックに尽力したが、判断基準が複雑なため未だに間違いは多く委託調査員のレベルアップにはなかなか繋がっていない。遅延通知書の発送は主治医意見書の遅れによるものが圧倒的に多く、病院関係者と連携を図る必要がある。 | 今後も、介護サービスが必要な人により適切に使ってもらえるよう、制度説明を行いながら認定審査をする。 | 301　795 | 292　820　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000061 | 介護認定調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 131,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 調査員が訪問して調査を行う。 | - | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 調査人数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 1 項 3 目 2 | 課題なし | 継続 | 1096 | 1112　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000041 | 運営協議会事業（介護） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 66,405 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険法に基づき策定された介護保険事業計画の進捗管理及び見直しその他の介護保険事業の運営に関する重要事項を審議する。令和4年度は、第9期介護保険計画に係るニーズ調査等を実施したため、協議会へ報告し、計画に関する協議を行った。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 会議開催の回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 1 項 5 目 1 | 特になし | 継続 | 2 | 2　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000042 | 介護サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,383,674,546 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険被保険者のうち、要介護認定者（要介護1～5）を対象として介護給付費、福祉用具・住宅改修費等を給付する事業。介護給付費の現物払いを国保連に業務委託。要介護認定を受けた方のサービス利用に対する保険者負担金の支払いを行う。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要介護1－5・要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 2 項 1 目 1 | 課題なし | 継続 | 1,308･398 | 1,246･393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000062 | 介護予防サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 78,182,895 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険被保険者のうち、要支援認定者（要支援1、2）を対象として介護給付費、福祉用具・住宅改修費等を給付する事業。介護給付費の現物払いを国保連に業務委託。要支援認定を受けた方のサービス利用に対する保険者負担金の支払いを行う。また、サービス利用に対する審査支払手数料の支払いを行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要介護1－5・要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 2 項 2 目 1 | | 課題なし | 継続 | 1,308･398 | 1,246･393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000063 | 審査支払手数料事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,002,112 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 審査委員会の審査決定に基づいて、要介護・要支援認定を受けた方のサービス利用に対する審査支払手数料の支払いを行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 介護給付費及び介護予防給付費の請求に関する国保連の審査件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 2 項 3 目 1 | | 課題なし | 継続 | 36,571 | 35,752　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000043 | 高額介護サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 53,543,261 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 要介護認定者のサービス利用者が、1ヶ月の居宅サービスまたはそれに相当するサービス及び食事の提供を除くサービスを利用した際、利用者負担額が所得段階に応じて一定の基準額を超えた場合に、基準額を超える部分を支給することにより、サービス利用者の負担軽減を図る。R3年度法改正により対象者が縮小された。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要介護1－5・要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 2 項 4 目 1 | | 課題なし | 継続 | 1,308･398 | 1,246･393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000064 | 高額介護予防サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 68,412 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 要支援認定者（要支援1、2）を対象とし、1ヶ月に支払った利用者負担の合計が負担限度額を超えたときは、超えた分が払い戻される制度。勧奨後の申請により対象者へ支給。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 2 項 4 目 2 | | 課題なし | 継続 | 398 | 393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000044 | 高額医療合算介護サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,484,032 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 高額医療・高額介護合算制度は、「医療」（国保や健康保険など）と「介護保険」の双方に負担がある場合、1年間（前年の8月1日から翌年7月31日まで）に負担した額を合算し、基準額が超えた部分を「高額介護合算療養費等」として医療と介護で按分したのちに支給することで、サービス等利用世帯の負担軽減を図る。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要介護1－5・要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 2 項 5 目 1 | 課題なし | 継続 | 1,308･398 | 1,246･393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000065 | 高額医療合算介護予防サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 61,574 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 要支援認定者（要支援1、2）を対象として、世帯内で1年間の医療及び介護両制度における自己負担額が著しく高額となった場合に、申請にもとづき一定の自己負担限度額を超える部分について、払い戻しを行う。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 2 項 5 目 2 | 課題なし | 継続 | 398 | 393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000045 | 特定入所者介護サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 76,066,185 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険施設等利用時において、「居住（滞在）費」と「食費」の利用者負担が低所得者の負担が過大とならないように、申請により、「負担限度額認定証」を発行し、所得などに応じて一定額以上を保険給付する。（R3年度改正により縮小） | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要介護1－5・要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 2 項 6 目 1 | 課題なし | 継続 | 1,308･398 | 1,246･393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000066 | 特定入所者介護予防サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,965 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 要支援認定者（要支援1、2）を対象として、低所得者等の申請により「負担限度額認定証」を発行し、利用する施設に提示することにより、利用者負担段階に応じて、施設利用時の食費や居住費の自己負担額が「負担限度額」の範囲内の金額で利用できる。（R3年度法改正により縮小） | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 受給者数（該当年度末現在）（要支援1－2） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 2 項 6 目 2 | 課題なし | 継続 | 398 | 393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 介護予防サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 41,971,581 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 要支援者・事業対象者に対し、総合事業のサービスを利用することにより、自立へ向けた支援をしていく。 | 総合事業のサービスを利用することにより、人との関わりを持ち生活の質の向上や張り、自立支援に繋がった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 要支援認定者数(該当年度末) | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 1 目 1 | | 課題なし | 継続 | 398 | 393 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000073 | 介護予防ケアマネジメント事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,357,704 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護予防サービスの利用者が自立した日常生活を営むことができるように適切なサービス利用のケアマネジメントを行う。 | サービスを利用することにより、人との関わりを持ち生活の質の向上や張り、自立支援に繋がった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 要支援認定者数(該当年度末) | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 1 目 1 | | 特になし | 継続 | 398 | 393 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 一般介護予防事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,251,760 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 地域の高齢者を対象に、体操・レクリエーション・脳トレなど、介護予防の健康教室を社会福祉協議会に委託し、実施している。<br>町では筋力アップ教室・元気塾を開催。 | 地区の健康教室について、生活支援体制整備のコーディネーターと連携して、希望を集め、あらたに開始できた地区があった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 実施会場数(地区の健康教室) | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 1 目 2 | | 地域住民が集まれる場所（歩いていける範囲）を増やしていく。 | 継続。 | 19 | 18 / 会場 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 地域介護予防活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 608,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 研修会・連絡会を実施し、介護予防サポーターの資質の向上を図るとともにお互いの交流を深める。また、新たな担い手育成を行う。 | コロナ渦でもあったが、予定どおり研修会を開催し、今年度は介護予防サポーター養成研修（初級）を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 研修会実施回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 1 目 2 | | 活動の場や活動機会の減少のため、展開がむずかしい。また、担い手の育成。 | サロンや健康教室等、住民の集まる場に積極的に関わってもらい、介護予防サポーターの活動の展開を図る。また、継続し育成研修を継続して行く。 | 0 | 6 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 地域包括支援センター運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 28,755,430 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 地域包括支援センター業務として、総合相談支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント支援を行う | 自立支援型地域ケア個別会議を年6回定期開催。また、成年後見制度利用支援とし町長申立てを1件サポートした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 要支援認定者数・要介護認定者数（該当年度末現在） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 2 目 1 | | 地域包括支援センター業務を行うためには、保健師・社会福祉士・主任介護保険支援専門員の3職種を安定して確保する必要がある。町では専門職の確保できないため、社会福祉協議会に委託して運営する。 | 独居高齢者の増加、生活困窮、8050問題等高齢者と取り巻く多様な問題解決のため、関係者・部署で連携していく。 | 1,308・398 | 1,246・393　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 権利擁護事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 認知症高齢者等福祉サービス利用支援者に対し、みなかみ町社会福祉協議会へ補助金を交付 | ー | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | | | 認知症高齢者等福祉サービス利用支援者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 2 目 3 | | 課題なし | 障害者福祉費事業へ事業統合 | 12 | 11　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000058 | 在宅医療・介護連携推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,177,756 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 住み慣れた地域で一生自分らしく暮らしていくため、管内市町村が沼田利根医師会相談室に業務委託し、他職種で連携して支援していく体制を作る。 | 相談室で他職種連携支援のweb研修や地域の薬局を身近に感じてもらえるよう「薬局マップ」を作成し相談室ホームページに掲載やポスターにて啓発。また、小学校や子ども園には「すごろく」の配布を継続。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 運営推進協議会開催回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 2 目 5 | | 介護の担い手不足が懸念される。生活支援サービスを充実させるため、人材育成を行う必要がある。 | 継続 | 0 | 2　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 生活支援体制整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,500,635 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 誰もが住み慣れた地域で、ずっと自分らしい暮らしを続けていけるよう、お互いに地域で支え合える仕組みをつくるため、各地区に生活支援コーディネーターを配置。協議体を設置し、地域の問題点を把握・解決方法を考えていく。コーディネーターは各地域の方々と定期的に会議を開催し、地域課題を収集する。 | 第1層協議体委員のみの会議を開き、各地区での活動やアンケート結果について報告し、地区の課題に対して、様々な意見をいただいた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 会議開催回数(地区の会議) | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 2 目 6 | | 第2層協議体委員が参加する地区の会議や専門職の集まる地域ケア個別会議などは、定期的に実施しており、協議体全体の報告会も行っていたが、第1層協議体の委員から直接意見を聞く機会がほとんどなかった。 | 引き続き、各地区の生活支援コーディネーターを中心とし、各地区の課題が関係機関との連携により解決できるような仕組みづくりを推進していく。 | 12 | 12　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000059 | 認知症総合支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,373,583 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 認知症高齢者支援のため、専門医が早期に介入する、認知症初期集中支援チームを専門機関に委託設置。認知症カフェ等の居場所づくりや、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する理解を深めていく。 | 認知初期集中支援チーム・包括・と連携、令和3年度からの継続ケース4件、内2件支援終了。<br>コロナ感染を懸念し、認知症カフェを開催できないところが複数あった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 認知症地域支援推進員数<br>認知症カフェ利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 2 目 7 | | 認知症の専門機関が町内にはないので、管内の町村と連携して、事業をすすめていく必要がある。また認知症カフェについては、相談に対応できる専門職を配置する。 | コロナの関係があったが少しずつ認知症カフェの実施を初めてくれている。(6箇所中4箇所）令和5年度においては開催の滞ってしまっている事業も含め、感染予防に留意しつつ積極的な開催を促し、地域における認知症者や家族、地域住民が気軽にコミュニケーションを図れる機会づくりに努める。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 13・177 | 15・435　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000048 | 給付費用適正化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,484,184 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 要介護認定、ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ、サービス提供体制及び介護報酬請求の適正化に取り組む目標を設定している。現状としては、取り組みやすい給付費通知の発送や、介護認定のチェック等に重点を置く。 | 給付費通知については、全ての介護サービス利用者に通知した。また、ケアプランシステムの活用、ケアプラン点検居宅介護事業所4カ所（6プラン）のケアプラン点検を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 給付費通知件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 4 款 3 項 3 目 1 | | 主要5事業のうちケアプランの点検については、専門的な知識と実施体制の確保が必要である。その他の事業について、国保連合会等の提供データなどから点検が可能である。 | 給付費通知の発送を継続的に行い、給付費の適正化に繋げる。また、ケアプラン点検を居宅介護事業所に対して継続して行い、ケアマネジメント等の適正化も図っていく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 3,071 | 3,064　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000050 | 介護者負担軽減対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 132,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | もの忘れ相談を年3回開催<br>町内の認知症カフェと共催で、家族介護教室を開催 | 物忘れ相談は3回開催。3／29に認知症カフェイベントに合わせ家族介護教室を開催。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 会議・教室開催回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 3 目 2 | | 課題なし | 継続 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 3・0 | 3・1　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 高齢者成年後見制度利用支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,857 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない人の権利を守る援助者を選び本人を法律的に支援する制度を周知して利用をすすめる。制度の利用に当たり、費用負担が困難な者に対し、その費用を助成する。 | 地域包括支援センターと連携し、成年後見の相談対応を行っている。困難ケースに際してはケースに合わせ申立時に後見人に対する要望等意見を添えている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生きがいづくりと社会参加の促進 | | | 町長申立てにより成年後見人が選任された人数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 款 3 項 3 目 3 | | 成年後見申請時に受任調整等のシステム構築ができていないため、家庭裁判所が後見人の選定を行うが後見人の引き受け手がなかなか見つからず時間を要している。 | 中核機関など、後見等を担当する専門職や団体等と連携できる体勢を整える必要があり、圏域で協議しつつ町内で体制を検討していく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 1 | 1　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 地域自立生活支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 540,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | グループホームにおいて当該施設の入居に要する費用について支払が困難な者を受け入れ、当該者が支払うべき費用について負担している事業者に対しみなかみ町グループホーム家賃等助成金を交付する。 | 厳しい経営状態の事業所がこれ以上の経営難を招かない、利用者負担を増大させないため、新型コロナ感染対策へ積極的に取り組んでいる事業所へ臨時的な支援を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 家賃などの費用負担が困難な低所得者に対して、利用者負担の軽減を行っているグループホーム運営事業所数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 3 項 3 目 3 | 物価高騰や冬期燃料高騰、新型コロナウイルス感染対策により、事業所の経営を圧迫し、利用者に対しても利用料を値上げせざるを得ない状況になり、利用者の負担が増大している。 | グループホームの家賃補助に関しては継続 | 1 | 0 / 事業所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000057 | 住宅改修支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険における住宅改修の中で、ケアプランを作成していない事業所が「住宅改修が必要な理由書」作成をした場合、1件に付き2，000円の手数料を支払う。 | 事業所からの申請について、ケアマネジャーの事務負担を考慮し、申請を簡易なものにした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 支払い対象件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 3 項 3 目 3 | 適正な改修を推進するため、ケアマネジャーが関わる住宅改修を支援する。 | 継続 | 6 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 地域支援審査支払事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 151,760 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 審査委員会の審査決定に基づいて、要支援認定を受けた方のサービス利用に対する審査支払手数料の支払いを行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 総合事業の請求に関する国保連の支払件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 3 項 4 目 1 | 課題なし | 継続 | 2,861 | 2,710 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000067 | 第1号被保険者保険料還付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 559,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 介護保険料は、死亡や税情報更正などの諸状況により、常に再計算をしているが、死亡等に伴う減額による還付も社保庁からの還付の可否の通知を待つ必要があり、多くのケースで年度を跨いでしまうことがある。そういった該当者（相続人）に対し、過誤納保険料を還付する事業。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 第1号被保険者保険料還付金額 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 7 項 1 目 1 | 課題なし | 継続 | 382,500 | 559,200 / 円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000068 | 償還金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 25,045,447 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 02 | 高齢者福祉の充実 | 事業年度において、介護保険事業運営に必要な法定負担分等(国25%県12.5%支払基金28%町分は除く)の交付額と、実績に対する負担金等の交付額が過大だった場合、国の交付金等は次年度末に返還するため、繰越金等を財源に返還処理を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 介護予防の充実 | | | 介護保険第1号被保険者 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 高齢介護　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 4 | 款 7 項 1 目 2 | 課題なし | 継続 | 7,389 | 7,332 / 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 9 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 子育て健康課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 入澤　はるみ |
| 施策 | 3 | 子育て支援の充実 | 関係課 | 町民福祉課　国保・年金係/生涯学習課　生涯学習係 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町内の子ども<br>②保護者・子どもを望む人 | ①心身ともに健やかに育つ。<br>②安心して子どもを産み、育てられる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 子どもの健康増進 | 町内の子ども | 健康に育つ。 |
| | 2 | 子育てするための環境の充実 | 保護者・子どもを望む人 | 安心して出産、子育てできる。 |
| | 3 | 子育てのための経済的な支援 | 保護者・子どもを望む人 | 子育ての経済的な負担が軽減される。 |
| | 4 | 青少年の健全育成支援 | 青少年 | 地域に見守られ健やかに成長する。 |

| 施策の基本方針 |
|---|
| ・特に配慮が必要な子どもを含め、すべての子どもの健康増進及び健全育成を推進します。<br>・子育てを支援する体制やサービスの充実により子育てしやすい環境づくりを推進します。<br>・子どもを社会全体で見守り、育てる環境を充実させます。 |

施策の成果指標

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じる保護者の割合 | % | 実績値 | 89.9 | 85.9 | 89.4 | 87.8 | 85.9 | 95.3 | 94.4 |
| | | | 目標値 | | 90.5 | 91.0 | 91.5 | 92.0 | 92.5 | 93.0 |
| B | 出生数/合計特殊出生率 | 人 | 実績値 | 89/1.32 | 71/1.12 | 79/1.33 | 88/1.56 | 64/1.11 | 58/1.06 | 82/－ |
| | | | 目標値 | | 89/1.33 | 86/1.35 | 83/1.37 | 80/1.39 | 77/1.41 | 74/1.43 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 |
|---|
| A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握（18歳未満のお子さんがいる方が対象）<br>※自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合<br>B）数値が高まれば、安心して子どもを産み育てられるようになっているといえるため成果指標とした。<br>人口動態統計により把握<br>※1月～12月の数値（厚生労働省発表の「人口動態統計（確定版）」に基づき群馬県の人口動態統計概況を作成（10月以降）） |

| 目標値設定の考え方 |
|---|
| A）既に高い割合となっており、今後大幅な増加は見込めないが、子育て支援サービスを更に充実させ、2022年度には93%を目指す。<br>B）過去の実績値の推移から、成り行きでは毎年4人ずつ減少することが予測される。減少人口を3人に抑制し、2022年度には74人を目指す。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・子育ての不安解消、情報交換、ストレス解消等ができる場に積極的に参加する。<br>・基本的な生活習慣を身につけさせたり、健康診査や予防接種などを受けさせるなど、親としての責任・義務を認識して子育てに取り組む。<br>・子どもたちに声をかけたり、子どもを育成する活動に参加するなど、子どもを見守る活動に協力し、地域全体で子育て支援に関わる。 | ・子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。<br>・健康診査や事後教室において、充実した相談支援を行う。<br>・子育てと仕事の両立を支援する。<br>・保護者への経済的な支援を行う。<br>・青少年育成関係機関・団体が行う活動の際、協力者に対して存在意義等を周知し、理解を浸透させ活動を活性化させる。<br>・放課後子ども教室の更なる充実を図るため、各教室の実態やニーズを適時把握し、適切な支援を行う。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・2015年4月に子ども・子育て支援法が施行され子育て全般の支援対策の方法論的な指針が示された。<br>・町の出生数が減少している。<br>・SNS等インターネット環境の普及による急速な情報化社会の広がりは、子ども達の意識や行動に大きな影響を与え、子どもたちを取り巻く環境、抱える問題をより複雑化させる。<br>・2022年4月より子育て健康課内にこども家庭相談係が創設された。<br>・2023年4月、国がこども家庭庁を設置。次元の異なる子育て支援策の実施を表明。<br>・ヤングケアラーについて調査が行われ、実態が公表された。<br>・こども基本法(令和4年法律第77号)第10条により市町村こども計画の策定が努力義務となる。<br>・2024年4月から、全市町村にこども家庭センターの設置が義務化される。<br>・県は、2025年までに県下全市町村に「こどもの居場所」の設置を進めている。<br>・町の第2期子ども・子育て支援事業計画は、2024年度に計画最終年度を迎える。 | ・子育て支援に関する要望が増えており、保育ニーズの多様化に伴い対応できる質の高い保育体制が求められている。<br>・子育て支援センターなど、親子で利用できるとともに仲間づくりや気楽に相談できるような場が求められている。<br><br>・町民アンケートによると、子育てしやすい環境として求められている支援の内容は、①子育てがしやすい税制や社会保障 45.4%②子どもの人数に応じた経済的な支援 37.9%③義務教育以降の経済的な支援 35.6%となっており、前年と比較すると、上位に変化はない。 |

| 施策 | 3 | 子育て支援の充実 | 主管課 | 名称 | 子育て健康課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 入澤　はるみ |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|---|
| | ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | A.自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は令和2年度85.9%、令和3年度95.3%、令和4年度94.4%で前年度比較0.9ポイントの減少となった。<br>年代別では20代が100%と非常に高い割合である。令和4年（R3反映）アンケートから対象者を50歳未満に限定したことで、現役の子育て世代に絞った結果となっている。<br>B.出生数は、令和2年は64人、令和3年は58人、令和4年は暫定値で82人と前年度比較では24人の増加となった。コロナ禍の影響を一因として、令和3年度が過去最低の出生数であったことから、若干回復傾向にあることがうかがえる。合計特殊出生率については、令和2年は1.11、令和3年は1.06と0.05ポイント減少した。令和4年度はまだ公表されていないため比較ができない。 |
| | ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | A.同公表数値がないため比較できない。<br><br>B.令和3年の合計特殊出生率は全国平均より0.24ポイント、群馬県平均より0.29ポイント下回っている。群馬県の中では、26番目/35市町村と低い状況にある。令和4年数値はまだ未公表。<br>合計特殊出生率(R3)：全国1.30　群馬県1.35　みなかみ町1.06　沼田市1.09　片品村1.22　川場村1.93　昭和村1.19　中之条町1.46　東吾妻町0.91 |
| | ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | A.自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は、目標値に対して1.4ポイント上回った。年代別では、20代が100%であった。平均して高い数値を維持しており、多くの方が自分の子育てに対して自信を持っていることがうかがえる。<br><br>B.出生数は、暫定値で82人となり目標値に対して8人上回った。<br>増加の要因として、コロナ禍の影響を一因として、令和3年度が過去最低の出生数であったことから、令和3年度の反動やこれまでの子育て支援策の浸透などが考えられる。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの健康増進 | A | 健康診査受診率(1歳6ヶ月児/3歳児) | % | 実績値 | 90.7/98.3 | 101.0/97.6 | 94.6/98.0 | 97.6/98.9 | 97.6/96.6 | 100/95.9 | 100/97.9 |
| | | | | | 目標値 | | 93.2/95.0 | 93.5/95.5 | 94.0/96.0 | 94.5/96.5 | 95.0/97.0 | 95.5/97.5 |
| | | B | 発達状況が確認できた保護者の割合 | % | 実績値 | 99.2 | 98.3 | 99.3 | 99.3 | ー | ー | 99.3 |
| | | | | | 目標値 | | 99.3 | 99.4 | 99.5 | 99.6 | 99.7 | 99.8 |
| 2 | 子育てするための環境の充実 | A | ゆったりと過ごせる時間のある保護者の割合 | % | 実績値 | 74.7 | 82.6 | 75.8 | 78.7 | 78.9 | 78.5 | 79.4 |
| | | | | | 目標値 | | 75.0 | 75.2 | 75.4 | 75.6 | 75.8 | 76.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 子育てのための経済的な支援 | A | 出産や子育てをする上で、経済的な負担に不安を抱いている町民の割合(出産・子育てに不安を感じている人のうち) | % | 実績値 | 77.2 | 80.9 | 75.2 | 75.4 | 71.6 | 68.1 | 88.4 |
| | | | | | 目標値 | | 77.2 | 77.0 | 76.8 | 76.6 | 76.4 | 76.2 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | 青少年の健全育成支援 | A | 青少年の育成活動を行っている町民の割合 | % | 実績値 | 30.9 | 35.9 | 37.3 | 36.0 | 36.5 | 32.6 | 35.6 |
| | | | | | 目標値 | | 30.5 | 31.0 | 31.5 | 32.0 | 32.5 | 33.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの健康増進 | ①目標値は達成しているので、今後も保護者に対し、乳幼児健診の必要性の認識を伝えていく。<br>②健診の事後フォローのフローチャートが明確になっていないため、事後フォローからもれてしまったり、外れてしまうこどもがいる。 | ①受診率の高水準を保てるように担当保健師による受診勧奨を引き続き行う。健診の必要性や健診の時間帯の説明等も周知していき、保護者の方が納得して受診できる健診になるように工夫する。<br>②3歳児健診後のフォローの流れを明確化し、既存の事業(のびのびサークル、発達相談会、ことばの教室、すてっぷ等)を組み入れていく。また、すてっぷの対象および内容の検討を行い、3歳児健診後、支援の必要なこどもが漏れなく支援につながるようにする。 |
| 2 | 子育てするための環境の充実 | ①各こども園の保育教諭の確保と、にいはるこども園の今後の方向性を明確化する必要がある。<br>②子育て支援に対するニーズは、少子化傾向にもかかわらず、多様化している。<br>③増加傾向にある不登校や引きこもりがちのこどもたちが、学校や自宅以外で安心して過ごせる居場所の確保が必要である。<br>④国は新たな計画として、市町村こども計画の策定を努力義務とした。また、第2期子ども・子育て支援事業計画がR6に最終年度迎えるため、R7年3月までに次期計画を策定する必要がある。 | ①各こども園の保育教諭採用については、各園の判断によるところだが、適切な保育が実施できるように、必要があれば相談や情報提供等について支援を行う。にいはるこども園については、今後の方向性を再検討する。<br>②機能していないファミリーサポートセンターについて、広域連携化を図り、利用希望者の要望に応えられるように進める。学童クラブに関しては適正な職員数や規模など、保育の質の維持と、小学校統合や施設の老朽化など、地区ごとのニーズに対応したサポートを行う。<br>③指定管理により学童を運営している団体から居場所設置の希望があり、連携してR6からの本開設を目指す。R5には、課題等の検証のためプレ開設を行う。<br>④期間終了となる第2期子ども・子育て支援事業計画と国が策定を求めている市町村こども計画を一体的に策定する。 |
| 3 | 子育てのための経済的な支援 | ①町民アンケートで、義務教育以降の経済的な支援が毎年上位にあり、自由記載でも同様の意見がある。求められている年齢層の経済的支援を検討する必要がある。<br>②結婚、出産、子育て等の様々な町の経済的支援策について、現状の支援策が定着すると目新しさ薄れる。<br>③子育て支援策は徐々に充実が図られているが、周知する力が弱いと思う。また、2年前に発行したガイドブックが、経年により情報が古くなっている。 | ①既存の義務教育終了後の経済支援事業の拡充(奨学金制度や大学生等新幹線通学費補助金)など求められている年齢層に対する支援策について、課を横断した検討を進める。<br>②子育ての経済的支援は基本的に継続性が求められる。時々のニーズを把握しながら、適切な支援事業の創設と既存の支援事業のアップデートを行う。<br>③広報・ホームページ等を見直し、子育て支援制度等について、住民が分かりやすいように、周知の工夫を行う。また、「子育てガイドブック」の内容をリニューアルし発行する。 |
| 4 | 青少年の健全育成支援 | ①小中学校の統合により、日中地域にこどものいない時間が多くなり、地域とこどもの関係性が薄くなる傾向にある。<br>②地域での見守りを充実強化させる必要がある。<br>③町全体で非行防止や健全育成の情報共有ができていない。<br>④コロナ禍で縮小した青少年育成団体の活動を活性化させる必要がある。 | ①地域とこどもを結びつけるプランを検討する。<br>②こどもが被害を受ける事例等、社会環境実態調査を継続し、見守りの方法を検討する。<br>③④社会教育委員会や青少推、PTA連協等の青少年育成団体の活動の活性化や情報共有するため、合同の検討会議を開催する。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 誕生祝品支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 491,300 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町内で生まれた新生児に対し、心身ともに健やかに育つように木のぬくもりを感じる誕生祝いとして木のおもちゃとウッドスタートの冊子を支給する。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 子どもの健康増進 | | | 支給者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 課題なし | 少子化対策の一環として今後も継続する。 | 54 | 80 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 乳幼児等定期予防接種事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,081,412 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 感染症の蔓延並びに、感染症による重度障害・死亡を予防のために各種予防接種を行う。<br>対象：乳児から高校3年生 | 接種のスケジュールについて新生児訪問や乳幼児健診の機会に説明を行う。未接種者に対し通知し接種勧奨を行っている。<br>子宮頸がん予防接種積極的勧奨再開により、定期接種対象者及びキャッチアップ対象者に対し個別通知し接種勧奨した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 子どもの健康増進 | | | 定期予防接種の接種者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 乳児期に行う予防接種が多いため、接種スケジュールをたて接種を遅らせることが無いよう行う必要がある。 | 乳幼児健診時に接種勧奨を行う他、広報紙やホームページで周知する。 | 2,052 | 2,392 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 乳幼児健診・相談事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,020,021 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 3歳以下の乳幼児とその保護者を対象に発育・発達状況の確認、疾病の早期発見、育児不安の軽減や解消を図るため、医師診察・心理士相談等を行う。 | 未受診者に対し、電話連絡や書面での受診勧奨を行った。健診の待ち時間短縮のため、受付時間ごとに人数を割り振り、会場が混雑しないよう工夫した。また、受診者数に応じてスタッフの人数を調整し、スムーズに健診が流れるよう努めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 子どもの健康増進 | | | 開催回数・受診人数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 未受診のため発育発達および育児状況が該当年齢時点で確認できない乳幼児がいる。<br>健診の待ち時間を短縮する工夫が必要である。 | 未受診者に対し、引き続き電話や書面、訪問等で受診勧奨を行っていく。<br>待ち時間短縮のための工夫は次年度も継続して取り組んでいく。 | 48・613 | 49・620 / 回・人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 乳児等訪問事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 160,672 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 新生児期、乳児期に訪問を実施することで育児の不安を減少させ安心して子育てができる。<br><br>新生児訪問<br>おめでとう訪問（保健推進員による）<br>訪問母乳相談（助産師による） | 保健師が2名増えたことで訪問するための人員の確保ができた。<br>ただ、繁忙期には適切な時期の訪問が出来ないこともあった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 子どもの健康増進 | | | 新生児訪問数・出生数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子ども家庭相談　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 適切な時期に訪問するための人員が不足している。 | 訪問する人員の確保は出来たので、適切な時期に訪問出来るように訪問者の調整や周知を行う。 | 59・69 | 70・76 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 発達支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,981,284 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 発達相談会は発達の気になる児を持つ保護者を対象に専門職による療育相談・指導を行う。ｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝは園等の職員に対し児への支援方法を指導する。職員研修の開催する。 | 心理士・保健師が町内3園を訪問。対象児の行動観察をもとに職員に対して児への支援方法を指導した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 子どもの健康増進 | | | コンサルテーション実施回数・対象人数（延） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子ども家庭相談　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 指導内容は専門性が高いため、専門職の確保が必要である。 | 発達の気になる児や身体の使い方が不器用な児は増加傾向にある。そのため心理士の他に作業療法士の訪問も取り入れ実施回数を増やし、行動面・身体面と様々な視点からのフォローを充実させていく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 17回・57人 | 21回・51人　回・人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 子育て支援センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | にいはるこども園の子育て支援事業として、子育て支援センターを運営。町の子育て支援の拠点として地域支援活動の実施を行う。NPO法人みんなの太助さんに運営委託。 | 利用者や知人に声をかけるなどしてスタッフの確保に努めているが、希望者がいない。人材不足の課題はなかなか解消されない | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 支援センター開館日数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 1 | スタッフ増員をしたいが、募集をしても見つからない現状がある。長い目で見れば、ボランティアの育成が効果はあるが、現状打破は難しい。 | 継続して募集を行う。またボランティアの育成についても積極的に行うように努めていきたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 226 | 243　日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 子育て支援団体活動費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,342,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 子育て支援団体の活動に対して補助金を助成し、子育て支援のための環境づくりを推進し、遊び場の提供や、育児相談を実施し、地域の子育てを支える。 | 各団体の交流の場を設けたいが、今年度については、スタッフが新型コロナウイルスに感染してしまったため、余裕がなく意見交換会は開催できなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 交付件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 1 | 居場所づくりはマンパワーが必要であり、現状としては不足している。今後も町全体の居場所づくりをイメージしていきながら関係者の交流を図る必要がある。 | 今後の継続も考慮し、後継者探しや各団体の意見交換の場を作って行きたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 2 | 2　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000030 | 病後児保育事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 40,900 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 生後1歳から小学校3年生までの病気回復期の児童で、保護者が就労等やむを得ない理由により家庭での保育が困難な場合に一時的に預かり保育を行う。 | 町ホームページや子育てガイド等にも掲載しているが、問い合わせもなく利用者もいない。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 病後児保育の開所日数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 1 | 平成23年度事業開始後、利用件数は、平成25年度1人、平成26年度1人、平成27～令和2年度は0件で利用者がいない状況である。 | 沼田市が行っている病児保育事業(利根中央病院)に広域参加することも検討に含め、事業の廃止または体調不良型事業への変更についても検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 0 | 0　日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000029 | ファミリー・サポート・センター事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 102,242 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 子どもの保育施設までの送迎や一時的な預かりなど子育ての援助を、事前に登録された会員の相互援助により有償で依頼できる事業で、ファミリー・サポート・センターが援助の仲介役となる。 | 町ホームページや子育てガイド等にも事業の内容及び会員募集について掲載しているが、援助をする提供会員が極めて少数となってしまい増えることもない。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 提供会員及び両方会員数(援助したい人)、依頼会員数(援助を受けたい人) | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 1 | 平成25年度事業開始後、援助活動の件数は、平成26年度3件(2人)、平成27年度4件(1人)、平成28・29年度は0件、平成30年度は25件(1人)、令和元年度は26件(1人)、令和2年度は1件(1人)、令和3年度は2件(1人)、令和4年度は0件で利用者数は極めて少ない。 | 実際に援助活動ができる提供会員が少なく、依頼がきても援助に繋げることが難しい。直営では困難なため業務を委託を検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 6･15 | 5･16 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 子ども・子育て会議運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 25,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町長の諮問機関で、①特定教育・保育施設の利用定員の設定②特定地域型保育事業の利用定員の設定③子ども子育て支援計画に関すること等について調査審議し答申する。 | 前年度まではコロナの影響で書面開催となっていたが、今年度は開催時期を見直すとともに、支援計画の進捗状況の報告も含め、現状における子育て支援計画について資料を用いて説明を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 会議開催件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 1 | 委員の任期や当て職委員の人事異動等による委員の交代があり、継続的な審議における情報共有、引き継ぎが難しい。 | 会議の在り方、委員の選任等見直す。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 1 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000025 | 放課後児童健全育成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 27,877,972 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生が、放課後を安全に安心して過ごせる場として町内3か所でクラブを実施。新治学童と月夜野学童および月夜野第2学童は指定管理委託。建明寺学園が実施の民間クラブには運営費を補助。 | 有資格者の知人等に声をかけるなどして支援員の確保に努めているが、長期的に安定して勤務できる人がいないため、人材不足の課題はなかなか解消されない。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 開設日数・平均利用児童数（月夜野・新治・わかくり・月夜野第2） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 1 | 利用児童数の増加に伴い、支援が必要な児童が増えてきているため、安全面に配慮した円滑な運営が行えるようにするために余裕をもって支援員を確保する必要がある。 | 共働き・ひとり親が増加している中で小学生が放課後や小学校の長期休業中を安心安全に過ごせるよう今後も継続する。令和8年4月からの月夜野地区小学校統合に伴い、近隣に学童を新設設置をすることを検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 252･281･254･276/32･33･18･28 | 252･285･253･291/27･38･21･28 / 日・人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 保育・こども園児災害共済保険事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 29,355 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 公立認定こども園の児童が独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済保険に加入し、在園中の不測の事態・事故に備える。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 災害共済加入者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 4 | 課題なし | 今後も継続する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 110 | 106 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 旧第三保育園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,554,710 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 保育に欠ける児童を保育することを目的とし、充実した養護と教育を行い、園児が安全で安心して過ごせる為の施設の維持管理。<br>平成26年度以降休園。 | 令和2年度末をもって廃止し、令和4年のに総合戦略課の協力により解体工事を完了した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 開園（保育）日数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 4 | 廃止及び建物解体により、事業終了 | 保育所は廃止となり、園舎を解体した。更地になった跡地について地権者に説明を行い、事業終了の予定。 | 0 | 0 / 日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | にいはるこども園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 47,049,729 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 子ども園運営に伴う諸事業<br>・入園するすべての幼児に対する保育、幼児教育、給食の提供<br>・園運営に必要な施設の維持管理事業 | コロナウイルス感染症が流行しているときにも開園を必要としている場合は開園し保護者の要望に応えた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 開園（保育）日数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 4 | 求められる事務やサービスが多様化していく中で、保育サービスの精査、効率性などを考慮していく必要がある。 | 集団生活においては、集団で感染するリスクはあるが、基本的な感染拡大防止対策の徹底を図りながら開園している。感染状況をみながら、園の行事等を元の形に戻していき保護者の期待に応えていく。 | 196（292） | 194（293） / 日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 私立保育所保育充実促進費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,978,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 民間保育所等が行う、①1歳児が1人以上の保育所等が行なう低年齢児保育②食物アレルギー対策等、保育内容向上のために支出した経費に対する補助事業。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 事業を実施した施設数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 4 | 県補助事業であり、低年齢児保育や食物アレルギー対応の充実に資する事業であるが、アレルギー対策に関しては委員会の設置が必要だったりと園にはハードルが高い。 | 今後も継続する。 | 2 | 2 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 私立保育所延長保育事業費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 300,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、民間保育所等が通常開所時間を超えた保育を行うことで、安心して子育てができる環境を整備する。 | つきよのこども園は、子どもの利用数が多く、保護者の就労形態に対応するため継続して実施している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 延長保育を受けた児童の数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 4 | 延長保育に対応した保育士の人件費コストは当該補助金では賄いきれない。また、申請には詳細な資料が必要で、事務量が多く、園の負担になっている。 | 今後も延長保育を必要とする児童が見込まれるため、継続して実施していく。 | 15 | 21 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 民間保育園等障害児保育事業費支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,030,620 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 民間保育所において、障害児（特別児童扶養手当支給対象児童、身体障害者手帳や療育手帳交付の支給対象児童、町長が軽度の障害を有すると判断した児童）の保育を行う場合、町がその障害の程度により、補助金を交付する。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 障害児保育を行っている民間保育所の数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 4 | | 重度の障害児への加配職員の人件費等の補助のほか、加配までの必要がない中度・軽度の障害児に対する保育を行う場合、指導計画と支援計画をつくることが補助金支給要件とし、障害児保育の充実がすべての園で図れるようにする。 | 今後も障害児保育の充実が図れるように協議・検討していく。 | 2 | 2 / 園 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000031 | 認可外保育所運営費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,709,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | こども園が休みとなる休日保育を実施している認可外保育施設と、こども園への通園が困難な藤原地区で実施している認可外保育施設の運営の安定を図るため補助金を交付する。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 認可外保育施設の数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 4 | | 課題なし | 土日祝日の就労者及び藤原地区の就労者が、安心して子育てと仕事の両立ができるよう今後も継続する。 | 2 | 2 / 事業所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000034 | 保育等施設給付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 322,532,211 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町内私立保育施設（つきよのこども園・水上わかくりこども園）および町外に委託する広域保育施設等に対し、施設型給付費・委託費を交付する。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 町内保育等施設・町外保育等施設 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 4 | | 課題なし | 町内在住者が利用する各教育・保育施設の安定した運営のため、今後も継続する。 | 6 | 9 / 施設 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000033 | 地域型保育給付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,310,580 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町外の地域型保育施設（事業所内保育所）に委託する児童がいる場合、地域型給付費を交付する。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 地域型保育施設入所児童数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 4 | | 課題なし | 近隣市町村に地域型保育施設があり、町民の利用も考えられるため、今後も継続する。 | 1 | 1 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000036 | 子育て支援拡充事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,627,053 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 私立認定こども園の運営の安定化を図るとともに教育振興費補助、保育促進事業に対して町単独の補助を行い、子育て支援の拡充を図る。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 補助件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 4 | | 課題なし | 今後も継続する。 | 0 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 水上児童館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,359,208 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 児童に健全な遊び場を与え、健康増進及び情操を豊かにする児童福祉事業の実施。社会福祉協議会に指定管理委託。 | 新型コロナウイルス感染防拡大止のため利用制限等の措置をとったため利用人数は減少した。(登録者数は増加) | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 登録児童数・児童館開館日数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 5 | | 水上地区以外の利用者が参加しやすい行事や開催場所等の検討。 | 令和4年度から3年間、社協に指定管理を委託している。その3年間にで、利用者の減少に伴い児童館を廃止し、第三の居場所としての機能に変更することを検討。 | 22・269 | 40・287 / 人・日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 要保護児童対策地域協議会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,240,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 要保護児童の適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を行うため関係機関(者)による情報の共有、役割分担支援内容の協議等を行う。 | 児童相談管理システムを導入した。システムを稼働し、過去のケース台帳情報、照会等を入力をした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 協議会（年1回）及び実務者会議(月1回)の開催と状況に応じた個別ケース会議の開催 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子ども家庭相談　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 子育て世代包括支援センターと要保護児童対策地域協議会機能を統合し、すべての子ども、家庭の相談や支援を行う「子ども家庭総合総合支援拠点」を設置した。 | システムを利用し、資料作成等今後の活動に活かせるようにしていく。 | 128 | 107 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 妊産婦支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 680,630 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 子育て世代放包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期の母子保健指導及び育児相談等を行う。 | これまでと変わらず、母子健康手帳交付時に周知を行う。新たに追加した取り組みとしては、母子健康手帳交付後から出産1か月前の電話連絡まで時間が空きすぎるので、妊娠7～8か月目に『すくすく通信』を送付。<br>外国籍の方の母子健康手帳交付が多く、こちらからのアプローチを多くすることで、子育て世代包括支援センターのスタッフを頼る電話も来るようになった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 出産1か月前電話相談件数・支援プラン作成数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子ども家庭相談　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 子育てに関する総合相談窓口として周知が必要である。 | 現在、子育て世代包括支援センターはこども家庭相談係内にあり、子ども家庭総合支援拠点も同じ係内にある。子育て世代包括支援センター「すくすく」という名前はあまり周知できていないが、困った時にはこの電話に電話することを周知していきたい。 | 61・13 | 71・12 / 回・人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 福祉医療費支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 114,551,393 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 乳幼児・重度心身障害者・母（父）子家庭に対し、医療機関を受診したときの医療費の自己負担分を福祉医療費として支給する事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 受給資格者数（年度末現在） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 4 | | 課題なし | 特になし | 2086 | 2148　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 未熟児養育医療給付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 410,208 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 入院加療を必要とする未熟児（出生時2000g以下又は身体機能が未熟のまま出生した乳児）に対して、医療の給付を行う。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 受給者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 課題なし | 特になし | 1 | 2　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 出産祝金支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,570,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 対象者の申請により祝金（第1子：7万円、第2子：7万円、第3子：15万円。うち2万円分は電子地域通貨（MINAKAMI HEART）により支給）を、申請月の翌月20日に現金振込、とポイント付与して支給。出生時点で親の住所が6カ月以上みなかみ町に登録されている事と、対象新生児の最初の住所登録地がみなかみ町である事が条件。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 支給者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 課題なし | 少子化対策の一環として今後も継続する。 | 53 | 80　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 就学支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,302,240 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 小・中学校入学時にかかる費用の負担軽減を図ることを目的に、対象者からの申請により、みなかみ町電子通貨を入学支援金として支給する。小学校入学時：2万円中学校入学時：4万円 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 入学者数（小学校・中学校） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 課題なし | 少子化対策の一環として今後も継続する。 | 92・116・95 | 96・112・112　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 子育て家庭住宅整備費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 28,201,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町内に家を新築･増改築･取得する、子育て家庭及び新婚家庭に対し対象工事費の10%を補助する。対象者は、中学生以下の子を養育、または婚姻届提出後3年以内かつ夫婦の年齢が100歳未満の世帯、町内に住民登録及び整備後3年以上居住、滞納がない。 | ホームページや施工業者の口コミ等で認知度も高くなってきた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 補助金支払い件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 平成30年度から要綱を改正し、対象者、対象事業、対象施工業者を拡大したことを、ホームページや子育て支援ガイドブックにより周知を図る。 | 定住人口の増加に繋がるため今後も継続する。 | 33 | 29　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 結婚支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 600,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 若者の希望する結婚が、それぞれ希望する年齢でかなえられるよう、結婚における支援の充実、結婚、出産を希望する若者世帯･子育て世帯が望む住生活の実現を図る。 | 町ホームページ、町発行の子育てガイドブックに制度を記載し周知した。認知度も高くなってきている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 補助件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 認知度が低いため、周知に対する取り組みが必要。 | 少子化対策の一環として今後も継続する。 | 2 | 2　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 出産･子育て応援金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,972,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 妊娠から出産時において、経済的な不安を抱える妊産婦の負担を軽減するための事業(国の伴走型支援事業) | 国の施策による。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 準備金の受給者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 1 | | 妊娠届の事務担当と連携を取り、支給漏れを防ぐ必要がある。また、妊娠届の提出後に転入した妊産婦について、支給漏れ及び前住所地と二重支給が無いように、前住所地の自治体と連携を取る必要があること。 | 国では令和5年度以降も継続して支給を続ける方針。 | ― | 80　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 児童手当支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 177,638,077 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 対象者の申請により、認定し手当を支払う。支払額は3歳未満は15,000円、3歳以降は10,000円(ただし、第3子以降は、3歳以降も小学校修了前までは15,000円)。所得制限超過者は5,000円、所得上限超過者は資格消滅となり支給されない。平成22年度から子ども手当に制度変更。平成24年度から再度実施。国の基準に則って実施。 | 課題なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 受給者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 2 | | 課題なし | 義務事業のため今後も継続する。 | 814 | 830　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 子育て世帯等臨時特別支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,002,315 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 補助金の精算による過年度分の返還金 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | なし | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| | | | 課題なし | 課題なし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 2 | | | － | － / － |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 子育て世帯生活支援特別給付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,060,170 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行うための給付金支給事業 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 支給対象世帯数・支給対象児童数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| | | | 高校生のみの世帯と家計急変世帯は、申請が必要になるため、周知徹底して申請漏れを防ぐ必要があること。 | 課題なし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 2 | | | 84.161 | 96.178<br>繰越分 5.6 / 世帯・人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 子育て世帯応援給付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 37,278,869 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、原油価格・物価高騰等に直面している子育て世帯を支援するため、18歳以下（H16.4.2以降生まれ）の児童がいる全ての世帯に対して、該当児童に対し20,000円分のMINAKAMI HEART Payのポイントを給付した。（実際に使用したポイントで精算）<br>20,000円×2,070人 | 国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金による全町の該当子育て世帯を対象とした事業であったため、町内の小中学校やこども園に配布協力を依頼した。また、カードのデザインも子育て世帯向けに通常のカードデザインと区別化を図り、分かりやすさを工夫した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 該当の児童生徒数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| | | | 特になし | 特になし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 2 | | | － | 2,070 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 児童扶養手当支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 79,414 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の健全育成を図ることを目的とし、18歳に達する日以後最初の3月31日までの児童を養育しているひとり親に支給する。<br>手当額：10,160円～43,070円 | 制度について、広報やHPを活用したり、住民係や福祉医療担当者とも連携をとるようにしているため、制度の周知はできている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 受給者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| | | | 対象となる方の把握に努める。（離婚届又は（未婚等による）出生届提出の際に、制度説明等はしているが、落ちがないようにする。） | 義務事業のため今後も継続する。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 3 項 2 目 3 | | | 86 | 81 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 不妊治療費等助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,164,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 不妊や不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、みなかみ町不妊治療費助成事業実施要綱に基づき、治療に要する医療費の一部を助成金として交付する。 | 保険適応となるが、引き続き助成する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 延申請数・助成実組数・治療後妊娠届数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子ども家庭相談　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 事業の周知を図る。 | 回数制限を撤廃する。 | 13・7・3 | 44・13・8 / 件・組・件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 妊産婦健康診査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,151,163 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 母子健康手帳の交付に合わせ妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健診、新生児聴覚検査の受診票を交付し、健診費用の助成を行う。転入妊婦に対しては、未使用の受診票を差し替えて交付する。 | 4月から母子健康手帳の交付を予約制にし、公布日を増やし対応出来るようにした。スタッフがいない日は予約が入らないようにして、効率よく交付事務が行えるようにした。予約制にすることで、交付待ちを無くすことが出来た。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 子育てのための経済的な支援 | | | 受診票交付枚数・健診を受診延べ人数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子ども家庭相談　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | 保健師が説明及び相談を行い交付しているが、交付日以外の対応についてスタッフの確保が必要である。 | 産婦健診と妊婦歯科健診の受診率が悪いので、受診勧奨をしていきたい。 | 1,522・1,123 | 1,237・1,041 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 青少年育成推進員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 597,718 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町行政区長からの推薦を受け、「みなかみ町青少年育成推進員連絡協議会」を中心に町内パトロール・社会環境調査等の実施、地域懇談会への出席、町の青少年健全育成に努めている。 | 令和3～4年度に計画していた事業は、新型コロナウイルスの影響で多くが中止となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 青少年の健全育成支援 | | | 事業回数（パトロール・研修数・あいさつ運動） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | 青少年を取り巻く環境への理解、（携帯のフィルタリング等）それぞれの地域での活動内容の充実。研修会開催。 | 従前のパトロールやあいさつ運動などを再開した上で、新たな取組みにつなげていきたい。 | 0 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 地域学校協働活動推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,582,096 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 放課後や休日の子どもの安全・安心な居場所を設けるため、地域の安全管理員のもとに、学校の空き教室・体育館等を利用し、読み聞かせや工作・ゲーム・体験活動などを行う。 | 子ども教室活動はコロナの影響で可能な範囲で実施した。新治小学校地域学校協働活動本部を参考に、水上小学校と藤原小学校に設置した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 青少年の健全育成支援 | | | 年間実施回数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | コミュニティスクール制度にともない、地域学校協働活動本部を設置していかなくてはならない。 | 学校運営協議会設置に併せて地域学校協働本部を設置する。引き続き、運営委員会および各教室に直接出向き、実態やニーズの把握を図る。 | 49 | 97 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 青少年育成団体活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 361,772 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 町内の青少年関係団体の育成<br>〇みなかみ町子ども会育成団体連絡協議会<br>〇みなかみ町ガールスカウト | 前年度までは子ども会、ガールスカウトともにコロナのためあまり事業ができなかったが、令和4年度は積極的に団体へ働きかけ、コロナ対策を万全にしていくつかの事業を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 青少年の健全育成支援 | | | 補助金交付団体数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 1 | 少子化の影響で会員や子ども会組織が減少している。 | 子ども達は、将来のみなかみ町の担い手であることを認識し、その重要性と活動成果を町民に周知する。 | 2 | 2 / 回 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000040 | 私立保育所感染症対策事業費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 944,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 03 | 子育て支援の充実 | 新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、必要な経費を支援し、私立保育所等の環境整備を図る。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 子育てするための環境の充実 | | | 補助件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 子育て支援　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 3 項 2 目 4 | 課題なし | 各園において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、保育を継続的に実施できるよう、国や県の動向を踏まえ今後も継続する。 | 2 | 2 / 件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |
| 施策 | 4 | 障害者福祉の充実 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 障害のある人 | 住み慣れた地域で安心して暮らす。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | ノーマライゼーション社会の実現 | 障害のある人 | 一人ひとりの人格や個性が尊重される。 |
| | 2 | 生活支援の充実 | 障害のある人 | 利用者本位の障害福祉サービスを受けられる。 |
| | 3 | 就労支援の充実 | 18歳以上で障害のある人 | 就労できる。 |
| | 4 | 社会参加の促進 | 障害のある人 | 多様な活動に参加し、充実した生活ができる。 |

**施策の基本方針**

・障害のある人が社会の一員として活躍できる地域社会を目指します。
・障害のある人の社会参加を困難にしているさまざまな生活上の障壁（バリア）を取り除き、安心して地域で生活できる社会を目指します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 障害福祉サービス支給決定者数 | 人 | 実績値 | 170 | 186 | 185 | 186 | 206 | 210 | 211 |
| | | | 目標値 | | 185 | 190 | 195 | 200 | 205 | 210 |
| B | 障害者就業者数（利根沼田管内） | 人 | 実績値 | 345 | 384 | 390 | 422 | 411 | 446 | 486 |
| | | | 目標値 | | 345 | 348 | 351 | 354 | 357 | 360 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）障害の程度に合わせた障害福祉サービスを利用することで、支障を取り除いて自分らしく自立できていると考えられるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
B）数値が高まれば障害者の社会進出が図られているといえるため成果指標とした。
ハローワーク資料により把握
※3月末時点の人数（「3月分業務月報」による）

**目標値設定の考え方**

A）2017年度は地域活動支援センターぴっころが就労継続支援B型に移行したため、10名程度サービス支給決定者が増えた。今後は、高校卒業時また、児童の放課後等ディサービスの利用者が増加すると想定し、成り行き値は毎年度4人（2%）ずつ増加すると設定。目標値はサービスの利用促進を進めるために成り行き値を1人上回るように設定した。
B）障害者就業者数は、2013年4月からの障害者法定雇用率の引き上げに伴い、2013年度～2014年度にかけて大幅に（46件）増加したが、その後は微増にとどまっている。そのことから成り行き値は毎年度1名の就労を見込んだ。2018年度には障害者法定雇用率が0.2%引き上げとなるので、年3名の増加を目標値にする。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ＜町民＞<br>・障害及び障害者への認識と理解に努め、障害のある人が社会参加しやすい環境づくりに取り組む。<br>・障害者支援に係る技術（手話、点字、車いすの押し方等）を習得する。<br>＜障害のある人＞<br>・自分に合った活動の場を見つけ、積極的に参加する。<br>・能力や適性を発揮できる就労の場を見つける。 | ・障害福祉サービスの情報提供や相談支援の充実を図る。<br>・就労する機会をつくるなどの社会参加を促す。<br>・障害のある人に対する理解を深めるよう周知する。<br>・障害のある人の社会参加を困難にしているさまざまな生活上の障壁（バリア）を軽減させる。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・障害福祉サービスに就労定着支援事業が2018年4月1日から開始された。<br>・2018年4月1日から障害者の法定雇用率が0.2%引き上げられた。<br>・2021年3月1日から障害者の法定雇用率（民間企業）が0.1%引き上げられた。 | ・新規障害者通所施設の検討に対する要望。<br>・地域活動支援センターの再設置に対する請願が提出され趣旨採択となった。<br>・障害者福祉サービス事業所ぴっころ移転新築に関する請願に対し町議会において意見を付して採択された。<br>・ユニバーサルデザインに配慮した環境整備が求められている。 |

| 施策 | 4 | 障害者福祉の充実 | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①障害福祉サービス支給決定者数は平成30年度185人、令和元年度186人、令和２年度206人、令和3年度210人、令和4年度211人と前年度に比べ微増となった。その中で児童の通所サービスである児童発達支援の月平均利用者は、平成30年度及び令和元年度は９人だったが、令和2年度14人、令和3年度17人、令和4年度16人、放課後等デイサービスは、平成30年度25人、令和元年度26人、令和2年度32人、令和3年度29人、令和4年度32人と増加している。(受給決定者数≒利用者数)<br>②ハローワークによると障害者就業者数は平成30年度は390人、令和元年度は422人、令和2年度は411人、令和3年度446人、令和4年度486人と増加している。<br>「障害者就業・生活支援センターコスモス」によると、圏域全体の障害者の就業者は平成30年度165人、令和元年度169人、令和2年度186人、令和3年度204人、令和4年度215人と前年度より5.3%増となっている。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①障害福祉サービスの利用者数及び利用率(利用基準月/人口)は、県18,602人(人口比0.96%)、利根沼田圏域850人(1.10%)、沼田市528人(1.16%)、片品村32人(0.78%)、川場村22人(0.7%)、昭和村61人 (0.86%) 、当町207人(1.17%)となっており高い利用率となっている。<br>※利用者数等は交付税基準月である10月とする<br>※人口は住民基本台帳の数値<br>②コスモスで把握している圏域の障害者の就業者数は当町49名、沼田市140名、片品村5名、川場村5名、昭和村16名、圏域全体では215名である。ハローワークでは市町村ごとの就業者数は公表されていない。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①障害福祉サービス支給決定数は目標を210名としていたが1名上回った。<br>②障害者の就業者数は、目標値360名に対し486名であった。平成25年４月からの障害者法定雇用率の引き上げにより障害者の雇用が進んでいることがうかがえる。<br><br>※法定雇用率の引き上げ<br>民間企業　1.8%→2.0%(H25.4)　→2.2%(H30.4)　→2.3%(R3.3)<br>国・地方公共団体等　2.1%→2.3%(H25.4)　→2.5%(H30.4)　→2.6%(R3.3)<br>都道府県等の教育委員会　2.0%→2.2%(H25.4)　→2.4%(H30.4)　→2.5%(R3.3) |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ノーマライゼーション社会の実現 | A | 相談支援件数 | 件 | 実績値 | 512 | 624 | 727 | 735 | 736 | 979 | 1,057 |
| | | | | | 目標値 | | 512 | 512 | 512 | 512 | 512 | 512 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 生活支援の充実 | A | 障害者手帳交付者(身体・療育・精神) | 人 | 実績値 | 1,280 | 1,253 | 1,233 | 1,257 | 1,246 | 1,255 | 1,214 |
| | | | | | 目標値 | | 1,280 | 1,280 | 1,280 | 1,280 | 1,280 | 1,280 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 就労支援の充実 | A | 障害者就業・生活支援センターコスモスの相談件数 | 件 | 実績値 | 1,497 | 1,351 | 1,194 | 1,159 | 670 | 634 | 1,005 |
| | | | | | 目標値 | | 1,530 | 1,600 | 1,660 | 1,720 | 1,780 | 1,800 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | 社会参加の促進 | A | ふれあい交流会参加者数 | 人 | 実績値 | 60 | 300 | 200 | 210 | 0 | 0 | 191 |
| | | | | | 目標値 | | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 | 120 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み(案) | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | ノーマライゼーション社会の実現 | ・障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し、理解しあえる社会を実現する。 | ・町民と障害者が交流できる機会を設け、顔の見える関係性を育む。<br>・社会福祉協議会、小中学校と連携し福祉教育を推進する。<br>・関連機関と連携、協力し、障害者等が参加しやすい地域づくりを目指す。 |
| 2 | 生活支援の充実 | ・住み慣れた地域で暮らすために必要な障害福祉サービス等の制度を対象者へ広く周知する。 | ・利根沼田障害者相談支援センターと連携し、障害者及び家族への相談支援を継続的に実施する。<br>・相談支援機関や事業所等と協力し、サービスが必要な障害者等へ寄り添い制度の理解を深める。 |
| 3 | 就労支援の充実 | ・障害者が就労するための情報が少ない | 就労している障害者が継続して就労できるようハローワーク及び障害者就労・生活支援センターコスモス等と連携して支援する。また、すぐに就労に結びつかない障害者に対しては障害福祉サービスの就労移行や重層的支援体制整備事業の参加支援等を利用し、一般就労を目指す支援を実施する。 |
| 4 | 社会参加の促進 | ・障害者が参加できる機会や場所を多くつくり、地域住民との交流の充実を図る必要がある。<br>・障害者が外出しやすいユニバーサルデザインの施設や設備が少ない。<br>・多機能トイレやオストメイト設備等、障害者が利用できる施設の場所が周知されていない。 | ・障害者等が地域の一員として、積極的に社会参加できるよう、生涯学習、地域活動、世代間交流、スポーツ活動等を一緒に取り組める場を提供する。<br>・町の行事の際に障害福祉サービス事業所等が授産品を販売できるよう支援する。<br>・公共施設等のバリアフリー化を計画的に進めていくよう検討を始める。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 難病団体等参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 25,720 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 群馬県難病団体連絡協議会等が活動する事業に対しての負担金の支給。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 社会参加の促進 | | | 相談件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 特になし | 特になし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 40 | 38 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 重度心身障害児(者)紙おむつ支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 215,266 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 在宅の重度心身障害児(者)で常時紙おむつを必要とするものに対し、購入費の一部を補助する事業。特別障害者手当等を受給している者に対し月に3，000円を上限に給付している。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 年間支給件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 72 | 72 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 障害支援区分認定事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,472,632 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 法第15条により障害支援区分認定審査会を設置(利根沼田)して障害福祉サービスの必要性や障害者の心身の状態を調査・審査・決定する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | ノーマライゼーション社会の実現 | | | 調査認定件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 87 | 85 / 件 |

令和　　年　　月　　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 障害者情報管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,204,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 障害福祉に関する個人情報を一括で管理するシステム。各支所との連携、情報の共有、記録の整理など法令上に定める電算機器による台帳管理などを行っている。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | ノーマライゼーション社会の実現 | | | サービス支給決定者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 210 | 211 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | じん臓機能障害者等通院交通費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 600,776 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 医療機関において人工透析療法又は中心静脈栄養法等の医療給付を受けるため通院に要した交通費の一部を補助する事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 支給決定者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 21 | 18 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 特定疾患患者等見舞金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 232,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 町内に住所を有し、新たに特定疾患等になった患者に対し、年間12，000円の見舞金を支給する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 支給者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 他町村と比べ低い水準である。 | 特になし | 15 | 19 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 知的・精神障害者権利擁護事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 34,750 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 基幹社協が行う「認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業」を利用する知的・精神障害者に係る非課税世帯に要する経費に対し、補助金を交付する事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | ノーマライゼーション社会の実現 | | | 相談件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 1 | 4 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 身体障害者タクシー利用料助成（福祉タクシー）事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,760 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 電車バス等通常の交通機関を利用することが困難な在宅の身体障害者手帳所持者(1,2級)に対して、タクシー料金(初乗り分)を助成する事業。 | 対象者を身体障害者から高齢者や精神・知的の障害者に利用対象者を広げ新たに事業を拡充する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 社会参加の促進 | | | 利用枚数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 利用者が少ない | 高齢者おでかけタクシーを福祉にも広げ新年度から福祉おでかけタクシーとして運用し、身体障害者タクシー利用料助成事業は廃止となった。 | 88 | 100 / 枚 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | グループホーム等利用者負担軽減事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,652 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 利用者負担額等の一部を障害福祉サービス利用給付金として支給することにより、利用者負担の軽減を図る。利用者負担額補助やグループホーム利用者の家賃補助を実施する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 支給決定者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 課題なし | 令和3年3月以降利用者負担上限額を段階的に変更し、令和5年3月以降は利用者負担軽減措置は廃止となる。 | 1 | 2 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 心身障害者扶養共済年金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,461,468 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 県が実施主体。障害者とその保護者に対し、保護者の死亡後や重度障害となった場合に障害者の生活費の一部として年金や弔慰金等を支給する事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 年金制度受給者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 制度の周知。<br>財源不足が深刻化し保険料を引き上げ、制度を継続している。 | 特になし | 18 | 17 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 障害者自立支援医療費給付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 20,339,111 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 障害を軽減したり、除いたり、進行を防いだりする医療を指定医療機関で行い、その医療費の本人負担分を給付する事業。本人などの所得に応じて給付制限や一部負担がある。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 支給件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 課題なし | 特になし | 15 | 16 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 地域活動支援センター共同利用事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,824,388 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | みなかみ町以外の自治体が運営等を行っている地域活動支援センターについて、当町障害者が利用した場合にかかる運営費等の一部を負担する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 就労支援の充実 | | | 施設利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 昭和村の施設に係る費用が高額であるため、町としては一部利用者を他の施設に移動させたい。 | 特になし | 16 | 14 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 聴覚障害者意思疎通支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 388,260 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 町内在住の聴覚障害者が生活に必要なコミュニケーションが必要となった際に手話通訳者や要約筆記者を派遣する事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 社会参加の促進 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 聴覚支援団体から、手話通訳者の設置について要望あり。 | 特になし | 55 | 46 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 障害者移動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 335,340 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 屋外での移動に困難がある障害者（児）に対して、地域での自立生活及び社会参加を行うために利用できる移動支援サービス。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 社会参加の促進 | | | 支給決定した知的・精神障害者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 12 | 12 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 重度障害者日常生活用具給付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,172,861 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 重度障害者等に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付することにより日常生活の便宜を図る。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 給付件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 140 | 139 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 障害者日中一時支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 830,969 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 保護者の一時的なレスパイト等必要時に、障害児（者）を町と委託契約した施設や事業所で預かることにより、障害児（者）に日中活動の場を提供する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 3 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 6 | 7 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 障害者相談支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,871,545 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 障害者の様々な問題について、相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援や権利擁護等のため、基幹相談事業所を利根沼田で設置し委託している。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | ノーマライゼーション社会の実現 | | | 相談件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 課題なし | 特になし | 979 | 1057　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | ふれあい交流会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する意欲を高めることを目的に、障害者週間に合わせた行事や社会参加を目的とした団体事業への補助を実施 | 関連団体と福祉に関する映画を上映し、障害に対しての理解など深めてもらった。2回上映し、多くの方に鑑賞してもらうことができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 社会参加の促進 | | | ふれあい交流会の参加者 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 障害者福祉協会等の関係者の意見や要望を取り入れる。 | 特になし | 0 | 191　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 障害者社会参加推進団体活動費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 365,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 障害のある方の社会参加のための事業や本人・保護者の研修・相談・情報交換事業などを実施している。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、活動実績なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 社会参加の促進 | | | 行事等実施回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 団体の加入者が減少傾向である。 | 特になし | 0 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 知的障害児総合福祉推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 23,740 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 在宅の心身障害児（者）に対する適切な援助及び養育を確保するため、登録介護者やサービスステーションを利用し心身障害児（者）及びその家族の福祉の向上を図る。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 課題なし | 特になし | 4 | 2　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 障害福祉サービス事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 481,307,070 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 障害者総合支援法により、障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付やその他の支援を行う。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 障害福祉サービス申請者 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 課題なし | 特になし | 206 | 211 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 身体障害者補装具支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,878,567 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 04 | 障害者福祉の充実 | 身体障害者の失われた部分や障害のある部分を補い、日常生活の活動能力の向上を図る。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生活支援の充実 | | | 支給決定者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 5 | 課題なし | 特になし | 31 | 35 / 件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 1 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 子育て健康課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 入澤　はるみ |
| 施策 | 5 | 健康づくりの推進 | 関係課 | 町民福祉課　国保・年金係 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 健やかにいきいきと暮らす。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 健康な心と体の維持・増進 | 町民 | 規則的な生活習慣を身につけることで、心身ともに健康になる。 |
| | 2 | 病気の早期発見 | 町民 | 病気を早期発見・治療し、重症化を防ぐ。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・町民が健康でいきいきと暮らすための生活習慣を身につけられるように情報提供や環境の整備を行い、自らが行う健康づくりを推進します。
・特定健診やがん検診の受診率の向上及び精密検査の受診率の向上に取り組み、町民の病気の早期発見及び早期治療を推進します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 日常的に、健康づくりに取り組んでいる町民の割合 | % | 実績値 | 85.1 | 82.8 | 86.3 | 86.4 | 86.1 | 84.0 | 85.0 |
| | | | 目標値 | | 85.0 | 85.2 | 85.4 | 85.6 | 85.8 | 86.0 |
| B | 生活習慣の改善意欲がある人の割合 | % | 実績値 | 49.8 | 49.0 | 62.6 | 64.2 | 67.3 | 68.5 | 68.1 |
| | | | 目標値 | | 50.0 | 50.3 | 50.6 | 50.9 | 51.2 | 51.5 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）数値が高まれば、健やかに暮らしている町民の割合も高まっていると考えられるため成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、意識的に健康づくりに取り組んでいますか。→「特に行っていない」と回答しなかった人の割合
B）数値が高まることにより、生活習慣病の予防および重症化を防ぐことができ、健やかにいきいきと暮らせる町民が増加すると考えられるため成果指標とした。
国保データベースシステムにより把握
※生活習慣の改善意欲がありますか。→「意欲がない」と回答しなかった人の割合

**目標値設定の考え方**

A）数値が高まれば「自分の健康は自分で守る」という意識を持って行動していると考えられるため成果指標とした。短期的には変わらないと判断し、2017年度の数値で推移する。2022年度には成り行き値より2ポイント増加させることを目標とする。
B）数値が高まれば生活習慣病の発症および重症化の予防が図られると考え成果指標とした。健康相談や健康教室の実施により微増すると判断し、2022年度には成行値より0.7ポイント増加させることを目標とする。

A）とB）の違い：B）は食生活習慣や運動習慣、喫煙などを改善する意欲を表し、A）はB）以外に各種健診の受診が含まれる。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・健康に対する意識を持ち、健全で規則的な生活習慣及び食生活を身につける。<br>・積極的に健（検）診を受け、疾病の予防や早期発見に努める。<br>・家族や友人など、身近な人と健康づくりについて話し合い、行動する。 | ・健康相談、健康教育などの保健指導により正しい健康情報の提供を行う。<br>・疾病の予防及び早期発見のため、予防接種や健（検）診を行う。<br>・健（検）診や予防接種の意義の啓発・受診勧奨及び受診しやすい環境の整備などにより、受診率の向上を図る。<br>・自主的な組織の育成や活動場所の提供など、身近で手軽に健康づくりができる環境を整備する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・2013年度に策定された健康日本21（第2次）計画により、健康寿命の延伸に向け、生活習慣病の発症予防・重症化予防に加え、健康を支え守る社会環境の整備を引き続き行う必要がある。<br>・健（検）診において、個別健診の希望者が増加する傾向にある。<br>・2018年度から、国保広域化により、財政主体が市町村から群馬県に変更になり（2018年度国保制度改革）保健事業については市町村が実施主体となった。<br>・2019年度末から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、感染拡大対策を講じつつ新しい生活様式による対応が必要となった。2021年5月から新型コロナウイルスワクチンの住民接種が始まる。<br>・2023年3月「健康みなかみ21」が完成し、今後計画書に沿った事業展開が必要となる。<br>・新型コロナウイルス感染症は、2023年5月8日より感染法の分類が、2類から5類へ変更となる。 | ・健（検）診の会場や日程が合わず参加できない、健（検）診の待ち時間が長い、検査項目が少ないなどの意見がある。<br>・運動教室について定期的に開催してほしい。また、運動を継続して実施するための環境整備をしてほしい。<br>・新型コロナウイルス感染症について正しい情報を知りたい。<br>・新型コロナウイルスワクチン接種を安全に受けたい。 |

| 施策 | 5 | 健康づくりの推進 | 主管課 | 名称 | 子育て健康課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 入澤　はるみ |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①日常的に健康づくりに取り組んでいる町民の割合は、最も高かった令和元年度86.4%以降、令和２年度86.1%、令和３年度84.0%と若干の減少傾向であったが、令和４年度85.0%と1.0ポイント回復した。また、「特に取り組んでいない」と回答した人について、年齢別にみると、20～29歳で令和３年度20.0%が令和４年度10.3%と9.7ポイント減少した。また、50～59歳について、令和３年度18.2%が令和４年度16.1%と2.1ポイント減少した。しかしながら、30～39歳が令和３年度11.4%から令和４年度16.1%と4.7ポイント増加、60～69歳が令和３年度16.5%から令和４年度17.1%と0.6ポイント増加傾向にある。地区別を比較すると月夜野地区と水上地区については、前年度対比で「特に取り組んでいない」という町民の割合は若干減少したが、新治地区については逆に微増となった。<br>②生活習慣の改善意欲がある人の割合は令和元年度64.2%、令和２年度67.3%、令和３年度68.5%、令和４年度68.1%（速報値）であり、0.4ポイント減少したが、ほぼ横ばいであった。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①令和４年度（速報値）における、「生活習慣の改善意欲がある人」の割合は、国72.0%、群馬県70.3%、国保の同規模保険者69.5%に比べ、みなかみ町68.1%と低く推移している。<br>また、「取組済み（６か月未満）」の割合は、国8.9%、群馬県7.6%、国保の同規模保険者8.6%に比べ、みなかみ町は9.2%と若干高く推移しているが、「改善意欲あり」の割合は、国28.3%、群馬県24.7%、国保の同規模保険者27.4%に比べ、みなかみ町は25.5%と決して高いとは言えない状況で推移している。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①健康づくりに取り組んでいる町民の割合は、目標値86.0%に対して実績値85.0%と1.0ポイント下回った。<br>②生活習慣の改善意欲がある人の割合は、目標値51.5%に対して実績値68.1%と16.6ポイント上回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 健康な心と体の維持・増進 | A | メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 | % | 実績値 | 29.4 | 27.7 | 27.9 | 29.5 | 30.8 | 32.6 | 34.0 |
| | | | | | 目標値 | | 30.0 | 30.2 | 30.4 | 30.6 | 30.8 | 31.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 病気の早期発見 | A | 特定健康診査受診率 | % | 実績値 | 44.5 | 44.5 | 45.0 | 48.6 | 45.5 | 46.8 | 46.8 |
| | | | | | 目標値 | | 45.0 | 46.0 | 47.0 | 48.0 | 49.0 | 50.0 |
| | | B | がん検診受診率(胃がん/大腸がん/肺がん) | % | 実績値 | 6.4/12.6/15.6 | 8.4/13.4/14.5 | 10.7/13.4/13.8 | 10.5/13.6/13.4 | 9.1/11.5/11.7 | 8.4/12.9/12.9 | 9.2/13.2/12.1 |
| | | | | | 目標値 | | 6.5/12.6/15.6 | 7.5/12.5/15.6 | 7.5/12.4/15.5 | 7.5/12.5/15.5 | 7.5/12.3/15.5 | 7.5/12.2/15.5 |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 健康な心と体の維持・増進 | ①令和4年度に策定された「みなかみ町健康増進計画」及び「第3次みなかみ町食育推進計画」を一体的に推進する計画「健康みなかみ21」に則した事業展開を実施する必要がある。<br>②新型コロナウイルス感染症対策として、乳幼児からワクチン接種が可能となったが、年代ごとにワクチン接種の接種条件が繁雑であるため、町民に正確な情報発信を行う必要がある。<br>③特定健診におけるメタボリックシンドローム該当者及び予備軍判定者の増加傾向を抑える必要がある。<br>④小児生活習慣病予防事業の結果から、成人期以前にも生活習慣病が見られるため、若年期における生活習慣病予防対策が必要である。 | ①「健康みなかみ21」の計画に則した事業を企画・実行し、進捗状況評価を行い展開する。<br>②群馬県及び管内市町村、病院関係者等との情報連携を密に行い、正確な情報を速やかに広報やホームページを活用して町民に知らせる。<br>③メタボリックシンドローム該当者や予備軍判定者の方に対する受診勧奨(通知・電話・訪問等)の強化及び生活習慣の改善意欲等を促すために、MINAKAMI HEART Payや G_WALKなどインセンティブを活用した取り組みを企画・実行する。<br>④各年代に応じた食育事業を実施し、より多くの町民に食育を推進する。具体的には小中高生の学校における肥満対策に合わせて、小児生活習慣病予防事業を計画する。 |
| 2 | 病気の早期発見 | ①病気の早期発見のためには、健診結果情報を広く分析して傾向を把握し、病気発症前段階での予防対策を充実させて、対策事業を実施していく必要がある。そのためには特定健診受診率の向上が必要不可欠である。<br>②がん検診の受診率が伸び悩む傾向にあることから、多様な受診機会を設けて受診率の向上に取り組む必要がある。 | ①健診結果に基づき町民の疾病発病傾向を分析し、発症懸念材料に対する予防対策事業を展開する。また、国保保険者努力支援制度のヘルスアップ事業として、AIによる分析に基づいた健診未受診者に対し受診勧奨を実施する。また、国保保険者として第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)の策定を行う。<br>②各種がん検診の受診環境の充実と受診対象者に対し検診の重要性を促すための情報発信を強化する。具体的には、国のがん検診の受診勧奨策等実行支援事業を受けて、事業計画を策定する。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 公衆浴場いこいの湯管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 157,080 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 猿ヶ京地区にある公衆浴場。区に指定管理に出している。H27年度よりAED設置しリース料を町が負担している。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 一般利用者数<br>世帯会員数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 経年劣化による施設設備の損傷がある。今後修繕費等の負担割合の協議が必要になってくる。 | 特になし | 3068 | 8694　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 健康情報管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,163,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 町民の保健情報を管理するシステムの機器保守及び使用料(GCCにシステム業務委託) | がん検診事業の標準化を踏まえ大腸がん、乳がん、子宮頸がんの記録システムの改修を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 端末入力者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 1 | マイナンバー連携に基づく検診記録システムの改修が必要である。 | 令和6年度の健康情報システムの入替を踏まえ、現行システムの検証が必要である。 | 21,790 | 21,291　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 食生活改善推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 100,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 食生活改善推進員を養成・育成し、栄養・食生活の改善の普及啓発に関する事業を実施する。 | 会員対象の研修会の開催や、健康情報に関する資料の配付により、自己学習の機会を設け、自主的な地域活動の取り組みを促した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 町民対象の教室等開催数<br>・教室等に参加した人の人数(町民) | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 1 | 会員の資質向上及び自主的に活動するための支援が必要である。また、会員数の減少及び会員の高齢化が課題である。 | 研修会等、自己学習の機会を継続する。また、養成講座を開催し、会員数の増加につなげる。 | 7・133 | 10・179　回・人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 保健推進員会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,056,285 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 地域における保健活動の推進役として、町より委嘱している委員。任期3年 | 担当地区の見直し、広い担当地区の通知配布になったので、活動量は減らなかった。また、マタニティースクールを実施したため、妊産婦における訪問件数が増加した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 訪問回数(妊産婦・乳幼児) | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 1 | 研修会の参加者を増やすため、身近か話題を取り上げる。出生数の減少により任期中の活動量が少ない推進員がいる。任期が長いと意見がある。 | 引き続き、行政との橋渡しとしての訪問活動ができるよう支援していく。 | 0・492 | 57・557　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 肺炎球菌予防接種費用助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,499,511 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 定期対象者に関しては積極的勧奨をし、接種費用の一部助成を行う。定期の年齢を逃した人、接種希望のある人に関しては任意接種とし、申請により接種代金の一部助成を行う。 | ホームページ・広報紙やみなかみ町保健事業予定表で周知をしている。対象者名を予診票に印字して配布している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 接種者数（定期・任意） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 定期対象となるのは生涯1回のみであったが、接種率の低迷により5年間事業が延長された。対象者以外が定期接種用予診票を使用し接種する間違いがある。 | 接種希望者への接種費用の助成を継続する。定期接種対象者名を印字して配布する。 | 249・6 | 243・7 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 高齢者インフルエンザ予防接種費用助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,629,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 65歳以上の高齢者等の定期インフルエンザ予防接種にかかる費用を助成する。 | ホームページ・広報紙やみなかみ町保健事業予定表で周知をしている。受診の機会に接種を受けられるよう予診票を医療機関に配布している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 接種者数・接種率（10/1：65歳以上人口） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 助成制度があることを周知する。<br>希望者が接種機会を得られるよう配慮する。<br>同意欄や代筆者名の記入における間違いがある。 | 接種希望者への接種費用の助成を継続する。 | 4,295・55.5 | 4,380・56.5 / 人・% |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | インフルエンザ予防接種費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,704,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 生後6か月から中学3年生及び、重症化予防として60歳未満の指定された疾病を持ち、身体障害者手帳1級を保有している人、妊婦を対象として接種費用の一部助成を行う。 | ・該当者に接種案内を配布し、接種勧奨と接種料金の助成金申請の周知をした。ワクチンの入荷状況に応じて接種期間と申請期間を延長した。<br>・様式や助成方法について利根沼田管内で検討し予診票の統一及び医療機関からの請求により委託料として支払うよう調整した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 接種者数（中学生以下・重症化予防）<br>中学生以下接種率 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 新型コロナウイルス感染症と同時流行の恐れがあり、鑑別診断が難しいため、インフルエンザの流行を抑制する必要がある。また、利根沼田の市町村で様式や支払いに関して同じ方式で調整していく。 | 行政措置予防接種委託契約の中にインフルエンザ予防接種（小児・重症化予防）を加える。 | 523人・34.8%、27人・31% | 247人・16.9%、18人・21% / 人・% |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 風しん予防接種費用助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 妊娠の風疹罹患による先天性風疹症候群を予防するため、妊娠の可能性のある女性とパートナーに対し、予防接種費用の一部を助成する。 | ホームページ・広報紙やみなかみ町保健事業予定表で周知をしている。風しん抗体価の低い妊婦への接種勧奨を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 接種者数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 未婚女性は、助成制度を知らない場合があるので周知が必要である。 | 接種希望者への接種費用の助成を継続する。 | 24 | 12 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 食育推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,691,681 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 食育の推進により、食に関する知識と食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践できる事を目的とする。またみなかみ町食育推進計画を関係機関や団体等と連携し推進する。 | 第3次食育推進計画を策定し、目標値等見直しをした。<br>策定のため、アンケート調査等を実施し、現状にそった目標や目標値等になった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 教室等回数・参加人数（延） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 食育推進計画の目標値に向けて事業を実施しているが、目標値の達成が難しいものがあるため見直しが必要である。 | 第3次食育推進計画を周知し、町内の関係機関と連携をとり、目標達成できるように、食育を推進していく。また、食育推進検討委員会や検討部会を開催し、関係機関との連携体制や評価体制を整える。 | 12・462 | 11・545 / 回・人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | がん検診事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,133,457 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 厚生労働省による「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」及び各検診マニュアルに基づき実施する。<br>胃がん検診(個別：胃カメラ、集団：胃バリウム)<br>大腸がん健診(個別：郵送検診、集団)<br>結核・肺がん検診(集団)<br>子宮頸がん検診(個別、集団)<br>乳がん検診(個別、集団)<br>前立腺がん検診(個別) | ・胃内視鏡検査申請者のうち、未受診者に対しハガキにより受診勧奨を行った。<br>・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診の精密検査未受診者に対し、通知及び電話にて受診勧奨を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 病気の早期発見 | | | 胃がん健診受診者数(集団・個別)、胃がん検診受診率(50歳～69歳) | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | ・受診率が低いため広報等をナッジ理論を活用した受診勧奨が必要である。<br>・がん検診の精度管理を高めるため、精密検査の未受診者に対し受診勧奨を行う。 | 胃内視鏡胃検診の申請方法を窓口申請以外の受付を検討し、受診しやすい環境を整える。 | 681・167、男7.8、女10.1 | 634・183、男8.8、女11.0 / 人、% |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 健康増進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,212,860 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 厚労省による「健康増進法」に基づき実施する。<br>若年者健診（任意事業）<br>生活保護者健診<br>歯周疾患検診<br>骨粗鬆症検診<br>肝炎ウイルス検診<br>腎機能検査 | 若年者健診希望者のうち、未受診者に対して受診勧奨を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 病気の早期発見 | | | 若年者健診受診者数（集団・個別）、受診率 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 若年者健診の受診率が低い。<br>歯周疾患検診の受診率が低い。 | 若年者健診は、未受診者に対する受診勧奨を継続実施する。<br>歯周疾患検診は、受診行動につながるリーフレットを案内通知に同封する。 | 21・28、7.1 | 26・37、9.24 / 人・% |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 健康教室事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 394,237 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | メタボリックシンドロームや生活習慣病の予防を目的に実施する。<br>【実施事業】<br>みな女クラブ　おとなの運動教室　健康づくり教室<br>骨粗鬆症予防教室　男性のための料理教室<br>健康づくりポイント推進事業 | 運動教室等の集団指導を始め、健康づくり教室では、個別指導も取り入れた。また、健康づくりポイントの活用を進めるため、説明会を実施し、登録者数の増加を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 教室開催数・参加人数（延） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 2 | 当町におけるメタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合は、上昇が続いている。また、全ての年代で男性が女性を上回っている。 | メタボリックシンドロームや生活習慣病を予防・改善するため、効果的な事業を検討・実施していく。また、みなかみ町健康増進計画の施策に沿って、他課と連携を取りつつ、体系的に事業を実施する。 | 22・201 | 33・352 / 回・人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 健康相談事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 506,575 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | ・健康手帳の交付<br>・健康増進法に基づく健康相談及び家庭訪問 | 特定健診に合わせ健康相談を実施した。<br>家庭訪問は新型コロナウイルス感染症の流行もあり、あまり実施できなかった。<br>精神保健相談において臨床心理士による相談を行うことができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 健康相談数・家庭訪問延べ回数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | ・健康相談の機会を増加させる。<br>・タイムリーな相談を行うため、専門職等の雇い上げが必要である。 | 新型コロナウイルス感染症等の流行状況をみながら、必要に応じて健康相談及び家庭訪問を実施する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 215・15 | 276・6 / 人・回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 保健福祉センター等維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,011,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 保健福祉センターの維持管理 | 指定管理基本協定に基づき年度協定を締結し、施設管理を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 月平均使用日数（会議室3会場・検診室・栄養学習室及び実習室） | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 4 | | 指定管理について指定事業者との協議が必要である。 | 燃料費等の高騰を踏まえ年度協定の内容を検討した結果、当初の内容で指定管理を委託することになる。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 10・4・4 | 11.3・4・6 / 日 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 保健福祉センター長寿命化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 22,781,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 平成13年度に新築したが、施設及び設備の劣化・破損・故障等が多数みられる。他地区施設を廃止し保健センター機能を本施設に集中して使用するために、改修計画をたて修繕工事等を行い施設の長寿命化を図る。 | 老朽化により損傷した床張替、車寄せ屋根改修等及び洗面台等衛生器具更新を実施した。また省エネを図るため2階会議室の照明器具のLED化工事を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 修繕・工事契約件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 4 | | 施工から19年経過し劣化・破損・故障等が多数みられるが、修繕の必要性が明確でないため実施設計が必要である。 | 開設時に設置した空調設備について、部品調達ができず停止している系統がある。今後、部品の在庫がさらに減少し修繕が不能となることから、空調設備の早急な交換が必要である。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 2 | 3 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000027 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 123,992,558 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 令和4年9月16日付予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部改正並び厚生労働大臣指示に基づく、新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施するための体制を確保する。 | 希望者が期間内に接種を終えるために医師会及び管内市町村と打ち合わせを行い、集団接種の実施が必要となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 接種者数、接種率＜R3:1回目/2回目/3回目(R4.3.31) R4:オミクロン株(R5.3.28)＞ | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | ワクチン接種対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 2 | | オミクロン株対応ワクチン接種の対象者は初回接種が終了した12歳以上の町民であり、接種間隔が短縮され場合は希望者が医療機関の接種能力を超える事が想定される。 | 希望する住民が安全に接種できる体制を構築し、予防接種を実施する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| | | | | | 15,562・87.16/15,462・86.60/10,833・60.67 | 9,570、66.6 / 人、% |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 漣温泉のぞみの湯管理支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 152,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 町が所有する源泉を利用した共同浴場であり、地域住民が管理運営を行っている。当該施設用地は借地であるため、町が土地所有者と契約を締結し、土地賃貸借料を支出している。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 点検回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 特になし。 | 特になし。 | 1 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 特定健康診査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19,164,267 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | メタボリックシンドロームに着目した健康診査と保健指導事業。40歳から74歳までの国保加入者が対象。平成20年度から各医療保険者に実施が義務付けられた。集団及び個別健診方式。 | AIによる勧奨通知を発送し、受診率向上に向け取り組んでいる。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 病気の早期発見 | | | 特定保健指導対象者数・特定保健指導実施者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 | 款 6 項 1 目 1 | 健診受診率及び保健指導実施率向上。受診勧奨の実施。 | 引き続き特定健診未受診者対策事業を行い、受診率の向上を目指す。また、保健指導についても実施率の向上を目指す。 | 203・61 | 161・63 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 健康づくり事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 965,718 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 長期的な医療費削減を目的として行っている健康教室・料理教室・健康相談事業。（国保特別会計分） | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 健康な心と体の維持・増進 | | | 教室等実施回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 | 款 6 項 2 目 1 | 課題なし | 実施主体である子育て健康課と連携をとり、事業を継続する | 19 | 19 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 人間ドック等検診費助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,924,360 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | 被保険者に対して、人間ドック受診費用の3分の2（上限30,000円、脳ドックも受けた場合は50,000円）を助成する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 病気の早期発見 | | | 支給（助成）件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 | 款 6 項 2 目 1 | 課題なし | 特になし | 373 | 383 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業 | | 000003 | 健康診査事業 | | | | | | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,380,003 円 | |
| 施策体系 | 施策 | 05 | 健康づくりの推進 | | | | | | | | | | 後期高齢者健診の実施。フレイル予防等に関する健康教室の実施。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実施。人間ドック検診費助成事業の実施。 | 特になし | 事業実績 | | |
| | 基本事業 | 02 | 病気の早期発見 | | | | | | | | | | | | 健診受診者数 | | |
| 組織名 | | 町民福祉　課 | | 医療　係 | | | | | | | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 健診受診率の向上。 | 特になし | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | | 会計 | 3 | 款 | 4 | 項 | 1 | 目 | 1 | | | | | 994 | 1039 | 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 8 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |
| 施策 | 6 | 医療の充実 | 関係課 | 子育て健康課　健康推進係 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 安心して医療を受けられる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 地域医療の充実 | 身近で適切な医療を受けられない人 | 身近で適切な医療を受けられる。 |
| | 2 | かかりつけ医制度の普及 | 町民 | かかりつけ医を持つ。 |
| | 3 | 医療保険制度の健全な運営 | 町民 | 医療保険制度を利用できる。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・地域で適切な医療を受けられるよう医師・看護師の確保と医療へき地の医療体制を確保します。
・誰もが安心して医療保険制度を利用できるよう、国民健康保険及び後期高齢者医療保険を健全に運営します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 医師数（2次保健医療圏内/町内） | 人 | 実績値 | 138/13 | → | 149/11 | → | 152/12 | → | 未公表 |
| | | | 目標値 | | 138/13 | 138/13 | → | 138/13 | → | 138/13 |
| B | 医療に不安を感じている町民の割合 | % | 実績値 | 58.0 | 56.7 | 58.5 | 55.8 | 54.9 | 55.9 | 53.1 |
| | | | 目標値 | | 58.0 | 56.0 | 54.0 | 52.0 | 50.0 | 48.0 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）医師数が多ければ、町民が安心して医療を受けられると考え成果指標とした。
　健康福祉統計年報により把握
※2年ごとに厚生労働省で集計されており、集計結果については翌々年度に公表となる。
　令和4年については令和5年6月現在未公表

B）直接的な設問であり、数値が低ければ、安心して医療を受けられていると考え成果指標とした。
　町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※医療に不安を感じていますか。→「感じている」「どちらかと言えば感じている」と回答した人の割合

**目標値設定の考え方**

A）医師数については、健康福祉統計年報からの把握で、2年に1度内容の更新が行われるためリアルタイムに把握するのは難しい状況であるが、利根沼田地域では病床数や診療科目の比較的多い総合系病院での常勤医が年々減少、医師の地域偏在傾向が進んでいると言われている。開業医の診療所閉鎖などもでてきており、みなかみ町でも同様なことがおきている。医師の確保に向けては近隣市町村と連携、引き続き県や関係機関に対し医師確保の働きかけを行いながら、2次医療圏内の医師数及び町内の医師数は現状維持（138人/13人）とすることとした。

B）医療施設数が多ければ町民が安心して医療を受けられると考える。A）の課題と直結する。医師等の確保の状況により数値が上下してくるものと推察するが、へき地診療をはじめとする地域医療の充実への要望や実施医療機関への支援などを行いながら、住民の不安を2%ずつ解消していく目標とした。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・かかりつけ医を持つ。<br>・保険制度の運営に必要な保険料（税）を納付する。<br>・多重・重複受診を極力避け、医療を適正に利用する。 | ・医師等の確保、救急医療体制、へき地診療体制の維持といった地域医療体制の充実を図る。<br>・国保をはじめとする医療保険制度の健全な運営に努める。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・2018年度から国保広域化により、財政主体（＝保険者）が市町村から群馬県に変更になり(2018年度国保制度改革）保健事業については引き続き市町村が実施主体になっている。<br>・2019年度から利根沼田医療圏で出産のできる医療機関が1ヵ所となった。<br>・2019年度末から新型コロナウイルス感染症が流行し、2021年5月に新型コロナウイルスワクチンの接種が始まる。<br>・2022月1月、水上地区の医療機関が閉院となり無医地区となった。 | ・利根沼田圏域に専門医が少ないため増やして欲しいとの要望がある。<br>・利根沼田医療圏に産科、小児科を増やして欲しいという要望がある。<br>・専門的な医療機関が近くになく遠い。<br>・水上地区は、身近で内科等の診療が受けられないので早期解消の要望がある。 |

| 施策 | 6 | 医療の充実 | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①２年ごとに実施される健康福祉統計年報によると、医師数は２次保健医療圏内においては微増しているが、町内医師数については横ばい状態である。<br>（令和４年健康福祉統計年報の医師数の統計について、令和５年６月現在未公表。県健康福祉部に確認したところ令和２年時点のものが最新とのこと。）<br><br>②町民アンケートによると、医療に不安を感じている町民の割合は、昨年より全体で2.8ポイント減少し53.1%となったが、無医地区である水上地区に関しては、63.6%と割合が高くなっている。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①健康福祉統計年報によると、２次保健医療圏内（利根沼田管内）の医師数は、みなかみ町12人、沼田市131人、片品村2人、川場村6人、昭和村1人。人口１０万人あたりに換算すると、みなかみ町66.1人、沼田市281.5人、片品村48.8人、川場村168.7人、昭和村14.0人で、利根沼田管内全体では191.2人、県全体では238.4人となっており、水準は低い状態である。また、県内の町村部は83.8人、市部は265.5人となっており、市部への医師の偏りが顕著である。<br>（令和４年健康福祉統計年報の医師数の統計について、令和５年６月現在未公表。県健康福祉部に確認したところ令和２年時点のものが最新とのこと。）<br><br>※医療に不安を感じている町民の割合は、他市町村のデータがないため比較できない。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①医師数については、２次保健医療圏内では目標値138人に対して14人多いが、町内では目標値13人に対して1人少ない12人となっている。<br>（令和４年健康福祉統計年報の医師数の統計について、令和５年６月現在未公表。県健康福祉部に確認したところ令和２年時点のものが最新とのこと。）<br><br>②医療に不安を感じている町民の割合は、目標値48%に対して実績値53.1%で、昨年より2.8ポイント減少したものの、目標値には5.1ポイントとどかなかった。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域医療の充実 | A 医療施設数(病院/一般診療所) | 件 | 実績値 | 2/7 | 2/7 | 2/7 | 2/7 | 2/7 | 2/6 | 2/6 |
| | | | | 目標値 | | 2/7 | 2/7 | 2/7 | 2/7 | 2/7 | 2/7 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | かかりつけ医制度の普及 | A かかりつけ医を持っている町民の割合 | % | 実績値 | 72.8 | 75.1 | 75.5 | 76.2 | 77.8 | 70.5 | 72.8 |
| | | | | 目標値 | | 73.0 | 73.4 | 73.8 | 74.2 | 74.6 | 75.0 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 医療保険制度の健全な運営 | A 1人あたりの医療費 | 円/年 | 実績値 | 348,546 | 344,563 | 350,962 | 345,695 | 344,555 | 377,277 | 288,244 |
| | | | | 目標値 | | 353,546 | 358,546 | 363,546 | 368,546 | 373,546 | 378,546 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域医療の充実 | ①利根沼田圏域に、産科医・小児科医・精神科医が少なく、専門医の確保が必要である。<br>②医療へき地に対するケアが必要であるため、引き続き、へき地巡回診療に取り組む必要がある。<br>③水上地区は、医療機関が閉院し無医地区になり、身近で内科等の診察が受けられなくなった。 | ①医師不足に対しては、沼田利根医師会及び利根沼田管内の各市町村や群馬県と連携して検討していく。<br>②へき地医療に対しては、国立病院機構沼田病院と沼田脳神経外科循環器科病院で実施している巡回へき地医療が継続できるよう取り組み、へき地の医療体制を確保していく。<br>③無医地区問題に対しては、当該医院の意向や沼田利根医師会の意見を聞きながら検討をすすめる。 |
| 2 | かかりつけ医制度の普及 | かかりつけ医を持っている割合は若年層ほど低くなっているため、認識を深めてもらう必要がある。 | ①かかりつけ医を持つことの重要性について認識を深めてもらうため、群馬県保険者協議会や沼田利根医師会と連携して広報やチラシ等で周知する。<br>②かかりつけ医を持つことによって重複多受診を避け、医療費の適正化に繋げる。 |
| 3 | 医療保険制度の健全な運営 | 社会保険や後期高齢者医療保険への移行が増え、国保被保険者が減少していることに伴って、一人当たりの医療費は減少しているが、被保険者の高齢化・生活習慣病の増加・医療技術の高度化・感染症の流行など医療費の増加につながる原因が多くあるため、国保事業の安定的な運営については長期的に見ていく必要がある。 | ①健診未受診者に対して、AIによる分析に基づく受診勧奨を行い受診率向上を目指す。<br>②KDB等を活用し町民の疾病発病傾向を分析し、第３期データヘルス計画策定を行う。<br>③重複多受診対策やジェネリック医薬品の推奨など、医療費の適正化に努める。<br>④国民健康保険税の収納率の向上に努める。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 高速救急支弁金負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,889,960 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | みなかみ町管内の高速道路内で災害等が発生した場合は、東日本高速道路(株)から利根沼田広域消防本部へ出動の依頼がある。費用は、町を経由して広域消防へ支払われる。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域医療の充実 | | | 高速道路救急出動件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 14 | 7 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000028 | 【繰出金】後期高齢者医療特別会計(一般→後期) | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 89,000,529 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 事務費繰出金<br>基盤安定繰出金 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 繰出金額 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 8 | 課題なし | 特になし | 84556 | 89000 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000029 | 後期高齢者医療療養給付費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 336,134,498 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 後期高齢者医療保険が保険医療機関に支払う療養給付費の12分の1を町が負担する | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 8 | 課題なし | 特になし | 3933 | 3973 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000054 | 【繰出金】国民健康保険特別会計(一般→国保) | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 150,604,585 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 保険基盤安定繰出金、未就学児保険料繰出金、職員給与等繰出金、出産育児一時金繰出金、財政安定化支援事業繰出金、その他繰出金(福祉医療費削減分)等の法定内繰出金。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 繰出金額 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 3 | 課題なし | 特になし | 152,180 | 150,605 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 利根沼田広域医療運営費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19,196,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 利根沼田広域市町村圏整備組合が実施する各種医療事業への負担金。 | 現在の巡回車を修繕し使用することになった。<br>発熱外来は令和4年3月31日で終了し、令和4年度は休日夜間診療所を開設することができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域医療の充実 | | | 巡回診療受診者数(延べ)、休日急患診療所患者数(累計)、在宅当番医患者数(圏域合計) | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 1 | 巡回診療車購入について、継続の申し入れをしたが価格が高騰したため検討が必要である。発熱外来開設のため休止していた休日夜間診療所の再開が必要である。 | へき地診療・救急等は同様に実施する。産婦人科医の減少から管内の周産期医療確保のため、新たに「周産期医療維持費補助金」を創設する必要がある。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 149、38、1,159 | （翌年度10月に実績報告あり）　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 保健衛生総務費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 195,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて地域医療の充実を図る。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域医療の充実 | | | 支払い件数 | |
| 組織名 | 子育て健康　課 | 健康推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 1 目 1 | 課題なし | 課題なし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 3 | 3　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 保険税賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,744,512 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 国民皆保険の下、ケガや病気をしたときなどに医療を受けられる制度に係る保険税の賦課徴収。本算定による賦課業務。加入、脱退の異動処理。税還付処理。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 督促件数 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 | 款 1 項 2 目 1 | 保険税の算出は複雑なため理解を得にくい。また税負担が重く滞納も多額となり、税徴収も一苦労である。今後税率改正などを検討し適正化を図る必要がある。 | 群馬県国民健康保険運営方針による。<br>引き続き、適正課税・公平徴収に努める。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 3,157 | 2,947　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000030 | 一般被保険者保険税還付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,720,484 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 過誤納や異動により発生した還付金を返す。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 還付金額 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 | 款 9 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 2,427 | 1,721　千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000047 | 一般被保険者保険税還付加算金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 過誤納や異動により発生した還付金を返す。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 還付加算金額 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 9 項 1 目 3 | | 課題なし | なし | 15 | 10 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 一般管理事業（国保） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,060,173 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 国保事業を円滑に運営するための一般管理費用 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 1 項 1 目 1 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 診療報酬明細書点検事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,044,396 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | レセプト点検業務（国保連合会へ委託）による財政効果率の向上、保険者による重複頻回受診者の把握、第三者行為（交通事故等）の把握、保険者間調整の実施などにより医療費の適正化を図る。 | 審査関係図書の購入、研修会への参加 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | レセプト点検枚数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 1 項 1 目 1 | | 内容点検は専門的知識が必要であるため、保険者側の内容点検に対するレベルアップの必要あり。 | 引き続き保険者側のレベルアップに努め、財政効果率の向上につなげる。 | 67454 | 64766 / 枚 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 国民健康保険団体連合会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 908,104 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 群馬県国保連合会に委託するための負担金 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 1 項 1 目 2 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 運営協議会事業（国保） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,520 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 国保事業の運営に関する重要事項を審議し、事業が円滑に実施されるよう国民健康保険法第11条により規定。1号委員（被保険者代表）、2号委員（保険医または薬剤師代表）、3号委員（公益を代表する委員）、4号委員（被用者保険等保険者を代表する委員）で構成。定数は町条例で定める14名。任期は2年（令和6年3月末任期満了）。 | 事務局側の国保制度の理解度向上。わかりやすい資料作成。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 協議会開催回数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 1 項 3 目 1 | | 国保制度や標準保険料率など、委員（特に1号委員）の方には耳慣れない用語や複雑な内容の議題について承認していただくため、会議開催には事務局側の十分な準備が必要になる。 | 数年後の保険税統一を見込んだ健全な国保財政を目指し、議論を重ねる。 | 2（書面開催） | 2（うち書面開催1） / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 一般被保険者療養給付費事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,358,518,668 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 被保険者が医療機関で診療を受けた際の費用について、法に定める給付割合の範囲で給付する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 1 目 1 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 一般被保険者療養費事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,655,027 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 保険証を持たずに診療を受けたとき、治療用補装具代、医師の指示ではり・きゅう・マッサージを受診したときなど、法に定める給付割合の範囲で給付する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 1 目 3 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000034 | 診療報酬明細書審査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,721,644 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 国保連合会へ委託しているレセプト点検業務の審査手数料。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 再審査請求レセプト枚数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 1 目 5 | | 課題なし | 特になし | 1624 | 1618 / 枚 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 一般被保険者高額療養費事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 195,061,519 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 被保険者の1ヶ月の医療費が自己負担額を超えた場合、超えた金額を支給する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 2 目 1 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 一般被保険者高額介護合算療養費事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 591,505 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 高額療養費の限度額と高額介護サービス費の限度額の合計が所定の限度額を超えた場合に支給される。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 支給件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 2 目 3 | | 課題なし | 特になし | 14 | 12　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 葬祭費支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,350,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 被保険者が亡くなったとき、葬祭執行者に50,000円支給する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 支給件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 5 目 1 | | 課題なし | 特になし | 28 | 32　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000055 | 傷病手当支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 264,589 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染したことを理由に勤務できなかった場合に、休業日数に応じた手当金を支給する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 申請件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 2 項 6 目 1 | | 課題なし | 特になし | 0 | 8　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 一般被保険者医療給付費分納付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 403,671,730 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保のため、財政運営の主体である県に対して、県より示された納付金を納める。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 3 項 1 目 1 | | 特になし | 特になし | 4955 | 4741　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000038 | 一般被保険者後期高齢者支援金等分納付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 145,991,802 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保のため、財政運営の主体である県に対して、県より示された納付金を納める。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 3 項 2 目 1 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000053 | 介護納付金分納付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 52,681,886 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保のため、財政運営の主体である県に対して、県より示された納付金を納める。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 3 項 3 目 1 | | 課題なし | 特になし | 4955 | 4741　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 共同事業拠出金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 117 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 退職者医療事業に対する共同拠出金を国保連合会に支出する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 退職被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 4 項 1 目 1 | | 課題なし | 特になし | 0 | 0　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 医療費のお知らせ事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 766,953 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 健康づくりへの動機付けと不正受給の防止、確定申告の医療費控除の資料として、医療費のお知らせハガキを世帯主あてに年3回郵送している。<br>また、医療費の削減を目的に、処方された医薬品に200円以上差額があるジェネリック医薬品がある場合、対象者にお知らせハガキを年2回郵送している。 | 国保連の共同事業でハガキを作成しており、町ではハガキの再発行ができないため、総合システムでデータ抽出し交付している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 通知回数（医療費・差額） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 6 項 2 目 1 | | 医療費のお知らせハガキが、確定申告の医療費控除に使用できるようになり、発行時期や再発行の問い合わせが増加。 | 特になし | 3・2 | 3・2 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000040 | 保険給付費等交付金償還金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,510,113 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 保険給付費等交付金に返還が生じた場合、交付金を償還する | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 2 款 9 項 1 目 4 | | 特になし | 特になし | 4955 | 4741 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 一般管理事業（後期） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 569,682 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 後期高齢者医療事業を円滑に運営するための一般管理費用 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 申請受付枚数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 3 款 1 項 1 目 1 | | 課題なし | 特になし | 1404 | 1731 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 保険料賦課徴収事業（後期） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 612,721 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 後期高齢者医療保険料の徴収業務 | 口座振替の促進 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 3 款 1 項 2 目 1 | | 相次ぐ町内金融機関の支店閉鎖より、納付可能場所が減ってきている。 | コンビニ収納など収納方法の拡充 | 3933 | 3973 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000049 | 被保険者情報管理事業（後期） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,222,596 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 標準システム及びe-SUITEシステムの保守管理委託料、使用料。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 3 | 款 1 項 2 目 1 | 課題なし | 特になし | 3933 | 3973　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000025 | 後期高齢者医療広域連合負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 280,999,121 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 群馬県後期高齢者広域連合に対する共通経費（職員人件費、事務所経費、電算委託費）及び保険料に対する負担金 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 3 | 款 2 項 1 目 1 | 課題なし | 特になし | 3933 | 3973　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000050 | 保険料還付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 340,900 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 06 | 医療の充実 | 後期高齢者医療保険料過誤納金の過年度分返還金 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 医療保険制度の健全な運営 | | | 年間平均被保険者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 医療　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 3 | 款 3 項 1 目 1 | 課題なし | 特になし | 3933 | 3973　人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |
| 施策 | 7 | 消防防災対策の強化 | 関係課 | 地域整備課　土木係 | |

**施策の目的**

| 対象 | 意図 |
|---|---|
| 町民 | 生命・財産が災害から守られる。 |

**基本事業**

| | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|
| 1 | 防災意識の高揚 | 町民 | 災害に対する意識を高め、備えを行う。 |
| 2 | 消防団員確保と活動環境の整備 | 消防団 | 消防団を中心として地域における防災力の充実を図る。 |
| 3 | 防災体制の強化 | 町民 | 災害に対応できる体制を強化する。 |
| 4 | 災害危険箇所対策の推進 | 町民 | 災害に遭わない。 |

**施策の基本方針**

・町内統一した情報伝達システムを整備し、災害情報を迅速に提供できる体制づくりに努めます。
・防災意識の高揚や自主防災組織を強化するために地域の防災士を育成し、災害時に地域住民自ら生命や財産、安全確保できる体制づくりを目指します。
・消防水利や消防車両・資機材等を計画的に整備するとともに、消防組織の強化・充実を図ります。
・防災に係る危険箇所対策として、治山治水、中小河川の整備を推進します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 火災件数/災害による住家被害棟数 | 件 | 実績値 | 16/0 | 13/0 | 6/0 | 21/0 | 18/0 | 3/0 | 11/5 |
| | | | 目標値 | | 10/0 | 9/0 | 8/0 | 7/0 | 6/0 | 5/0 |
| B | 火災及び災害による人的被害者数（死者/傷者） | 人 | 実績値 | 1/0 | 0/4 | 0/0 | 3/1 | 0/0 | 0/0 | 0/1 |
| | | | 目標値 | | 0/0 | 0/0 | 0/0 | 0/0 | 0/0 | 0/0 |
| C | 火災による損害額 | 千円 | 実績値 | 6,140 | 70,493 | 12,892 | 62,632 | 29,977 | 1,093 | 11,750 |
| | | | 目標値 | | 6,140 | 5,157 | 4,584 | 4,011 | 3,438 | 2,865 |
| D | 消火器設置率/火災警報器設置率 | % | 実績値 | 59.4/38.5 | 59.3/35.5 | 59.0/35.8 | 56.5/36.9 | 60.4/35.7 | 56.0/38.4 | 58.2/25.6 |
| | | | 目標値 | | 60.0/40.0 | 64.0/44.0 | 68.0/48.0 | 72.0/52.0 | 76.0/56.0 | 80.0/60.0 |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）件数が減れば、町民の生命・財産が守られると考えられるため、成果指標とした。「災害による住家被害棟数」とは、自然災害による被害棟数を指し示す。
※1月～12月の数値。
B）年間人的被害者数が減れば、町民の生命が守られているといえるため、成果指標とした。
※1月～12月の数値。自然災害＋火災
C）年間損害額が減れば、町民の財産が守られているといえるため、成果指標とした。
※1月～12月の数値。
D）数値が高まれば、町民の生命・財産が守られると考えられるため、成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、災害に対する備えをしていますか。→「消火器を設置する」「火災警報器を設置する」と回答した人の割合

**目標値設定の考え方**

A）過去4年間（2013～2016）の平均値は、火災件数16件、自然災害による住家被害棟数はないが、他と比較して件数が多い。成り行きでは、毎年程度の被災が予想されるが、火災予防運動を充実させ、2022年度までの5年間で全国平均（2016実績1万人あたり5件）を目指す。2.9件×16千人/10,000人=5件。自然災害による住家被害棟数の目標値は0棟とする。【（人口1万人あたり火災件数（2016））全国平均：2.9件、県平均：3.8件、利根沼田平均：4.9件、みなかみ町平均：8.5件】
B）過去4年間（2013～2016）の平均値は、死者0.5人、負傷者0.5人。成り行きでは、隔年程度で想定されるが、人的被害者は0件を目指す。
C）過去4年間（2013～2016）の平均値は、9,174千円。火災1件あたりの平均は、573千円。初期消火により損害額を抑え、1件あたりの損害額を573千円とし、2022年度の目標値を2,865千円とする。【（火災1件あたり損害額（2016））全国平均：2,432千円、県平均：2,117千円、利根沼田平均：6,640千円、みなかみ町：383千円】
D）2017年度（平成29年度）アンケート結果では、「消火器を設置する」が59.4%、「火災警報器を設置する」が38.5%となっている。消火器の設置義務はないが、火災警報器の設置は義務化されている。100%の設置が望ましいが、費用負担棟に起因する未設置を考慮し、2022年度の目標値を消火器については80%、火災警報器については60%を目指す。【（火災警報器の設置率(2017)）全国平均：81.2%、県平均：71.8%、利根沼田平均：62.0%】

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・自分の命は自分で守る意識を高め、災害に対する備えを行うなど自主防災に努める。<br>・地域での防災意識を高め、地域防災力の向上に努める。災害時に助け合う。 | ・消防水利や消防・防災施設の整備を行う。<br>・消防団の充実・強化や防災士の資格取得を推進し、自主防災組織の育成、防火・防災意識の高揚を図る。<br>・防災に係る危険箇所対策として、治山治水・中小河川を整備する。<br>・災害発生時には災害状況の把握、関係機関や住民への情報提供、避難準備・勧告・指示を行う。<br>・町内統一した複数の災害情報伝達手段を構築する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・2001年電波法関係審査基準の改正により、アナログ方式の防災無線は2022年11月に利用停止を迎える。<br>・少子高齢化や就職環境の変化により、消防団員の充足率は年々低下していく。<br>・災害対策関係法が年々改正され、学校、介護施設等や要支援配慮者の施設別・個別の避難計画や訓練の実施が求められている。<br>・地球温暖化による異常気象により集中豪雨やゲリア豪雨などの大規模災害が発生している。<br>・新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延している状況である。 | ・消火栓・防火水槽の設置及び既存施設の改修。<br>・たかさき消防指令センターからの火災発生吹鳴が聞き取れないので、町緊急一斉メールに火災発生場所の位置図を添付してほしい。また、町内統一した防災無線システムの整備。<br>・突発的な大雨による土砂災害やダム崩壊を心配している。<br>・土砂災害特別警戒区域内の対策をしてほしい。<br>・自主防災組織の強化。<br>・感染予防対策等新型コロナウイルスの迅速な情報提供を求められている。 |

| 施策 | 7 | 消防防災対策の強化 | 主管課 | 名称 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☑ かなり低下した。 | ①火災件数は、令和3年度の3件から8件増加し11件。内訳は、建物火災5件(+2)、林野0件(0)、車両2件(+2)、その他火災が4件(+4)である。<br>※( )内の数値は前年との比較件数。<br>②年間の被害者数は、令和3年度が死者0名・負傷者0名に対し令和4年度は死者0名・負傷者1名である。<br>③火災による損害額はまだ正式な発表はされていないが昨年の1,093千円から、約11,750千円となると聞いており、損害金額は昨年の10倍ほどが予想される。<br>④町民アンケートによると、消火器の設置率は56.4%から58.2%に増加し、火災警報器設置率は38.4%から25.6%へ減少している。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☑ かなり低い水準である。 | ①昨年の利根沼田広域管内の火災総発生数は35件であった。沼田市は11件で6件減少、片品村は2件で3件減少、川場村は1件で変わらず、昭和村は10件で7件増加となった。みなかみ町は11件発生し昨年の3件から8件増加したことで、割合は全体の約31％であった。前年の10％にくらべて成果は低い水準となった。<br>②火災による死者数は、管内においては令和3年の0名から令和4年は2名に増加した。みなかみ町の死者は昨年に引き続き0名であった。<br>③広域管内の火災による損害は、建物火災が19件中、沼田市8件、片品村2件、川場村1件、昭和村3件、みなかみ町5件ということで、沼田市(42%)とみなかみ町(26%)で約68%を占めている。みなかみ町の令和3年からみた令和4年の損害額が増加したことにより成果は低い水準となった。<br>④火災警報器設置率については、利根沼田広域消防の抽出調査において、設置率が71%となっており、みなかみ町の設置率が25.6%であり低い数値となっている。ただし、調査方法が訪問調査の広域消防と違い、町民アンケートによる調査数値のため、アンケート回答者が設置済みの火災警報器を認識していないというケースもあるため、一概にみなかみ町が他団体より低いとはいいきれない。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | ①火災件数が目標値5件に対し11件と目標を大きく下回ることとなった。<br>②火災及び災害による人的被害者数は目標値0/0に対し0/1と負傷者が出たため目標を達成することが出来なかった。<br>③火災による損害額は目標値2,865千円に対して約10,600千円と大幅な増加で目標を大きく下回った。<br>④消火器設置率は、目標値80.0%に対して58.2%、火災警報器設置率は、目標値60.0%に対して25.6%と共に目標を達成することができなかった。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 防災意識の高揚 | A | 災害に対する備えをしている町民の割合 | % | 実績値 | 75.5 | 73 | 75.2 | 76.2 | 78.8 | 77.4 | 76.2 |
| | | | | | 目標値 | | 76.0 | 76.5 | 77.0 | 78.0 | 79.0 | 80.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 消防団員確保と活動環境の整備 | A | 消防団員数/機能別消防団員数 | 人 | 実績値 | 592/0 | 583/0 | 581/0 | 584/0 | 565/3 | 562/7 | 548/8 |
| | | | | | 目標値 | | 583/0 | 583/0 | 583/20 | 583/30 | 583/50 | 583/70 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 防災体制の強化 | A | 防災士資格取得者数 | 人 | 実績値 | 14 | 14 | 32 | 34 | 35 | 41 | 45 |
| | | | | | 目標値 | | 14 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | 災害危険箇所対策の推進 | A | 土砂災害危険箇所数（対策済箇所/要対策箇所） | 箇所 | 実績値 | 75/242 | 80/242 | 85/242 | 86/242 | 87/242 | 88/242 | 89/242 |
| | | | | | 目標値 | | 77/242 | 78/242 | 78/242 | 79/242 | 79/242 | 80/242 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 防災意識の高揚 | ①町民が安全で安心な生活を行うために、防災における状況に応じた対応が必要である。<br>②令和2年9月の集中豪雨や12月の豪雪など災害時の避難経験や広報等による周知を通して、住民の防災意識は徐々に向上しつつある。大雨等による被災が想定される場合に、どのような行動を取るべきか啓発する必要がある。 | ①警報発令時や災害時には、防災マップ等を活用すると同時に、正確な情報を防災Infoみなかみ、ホームページ、群馬テレビデータ放送を利用し、周知を図る。<br>②災害に備え、防災マップを活用した避難所運営のマニュアル等に即した対応を行う。<br>③自主防災組織活動補助金制度の拡充を図る。<br>④B&G財団の支援金を活用した防災拠点の整備と避難所開設訓練や災害訓練を実施し災害に対応できる防災組織を育成する。 |
| 2 | 消防団員確保と活動環境の整備 | ①新規入団員不足により高年齢化、長期在籍化が進んでいる。また、団員の勤務形態の多様化により、従来の消防活動の参加率が増加しない。<br>②機能別消防団員制度が創設されたが、各分団の事情が相違していること、また、募集や活用方法についての課題がある。 | ①分団員の負担となっている活動等を見直し、各行政区や、町内外の企業等へ理解・協力を求め、消防団員の確保・維持に努める。また、広報等で募集を行う。<br>②高年齢や諸事情により消防団活動が困難になった団員に対して、非常時等のみ消防団活動を実施する機能別消防団に移行を依頼していき増員することで組織の拡充を図る。 |
| 3 | 防災体制の強化 | ①全町統一された緊急情報伝達手段として防災情報配信システムである防災Infoみなかみが運用され、情報アプリのダウンロードとメール登録や高齢者等において戸別受信機の普及が必要である。<br>②防災士が有効に活用されていない。 | ①防災Infoみなかみの導入による防災情報配信システム普及のため町の広報・ホームページや各戸配布・回覧等による周知を図る。<br>また、アプリのPR及び登録のサポートや戸別受信機の貸し出しをすることで普及を図る。<br>②防災士拡充のため各行政区の自主防災組織や消防団分団長経験者に対して防災士取得費助成金制度を啓発し防災士の資格を取得することで、地域の防災力向上を図る。 |
| 4 | 災害危険箇所対策の推進 | ①令和元年の土砂災害警戒区域の見直しを、令和3年度の更新でハザードマップに反映したが、常に最新情報を提供する必要がある。<br>②災害危険箇所について、危険箇所があっても実際に被害があり、一定程度規模以上でないと、補助対象とされない。 | ①各行政区と連携し、土砂災害警戒区域・浸水想定区域等、最新の情報をハザードマップ等に反映し更新する。<br>②災害危険箇所について、関係機関と協議し速やかに対策を講じ、予防保全のため計画的な維持補修を進める。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 利根沼田広域消防運営費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 339,456,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 広域市町村圏の消防業務（水利の設置・管理及び非常備消防の事務を除く。）の共同処理に対する負担金の支出。町内には西消防署、北消防署の2署体勢。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 広域消防職員・消防車保有台数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 139人・28台 | 139人・28台 / 人・台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 消防団行事運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 305,619 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団行事である秋季点検、年末警戒、出初式、ポンプ操法を運営する。 | コロナの影響で年末警戒、出初式を縮小して開催。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 消防団員確保と活動環境の整備 | | | 参加団員数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | サラリーマン団員が増加したため訓練の継続や活動の維持が課題であるが、訓練の重要性を再認識し、必要な訓練を定期的に実施することが重要である。 | 団員減少、生業の多種化による自主的定期的訓練実施が困難となってきており、団として取り組んでいくことも検討していく。 | 562 | 548 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 消防自動車・ポンプ維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,376,110 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団員が管理する消防用機械器具物品及び備品・車両の維持管理のための事業 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 消防団員確保と活動環境の整備 | | | 保有車両台数（うち小型ポンプ積載車数） | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 課題なし | 団員減少によるやむを得ない車両削減 | 50（34） | 50（34） / 台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 消防団運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 48,089,601 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団員の報酬等の支給<br>消防団員やその家族を対象とした福祉共済金の支払い。消防組織は、団本部、10の分団で構成され、旧町村単位に方面団を組織している。 | 本部役員である副団長3名の削減を実施し本部のスリム化を図れた。消防団員の待遇改善として災害救助活動のために、マイカー等を使用している間に起きた自動車事故を補償する消防団員マイカー共済に加入。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 消防団員確保と活動環境の整備 | | | 団員数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 新入団員の確保ができず、現職団員の高齢化及び長期勤続が進んでいる。 | 人員減に対応するための車両削減、詰所の統廃合、組織のスリム化 | 562 | 548 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 消防自動車・ポンプ整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 39,598,984 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団員が管理する消防用機械器具物品及び備品・車両の維持管理のための事業 | 消防ポンプ自動車１台、小型動力ポンプ付き積載車１台を更新し、消防・防災力の機能維持につながった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 消防団員確保と活動環境の整備 | | | 整備（更新）台数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 車両状況及び登録年数等を考慮し、毎年度更新していく必要がある。 | 車両の状況を確認しながら予算に応じて更新を実施していく。 | 3 | 2　台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 消防協力員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団員の減少や被雇用者化が進み、平日の昼間の火災に即時に対応できる消防団員が減少していることから、消防職団員OBなどを対象に、協力いただける人材を確保する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 協力員登録者数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 消防団を離れてしまうと活動しにくい、団員との接点がなく出動しても手を出していいものか判断に迷ってしまうとの意見があり、消防団との協議、あるいは制度の見直しが必要。 | なし | 167 | 167　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 消防委員会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 253,600 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防委員会の開催<br>消防委員会の構成は、有識者4名、消防団員4名からなる。（※消防行政に関する町長の諮問機関） | 人口減少・高齢化による消防団の組織スリム化や分団の統廃合等が課題である。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 委員会開催回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 今後の消防団の在り方について、H30.3に町長に答申したが、消防団を中心とした地域防災力をどう維持していくか検討が必要である。 | 人口減少・高齢化による消防団の組織スリム化や分団の統廃合等の意見に対する協議、手続きを進めていく。 | 1 | 0　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 防火ポスターコンクール事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 112,123 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 町内の小中学生を対象とした防火啓発活動を通じて、予防消防の大切さを認識させる。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 防災意識の高揚 | | | ポスター出品件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 課題なし | なし | 131 | 182　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 防火協会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 広域消防（西・北消防署）が、事務局となっている団体で、町内事業所等と同様に、町が会員となっている。会員相互の連携と融和、防火意識の高揚を図ることを目的としている。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 会議等参加回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 2 | 課題なし | なし | 2 | 2 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 消防団詰所維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,399,120 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団の拠点となる詰所の維持管理に関する事業 | オーバースライダー・シャッター修繕、外壁修繕、トイレ・漏水修繕等を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 消防団員確保と活動環境の整備 | | | 詰所数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 3 | 改修の要望に基づき行っているが、立て替え等の要望箇所もあり、修繕方法等も検討しなければならない状況にある。 | 区や消防団の管理の下、必要な修繕を実施していく。 | 45 | 45 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 消防水利維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,381,367 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 各地区で管理する消防施設（消防水利）の新設や維持管理に関する業務 | 無蓋防火水槽修繕、防火水槽蓋改修、防火水槽給水管・引き込み水路枡修繕、消火栓標識修繕、防火水槽金網修繕等の実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 水利数（修繕した水利） | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 3 | 経年劣化により防火水槽、消火栓等の改修要望が多く、全ての要望に対応できていない状況である。 | 区や消防団から提出される修繕要望に対して、修繕を実施していく。 | 649（5） | 649（6） / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 消防団詰所・車庫整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 40,056,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 消防団の活動拠点が老朽化しているため、既存の建物を取り壊し、新たに建築する事業 | 第1分団第1部(後閑)詰所の新築工事及び旧第1分団第1部詰所(後閑)の解体工事を実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 消防団員確保と活動環境の整備 | | | 整備した件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 3 | 老朽化が進み、建て替えの要望が行政区から出ている。 | 毎年1件程度の更新 | 0 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 消防水利整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 22,770,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 各地区で管理する消防施設（消防水利）の新設に関する業務 | 耐震性防火水槽2基を設置し、消防施設の強化を図れた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 整備（更新）箇所数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 9 項 1 目 3 | 消防団や地元行政区が消防水利を必要としても、地権者が迷惑施設として認識するケースもあり、用地確保に苦労する場合もある。 | 行政区からの要望により、施設整備を検討・工事を実施していく。 | 3 | 2 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 防災行政無線等維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,316,286 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 防災情報配信・連携メールシステム、災害対応システムの保守及び、防災行政無線、モーターサイレンシステム維持管理等 | 防災行政無線から防災情報配信システムへ移行され運用することが出来た。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 子局数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 9 項 1 目 4 | 防災情報配信システム、災害対応システム等の保守管理。月夜野・新治地区とも戸別受信機の不調が増加。屋外子局の受信機が生産中止、部品供給も止まり、壊れたら修理不能のため運用停止までの対応。 | 防災無線施設の撤去を実施する。 | 85 | 85・18（新規） / 基 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 防災情報発信事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,012,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 登録制メールにより防災・防犯情報を広く町民に発信して安全確保に資する。また、停電や断水情報など生活情報を必要に応じて配信し情報提供を行う。 | 防災情報配信システムの導入により、令和4年11月末日より防災行政無線の廃止と合わせて単独の登録制メールを廃止した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 情報掲載回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 9 項 1 目 4 | なし | 廃止 | 180 | 124 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 災害対策用物資配備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,219,821 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 災害時に必要な物資（食料・飲料水・土のう袋等）の備蓄・管理を行う。 | 新型コロナウイスル感染症対策を踏まえた備品（空気清浄機、スポットクーラー、ストーブ）を追加し避難所における災害対策に取り組んだ。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 備蓄数（アルファ米・水・土嚢袋） | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 9 項 1 目 4 | 備蓄食料・飲料水の円滑な更新や、ニーズに応じた備蓄品目の検討を行う必要がある | 女性目線に対応した備蓄品目を検討し備蓄品として準備。 | 6500・4584・5100 | 6000・11548・2000 / 食・本・袋 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 自主防災組織育成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,774,410 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 地域住民が積極的に防災活動に参加し、互いに協力して地域ぐるみの防災対策を進めるため、自主防災組織の育成を図る。 | 令和元年度から対象事業の拡充・補助限度額の増額を行い、現状のニーズはまかなえていると考える。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 自主防止組織数(補助制度利用数) | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 4 | 本事業を活用する自主防災組織が固定化されており、活用実績がない組織がある。 | より多くの自主防災組織に活用していただくため、予算の拡充や、周知を行う。 | 9 | 18 / 組 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 地域防災計画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,177,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | みなかみ町地域防災計画の改訂。<br>災害対策基本法に準拠した町防災計画の修正及びそれに付随するハザードマップ等の整備を実施する。 | 災害への備え、災害対策、ハザードマップを1冊にまとめた防災マップを作成して町内全戸と関係機関へ配布した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 防災会議の開催 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 4 | 防災基本計画を基に地域防災計画改訂を行い、速やかにハザードマップの更新を行う必要がある。 | 地図情報や災害危険箇所等の変更や更新があった場合には早急に修正を実施する。 | 0 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 多目的広場管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 多目的広場（旧衛生センター跡地）の管理 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 管理面積 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 4 | 課題なし | 令和5年度より地域整備課管理 | 15，413 | 15，413 / ㎡ |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | B&G財団防災拠点整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,311,707 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 日本財団助成事業としてＢ＆Ｇ財団から災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な機材の配備、災害現場で役立つ実践的な研修など人材育成を実施する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 防災体制の強化 | | | 拠点・避難所研修 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 9 項 1 目 4 | Ｂ＆Ｇ財団からの補助事業は3年間の期間限定であるため拠点・避難所研修のその後の継続。 | なし | 0 | 6 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 災害見舞金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 町内で発生した災害に際し、必要に応じて被害災見舞金（弔慰金）を支給し、同情の意を表すと共に、再起されるよう激励する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 災害危険箇所対策の推進 | | | 支給件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 課題なし | 令和5年度より事業の特性を考慮し総務課へ移管された | 2 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 災害弔慰金支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 34,390 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 事務を群馬県市町村総合事務組合で共同処理し、災害弔慰金を支給する。その事務の共同処理の負担金として支出している。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 災害危険箇所対策の推進 | | | 支給件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 3 目 1 | 課題なし | 事務の所管課を検討する | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 県急傾斜地崩壊対策事業費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 18,365,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 群馬県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の町負担金の支払い事業<br>「急傾斜地崩壊対策事業」とは、急傾斜地崩壊危険区域における急傾斜地の崩壊を防止するための事業 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 災害危険箇所対策の推進 | | | 負担金支払対象事業箇所 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 1 目 1 | 県が事業主体となる事業のため、事業の進捗状況により町の負担額が増減する。 | 円滑な事業運営に向けて、県と地元の調整等に努める。 | 5 | 4 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 土木施設災害復旧事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 55,532 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 07 | 消防防災対策の強化 | 測量・設計委託を行い、査定設計書を作成し国の査定を受け、実施設計書を作成の上群馬県の審査を受けるとともに、交付申請等の事務を行い、工事を発注及び施工管理を行い復旧事業を完了させる。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 災害危険箇所対策の推進 | | | 災害復旧箇所数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 11 項 2 目 1 | 近年の局地的集中豪雨により、予想を上回る災害が発生する。 | いつ起こるかわからない災害に対し、対応できるよう緊急連絡網を活用した適正な人員配置体制の準備を心がける。また、公共土木施設が被災した際には、早期に復旧できるよう技術的向上を図る。 | 0 | 0 / 箇所 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |
| 施策 | 8 | 生活安全対策の推進 | 関係課 | 観光商工課　商工振興係 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 犯罪被害、交通事故にあわない、起こさない。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 交通安全・防犯意識の高揚 | 町民 | 交通安全と防犯に対する意識を高める。 |
| | 2 | 交通安全・防犯設備の充実 | 町民 | 交通事故や犯罪被害にあわない。 |
| | 3 | 消費者保護対策の推進 | 町民 | 消費者被害にあわない。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・高齢者や幼児、児童や生徒、歩行者や運転者など、町民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図ります。
・道路区画線、ガードレールやカーブミラーなどの交通安全設備の整備を図り、危険箇所の解消に努めます。
・防犯意識の高揚と、防犯灯・防犯カメラなど防犯設備の整備を図ります。
・消費生活センターと連携し、相談しやすい体制をつくり、広報等を通じて消費に関する正しい知識の普及や被害を防止するため意識啓発を図ります。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 交通人身事故発生件数 | 件 | 実績値 | 73 | 73 | 70 | 51 | 40 | 35 | 47 |
| | | | 目標値 | | 70 | 67 | 64 | 61 | 58 | 55 |
| B | 刑法犯認知件数 | 件 | 実績値 | 86 | 75 | 64 | 78 | 50 | 57 | 27 |
| | | | 目標値 | | 84 | 81 | 79 | 76 | 73 | 70 |
| C | 過去1年間に、消費者被害を受けた町民の割合 | % | 実績値 | 8.4 | 7.1 | 9.5 | 6.6 | 7.8 | 6.8 | 8.9 |
| | | | 目標値 | | 8.1 | 7.8 | 7.5 | 7.2 | 6.9 | 6.6 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
交通人身事故統計年報により実数を把握　※1月～12月の数値
B）刑法認知件数が増えると、身近で犯罪にあう町民が増加すると考えたため成果指標とした。
群馬県防犯推進レポートにより実数を把握
C）直接的な設問であり、数値が減少すれば消費者被害にあっていないといえるため成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合

**目標値設定の考え方**

A）交通人身事故発生件数（町内）は、本町の人口が毎年2%減少していることも勘案し、成り行きでは毎年2件減少すると考える。目標として毎年3件の減少を目指す。【交通人身事故第一当事者市町村別居住状況（人口10万人あたり（2016））沼田市：404人、片品村：281人、川場村：304人、昭和村：399人、みなかみ町：423人】
B）刑法認知件数は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。目標では毎年3件ずつ減少させることとする。【（刑法認知件数（2016））県：14,006件、利根沼田管内：386件、みなかみ町86件】
C）平成29年度アンケート結果では、「過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。」が8.4%となっている。消費者被害が減少すればだまされることも減少すると考え、2022年度には約2%削減の6.6%を目指す。

**施策の目的達成・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。<br>・歩行者、運転手ともに交通ルールを遵守する。<br>・地域ぐるみで防犯意識を高め、犯罪にあわないようにする。<br>・自衛意識（防犯グッズ所持、戸締まり、危険な場所へは行かない等）を持って行動する。<br>・悪質商法など、消費に関する知識を身につける。 | ・関係機関と連携し、交通安全設備の整備を図る。<br>・交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。<br>・信号や停止線、横断歩道など公安委員会への要望事項について、現状及び必要性を具体的に伝える。<br>・地域の防犯活動を支援し、防犯意識を高める。<br>・警察等の関係機関と連携し、非行や犯罪の未然防止に努める。<br>・消費者自身の知識向上と相談機能を充実させ、消費者の保護を図る。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・高齢者ドライバーの事故が多く、運転免許証の自主返納しやすい環境作りが求められてくる。<br>・振り込め詐欺や悪質商法、ネット関連、架空請求などの特殊詐欺犯罪は、ますます巧妙になり被害額が大きくなる傾向にある。<br>・空き巣や自動車盗難は減少傾向にあるが、ここ数年増加傾向にある。<br>・ストーカー・配偶者からの暴力事案は件数こそ減っているものの、重大な結果につながることもあり、また、児童虐待事案は増加する傾向にある。 | ・道路区画線の引き直し、ガードレールやカーブミラーの設置や修繕など、交通安全対策を進めてほしい。<br>・通学路の安全対策を進めてほしい。<br>・運転免許自主返納に伴い、運転経歴証明書の発行手数料の助成やバスカードなどの助成を求める意見がある。<br>・防犯カメラの設置を推進してほしい。 |

| 施策 | 8 | 生活安全対策の推進 | 主管課 | 名称 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☑ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①交通人身事故件数は、令和3年の35件から47件となり12件増加した。<br>②刑法犯の認知件数は、令和3年の57件から27件となり30件減少した。<br>③1年間の間に消費者被害を受けた町民の割合は、全年齢で令和3年度の6.8%から8.9%に増加した。年代別では、30歳代と60歳代が最も多く　11.1%　次に20歳代で10.3%、それに続くのは40歳代の9.3%であった。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①交通事故件数は、沼田警察署管内で令和3年の223件から258件となり35件増加している。沼田市は165件から174件となり9件増加、片品村は7件から14件となり7件増加、川場村は4件から9件となり5件増加、昭和村は12件から14件となり2件増加、みなかみ町は35件から47件となり12件増加となった。<br>沼田警察署管内の交通事故による死者数は令和3年の0人から3人となり内訳は沼田市1人、片品村1人、昭和村1人となっている。傷者数は302人から333人となり31人増加している。沼田市は227人から227人で増減無し、片品村は8人から19人となり11人増加、川場村は7人が14人となり7人増加、昭和村は13人が15人となり2人増加、みなかみ町は、47人から58人となり11人の増加となった。<br>②刑法犯の認知件数は、沼田警察署管内で令和3年の236件から177件となり59件減少している。沼田市は147件から112件となり35件減少、片品村は11件から8件となり3件減少、川場村は11件から6件となり5件減少、昭和村は10件から24件となり14件増加、みなかみ町は57件から27となり30件減少となった。<br>群馬県の市町村別人口1,000人当たりの犯罪発生状況について、沼田市は2.4件で30位、片品村は1.9件で32位、川場村は1.9件で33位、昭和村3.4件で19位、みなかみ町は1.5件で35位となった。令和4年度は利根沼田管内だけでなく群馬県内において低い方から1位となった。<br>③令和4年度の沼田市消費生活センターへの相談件数は、令和3年度の333件から388件となり55件増加している。沼田市は240件から280件となり40件増加、片品村は13件から11件となり2件減少、川場村は7件から6件となり1件減少、昭和村は22件から29件で7件増加、みなかみ町は51件から62件となり11件の増加となった。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①交通事故発生件数は、目標値55件に対して47件と8件下回り、目標値を上回った。コロナウイルス感染症による自粛により県内外からの交通量が減少したことが主な要因と思われる。また、自動車の事故防止装置等の安全性能の向上などの要因も考えられる。<br>②刑法犯認知件数は、目標値70件に対して27件と43件下回り、目標を大きく上回った。県内全体の刑法犯も毎年減少していたが、令和4年度においては、北毛地区以外は増加傾向が見られる。<br>③過去1年間に消費者被害を受けた町民の割合については、目標値6.6%に対して8.9%と2.3ポイント増加したため、目標値を下回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 交通安全・防犯意識の高揚 | A | 交通事故による人的被害者数（死者/傷者） | 人 | 実績値 | 1/101 | 1/96 | 2/101 | 1/68 | 0/62 | 0/47 | 0/58 |
| | | | | | 目標値 | | 0/100 | 0/95 | 0/90 | 0/85 | 0/80 | 0/76 |
| | | B | 身近で犯罪にあう不安を感じている町民の割合 | % | 実績値 | 33.1 | 36 | 41.7 | 40.6 | 38.3 | 36.8 | 44.6 |
| | | | | | 目標値 | | 30.0 | 29.0 | 28.0 | 27.0 | 26.0 | 25.0 |
| 2 | 交通安全・防犯設備の充実 | A | 過去1年間に、道路で危ないと感じた町民の割合 | % | 実績値 | 49.1 | 51.4 | 53.2 | 53.2 | 50.8 | 56.1 | 58.3 |
| | | | | | 目標値 | | 49.0 | 49.0 | 48.0 | 47.0 | 46.0 | 45.0 |
| | | B | 市町村別人口1000人当たりの犯罪発生状況県内順位 | 位 | 実績値 | 21 | 23 | 24 | 19 | 24 | 20 | 35 |
| | | | | | 目標値 | | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 20 |
| 3 | 消費者保護対策の推進 | A | 消費者被害相談件数 | 件 | 実績値 | 41 | 51 | 58 | 75 | 63 | 51 | 62 |
| | | | | | 目標値 | | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 交通安全・防犯意識の高揚 | ①交通人身事故件数及び交通事故による人的被害者数は、令和3年度に比べ増加したが、平成28年度からは減少傾向となっており、今後も住民や町を訪れる方たちの命・身体を守るため持続した取り組みが必要である。<br>②刑法犯の認知件数は、県内では15年以上連続で減少していたが、令和4年度は増加となった。全国的に見ると手口が悪質で、高齢者や若者が標的にされる事件などが多発している。 | ①四季の交通安全運動時の啓発活動や街頭指導、こども園や学校での交通安全教室など啓発活動を行うと共にPTAや警察、教育委員会、地区役員等と連携した活動を行っていく。<br>②ネット詐欺や高齢者を狙った詐欺まがい行為には、啓発チラシや防災アプリ・町のホームページ等を活用した注意喚起。県で実施している高齢者や子どもを対象にした出前防犯講座を社協等団体が活用するための支援を行う。 |
| 2 | 交通安全・防犯設備の充実 | ①カーブミラーやガードレールの老朽化による劣化があり、それらを改修する必要がある。また、交通安全施設として必要な場所の確認を行い設置をしなければならない。<br>②夜間歩行者が通行する道路の点検（暗い箇所の把握）、女性や高齢者・子どもなどにとって、防犯上危険な場所の確認を行い、防犯設備を整備する必要性がある。 | ①各行政区や関係機関から要望・情報提供のあった交通危険箇所や老朽化した安全施設について、計画的な整備を進める。緊急性がある場合必要に応じ早急に対処する。<br>②犯罪行為の抑止力として、大きな役目を果たすのが防犯カメラであるため、警察や行政区、関係機関と連携し計画的に設置を行う。 |
| 3 | 消費者保護対策の推進 | 高齢者や若者をターゲットにした詐欺犯罪や詐欺まがいの行為が増加している。また、送りつけ商法や巧妙な詐欺行為が後を絶たない。 | 詐欺商法の情報やクーリングオフ等契約トラブルの対処の相談ができる、消費生活センターについて広報等で広く町民に周知する。また、相談内容に応じた対応を検討する。<br>高齢者を対象にした特殊詐欺等防止機能付電話機の導入を促進する。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 交通指導隊運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,563,990 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 四季ごとの交通安全運動や、町内で行われるイベント等において交通安全指導を行うことで、交通秩序の確立及び交通事故の防止に努める。 | 新型コロナウイルスの影響により出動機会が減少しているため、取り組みはなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交通安全・防犯意識の高揚 | | | 出動時間・出動回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 12 | 小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通整理をすべて交通指導員に出動してもらうのではなく、費用や話し合いがつけば、民間の警備会社に一部委託を検討。 | 小中学校の統廃合などにより、出動機会の減少が見込まれるため、現状の定員が適切かどうか検討していく。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 43・96 | 45・96 / 時間・回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 交通安全意識啓発事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,128,941 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 四季の交通安全運動などを通じ、交通安全に対する意識啓発を行う。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交通安全・防犯意識の高揚 | | | 交通安全イベント実施回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 12 | 課題なし | なし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 36 | 24 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 交通安全対策施設維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,717,950 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 交通安全施設について、各行政区からの要望や道路状況等を勘案し、必要に応じて整備を行う。 | 区画線4,257.5m、グリーンベルト572m、ガードレール4m、カーブミラー11基、転落防止柵12m、標識（止まれ）1箇所、ポストコーン2個等を整備。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交通安全・防犯設備の充実 | | | 要望に対する設置率 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 12 | 予算執行に際し、地域整備課や群馬県警沼田警察署と協議し、より効果的に交通安全施設の整備を行う必要がある。 | 主に行政区長からの要望書により、必要と思われる物は順番に整備しているが、交付金の対象にならないグリーンベルト、区間の長い区画線やガードレールなど、予算規模から道路改修時ではないと要望に応えられない物も多い。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 69 | 78 / % |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 防犯意識啓発事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 200,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 群馬県沼田警察署等からの防犯チラシ等を各世帯へ回覧のするための事務。<br>また、必要に応じて、防犯啓発品を購入し配布する。 | 特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度を啓発し高齢者の被害防止に努めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交通安全・防犯意識の高揚 | | | 緊急メール配信回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 13 | 手口が巧妙化している上に、切り替わりが早く広報やチラシなどでは手遅れになる危険もあり、タイムリーな情報発信が求められる。 | 特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度と、啓発チラシの配布等を通じ、防犯意識の高揚を目指す。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 0 | 5 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 防犯灯設置費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 589,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 行政区等が設置する防犯灯の設置費の補助（新規は上限4万円、更新は上限2万円） | 新設4万円、更新2万円を補助することで、新設7件9箇所、更新8件12箇所の申請があった。新設件数は減少したが更新件数が増加した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交通安全・防犯設備の充実 | | | 申請数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 13 | 防犯灯の設置は町で行うべきとの意見がある。 | 補助制度を利用していただき、各行政区が防犯灯を設置し電気料等の維持管理も負担してもらう。 | 13 | 15 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 防犯協会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 151,320 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 犯罪のない明るい町づくりをめざし、防犯活動を推進するための組織である防犯協会の会議等を開催する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交通安全・防犯設備の充実 | | | 会議等開催件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 13 | 課題なし | なし | 0 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 防犯設備維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,621,776 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 町が管理する防犯灯の電気料金の支払と照明器具交換等の修繕を行うことによって、町民の安全・安心を推進する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交通安全・防犯設備の充実 | | | 修繕箇所数・設置箇所数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 13 | 行政区をまたぐ場合の防犯灯の設置費及び管理方法。 | 基本として、新設の防犯灯は行政区が補助金を活用して設置する。 | 9・383 | 6・388 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 防犯設備整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,505,498 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 防犯カメラ等、防犯設備の整備を行う。 | 月夜野地区（5箇所）、水上地区（3箇所）に防犯カメラ8台（3台は更新）及び防犯灯付き防犯カメラを2台設置した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交通安全・防犯設備の充実 | | | 整備数（累計設置数） | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 13 | 要望に基づき設置に対応しているが、効果的な設置場所の検討が必要となる。 | 各行政区の要望や警察の意見も取り入れ、優先順位をつけて整備を行う。 | 2（44） | 10（51） / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 防犯対策費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 494,515 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて町の防犯対策の推進を図る。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交通安全・防犯設備の充実 | | | 負担金等支払い件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 13 | 課題なし | なし | 4 | 4　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 消費生活センター運営費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,956,580 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 沼田市消費生活センターに業務委託。契約や取引に関する消費者トラブルで困ったときの相談窓口を開設している。 | 消費生活センターニュースの配布等による広報活動を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 消費者保護対策の推進 | | | 沼田市消費生活センター相談件数（みなかみ町分） | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 7 項 1 目 1 | 消費生活センターの認知度の向上。 | 引き続き消費生活センターの周知を図る。 | 51 | 62　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 消費に関する知識普及事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 70,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 08 | 生活安全対策の推進 | 消費生活を送るうえで、身の回りに潜む危険に関する知識を蓄え、備えるために、消費に関する正しい知識を広く周知し、個人の意識啓発と消費生活の安定を図る。 | 県や消費生活センターと連携した啓発活動及び高校生向け啓発パンフレットの作成・配布を行い、消費者の知識の蓄積を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 消費者保護対策の推進 | | | 消費者に関する啓発活動の回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 7 項 1 目 1 | 広報掲載、啓発チラシ回覧等による知識の蓄積。 | 引き続き、県事業及び消費生活センターと連携し、消費トラブルに関する啓発活動を行う。 | 10 | 10　回 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 6 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 地域整備課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　昇 |
| 施策 | 9 | 道路の安全性と利便性の確保 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町内の道路利用者 | 安全に道路を利用できる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 道路整備の推進・促進 | 町内の道路利用者 | 短時間で移動ができる。 |
| | 2 | 道路の安全性の確保 | ①町内の道路利用者<br>②道路施設 | 安全に利用できる。 |
| | 3 | 冬期間の道路網の確保 | 町内の道路利用者 | 冬期間において道路を安全に利用できる。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・道路の補修や橋梁の長寿命化を計画的に実施し、併せて道路愛護作業等による道路の適正な維持管理に努めます。
・道路施設の健全化を図るとともに、都市計画道路未整備区間を早期開通させ、道路の利便性の向上を図ります。
・迅速な除排雪や消融雪施設の適正な維持管理を行うとともに、住民自らが行う除排雪作業を推進し、冬期の円滑な交通の確保に努め、事故や通行止めの発生を抑制します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 町内の道路に不便を感じている町民の割合/道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合 | % | 実績値 | 50.3/63.5 | 53.7/56.3 | 53.4/56.3 | 50.2/50.4 | 48.7/51.3 | 53.0/52.2 | 55.3/51.6 |
| | | | 目標値 | | 48.0/60.0 | 47.0/58.0 | 46.0/56.0 | 45.0/54.0 | 44.0/52.0 | 43.0/50.0 |
| B | 道路改良率/都市計画道路改良率 | % | 実績値 | 37.4/32.0 | 37.6/34.8 | 37.7/37.4 | 37.7/37.4 | 45.5/37.4 | 45.6/74.8 | 45.6/74.8 |
| | | | 目標値 | | 37.6/34.8 | 37.6/37.4 | 37.7/37.4 | 37.7/37.4 | 37.8/37.4 | 37.8/42.0 |
| C | 道路に関する情報・苦情件数（夏期/冬期） | 件 | 実績値 | 130/219 | 30/101 | 26/59 | 113/29 | 203/234 | 30/139 | 83/105 |
| | | | 目標値 | | 130/195 | 125/190 | 120/185 | 115/180 | 110/175 | 105/170 |
| D | 冬期間における交通事故発生件数 | 件 | 実績値 | 275 | 257 | 228 | 191 | 164 | 222 | 176 |
| | | | 目標値 | | 250 | 240 | 230 | 220 | 210 | 200 |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、数値が低くなれば、目的が達成できていると考えられるため、成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合
※道路の除排雪・消融雪に不満を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合
B）数値が高くなることにより、道路利用者が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。
※道路改良率：道路台帳道路総括表より実数を把握　都市計画道路改良率：主管課で把握
C/D）道路に関する情報・苦情件数及び交通事故発生件数については、殆どが冬場の積雪・凍結関係であることから、件数が減少することは道路の安全性・利便性の向上に繋がると考え成果指標とした。（夏期は4月～11月、冬期は12月～3月とする）

**目標値設定の考え方**

A）町内の道路に不便を感じている町民の割合については、毎年、計画的に地域の主要路線の改良を進めていること、また都市計画道路の未開通区間の一部が整備されることにより、若干の向上は見込まれるが、地域による道路愛護作業において、従事する町民の高齢化、人口減等により、日常的な維持管理が十分でなくなる事が想定されるため。
B）道路改良率、都市計画道路改良率については、後閑師線の予定区間が完了する予定であること、都市計画道路の未着手区間の一部（悪戸矢瀬線）の開通が見込まれる事から若干向上が見込まれる。
C）道路に関する情報・苦情件数については、町道の舗装が経年劣化により全体的に傷んできていることから、成り行きでは件数は増加すると思われるが、補修・維持管理（事業化・直営等）を適正に実施することにより、目標値を設定する。また、冬期間の情報・苦情件数については、前記と同じく、地域人口の減少・高齢化等により除雪に対する要望が増加することが想定されるが、除雪機械の整備・更新を適正に行い、またオペレーターの確保に努めると共に、地域除雪の協力体制を拡充することにより、目標値を設定する。
D）冬期間の事故発生件数については、冬期間の交通の安全確保に努めるとともに、町ホームページにリンクしている気象情報ライブカメラ、除雪車両マップ等の情報を、今後より多くの方に利用してもらうことにより、道路状況に応じた運転を心がけてもらうことにより件数は減少すると見込んでいる。

**施策の目的のための役割分担・目標達成**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。<br>・地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。<br>・道路の危険箇所などを通報するとともに、雪道では特性を理解した運転に心がける。<br>・地域ぐるみで除雪体制を考え、地域除雪に協力する。 | ・計画的に道路の整備を行う。<br>・道路・橋梁等の道路施設の適切な維持管理を行うとともに、ホームページを活用した情報提供を行う。<br>・道路愛護活動のための支援を行う。<br>・降雪状況を把握して安全で迅速な作業（除雪、消融雪、凍結防止剤散布）を実施する。<br>・除雪作業に必要な協力の呼びかけ（PR、広報）を行う。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・人口減少・高齢化が進むことで、これまで道路等の維持管理及び除雪に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。<br>・道路施設の点検・整備・補修については、半永久的に継続される事業であることから、計画的な事業を進めるための事業費の確保が必要となる。<br>・都市計画道路の開通により、道路利用者が分散され、渋滞緩和・移動時間の短縮が図られる。<br>・除雪車両については、交付金を活用し計画的に更新を進めていくが、更新に膨大な費用を要することが見込まれる。 | ・町民の半数以上が町内の道路に不満・不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとはいえない。特に、「道幅が狭い」、「道路が暗い」、「除雪状況が悪い」との意見が多く寄せられている。<br>・都市計画道路真政悪戸線徒渉橋開通により、利便性の向上が図れたが、残り区間、悪戸矢線及び真政工区（老人センター～17号バイパス）の早期完成が望まれている。<br>・地域除雪の取り組みについての必要性。 |

| 施策 | 9 | 道路の安全性と利便性の確保 | 主管課 | 名称 | 地域整備課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　昇 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①町内の道路に不便を感じている割合は令和2年度48.7%、令和3年度53.0%、令和4年度55.3%と前年度に比べ2.3ポイント増加した。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は、令和2年度51.3%、令和3年度52.2%、令和4年度51.6%と昨年度に比べ0.6ポイント減少した。<br>②道路改良率は、令和2年度45.5%、令和3年度45.6%、令和4年度45.6%であった。また、都市計画道路改良率は、令和2年度37.4%、令和3年度74.8%、令和4年度74.8%であった。都市計画道路については、4路線の廃止と悪戸矢瀬線の完成に起因する。<br>③道路に関する情報・苦情件数のうち夏期は、令和2年度203件、令和3年度30件、令和4年度83件であり、冬期は、令和2年度223件、令和3年度139件、令和4年度105件であった。令和2年度の夏期については9月の豪雨の影響による。令和2年度の冬期は12月の豪雪の影響による。<br>④冬期間における交通事故発生件数は、令和2年度164件、令和3年度222件、令和4年度176件であった。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | 町の道路改良率は45.6%であり、令和4年県内市町村における道路改良率の平均50.5%を4.9ポイント下回っている。なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中している都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が45.6%（実延長1,103,9km）であるのに対し、沼田市50.4%(1,394.3km)、片品村40.8%(361.1km)、川場村60.9%(162.2km)、昭和村44.9%(528.4km)となっている。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は、55.3%となり、目標の43.0%を下回った。また、「道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は」51.6%であり、目標の50.0%を若干下回った。<br>②道路改良率は、45.6%であり、また、都市計画道路改良率は74.8%となり、目標を大きく上回った。<br>③道路に関する苦情件数は、夏期83件・冬期105件であり、目標値夏期105件より少なく、また、目標値冬期170件との比較においても少なく、目標を上回った。<br>④冬期間における交通事故発生件数は、176件で目標値200件より少なかったため、目標を上回った。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 道路整備の推進・促進 | A | 町内特定区間の距離及び所要時間（月夜野IC～保健福祉センター～上毛高原駅～水上IC） | km/分 | 実績値 | 実績なし | 12.6/20 | 12.6/20 | 12.6/20 | 12.6/20 | 12.5/20 | 12.5/20 |
| | | | | | 目標値 | | 12.5/20 | 12.5/20 | 12.5/20 | 12.5/20 | 12.5/20 | 12.0/15 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 道路の安全性の確保 | A | 道路施設（橋梁）点検済み率/補修済み箇所数 | %/箇所 | 実績値 | 25/12 | 83/15 | 100/17 | 28/19 | 46/22 | 71/23 | 83/24 |
| | | | | | 目標値 | | 80/15 | 100/17 | 20/20 | 40/23 | 60/26 | 80/30 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 冬期間の道路網の確保 | A | 冬期間の通行止め件数 | 件 | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | | | | | 目標値 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 道路整備の推進・促進 | 各種重要路線の道路改良事業について、早急に整備を進める。なお、都市計画道路については、都市計画決定の変更や用途変更の手続きが必要となるため、群馬県等の関係機関と協議を実施していく必要がある。 | ①都市計画道路真政悪戸線の改良事業を実施する。<br>②町道後閑１号幹線の道路改良事業を実施する。 |
| 2 | 道路の安全性の確保 | ①道路の狭あい部分を解消する。<br>②橋梁等の道路構造物の安全性を確保する。<br>③公開型ＧＩＳの更なる利便性向上を図る。 | ①町道月夜野７１号線の狭あい部分を解消する拡幅工事を実施する。<br>②橋梁、トンネル、スノーシェッド、法面の点検を行い、その結果に基づき必要となった補修等工事を実施する。<br>③道路台帳図を毎年更新し、道路情報や観光情報など公表可能なものを随時公開していく。 |
| 3 | 冬期間の道路網の確保 | ①消融雪施設の経年劣化に伴う機能低下の改善を図る。<br>②除雪作業従事者の確保を行い冬季の安全な道路を確保する。<br>③除雪機械等道路維持車の老朽化に伴う維持費の拡大を抑え作業効率を図る。 | ①消融雪施設について、交付金事業の活用を視野に入れ計画的に更新工事を進めていく。<br>②冬期間のオペレーター・助手については、建設業界における人員不足の中、雇用体系及び待遇等の改善を行い年間及び季節雇用の応募方法・時期等の検討を行い人材確保を目指す。<br>③社会資本整備交付金事業を活用した除雪機械等道路維持車両の更新に加え、小型除雪機の計画的な入れ替えを行う。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | パークアンドライド管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 30,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 月夜野情報ターミナル駐車場を維持管理するための委託業務 | - | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 駐車場の草刈り、ゴミ拾い作業の回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 10 | | 課題なし | - | 2 | 3 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 国・県等土木施設整備促進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | ・国、県が実施する事業の要望活動の実施。<br>・県土木事務所へ要望している事業の実現に向けて、県、町、町議との意見交換を目的とした土木行政懇談会の開催。<br>・高速道路に架かる橋梁整備の事務局としての構成市町村等の調整事務等 | 会議の書面開催を実施できなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 懇談会開催回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 1 目 1 | | 単年度では解決しない案件もあるため、継続して活動していくことが望まれる。 | 今後も継続的に、円滑に事業を進める。 | 1 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 土木工事設計積算事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,101,246 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | (財)群馬県建設技術センターからの通知を受け、積算システム更新の案内や使用機器の調査を行う。製図システム保守の取り扱いを行う。積算歩掛等の購入。 | システムを利用している各課と連携を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 積算システムを利用して発注した件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 1 目 1 | | 課題はないが、道路事業を実施するためには継続する必要がある。また、CADについてはLG-WAN対応となるため、事業費が増える。 | 今後も事業を継続的に行い、円滑に進める | 100 | 100 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 土木総務費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 552,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて道路網等の整備促進を図る。H29年度より事務事業を1本化した。 | 要望内容の再確認。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 総会開催数(みなかみ町が主体で行う) | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 1 目 1 | | 継続して活動することが必要である。 | 引き続き活動に参加する。 | 4 | 2 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 道路愛護活動事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,730,597 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため春と秋の年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。 | 地域の実情に応じた計画的な実施をご検討くださるよう、各行政区長、及び町ホームページにてお知らせをした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 道路清掃延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 1 | ・任意保険加入の推進を図る。<br>・作業に伴う安全管理の強化について周知する。 | 今後も継続していく。 | 379 | 450 / km |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 道路維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 63,698,954 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | パトロールや地区住民の方などから危険箇所の情報収集に努め、道路などの破損箇所を早期に補修し、住民生活に及ぼさぬよう道路などを常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。 | 道路構造物等の必要な箇所について、修繕を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 修繕作業委託箇所数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 2 | 道路など公共土木施設のパトロール強化。 | 公共土木施設の維持管理は、必要不可欠であり、今後も継続的に事業を実施していく。 | 42 | 48 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 三峰トンネル維持管理費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,117,455 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。 | 2市町にまたがるトンネルのため、沼田市との経費負担の調整に取り組んできた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | トンネルの長さ | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 2 | 電気代等の通常の維持管理経費に加え、様々な機器の更新費用が嵩む。 | 適正な維持管理に資するよう、沼田市と緊密な連携を図っていく。 | 1605 | 1605 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 道路ストック総点検・老朽化対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 175,673,187 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 平成24年に発生したトンネル天井版落下事故を受け道路法等の改定により道路管理者に適切な維持管理が示され道路構造物が機縁の道路事故が起こらないように適切に維持管理する事を目的とする。<br>各種道路構造物を点検し、危険箇所について計画的に補修工事などの対策をとる。 | 現場を良く精査した上で、適正な施工管理に努めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 点検箇所数・補修設計数・補修工事数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 2 | 計画的に定期的な維持管理を必要とする | 今後も継続して、円滑に事業を実施していく。 | 0・1・8 | 1・0・11 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 単独道路改良事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 44,031,169 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地等売買契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務を行う。 | 早期に発注し、適正な施工管理に務めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 当年度実施済道路延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 3 | | 事業費の確保が必要となる。 | 今後も引き続き、円滑に事業を実施していく。 | 336 | 196 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 町道真政線整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,507,812 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | JR上越線と交差する国道17号から望郷ラインを結ぶ道路整備。 | 道路整備及び踏切整備。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 当該区間の改良率 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 3 | | 建物を含む地権者との用地交渉。<br>JR上越線との交差による踏切整備。 | 用地交換等を実施していく。 | 100 | 100 / % |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 町道浅地工貫線道路改良事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 14,240,463 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 浅地工貫線の道路側溝整備含めた道路改良を行う。 | 現場を精査し、また適正な施工管理に努めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 排水路整備延長・舗装改良延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 3 | | 道路改良を行う隣接地には、民有保安林があり、杉の木の根が道路改良の支障になる可能性がある。 | 事業完了。 | 0.0・246.7 | 0.0・240.0 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 町道関口大原線道路改良事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 86,207,863 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 町道関口大原線と国道17号の交差点、前後約300mの道路線形改良を行う。 | 国交省やJR等との協議を実施してきた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 当年度実施済延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 3 | | 国土交通省等との協議による成果修正。 | 一部を令和5年度へ繰越し、事業を完了させる。 | 0 | 253 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 町道後閑1号幹線道路改良事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,200,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 国道17号や(主)沼田水上線から望郷ラインへのアクセスを良くするため、町道後閑1号幹線と町道師77号線を直線化する。 | 地権者等の関係者へ事業のご理解をいただき、また、行政区への説明会を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 当年度実施済延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 3 | | 既設道路との交差角度が悪くなる。また、地権者、隣接者の同意が必要となる。 | 引き続き事業を円滑に進めていく。 | 0 | 0 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000029 | 町道高日向小日向線道路改良事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,975,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 法面及び舗装の改修事業。 | 複数回に及ぶJRとの協議を実施し、事業実施まで至った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 工事延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 3 | | JR東日本との協議。 | 今後も引き続きJRと協議を重ね、事業を円滑に実施する。 | 0 | 26．2 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 橋梁長寿命化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 99,378,728 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 既設管理橋梁の定期点検を行い、結果を基に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、必要な補修及び修繕工事を行い長寿命化を図る。 | 優先順位や平準化を考慮し補修や点検を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 土木　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 4 | | 長寿命化修繕計画の策定により多額の修繕費用の確保が必要となるが、修繕を怠ると劣化から橋梁が通行不能となるため、新規道路や道路改良以上に優先的な予算投入が必要。 | 今後も引き続き円滑に事業を実施していく。 | 120・0・1 | 67・3・1 / 橋 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 道路台帳管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 33,140,904 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 道路台帳統合電子化し町道の新設及び改良等による道路台帳等更新及び地理情報システムの保守管理に係るもの。 | 関係各課に地図情報の更新に必要な情報提供依頼・連絡を密に行っている<br>定期的にGIS利用促進に係る情報提供や研修を実施している | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 新設、改良路線数・廃止路線数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 1 | | 道路台帳等の変更に係る更新に漏れがないよう注意する必要がある。<br>地図関係事務の合理化を推進するため、職員に対し継続してシステム利用促進を図る | 常に新しい情報が閲覧できる状態を継続できるよう周知や教育を徹底していく。また、一般向けに公開するGISの利便性向上を図る。 | 46 | 59 / 本 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 道路内民地未処理案件解決事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 613,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 町道の敷地内にある個人名義の土地について、公共用地として取得し管理を適正に行えるようにする。 | 地権者の要望にはできる限り早く対応できるよう関係職員と連携を図っていく | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 道路内民地を町名義に登記した件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 1 | | 様々な理由で道路内民地が発生しており過去の経緯が不明な場合、事務処理に時間を要すことが多い | 道路内民地の所有者から寄付採納の申出があった場合には速やかに対応する。 | 6 | 8 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 狭あい道路拡幅整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,121,689 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | ・町道野田原箕輪線　道路拡幅工事<br>・町道月夜野71号線　道路測量設計業務・土地価格評価・登記業務・用地買収・支障物件移転補償・道路拡幅工事 | 令和4年度に町道月夜野71号線道路拡幅工事に係る測量設計、用地取得を行った。全施工延長が50.0mと短いので、短期間で令和5年度に工事が完成がする見込みで進めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 道路の安全性の確保 | | | 狭あい道路事業延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 5 目 1 | | 令和6年度で交付金事業が終了する見込みであり、今後の路線要望への対応が課題となる | 狭あい道路における拡幅事業の補助対象箇所の選定が必要になる。 | 243.5 | 50.0 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 町道悪戸矢瀬線整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 93,452,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 悪戸矢瀬線の未整備区間の道路整備（L＝380m）<br>道路防護網の設置（利根商野球場） | 本線及び防護網においては、令和4年4月1日に全線開通することが出来た。残りの蟹枠団地への取付道路については、繰越事業にて令和4年度で完成することが出来た。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 道路整備延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 2 | | 令和4年4月1日のみなかみ中学校開校までに工事を完了させる予定であるが、工期が厳しい状況にある。 | 繰越事業で令和4年度にて全線事業完了した。 | 0 | 597.0 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 町道真政悪戸線整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,290,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 町道真政悪戸線（総延長2,420m）の未整備区間（延長1,145m）の整備を行い全線開通させる。 | 当初予算計上していなかったため、補正対応し令和5年3月に測量・予備設計が契約となり、繰越事業で測量設計を進めることが出来た。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 道路整備の推進・促進 | | | 道路整備延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 2 | | 平成29年11月に概略設計を行ったのみで、事業が進んでいない。 | 支障となる大沢田川の改修を検討し、詳細設計を行う。 | 0 | 0 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 道路除排雪事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 167,252,834 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 道路に降った雪の除排雪を行い町民や来町者等道路利用者が安全で安心して通行できる道路を提供するため、除雪作業方法の選択や契約・現場管理に関する事務、及び破損個所の修繕業務 | 今年度も、直営のパトロールを2名委託契約を行い、消融雪施設の稼働のオンオフをこまめに行い、電気や燃料の削減に努めた。<br>直営のオペレーターは、役場職員の負担に依存するところが大きく、助手も含め冬期募集の作業員確保は難航した。<br>例年になく降雪量が少なく、委託料が前年度の73%なるなど、道路除排雪事業は前年度比67%程になった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 臨時職員の作業日数<br>・除雪委託業者数<br>・地域支援除雪団体 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 5 | 除雪経費削減。<br>直営オペレーターの確保 | 職員数も減り、応募しても中々集まらない、直営路線のオペレーター・助手の確保が大きな課題である。 | 90･14･5 | 91･14･5　日・者・区 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 除雪機・除雪車等維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,135,698 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 町が所有する除雪作業用重機・車両等の維持管理事業 | 除雪機械の車検整備及び一年点検整備を、可能な車両については町内業者において実施することで、経費の縮減を目指した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 保有台数・借上機械数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 5 | 車輌の老朽化に伴う車検、一年点検時における経費の増加 | 引き続き、取組の検証を進める。 | 43･0 | 43･0　台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 消融雪施設維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 103,058,137 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 消雪・融雪施設の維持管理業務。【燃料・電気料、修繕・工事、施設及び電気設備管理委託、消雪施設電気料県負担金】 | 2名のパトロールを委託し、消融雪設備の電源管理をこまめに行い、光熱水費の縮減に努めた。<br>施設の老朽化に伴い、維持修繕14カ所、維持工事を5カ所実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 散水施設箇所数・無散水施設箇所数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 5 | 施設の通常経費の増加及び老朽化に対する維持費の増加 | 従前通り、シーズン前の施設点検を確実に実施すると共に、突発的なトラブルに対応できるよう、委託業者の緊急連絡網を確認すると共に、基本的な対処法を直営で共有する。 | 16･26 | 16･26　箇所 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 除雪機・除雪車等整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,478,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 除雪作業用重機・車両等の購入事業 | 計画的な買い替えとして、除雪機械2台を購入したが、半導体不足やコロナウィルスの影響により年度内納車が出来ず、繰越により6月納車となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 購入機械台数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 2 目 5 | 老朽化した車両が多いため、計画的な買い換え並びに廃車を行い、適正な車両台数を確保する。 | 購入計画に基づき、買い替えを行っていく。その際、納車時期を確認の上、早めの手続きを心がける。 | 2 | 2　台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 気象観測システム管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,533,349 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 平成25年度に気象観測局の設置、情報の収集・発信を行う<br>観測装置の維持管理及びホームページに関する機器のメンテナンス | 観測結果の安定した配信を維持するために、OS更新のための環境調査を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 年平均月間利用者数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 5 | | 管理面積の広いみなかみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であるために導入されたシステムであるが、機器の機能維持及び、町内でカバーされていない地点への対応が求められる。 | 町HP公開や除雪出動の目安を目的に、画質の維持や観測結果の誤表示防止のため、必要に応じ機器の更新を計画すると共に、観測場所として必要と思われる場所の検討続ける。 | 55000 | 48000 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 除雪情報システム管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,429,675 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 除雪車の運行管理システムを活用し現在地及び除雪経路等の確認、交通渋滞情報の提供等HPにて公開する。また、除雪費などの集計も行える。 | 除雪情報管理システムで車両に積載するスマートホン83台及びタブレット4台を更新し、より安価な通信料体系に変更した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 除雪延長(監視延長) | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 5 | | 災害時の活用方法の確立、及びシステムのカスタマイズ費用が課題 | 契約事務の効率化に向け、県の契約ファイルへの入力負担の軽減策を考察すると共に、県が試行導入している除雪情報システムとの将来的な統合の是非を検討していく。 | 360 | 367 / km |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 消雪施設改修事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 50,413,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 09 | 道路の安全性と利便性の確保 | 老朽化が進む散水式消雪施設の計画的な更新。 | 1路線の改修工事を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 冬期間の道路網の確保 | | | 改修工事の延長/<br>既存散水式消雪施設の延長 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 除雪センター業務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 2 目 5 | | 散水式消雪施設は昭和50年代より随時整備を行ってきたが、老朽化が進み、保守点検等実施しておりますが、散水の効率が低下している。 | 施設の老朽化により、修繕が必要になることから、計画的な更新工事を実施する必要がある。 | 270/4461 | 300/4461 / m |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 21 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |
| 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 関係課 | 総務課　危機管理室/総務課　新治支所　住民係 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民<br>②来訪者 | ①公共交通を使って、日常生活で便利に移動ができる。<br>②公共交通を使って、目的地へ移動ができる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 公共交通の確保 | ①町民<br>②来訪者 | 公共交通を使って、町内の移動ができる。 |
| | 2 | 公共交通の利便性の確保 | ①町民<br>②来訪者 | 公共交通を便利に利用できる。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・公共交通の維持・確保に努めます。<br>・公共交通の利便性の向上に努めます。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | 日常的に公共交通を利用している町民の割合 | % | 実績値 | 8.8 | 12.0 | 11.6 | 9.9 | 7.8 | 7.7 | 9.0 |
| | | | | 目標値 | | 9.2 | 9.2 | 9.2 | 9.2 | 9.2 | 9.2 |
| | B | 路線バス利用者数 | 千人 | 実績値 | 261 | 264 | 266 | 247 | 121 | 145 | 164 |
| | | | | 目標値 | | 268 | 268 | 268 | 268 | 268 | 268 |
| | C | 鉄道利用者数（在来線/新幹線） | 人 | 実績値 | 1,204/731 | 1,170/734 | 364/745 | 341/719 | 208/337 | 218/415 | - |
| | | | | 目標値 | | 1,204/731 | 1,204/731 | 1,204/731 | 1,204/731 | 1,204/731 | 1,204/731 |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A）日常的に公共交通を利用している町民の割合（必要としている割合）を把握するため、成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※あなたはどの程度、町内の公共交通（バス・新幹線・在来線・タクシーなど）を利用していますか。→「ほぼ毎日」「週に1日以上」「月に1日以上」と回答した人の割合<br>B）利用者数が減少し続けると運行できなくなる可能性があるため、成果指標とした。<br>民間路線バス会社が運営する「水上線」及び「猿ヶ京線」の年度延べ利用者数の合計値である。<br>C）公共交通が便利になれば利用者数が増加すると考えられるため、成果指標とした。<br>在来線は、上越線の後閑駅及び水上駅の1日平均乗車人員の合計であり、新幹線は、上越新幹線の上毛高原駅の1日平均乗車人員である。<br>平成30年度より後閑駅の無人化により、1日平均乗車人数が把握できないため、水上駅のみの1日平均乗車人数である。 |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A）成り行きでは0.1%減少すると予想される。公共交通の利用者絶対数を減少させないようにすることを目標にしながら人口減少や少子化を勘案し、2022年度9.2%を目指す。<br>B）日常的に公共交通を利用している町民の割合との相関関係が強く、成り行きでは毎年度2%減少すると予想される。学生における利用者数が減少することを考慮し、現状維持2022年度268千人を目指す。<br>C）在来線の利用者数は、成り行きでは毎年度2%減少すると予想される。利用者絶対数の減少と観光宿泊客数の増減に比例することを考慮し、現状維持の2022年度1,204千人を目指す。新幹線の利用者数は、成り行きでは毎年度3%減少すると予想される。利用者絶対数の減少と観光日帰り客数の増減に比例することを考慮し、現状を維持させ、2022年度731千人を目指す。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・公共交通の必要性を意思表示する。<br>・公共交通の重要性を認識し、通勤・通学・通院・買い物等でなるべく利用する。<br>・事業者は、利用者数が増加するよう、公共交通の利便性とサービス向上に努める。 | ・現行路線維持のため、利用促進と生活公共交通の確保に努める。<br>・各関係機関と連携協力し、公共交通の利便性向上に努める。<br>・来訪者へ情報発信を行い、公共交通利用の促進に努める。<br>・機能性と快適性を兼ね備えた駅の周辺整備を推進する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・高齢化の進行により、運転免許返納者が増加し、公共交通の維持・確保は重要となる。<br>・人口減少や少子化により、公共交通利用者数の減少が見込まれる。<br>・観光客数の増減に比例して公共交通の利用者数も変動する。<br>・路線バスの運行費に係わる国庫等補助制度が見直され、生産性の向上（赤字改善）の取り組みが求められている。<br>・高齢化社会、インバウンドへの対応が難しく、路線バスを維持・運行するための乗務員の確保も厳しい状況が続いている。<br>・群馬県が、多様な交通手段を確保するための実行計画として、令和5年3月に地域公共交通にかかる「群馬県交通まちづくり戦略」が策定された。 | ・町民アンケートによると公共交通に不便を「感じている＝24.8%」、「どちらかといえば感じている＝21.8%」となっており、具体的な内容は「本数が少ない＝76.2%」、「運賃が高い36.1%」、「バス停や駅が遠い＝35.8%」となっている。<br>・町営パーキングの決済方法を電子決裁などに改良する要望がある。<br>・路線バスの乗り継ぎ（特に水上から沼田市方面）が悪いので改める要望がある。 |

| 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☑ かなり低下した。 | ①日常的に公共交通を利用している人の割合は、平成30年度は11.6%、令和元年度は9.9%、令和２年度は7.8%、令和3年度は7.7%、令和4年度は9.0%と減少傾向は続いているが、目標値には到達している。<br>②路線バス利用者数は、平成30年度は266千人、令和元年度は247千人、令和2年度は121千人、令和3年度は145千人、令和4年度は164千人で、コロナ禍の影響を受けて利用者数は大幅に減少している。徐々に回復してきているがコロナ前の状況まで回復できていない。<br>③新幹線の１日平均駅乗車人数は、平成28年度は731人、平成29年度は734人、平成30年度は745人、令和元年度719人、令和2年度337人、令和3年度415人と、コロナ禍の影響を受けて大幅に減少し、回復しきれていない。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①新幹線１駅、在来線５駅、高速道路インターチェンジ２つと、近隣市町村と比べて格段に多く利便性が高いといえる。<br>②バスの路線数は２路線あるが、１路線あたりの運行本数は少ない。また鉄道在来線は、１時間に１本程度の運行であり、駅員が常駐する水上駅の他は、無人駅が４駅となっている。<br>③駅乗車人数は令和３年度と前年度比較は、水上駅104.8%、沼田駅112.6%、中之条駅107.6%とコロナ禍の影響から回復の兆しをみせている。<br>（6月時点で令和４年度の「鉄道利用者数（在来線／新幹線）は未公表」）<br>④県内の路線バスの多くは自治体の委託路線であるが、本町のバス路線は県内でも数少ない自主運行路線である。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | ①日常的に公共交通を利用している人の割合は、目標値9.2%に対し9.0%でコロナ禍の影響から回復傾向となりほぼ同水準となっている。<br>②令和4年度の路線バス利用者は、164千人で、目標値268千人に対して大幅に減少した。<br>③鉄道利用者数のうち在来線利用者数については、後閑駅の乗車人員が公表されず達成状況は分からないが、新幹線利用者数についてはコロナ禍の影響から回復しつつも、目標値を大幅に下回る結果となっています。<br>（６月時点で令和４年度の「鉄道利用者数（在来線／新幹線）」は未公表） |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 公共交通の確保 | A | 路線バス運行本数の減少数 | 本 | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | 目標値 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 公共交通の利便性の確保 | A | 公共交通に不便を感じている町民の割合 | % | 実績値 | 48.3 | 53.7 | 52.1 | 50.1 | 46.9 | 46.5 | 46.6 |
| | | | | | 目標値 | | 48.0 | 47.5 | 47.0 | 46.5 | 46.0 | 45.5 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 公共交通の確保 | ①民間公共交通事業者が自主運行する路線バスが赤字路線となっており、存続があやうくなる可能性がある。<br>②バスカードが販売終了となり、新しく路線バス利用促進事業を開始したが、利用促進制度の変更が、利用者数の減少につながらないか危惧される。 | ①自主運行路線の継続運行と町運行路線の維持を目的に交通事業者への運航費補助を継続する。<br>②路線バス回数乗車券（バスカード）購入費助成事業を終了し、令和5年度より路線バス利用促進事業にて、運賃助成や通勤通学定期券購入補助を実施していく。町民に周知し、利用者数の向上を目指す。 |
| 2 | 公共交通の利便性の確保 | ①路線バスの乗り換えや、時刻表などの情報入手を簡易にできる必要性がある。<br>②公共交通を利用する人のニーズにあった利便性の確保が、求められている。 | ①群馬県では「GunMaas」を活用し、公共交通情報と個人情報との紐付けによる利便性の向上・拡大を図る検討を進めていることから、みなかみ町でも「GunMaas」の利活用について検討を進めていく。<br>②福祉関係者、観光事業者及び交通事業者と連携し、利用者数の増加と利便性の向上に向けた取り組みを検討する。 |
| 3 | | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 自家用有償バス（猿ヶ京法師線）運行事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,301,034 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | ・自家用有償バス運行に関する事業<br>自家用有償バス（自家用有償旅客運送）とは、町が交通空白地域に対応するため、国土交通大臣が行う登録を受け、町内猿ヶ京温泉～法師間において住民の運送、その他の国土交通省令で定める旅客の運送を行うバス。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 公共交通の確保 | | | 乗車人数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 新治支所住民　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 16 | 課題なし | 地域住民の交通の利便性を図り、生活福祉の向上と交通の安全を期すために運行する。 | 4283 | 5885 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 路線バス回数乗車券購入費助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,151,360 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 路線バスの利用者の運賃負担軽減のため、町民のみが使用できる「みなかみバスカード」の販売。バスカードは令和2年度から1,000円で購入できるようになり、利用者の運賃負担軽減を高め、利用者の増加に繋げる。 | 群馬県やバス事業者とバスカード購入補助に代わる新たな補助制度の検討を実施し、町民を対象とした路線バス運賃助成制度（半額助成）、路線バス通勤通学定期券購入補助制度を令和5年4月よりスタートすることに決定した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公共交通の利便性の確保 | | | バスカード販売枚数・作成枚数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 10 | 磁気式プリペイドカードの読み取り器等の老朽化により、令和5年3月31日でバスカードの販売終了。令和6年1月31日でバスカードの利用が終了することが決定している。利用者の運賃負担軽減を考慮した代換え制度の構築が必要。 | 路線バス運賃助成制度、路線バス通勤通学定期券購入補助制度を住民に周知し、利用者の運賃負担軽減に努めバス利用者の増加につなげる。 | 3,635・2,000 | 4,714・4,000 / 枚 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 路線バス運行支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,835,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 水上地区内で運行する路線バス、宝川入口～水上駅線の朝一便の補助。<br>新治地区内で運行する路線バス、猿ヶ京線の運行を維持するための補助 | バスカードの販売促進。<br>バスカードに代わる代替案の検討。<br>バスカード販売・利用終了の周知と代換え制度の周知。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 公共交通の確保 | | | 利用者数<br>（宝川入口～水上駅線）<br>※令和元年度（水上駅～湯ノ小屋線・宝川入口～水上駅線） | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 10 | 町内バス路線の利用者の維持確保<br>バス事業者の収益悪化や営業所の統廃合による運行本数の削減 | 自主運行継続のため、路線バス運賃助成事業や路線バス通勤通学定期券購入補助制度の利用促進を図るとともに、町が実施するバスや鉄道などの乗り換え案内などの情報を詳しく紹介することにより利用しやすい環境づくりに努める。 | 41 | 57 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 地域公共交通会議運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 町営バスの登録更新などの際に行われる会議 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公共交通の利便性の確保 | | | 会議開催回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 10 | 令和5年度、自家用有償バスの登録更新時期を迎える。 | 自家用有償バスの登録更新申請に向けて、交通会議の開催を検討する。 | 0 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 後閑駅舎活用事業 | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 上毛高原駅前駐車場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,622,336 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 上毛高原駅前に整備された駐車場（コインパーキング）の維持管理と北側、西側2カ所の町民駐車場の維持管理を行う。 | 新たなキャッシュレス決済の仕様について、機器設置業者等から情報収集した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公共交通の利便性の確保 | | | コインパーキング利用台数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 行財政改革推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 10 | 機器の交換時期が近づいている。キャッシュレス決済対応機器の導入を検討する。駐車場敷地内の植栽等の管理方法を検討する。 | キャッシュレス決済の導入にあわせた機器の更新等を検討する。 | 44,788 | 61,915 / 台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 後閑駅前駐車場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,567,716 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 10 | 公共交通の維持・確保 | 後閑駅前に整備された駐車場（コインパーキング）の維持管理を行う。<br>維持管理の一部を月夜野振興公社に委託している。 | 機器の入替にかかる検討を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公共交通の利便性の確保 | | | 利用台数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 行財政改革推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 10 | 機器の交換時期が近づいている。そのほか新500円玉への対応。キャッシュレス決済への対応。 | 耐用年数が近づいていることから精算機の入れ替え、又はキャッシュレス決済対応のリーダーの取り付けを検討する。 | 13,671 | 13,969 / 台 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 30 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 上下水道課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 鈴木　伸史 |
| 施策 | 11 | 水道の整備 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 安全な水道水の供給を安定して受けられる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 安全な水道水の安定供給 | 町民 | 安全な水道水の供給を安定して受けられる。 |
| | 2 | 水道事業の健全運営 | 町民 | 適正な料金で水道水の供給を受けられる。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | |
|---|---|
| | ・清浄な水道水の供給を図り、安心安全な水道への切り替えを促進します。<br>・老朽化した施設の更新を計画的に進めるため、財政健全化計画やアセットマネジメントを含む水道ビジョン等を策定し、限られた財源で最大限の成果が得られるよう取り組みを推進します。 |

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | 水道普及率 | % | 実績値 | 96.6 | 96.7 | 96.7 | 96.7 | 99.7 | 99.8 | 99.9 |
| | | | | 目標値 | | 96.7 | 96.7 | 96.8 | 96.8 | 96.9 | 96.9 |
| | B | 水質に関する苦情件数 | 件 | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| | | | | 目標値 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | |
|---|---|
| | A）数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられていることに繋がるため成果指標とした。<br>給水人口/給水区域内人口（給水人口は町営水道のみ）<br>B）件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。広範囲にわたる相当な被害で直接町に苦情を申し入れた件数。 |

| 目標値設定の考え方 | |
|---|---|
| | A）水道普及率を96.9%まで向上させる。近年のライフスタイルの変化により、自家水（井戸水）などの水質が変動してきているため、地下水を利用している町民の方々に水の安全性を確認してもらい、自発的に町営水道へ移行していただく。<br>B）水質監視の強化や危機管理体制の充実を図ることにより、安心安全な水道供給に努め、苦情件数0件を目指します。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・漏水の発見などに対する通報を行う。<br>・利用者として常に水道水の品質を監視する。<br>・水道使用料を未納無く納入する。 | ・安定水量を確保し、安心安全な水道水の供給と共に水質を向上させる。<br>・水道施設を整備（新規・更新）する。<br>・効率的な運営を図り、可能な限り水道料金の値上げ抑制を図る。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・人口減少や節水意識により水道料金の徴収額は上がらないことが予想される。<br>・施設の老朽化による突発的な水道事故の発生が懸念される。<br>・すべてが上水道事業となったため、簡易水道の補助対象外となり、併せて簡易水道債・過疎債も対象とならないため、財源（特定）の確保が難しくなる。<br>・安心安全な水道水の維持に欠かせない技術者不足が懸念される。 | ・水道料金の改定には慎重な意見が多い。<br>・老朽化対策を計画的に進める必要がある。<br>・突発的な断水周知が行き届かない事がある。 |

| 施策 | 11 | 水道の整備 | 主管課 | 名称 | 上下水道課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 鈴木　伸史 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | 上水道事業は当初認可より５０年が経過し、水道事業は高止まりに近い状態である。<br>苦情に関しては、カビ臭が1件あった。膜濾過の洗浄時における、有機物と次亜塩素の結合によるカビ臭が発生。人体に影響はなく、捨水して対応し安心安全な水道水を供給できている。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | 他団体の水道普及率（R３年度）は沼田市99.9%、片品村95.6%、昭和村98.7%、川場村97.1%であり、各自治体とも高止まりとなっている。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>☑ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①水道普及率は、目標値96.9%に対し、３ポイント増加の99.9%となり、目標値を達成した。<br>②水質に関する苦情件数は、目標値０件に対し、１件の苦情があったが、迅速な対応により早期に復旧することができた。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 安全な水道水の安定供給 | A 水質基準超過件数 | 件 | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 目標値 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 水道事業の健全運営 | A 有収率 | % | 実績値 | 78.2 | 78.2 | 78.2 | 78.2 | 78.2 | 78.2 | 78.2 |
| | | | | 目標値 | | 78.3 | 78.5 | 79.0 | 79.5 | 79.7 | 80.0 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 安全な水道水の安定供給 | 町内の水源には表流水を引用しているところも多く、そのほとんどが砂ろ過にて浄水している。今後もクリプト対策が必要。 | クリプト対策浄水施設の導入を検討 |
| 2 | 水道事業の健全運営 | 将来の健全な運営のため、配水施設の統廃合計画とストックマネジメント計画が必要。最終的にアセットマネジメント計画の策定が必要。 | 各配水施設の統廃合の素案を策定する。<br>施設台帳を整理し、固定資産を洗い直しストックマネジメント計画を策定する。 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 水道事業会計繰出事業（消防） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 46,509,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 11 | 水道の整備 | 一般会計からの繰出事務（基準内繰出分）<br>・建設改良等に伴う出資金繰出<br>・起債償還等に係る補助金繰出 | － | 事業実績 | |
| | 基本事業 02 | 水道事業の健全運営 | | | 出資金・補助金受入業務 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 4 項 3 目 1 | 課題なし | － | 46,622 | 46,509 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 水道事業会計繰出事業（消防） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 17,486,920 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 11 | 水道の整備 | ・新規要望箇所の消火栓設置工事<br>・町内630箇所の既設消火栓の管理 | ・消火栓はあくまで初期消火のためにあるという認識を各消防団に伝えること。<br>・消火栓の点検のための開閉は水道事業者が適切におこなうこと。 | 事業実績 | |
| | 基本事業 02 | 水道事業の健全運営 | | | 消火栓の管理及び設置 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 9 項 1 目 3 | ・緊急時での消火栓使用には配水池の能力により限界がある。<br>・水道事業者以外が消火栓の点検のため開閉を行うと水道の濁りの原因となる。 | 消火栓だけに頼るのではなく防火貯水槽とセットで考える必要がある。 | 18,055 | 17,487 / 千円 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 30 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | I | 誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち | 主管課 | 名称 | 環境課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原沢智章 |
| 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民　②一般廃棄物 | ①ごみを適正に分別し、減量と資源化を積極的に行い、環境への負荷を軽減させる。<br>②適正に処理される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | ごみの減量の推進 | 町民 | ごみの量を減らす。 |
| | 2 | ごみの資源化の推進 | ①町民<br>②一般廃棄物 | ①分別を徹底する。<br>②適正に処理される。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・町民への意識啓発を通じて、ごみの3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、循環型社会の構築を目指します。<br>・ごみ処理施設の安定稼働を継続させるとともに、ごみの適正処理を推進します。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | ごみの減量へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合 | % | 実績値 | 86.4 | 85.9 | 84.0 | 86.8 | 92.4 | 91.6 | 91.9 |
| | | | | 目標値 | | 86.5 | 87.0 | 87.5 | 88.0 | 89.0 | 90.0 |
| | B | ごみの総排出量/1人1日あたりの排出量 | t/g | 実績値 | 5,966/819 | 5,619/789 | 6,127/877 | 5,940/865 | 5,784/864 | 5797/880 | - |
| | | | | 目標値 | | 5,906/790 | 5,846/780 | 5,786/770 | 5,726/760 | 5,666/750 | 5,606/740 |
| | C | ごみの資源化率（リサイクル率） | % | 実績値 | 57.7 | 50.9 | 60.0 | 58.2 | 61.5 | 22.5 | - |
| | | | | 目標値 | | 57.8 | 61.0 | 61.5 | 62.0 | 62.5 | 63.0 |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。→「特に取り組んでいない」と回答しなかった人の割合<br>B)数値が低ければ町民がごみの減量を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。<br>一般廃棄物処理実態調査による（前年度分が翌年3月に公表）<br>C)数値が高まれば、町民がごみの資源化を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。<br>一般廃棄物処理実態調査による（前年度分が翌年3月に公表）<br>※リサイクル率（%）＝（集団回収量＋資源化量）÷ごみの総排出量 |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A)町民アンケートで86.4%と高い割合になっているが、3R等の分別を促進することにより、平成34年度は90.0%を目標とする。<br>B)ごみの総排出量は、年々低くなっているが、1人1日当たりのごみ排出量は、微減状態のため、平成34年度の成り行き値を750gとしたが、若年層へのPRや3R等の分別を促進することにより、平成34年度は740gを目標とする。<br>※一般廃棄物処理実態調査による（前年度分が翌年3月に公表）<br>※少子高齢化で人口が減少して行く中、ごみを分別していた世代が減少し、ごみを分別しない世代の割合が増加したと考えられる。<br>C)リサイクル率は、現在でも、57.7%と高い割合になっているため、平成34年度の成り行き値を57.8%としたが、さらに3R等の分別を促進することにより、平成34年度は63.0%を目標とする。<br>※一般廃棄物処理実態調査による（前年度分が翌年3月に公表）<br>※リサイクル率（%）＝（集団回収量＋資源化量）÷ごみの総排出量<br>本町では、可燃ごみを焼却せず、RDF（固形燃料）として資源化しているため、県下最上位のリサイクル率である。<br>※庁舎エコ活動推進委員会を設置し、町職員の3R等の分別意識向上に取り組み、ごみの減量化を図る。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・ごみの出し方のルールを守り、きちんと分別するなど、ごみの減量化・資源化に取り組む。<br>・ごみを出さないよう、マイバッグやエコバッグを持参するなどの身近なエコ活動に取り組む。 | ・ごみの減量や資源化、適正処理のための周知・啓発を行う。<br>・ごみを適正に収集・処理する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・ごみの総排出量は、年々減少しているが、人口減少もあり、町民1人1日あたりのごみの排出量が横ばい状態になっている。<br>・利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会が令和2年7月に設置され、広域処理での協議が進んでる。処理経費の削減の議論も踏まえ、広域処理までの間は固形燃料化施設を休止し、可燃ごみを全量外部委託する方向が示された。 | ・ゴミ袋の無料化　早急に実現を！<br>・生ゴミ（赤）の使用量の調査について、使い切れずに大量に残っている話を聞きます。アンケート等により調査、検討して税金の無駄遣いにならないように。<br>・ゴミ袋（赤）みどりはあまり使わないので黄色と取り替えてほしい。ハガキ交換時必要な袋がほしい。 |

| 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 主管課 | 名称 | 環境課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原沢智章 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☑ かなり低下した。 | ①ごみの減量に向けて何らかの取組を行っている町民の割合は、令和２年度は92.4%、令和３年度は91.6%、令和４年度は91.9%と横ばい状態である。<br>②町民１人あたりのごみ排出量（事業系＋生活系）は、令和２年度864g、令和３年度880gと横ばい状態にある。<br>③ごみの資源化率（リサイクル率）は、令和２度61.5%、令和３年度は22.5%と減少した。令和３年度は固形燃料（RDF）を資源量から除いたため資源化率は大幅に減少した。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①町民１人１日あたりのごみの排出量は、令和３年度880ｇで県下35自治体中１１位であった。令和３年度の近隣市町村の１人１日あたりのごみ排出量は、昭和村842ｇ（９位）、川場村1,006ｇ（２４位）、沼田市1,054ｇ（２８位）、片品村1,364ｇ（３４位）であった。<br>①リサイクル率は、令和３年度22.5%で県下35自治体中５位であった。令和３年度の近隣市町村のリサイクル率は、昭和村16.2%（１４位）、沼田市15.9%（１５位）、川場村11.0%（２４位）、片品村10.5%（２７位）であった。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | ①ごみの減量に向けて何らかの取組を行っている町民の割合は、目標値90.0%に対し91.9%となり1.9%上回った。令和４年度アンケート結果の１位は【マイバックを利用する】で82.1%であり、昨年の81.4%から0.7%と上昇した。<br>②ごみ総排出量は令和３年度の目標値5,666ｔに対して5,797ｔと131ｔ上回った。町民１人あたりのごみ排出量（事業系＋生活系）は、令和２年度の目標値750ｇに対して880ｇであり130ｇ上回った。<br>③ごみの資源化率（リサイクル率）は、令和２年度の目標値62.5%に対して22.5%であり、40%下回った。令和３年度は固形燃料（RDF）を資源量から除いたため資源化率は大幅に減少した。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ごみの減量の推進 | A | 一般家庭から排出された可燃ごみの量 | t/年 | 実績値 | 3,264 | 3,050 | 3,085 | 2,954 | 2,772 | 2,821 | 2,753 |
| | | | | | 目標値 | | 3,050 | 3,020 | 2,990 | 2,960 | 2,930 | 2,900 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | ごみの資源化の推進 | A | 直接資源化できる量(古紙類) | t/年 | 実績値 | 406 | 383 | 349 | 348 | 412 | 416 | 399 |
| | | | | | 目標値 | | 383 | 380 | 378 | 375 | 373 | 370 |
| | | B | 集団回収できた量 | t/年 | 実績値 | 80.3 | 78.9 | 82.1 | 81.1 | 78.7 | 78.8 | 69.9 |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | ごみの減量の推進 | ①可燃ごみに混在している紙ごみの分別を徹底しごみの減量化・資源化を推進。<br>②生ごみを出さないための食品ロスへの取組。 | ①ごみの減量化、資源化を促進するために、紙ごみの分別の啓発を進める。<br>②生ごみ量の発生を少なくするための食品ロスの啓発や生ごみ処理機購入補助制度を活用した資源化を進める。 |
| 2 | ごみの資源化の推進 | ①プラスチックに係る資源循環を促進するため、廃プラごみの資源化。<br>②分別意識、分別精度を高めるため、「ペットボトル」及び「びん」に係る分別方法への取組。 | ①廃プラごみの分別収集を行い資源化に取り組む。<br>②ペットボトルのラベルをはがすことや、びん類を「茶色びん」、「無色透明びん」、「その他びん」の３種類に分ける分別方法とし、分別精度や意識を高める。 |
| 3 | | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 生ごみ処理容器等購入補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 453,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 電気式生ゴミ処理機・コンポスター・水切りバケツの購入に対し助成をし、家庭から出る生ゴミの自己処理と堆肥としての再利用を促し、ゴミの資源化、減量化を図る。 | 生ごみ処理容器等購入補助事業を周知しごみの減量化を啓発したが、補助事業を利用した町民は減少した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 電気式生ゴミ処理機購入補助台数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | 平成29年3月に補助金の額を5分の4に引き上げ、R2年4月より電気式以外の容器は同一年度3基を上限とするなど要綱の改正を行い資源化、減量化を更に進めたいが、補助事業の利用者が少ない。 | 事業を継続しごみの減量化と堆肥化を進めたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 2 目 1 | | | 11 | 7　台 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | ごみ処理広域化推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 550,510 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。 | ・令和4年9月13日付で構成5市町村による「広域化に関する基本合意書」を締結。<br>・令和4年11月14日付で構成5市町村による「一般廃棄物処理広域化に関する協定書」を締結。<br>・令和4年12月13日付で利根沼田広域市町村圏振興整備組合規約の共同処理する事務を変更し、「ごみ処理施設及びその付帯施設の設置に関する事務」を追加し、組織に一般廃棄物処理推進室を設置する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 構成団体数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | ・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定<br>・ごみ処理の一本化に向けた調整等 | ・一般廃棄物処理広域化協議会を解散し、利根沼田広域市町村圏振興整備組合の一般廃棄物処理推進室内に一般廃棄物処理広域化施設整備協議会を設置する。<br>・建設候補地の選定を進める。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 2 目 1 | | | 5 | 5　個 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 塵芥収集事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 108,339,288 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 町民から排出される家庭ごみをスムーズに収集・運搬し、衛生的な生活環境の確保に努める。その他、指定袋の管理・ごみ集塵箱の作成、修繕・委託事務・統計事務・請求業務等。 | ・全町の土曜日、水曜日を除く収集曜日（燃やせるごみ）の統一。<br>・収集業務実態に基づく経費の見直し。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | ごみ全体収集量（可燃・不燃粗大・資源ごみ等） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | 収集経路や収集方法等の見直しや合理化 | ・廃プラの収集などごみ分別の見直し | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 2 目 2 | | | 5797 | 5935　t |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 資源集団回収奨励金交付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 559,440 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 家庭から排出される再生可能な資源物（古紙類、かん、ペットボトル）を分別し、回収することにより、ごみの減量化及び資源化を図るため回収を行う団体に対して奨励金を交付する。 | 広報による集団回収事業の紹介 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 登録団体数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | ・ごみの減量化、資源化をしながら地域のコミュニティも図れ、登録団体の活動資金にもなるため周知をし団体を増やしたい。 | 集団回収団体の増加 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 4 項 2 目 2 | | | 21 | 20　団体 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 奥利根アメニティパーク施設管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 57,279,170 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 廃棄物処理法に基づき、毎年のみなかみ町一般廃棄物実施計画を策定・告示し町内のごみ及びし尿・浄化槽汚泥等を適正に処理するための需用費の管理、法定点検、法定分析業務委託などアメニティパーク全体の管理運営業務 | 利根沼田ブロックでの広域化処理施設建設が協議している中、施設が完成するまでの間、経費削減をするために固形燃料化施設を停止し施設内に中継設備を整備し、可燃ごみ全量を近隣自治体、民間業者へ委託した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | | | 施設処理量（可燃ごみ、不燃粗大、資源ごみ） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 2 目 3 | | 施設運転に伴う電気使用量及び施設維持管理にコストがかかる。 | 各施設の老朽化が進んでいるため、定期的な調査及び維持管理に努め、ランニング経費等を注視しながら維持管理に努める。 | 2672t・930t・218t | 1882・814・220 / t |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 燃やせるごみ処理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 535,895,290 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 町内で排出され、収集及び直接搬入された家庭系・事業系の可燃ごみを固形燃料化施設において破砕・乾燥・圧縮成型の工程により固形燃料（RDF）とするための維持管理。 | 固形燃料化施設を停止し、施設内に中継設備を整備し、広域処理が始まるまでの間は可燃ごみを全量委託する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | | | 製造した固形燃料の量 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 2 目 3 | | 施設の稼働から23年が経過し、設備の老朽化に伴う修繕箇所の増加や改修工事に経費が掛かる。 | 可燃ごみの委託処理が滞ることがないよう、近隣自治体、民間業者の処理状況を注視しながら対応する。 | 1566 | 760 / t |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 資源ごみ等リサイクル事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 49,943,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 生活系及び事業系一般廃棄物（粗大・不燃・資源ごみ）から資源物を効率的に回収し、ごみの減量化を図るためのリサイクル施設の適正運転及びごみ破砕後に出る残渣物の適正な処理をする. | 精密機能検査の結果を元に整備順位を検討し来年度以降の工事を検討した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | | | 搬入量（ペットボトル含む） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 2 目 3 | | 老朽化した設備の延命化工事を計画的に行い、適正な施設運転をしていく、また選別後の残さの処理単価が高騰してきている | 整備順位に基づき補修工事を実施していく。 | 1149 | 1034 / t |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | し尿・浄化槽汚泥処理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 57,880,550 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 12 | 循環型社会づくりの推進 | 町民の家庭で使用している浄化槽の清掃水及び汲み取りし尿を奥利根アメニティパークのし尿処理施設にて適切な処理をする運転保守管理業務 | 精密機能検査の結果を元に補修及び更新工事を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | ごみの資源化の推進 | | | 搬入量（し尿）<br>・搬入量（浄化槽汚泥） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 廃棄物処理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 2 目 3 | | 施設稼働から20年以上経過しているので設備機器が老朽化し、これらの延命化修繕・更新工事に経費がかかってくる。放流水の法定排出基準を遵守しなくてはならない。 | 精密機能検査の結果を元に整備順位を検討し来年度以降の工事を検討する。 | 706・4893 | 682・5275 / kl |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 7 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅱ | 豊かな自然と共生するまち | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |
| 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 関係課 | 農林課　林業振興係/環境課　環境対策係/観光商工課　観光振興係 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民<br>②町外の人<br>③みなかみユネスコエコパークの自然環境 | ①自然環境に対する意識を高め、人と自然が共生する取り組みを積極的に行う。<br>②町の自然資源の価値を認識して、関わりを増やす。<br>③保全され、後世に引き継がれる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 保全活動の推進（まもる力） | ①町民、町外の人<br>②みなかみユネスコエコパークの自然環境 | ①保全活動を積極的に行う。<br>②まもられる。 |
| | 2 | 自然資源の活用（いかす力） | ①町民、町外の人<br>②みなかみユネスコエコパークの自然環境 | ①自然資源を活用する。<br>②いかされる。 |
| | 3 | 豊かな自然の啓発（ひろめる力） | ①町民、町外の人<br>②みなかみユネスコエコパークの自然環境 | ①自然の豊かさや大切さを認識する。<br>②ひろめられる。 |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 |
|---|
| ・町内の豊かな自然と暮らしが共生してきたことの理解を深めるとともに保全活動を積極的に推進します。<br>・町内の暮らしのまわりにある自然環境の調査研究を推進するとともに環境教育を推進します。<br>・身近な自然である里山環境を整備するとともに、そこから得られる木材や自然エネルギーなどの地域資源を有効に活用します。<br>・河川空間を利用して隣接区域とともに良好なまちと水辺が融合した空間形成に取り組みます。<br>・ユネスコエコパークの理念に基づく取り組みを通じて、SDGs達成への貢献を目指します。 |

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | 人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 15.9 | 16.4 | 14.8 | 21.4 | 18.3 | 13.4 |
| | | | | 目標値 | | 50.0 | 52.0 | 54.0 | 56.0 | 58.0 | 60.0 |
| | B | 町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合 | % | 実績値 | 64.2 | 67.8 | 63.1 | 67.4 | 65.2 | 65.5 | 70.1 |
| | | | | 目標値 | | 65.0 | 66.0 | 67.0 | 68.0 | 69.0 | 70.0 |
| | C | みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度 | % | 実績値 | 実績なし | 88.7 | 88.3 | 88.4 | 88.0 | 85.7 | 82.4 |
| | | | | 目標値 | | 70.0 | 75.0 | 80.0 | 85.0 | 85.0 | 90.0 |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 |
|---|
| A）直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握 まもる・いかす・ひろめる取り組みの3項目の平均を実績値とする。<br>※あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組みを行っていますか。→「全て行っていない」と回答しなかった人の割合（まもる取り組み、いかす取り組み、ひろめる取り組みの平均値）<br>B）直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」「保全され、引き継がれる」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※町内の自然環境が守られていると感じますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合<br>C）直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※あなたは、町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知ってますか。また、「ユネスコエコパーク」の趣旨についても知ってますか。→「知らない」と回答しなかった人の割合 |

| 目標値設定の考え方 |
|---|
| A）人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、みなかみ・水・「環境力宣言」にある、まもる力、いかす力、ひろめる力に沿い町民がどの様な関わりを有しているかを数値化するもので、現状では設問から2人に1人が何らかの関わりを持っているものと考えられるので、2022年度は地道に施策を展開し毎年2%ずつ増やし60%を目標とする。<br>B）町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合は、従来からのアンケートから65%をスタートに2022年度は毎年1%ずつ増やし70%を目標とする。なお、当該アンケートは漠然としているの各種施策を展開しても数値には反映しないものと考える。<br>C）みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は2017年の登録を契機に2017年度調査の42%を大きく上回り町民4人に3人弱が知っていると考え70%をスタートに積極的に周知に努め2022年度は90%を目標とする。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1．町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2．行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・子どもから高齢者まで、町の自然に理解を深めること、自然を守ること、自然にふれあうことに取り組む。<br>・家庭や事業所において、省エネルギーや環境にやさしい活動に取り組む。 | ・みなかみユネスコエコパークの登録を町内外に周知しその理念に基づいたまちづくりを行う。<br>・自然環境の保全、調査研究を行う。<br>・群馬県自然環境保全条例の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然環境の調査・研究を行う。<br>・自然公園法等の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然環境の調査・研究を行う。<br>・谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づいた取り組みを推進する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1．施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2．施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・2017年6月14日みなかみユネスコエコパークが登録される。<br>・森林環境税の創設が2018年度税制改正の大綱に盛り込まれる。（2017年12月22日）<br>・SDGs未来都市選定(2019年7月1日）<br>・2021年5月「2050年の脱炭素社会実現」に向け地球温暖化対策推進法改正。 | ・森林資源を積極的に活用し産業を振興するべきである。<br>・みなかみユネスコエコパーク登録を契機にその理念に基づいたまちづくりを行うべき。<br>・自然環境を守りつつ、それをうまく利活用するべきである。<br>・自然環境の保全とみなかみユネスコエコパークの関わりなどについて出前講座などを開催して町民の意識の向上のため啓発活動が必要である。<br>・自然環境保全地区や貴重な動植物生息地域、景観が優れている地域などを町民が関わり指定する制度などが必要である。 |

| 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、令和元年度14.8%、令和２年度21.4%、令和３年度18.3%、令和４年度は13.4%と減少した。<br>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、令和元年度67.4%、令和２年度65.2%、令和３年度65.5%、令和４年度は70.1%と増加した。<br>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、令和元年度88.4%、令和２年度88.0%、令和３年度85.7%、令和４年度は82.4%と微減あった。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | 環境力宣言、ユネスコエコパークへの登録、SDGs未来都市認定など、本町の人と自然の共生に係る取り組みは、近隣市町村と比べ盛んである。具体的には、<br>①谷川岳一ノ倉沢交通規制の実施。県内で交通規制を実施しているのは片品村（尾瀬）のみ。電気バス2台を運行。<br>②みなかみ町自然環境及び生物多様性を守り育てるため昆虫等の保護を推進する条例制定（平成23年4月1日）<br>③エコツーリズム推進全体構想が平成24年6月29日に国から認定された。（全国3番目。国立公園としては当時初めての認定）<br>④赤谷プロジェクト活動支援事業（生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進める取り組みは全国で2カ所のみ）<br>⑤みなかみユネスコエコパークの登録（平成29年6月14日）。国内の登録地は現在10カ所のみであり、ユネスコの国際的なプログラムであり高い水準の取り組みであると言える。<br>⑥森を育む広葉樹産業化プロジェクトに関する協定書締結（平成30年12月10日）<br>⑦日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）とイオン環境財団との連携協定に基づいたBR啓発活動を実施している。（みなかみBRフェア、イオンチアーズクラブ等）<br>⑧SDGs未来都市選定（令和元年7月1日） |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、目標値60.0%に対し13.4%となり目標値を大きく下回った。<br>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値70.0%に対し70.1%となり目標を達成した。<br>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、目標値90.0%に対し82.4%となり目標を多少下回った。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 保全活動の推進（まもる力） | A | 里山などの整備や野生動物・植物の保全活動をしている町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 9 | 12.3 | 10.6 | 11.8 | 10.2 | 13.4 |
| | | | | | 目標値 | | 25.0 | 26.0 | 27.0 | 28.0 | 29.0 | 30.0 |
| | | B | 森林整備面積 | ha | 実績値 | 90.92 | 107.92 | 118.23 | 176.51 | 154.16 | 112.74 | 100.83 |
| | | | | | 目標値 | | 106.00 | 110.00 | 110.00 | 120.00 | 120.00 | 130.00 |
| 2 | 自然資源の活用（いかす力） | A | エコツアーへの参加者数 | 人 | 実績値 | 2,092 | 3,377 | 2,840 | 5,790 | 2,476 | 253 | 8,591 |
| | | | | | 目標値 | | 3,500 | 3,960 | 4,420 | 4,880 | 4,950 | 5,000 |
| | | B | 自然を活用した活動をしている町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 24 | 24.9 | 22.0 | 34.8 | 31.4 | 35.8 |
| | | | | | 目標値 | | 25.0 | 27.0 | 29.0 | 31.0 | 33.0 | 35.0 |
| 3 | 豊かな自然の啓発（ひろめる力） | A | みなかみユネスコエコパークのホームページへのアクセス数 | 件 | 実績値 | 実績なし | 59,280 | 38,077 | 31,604 | 27,970 | 37,136 | 40,113 |
| | | | | | 目標値 | | 30,000 | 31,000 | 32,000 | 33,000 | 34,000 | 35,000 |
| | | B | 自然とのふれあいを楽しんだり伝えている町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 14 | 11.9 | 11.9 | 17.5 | 13.4 | 19.6 |
| | | | | | 目標値 | | 50.0 | 52.0 | 54.0 | 56.0 | 58.0 | 60.0 |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 保全活動の推進（まもる力） | ①自然環境の現状を把握すると共に町民自身が自然環境の保全活動に積極的に取り組むための仕組みづくり。環境調査によるデータ蓄積と見える化<br>②森林経営管理法、森林環境税・譲与税の新たな仕組みへの対応（いかす・ひろめるにも関連）<br>③森林環境の保全 | ①自然環境の現状調査及び課題の整理（保全計画）。みなかみBR推進プラン及び三菱地所、NACS-J連携協定に基づく具体的な取組の検討と実行。<br>②森林の所有や経営、整備等に関する具体的な意向等について調査を実施し、対象森林の情報収集を行う。<br>③森林環境贈与税を財源とし、森林環境の保全を図るため、管理が必要な森林の整備を実施し、森林が有する多面的機能の発揮に資する事業を推進する。併せて、人工林を自然林に戻す取り組みの実践 |
| 2 | 自然資源の活用（いかす力） | ①木材や自然エネルギーなど地域資源を有効に活用する。<br>②自然資源の持続可能な利活用を目指した産業の活性化。<br>③観光、農林業、商工業等の経済活動における、みなかみ町ブランドとして付加価値をつける。 | ①木材や自然エネルギーの地産地消を推進し、木材が循環するための調査及び仕組みを検討する。<br>②地域の自然環境の保護・保全を図りつつ、それら自然資源を持続可能な形で利活用することで、地域の社会及び経済の発展を図ること目指す。自伐型林業の推進、広葉樹などのBR資源を活かした産業モデルの構築。流木を活用した薪プロジェクトの実施<br>③BRブランドの確立のため、認証制度の調査・研究。 |
| 3 | 豊かな自然の啓発（ひろめる力） | ①豊かな自然を啓発する人材育成<br>②参加者に適した環境学習プログラムの整備<br>③町の豊かな自然を再認識してもらう<br>④町民にBRの理念等を普及する。<br>⑤子ども達等に対するBR、SDGsの浸透<br>⑥環境省との連携 | ①環境教育、自然環境保全、木育、自伐型林業などに携わる人材の育成。②赤谷プロジェクト・エコツーリズム協議会・ホタルを守る会などの関係者と協議し環境学習のテーマやプログラムの調整を図る。③みなかみの自然とくらしの概要版やみなかみユネスコエコパーク推進方針2030を活用して自然の重要性を啓発。④町民等を対象としたBRの普及等の研修会を継続して開催する。⑤町内外の子ども達等への環境教育、SDGsの普及啓発、木育の推進及び強化。⑥谷川岳インフォメーションセンターの活用 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | ユネスコエコパーク推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,391,864 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進するため、計画の策定や、普及啓発、等全体の運営を行う。 | 三菱地所、日本自然保護協会、町の3者で10年間の連携協定を結び、ネイチャーポジティブを目指した新たな活動を実施することとなった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | 検討、協議、普及啓発の実施回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 7 | 管理運営計画に基づく推進プランの作成と、普及啓発。 | 連携協定を結ぶ3者で、10年間で取り組む事業を精査し、事業展開を進める。<br>みなかみユネスコエコパーク推進目標2030を活用し、引続きこどもたちへの普及啓発に力をいれる取組みを進める。 | 61 | 78 / 回 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 木育推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 110,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 木育を通じて、ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進する。 | コロナ禍によりイベントの実施はできなかった。<br>誕生祝い品については、町内の木工制作に携わる方の支援を得て、持続提供できるよう道筋を構築した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | ・木育関連イベントの開催・ウッドスタート宣言と誕生祝い品事業の実施 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 7 | 木育をテーマとして、子育て、教育、林業、観光等々の連携した仕組みの構築と人材の育成<br>みなかみ町に特化した誕生祝い品の持続的な提供 | 誕生祝い品の持続提供について(ユネスコエコパークの理念に合致する祝い品の種類を増やしていく。後継者問題等。)検討を進める。<br>外的要因に(コロナ)影響されない木育推進方法の検討。 | 0 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 森の恵と学びの家管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,145,798 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | みなかみBRの発信拠点として「森と学びの森」をオープンさせた。その管理運営を行うとともに、カスタネットや木工体験を通じてみなかみBRの普及啓発を図る。 | 後継者問題については、町が連携するオークビレッジと課題を共有し、人材派遣を含め対応方法を検討進めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | 来店者数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 7 | 平成27年5月から事業が継続される中、新商品の開発等が進んでいるが、主力商品のカスタネットは制作者の高齢化が進み、商品の需給バランスが崩れている。担い手となる後継者問題が発生している。 | 商品不足や後継者問題については、引き続き課題解決に向けて、関係者との協議を進めるとともに、管理運営方法や今後の方針についても再検討していきたい。 | 1,745 | 2,297 / 人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 小水力発電施設管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 236,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ・市民協働事業で1kW程度の谷川ピコ水力発電所を設置した。<br>・平成25年度矢瀬マイクロ水力発電所を設置。以降発電所の維持管理に加え、再生可能エネルギーの普及や環境教育に取り組む。 | 矢瀬公園小水力の維持管理を継続したが、再生可能エネルギーの普及を含む環境教育については十分とは言えない状況であった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | 年間発電量 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 11 | ・水力発電施設を環境教育に展開すること。<br>・水力発電施設の維持管理に伴う専門知識の習得。<br>・施設の老朽化に伴う、今後の維持管理経費。 | 谷川地区の小水力発電施設は地区での管理利活用を継続している状況である。矢瀬公園の小水力発電施設は矢瀬公園内の設備に電力供給をしているが、水量についてはJRの水を利用していることから通年利用はできない状況にあり、設備の老朽化に伴う維持管理経費の増大が予想される。設備の維持管理を含め今後の展開方法を検討する時期に来ている。 | 26822 | 19692 / kWh |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 住宅省エネルギー設備設置費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,080,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 平成22年4月みなかみ町住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付要綱を新たに施行し、住宅用太陽光発電設備の設置に対して補助金を交付した。平成23年度からは、太陽光発電設備の設置が難しい北部地域でも省エネルギーの取り組みも助成できるよう、対象を太陽熱温水設備や高効率給湯設備まで拡大して設置費の補助を行っている。また、平成26年7月から高効率給湯設備の機種を拡大している。 | HPなどにより周知した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 太陽光発電設備設置申請件数<br>・高効率給湯設備設置申請件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 11 | | ・太陽光発電設備について、国は平成26年度をもって補助を終了、県も平成28年度より融資制度に切り替わっている。町の制度も改正等を検討する必要がある。 | 2050年ｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙに伴うグリーン成長戦略やぐんま5つのゼロ宣言等の整合性を図りながら補助事業を推進する。 | 11・42 | 6・41　件 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 庁内エコ活動推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 558,860 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 平成22年改正省エネルギー法の施行により、エネルギーの原油換算使用量が1,500kl以上の事業者を特定事業者に指定し、削減のための中長期計画の策定・定期報告書の提出が義務づけられている。地球温暖化対策法では、温暖化対策の実行計画の策定を義務づけ、温室効果ガスの削減に努めることとされています。町は、平成22年10月に省エネルギー法による特定事業者に指定され、平成21年12月には地球温暖化対策法に基づくみなかみ町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、事業にあっている。 | 第3次実行計画に沿って、毎年0.5%のCO2排出量を削減に向け取り組んだ。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | CO2換算温室効果ガス排出量 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 11 | | COP21で決議されたCO2削減対策に対し、庁舎一体となった、より一層の削減対策や中長期計画の見直しが必要となってくる。 | 今年度の達成状況を確認しながら、計画に沿って毎年0.5%の削減に取り組む。 | 6562 | 6187　t-CO2 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 環境対応車推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,130,362 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ・電気自動車急速充電器設備の管理（町内4カ所道の駅）町内に訪れる観光客や電気自動車ユーザーに環境に配慮した取り組みを町内外へアピールし、排出されるCO2を削減します。 | 急速充電器保守業務委託料の見直しを行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 急速充電器利用台数（累計） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 11 | | 早くに導入したため課金機能が無く無料で充電できるため、利用者には大変喜ばれている。電気料と維持管理費が道の駅での買い物等に繋がっていれば良いが、今後の充電機器の更新をどのようにしていくかが課題 | 道の駅に設置している充電設備について、設置から11年が経過し今後の維持管理が懸念されるため、今後の運用を検討する。 | 2144 | 3169　台 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 生物多様性保全活動推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 150,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 自然環境に恵まれた当町では、自然環境と生物多様性を保全する様々な取り組みが行われている。この取り組みを行う団体に対して支援し、生物多様性の活動の広がりを推進する。 | なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 補助金交付団体数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 11 | | なし。 | この活動補助の周知を含め、生物多様性保全活動の広がりを推進していく。 | 5 | 5　団体 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | ホタル保護事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 540,671 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 生活環境のバロメーター「ホタル」をはじめとする水棲生物等の生息地の整備など、自然との共生や環境保全を推進し、自然に親しむ機会の拡充に努めます。ホタルを守る会等と協力し、ホタル観賞会や小学校でのホタル教室など環境教育を推進します。さらに、観光資源として地域の活性化につなげます。<br>ホタル関係施設の管理、ホタル観賞会、環境教育(ホタル教室)の実施、ホタル生息地・発生数等の調査を実施しています。 | コロナウィルス感染症対策のため観賞会やイベントは中止となったが、保護活動やホタル教室につては、予防対策をとりながら活動した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進(まもる力) | | | ホタル教室・保護育成活動参加延人数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | ホタルの情報(生態も含め)を発信し、保護するもの、観光とするものがマナーを守り共存していくことが必要である。<br>ホタル保護を担当する職員の後継者の育成が必要である。 | 活動に参加する皆さんの高齢化やコロナ対策を考えながら、無理ないように活動を継続していく。 | 375 | 579　人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 環境ポスターコンクール事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 51,045 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 環境美化・地球温暖化・循環型社会に対する意識の啓発と郷土愛を育むことを目的とし、町内各小中学校を対象に環境ポスターコンクールを行ってきた。エコパーク登録を契機にみなかみユネスコエコパークポスターとして募集を行う。<br>夏休みの作品として学校を通じ応募を行う。夏休み後、応募作品を取りまとめ、審査し・表彰を行います。優秀作品は、町の文化祭や役場などに展示します。 | エコパーク・ほたるポスターと連携して募集を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 豊かな自然の啓発(ひろめる力) | | | ポスター応募数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | 特にない。 | 児童生徒数は毎年減少しているが、継続することが大事である。 | 48 | 72　件 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 藤原里山保全事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ①上ノ原の茅場再生事業、藤原地区の古道復活事業、森林塾青水主催のイベント等への協力。②森林塾青水との連絡調整。 | なし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進(まもる力) | | | 青水イベント参加者数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | イベントの参加者の減少。 | なし。 | 87 | 79　人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 広葉樹産業化プロジェクト事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,677,292 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 森林資源を有効活用した地域内経済の循環を推進する。 | _ | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | 森林活用協議会と連携する団体数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | _ | 森林活用協議会を主体として、協力する企業等を募り、森林資源の有効活用を検討していく。 | 3 | 3　団体 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000028 | 松くい虫駆除・防除事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,310,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ・森林病害虫駆除事業（県単奨励）<br>伐倒および燻蒸による松食い虫の駆除。5月末までに実施する。<br>・保全松林周辺対策事業（県単）<br>道路側や公共施設付近の松食い虫被害木を伐倒し、周辺への拡大を防ぐ。 | 上津地内の山林で被害が広がっているため、地元区長に樹種転換事業の導入を勧めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 伐倒在積 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 現在では被害広がりが深刻であり、優先順位をつけて実施していかなければならない。 | 上津地内では、生活道としての林道に松の倒木が多発しているため、樹種転換事業の導入を勧めていく。 | 66.89 | 78.27 / 立法メートル |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 特用林産物加工施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 平出の特用林産物加工施設の管理について、土地の貸借契約および使用料の支払いと、商工会との管理委託契約の締結 | — | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 課題なし | — | 38 | 58 / 人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000031 | 利根川源流森林整備隊活動事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 100,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 主な事業主体である利根沼田森林組合と協力してボランティアや林業従事者からなる利根川源流森林整備隊を組織し、山に親しんでもらい林業の発展につなげる。 | コロナウイルスの影響もあって、書面議決による総会を実施して、新役員を決定した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 活動回数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | ・現在、理事長等役職が不在であり、組織を見直す必要がある。 | 現在、収益活動を行っておらず、NPO組織を見直す。 | 3 | 2 / 回 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000029 | ナラ枯れ対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,467,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | カシノナガキクイムシによるナラ枯れの防除・被害木の伐倒等 | ナラ枯れ対策として、県の指導の下、防除方法、事業箇所の位置や設置期間を計画して、おとり丸太及び粘着シートを設置した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 民有林の伐倒木 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 奈女沢・小仁田へと被害が町北部から南下してきている。 | カシノナガキクイムシの実態が解明されていないため、県の指導の下、有効な防除対策を実施していく。 | 1 | 0 / 本 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000032 | 里地・里山保全整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 40,848,206 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ぐんま緑の県民基金により、里山・平地林について、地元で整備する場合については補助金による支援を行い、地元で整備するのが困難な箇所については、町が整備することにより、獣害の抑制・通学路等の安全確保等を図る。 | ・事業の効果が目に見えて分かるため、要望する地区の方は、積極的に地区の取り纏めを行っている。<br>・地域住民が業者に委託することで課題が解消されつつある。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 整備面積・管理面積 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | ・不在地権者等、地権者と協定を結べるかがスムーズな事業着工の鍵である。<br>・2年目以降の地域住民による管理について、高齢化により管理が困難になりつつある。 | — | 8.84・39.64 | 4.08・49.66 / ha |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000037 | 自伐型林業推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,567,364 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ○自伐型林業研修の実施（自伐協との委託契約・研修場所の選定及び地権者との交渉）<br>○自伐型林業を実施する際、多面的機能発揮対策交付金の利用を希望する団体の対応 | 森林活用協議会を設立して、自伐団体の意見を取り入れる体制ができた。協議会で課題解決も図っていく。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 会議、研修会等の開催回数<br>・自伐型林業家数（従事者数） | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 「自伐林業」推進する上で、町民啓発と個人の技術力向上が課題である。 | 協議会の事務は、町主体から民間主体に移行する。 | 11・98 | 18・99 / 回・人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 薪ストーブ等設置費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,325,459 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 町民等が薪ストーブ等を購入する経費に対して補助金を交付するもの。 | — | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 補助金交付件数・補助金交付額 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 課題なし | — | 20・3,939 | 20・3,325 / 件・千円 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000040 | 森林活用推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,528,300 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 管理等の行き届いていない森林等の把握や活用されていない森林の掘り起こし、新たな森林の活用を喚起するマッチング等に向けた取り組みを実施するもの | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 森林整備面積 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 森林所有者や森林の現況等の調査方法の検討、森林のマッチングに向けた調査結果（情報）の運用方法　等 | 森林環境譲与税を財源として実施 | 112.74 | 100.83 / ha |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000047 | 森林環境保全事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,546,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 町内森林の整備をより一層推進し、森林環境の保全を図るため、管理等の必要な森林の整備や森林が有する多面的機能の発揮に資する事業を実施するもの | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 実施箇所数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 事業実施場所の選定や調整、森林所有者との合意形成　等 | 森林環境譲与税を財源として実施 | 0 | 2 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000041 | 森林資源循環プロジェクト事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,645,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 森林資源の様々に活用する仕組みを構築し、地域内で資源を循環させることで、木材等の流通を促し、地域内経済の新たな循環や創出を図るもの | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 森林活用協議会の木材流通搬出量 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 拠点となる用地の確保、予算措置<br>木材集積拠点の運用に関する事項 | R4年度以降は、地方創生推進交付金を活用しての事業実施を計画 | 19.664 | 33.439 / 立米 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 県単治山事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,284,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | ・地元の要望箇所を県と現地調査を実施し、県への実施要望へ繋げる。<br>・事業実施に向け、県と地権者との調整を行う。 | 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法が施行された。しかし、土地の承諾を得るまでの期間が短く、法の利用が使いづらい。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 整備要望箇所数・整備着手箇所数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 地権者へ連絡を取る際、不明者が多く承諾がとりづらい。 | ― | 26・14 | 26・6 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | ミニダム管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 72,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 国有林内に設備した治山施設に対する借地料の支払いを行う。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 支払件数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 課題なし | ― | 1 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000034 | 林業専用道路整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,939,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 林業振興のため、新しいタイプの林道である林業専用道を県が開設するのに負担金を支払う | — | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 工事延長 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 3 | | 課題なし | — | 120 | 281 / m |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 谷川岳一ノ倉沢道路適正利用推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,473,155 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 谷川岳一ノ倉道路の渋滞が予想される行楽シーズンについて交通規制を実施し、自然環境保全を中心に、歩行者の安全確保や通行車輌の事故防止を目的とします。 | 関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 保全活動の推進（まもる力） | | | 道路利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 11 | | 電気バスの持続的な運行 | 引き続き、関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を行う。 | 27186 | 37087 / 人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 谷川岳エコツーリズム推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,182,108 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 平成24年6月に国から認定を受けた谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づき、谷川岳の自然を守りながら地域活性化に資する取組を推進するもの。 | 総会にて承認された登録制度に基づき、インタープリターを登録した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 谷川岳エコツアー参加者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | インタープリターの養成及び登録制度の活用。 | 引き続き未登録のインタープリターを登録していく。 | 253 | 8591 / 人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | かわまちづくり事業（水辺活用プラン） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 47,410,129 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 河川占用基準の緩和や国によるかわまちづくり支援制度を活用し、今までに無い河川の利用方法を検討、実施する。 | 群馬県及び関係機関との協議、親水公園整備の実施。同等規模の道の駅及び園地の視察。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用（いかす力） | | | 水紀行館入館者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 11 | | 地域住民と地域事業者、河川管理者（群馬県）と一体となった取り組みが不可欠 | 関係機関及び地域事業者と一体となった継続的な取り組み。親水公園整備による水紀行館来館者の増加。 | 172,733 | 418,071 / 人 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000039 | 親水公園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 124,710 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 阿能川親水公園・須川川親水公園の維持管理事業である。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | 施設維持管理上の・トラブル発生(対処)件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 3 目 1 | | 課題なし | － | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　5　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 矢瀬親水公園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,016,117 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 13 | 人と自然の共生の推進 | 都市公園(H10年10月告示、特殊公園)に係る維持管理事業である。草刈り等の維持管理は、月夜野は一ぺすとへ委託している。 | 支障木を伐採したことにより、安全に公園利用できるようになった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 自然資源の活用(いかす力) | | | 管理上の問題発生(対処)件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 4 | | 公園内の樹木が大きくなり、公園利用に支障を来しているため、伐採する必要がある。 | 点検結果により遊具及び施設の安全管理及び安全対策が必要である。 | 1 | 2 / 件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅱ | 豊かな自然と共生するまち | 主管課 | 名称 | 環境課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原澤　智章 |
| 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 関係課 | 上下水道課　上下水道係 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民　②町内の生活環境 | ①環境への負荷を低減させる。<br>②良好な状態に保持される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 生活排水の適正処理 | ①町民<br>②町内の生活環境 | ①生活排水が適正に処理される。<br>②水質が保全される。 |
| | 2 | 公害防止対策の推進 | ①町民<br>②町内の生活環境 | ①公害に対する意識を高める。<br>②公害が未然に防止される。 |
| | 3 | 公衆衛生対策の推進 | ①町民<br>②町内の生活環境 | ①公衆衛生に対する意識を高める。<br>②良好な住環境が維持される。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・下水道事業を健全に運営し、施設の計画的な整備と維持管理、合併処理浄化槽の普及を推進します。
・典型7公害や不法投棄などの対策を推進し、町民が快適に暮らせる良好な生活環境を保持します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 汚水処理人口普及率 | % | 実績値 | 77.2 | 78.6 | 78.1 | 78.5 | 78.8 | 79.0 | 79.9 |
| | | | 目標値 | | 78.2 | 79.2 | 80.2 | 81.2 | 82.2 | 83.2 |
| B | 下水道普及率 | % | 実績値 | 47.6 | 47.9 | 47.4 | 47.4 | 47.5 | 47.2 | 47.8 |
| | | | 目標値 | | 47.8 | 48.0 | 48.2 | 48.4 | 48.6 | 48.8 |
| C | 典型7公害件数 | 件 | 実績値 | 17 | 8 | 3 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| | | | 目標値 | | 16 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 |
| D | 不法投棄等その他苦情件数 | 件 | 実績値 | 38 | 18 | 31 | 24 | 28 | 12 | 4 |
| | | | 目標値 | | 25 | 25 | 24 | 24 | 23 | 23 |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A)、B)数値が高まれば、結果として町民が生活排水を適正に処理し、利根川源流域の水質を守ることに繋がるため成果指標とした。
汚水処理人口普及率(%)＝汚水処理人口(下水道、農集排、合併浄化槽人口)÷総人口
下水道普及率(%)＝下水道処理区域内人口÷総人口
C)環境基本法で公害と定義されている7種類の事象(大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭)で、群馬県や国に報告する対象であること。この件数が減少すれば町民の健康と生活環境が良好に維持されていることになるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
D)数値が減少すれば、町内の生活環境が良好に維持されていることになるため成果指標とした。
主管課で実数を把握

**目標値設定の考え方**

A)汚水処理人口普及率は過去の指標の推移から、成り行きでは毎年度0.5ポイントずつ上昇と設定しており、目標としては、令和4年度に83.2%をめざす。群馬県処理計画では、みなかみ町は、令和9年度までに90%を目指しています。【国平均:90.4%(H28)、県平均:79.8%(H28)、県目標:91.7%(R9)】
B)下水道の普及率は、整備をすれば上昇する。今後、老朽化対策に重点がシフトしていくことを考えると、面的整備への投資を増加させることは困難。過去4年間で率が1%上昇していることから、優先順位を考慮しながら現状の整備を維持し、令和4年度目標を48.8%とする。【県平均:53.2%(H28)】
C)典型7公害とは「大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・悪臭防止」と「騒音規制・振動規制・地盤沈下」の4つの防止法と3つの規制法を総合して典型7公害と呼ぶ。苦情の8割は「大気・水質・土壌・悪臭」である。この苦情件数が減少すれば、町内の生活環境、公衆衛生が保全されている指標になる。【H28実績の17件をR4で12件を目標とする】
D)苦情受付において不法投棄によるものが半数以上を占めている。土地所有者の高齢化が進むことで農地などの管理が行き届かず不法投棄を誘発しやすい状況が作られるなど、今後増加が懸念される。パトロールや広報等で注意喚起を促し苦情件数の減少に努める。【苦情件数H28実績の27件をR4で23件を目標とする】

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 | 2. 行政(町、県、国)の役割 |
|---|---|
| ・公共下水道や農業集落排水への接続や、合併処理浄化槽への転換とともに適切な維持管理に努める。<br>・地域の生活環境を悪化させないよう、不法投棄の防止や公害に対する意識を高めるなど良好な住環境づくりに努める。<br>・犬・猫の適正な飼育管理に努める。 | ・下水道を健全に運営し、下水道施設の計画的な整備と維持管理、合併処理浄化槽の普及に努める。<br>・不法投棄対策、公害防止対策など地域の生活環境の維持に努める。<br>・犬・猫の保護対策の実施主体である群馬県(動物愛護センター)と連携し、犬猫衛生対策を推進する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・人口減少に伴う人口密度の低下により集合処理の運営が厳しくなる。<br>・人口減少等社会情勢の変化を踏まえ効率的な汚水処理手法の選定に努めることが求められている。<br>・下水道未普及地区の解消事業から施設の老朽化対策の割合が増加している。<br>・令和6年度予算決算から下水道事業の公営企業会計適用が要請されている。<br>・犬、猫へのマイクロチップの装着義務化が改正動物愛護管理法が成立し令和4年6月に施行される。 | ・下水道処理区域の未接続住民からは早く接続したい希望と使用料の値上がりを懸念して接続したくない希望との両方がある。<br>・国道や遊休地に投棄されている廃棄物について生活環境や道路環境の汚染等、観光業が主要産業の一つであるみなかみ町にとってはマイナスイメージになっている。<br>・ごみが国道、県道、町道に投棄が見られることから行政と地域、町民が一体になって取り組む必要がある。 |

| 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 主管課 | 名称 | 環境課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原澤　智章 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①汚水処理人口普及率は0.9ポイント上昇した。この要因は、総人口の減少に対し、汚水処理人口の増加によるもの。<br>②下水道普及率は0.6ポイント上昇した。この要因は、総人口の減少率が下水道処理区域内人口の減少率を上回ったことによるもの。<br>③典型7公害受付件数は、令和3年度2件、令和4年度0件と2件減少した。<br>④不法投棄等その他苦情件数は令和3年度12件、令和4年度4件と8件減少した。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①汚水処理人口普及率（79.9%）及び下水道普及率（47.8%）は、近隣の沼田市汚水処理人口普及率（82.3%）、下水道普及率（59.8%）と比較し下回っている。なお、下水道普及率は、都市部と比べ住宅が密集していないため、下水道管路布設時の効率性に差があり低い水準となっている。<br>※沼田市の普及率は令和３年度の数値<br>②町の典型7公害苦情件数は0件。全国の典型7公害苦情受付件数は、令和元年度46,555件、令和２年度56,123件、令和３年度51,395件であり、前年度に比べ4,728件（対前年度比-8.4%）減少している。群馬県での典型7公害苦情受付件数は、令和元年度1,254件、令和２年度1,571件、令和３年度1,276件であり、前年度に比べ295件（対前年度-18.8%）減少している。近隣の沼田市での公害発生件数は、令和元年度36件、令和２年度57件、令和３年度37件であり、前年度に比べ20件（対前年度比-35.1%）減少している。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>☑ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①汚水処理人口普及率は、合併処理浄化槽の普及により微増したが、目標値には達しなかった。また、下水道普及率は、下水道処理区域外人口の減少により微増したが、目標値には達しなかった。<br>②典型7公害受付件数は、0件であり目標値を達成している。不法投棄等の苦情件数は、4件であり目標値23件を上回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 生活排水の適正処理 | A | 利根川・赤谷川の水質 | mg/ℓ | 実績値 | <0.5/<0.5 | <0.5/0.5 | <0.5/0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 |
| | | | | | 目標値 | | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 | <0.5/<0.5 |
| | | B | 水洗化率 | % | 実績値 | 84.5 | 86.0 | 84.7 | 86.8 | 87.5 | 87.5 | 87.9 |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 公害防止対策の推進 | A | 騒音測定の基準値を超過した件数 | 件数 | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | 目標値 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 公衆衛生対策の推進 | A | 犬・猫の避妊手術の申請件数 | 件 | 実績値 | 158 | 155 | 140 | 150 | 143 | 141 | 162 |
| | | | | | 目標値 | | 145 | 145 | 145 | 145 | 145 | 145 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 生活排水の適正処理 | ①人口減少等を踏まえ地域の現状に即した汚水処理手法の見直しを図る。<br>②下水道施設の老朽化対策を進め、生活排水の適正処理を図る。<br>③合併処理浄化槽への転換を推進し汚水処理人口普及率の向上を図る。 | ①開発計画等情報収集に努め適宜汚水処理計画の見直しを検討する。<br>②ストックマネジメント計画に基づき優先順位による施設の老朽化対策事業を実施する。<br>③補助制度の周知に努めると共に指定工事店との協働による転換推進を図る。 |
| 2 | 公害防止対策の推進 | ①少子高齢化や核家族化などの要因により管理できない土地が増加傾向にあるため不法投棄をさせない対策が必要である | ①不法投棄の早期発見に努め、群馬県や警察等と連携、情報の共有化を図り、パトロールの強化や防護柵等の設置を推奨し土地所有者に対して注意喚起を促すとともに地域で監視する体制の構築を図る。 |
| 3 | 公衆衛生対策の推進 | ①望まない繁殖により適正な飼育を受けることができない猫の増加による住環境の悪化が懸念されているとともに、動物愛護の観点から適正飼育対策が必要である。 | ①群馬県動物愛護センターと連携し適正飼育に関する啓蒙活動を行う。<br>②犬、猫避妊・去勢手術に係る補助制度の周知を図る。<br>③特に猫の多頭飼いや飼育崩壊の早期発見やその対策のため地域と行政が協働連携する体制を構築する。 |
| 4 | | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 合併処理浄化槽普及推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 18,397,080 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 公共下水道事業及び農業集落排水事業の供用開始、認可区域以外で合併処理浄化槽を設置する住民に対して補助金を交付する。<br>補助金額は、人槽により加算額を交付している。 | 予算増額 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 合併処理浄化槽の設置基数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 2 目 1 | | 件数が増加傾向にあり、補助金額を上げる要望もある<br>浄化槽の切り替え件数が減少し、新規設置が増加することで国の補助率が下がる恐れがある。 | 市場のニーズを見極める | 37 | 27　基 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 【繰出金】下水道事業特別会計（一般→下水） | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 435,366,900 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 基準内操出基準による一般会計からの繰出事務 | 現在、下水道事業の法的化に向けて取組中 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 出資金・補助金受入業務 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 3 | | 今後企業会計となる上で、操出基準による基準内操出額の減少が見込まれる。下水道事業費全体の歳入歳出を見直す必要がある。 | 法的化に向けて下水道料金改定の議論を始めなければならない。 | 450,389 | 467,212　千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 蜂駆除費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 439,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | みなかみ町内において、町民が安全な生活を送るために実施する蜂駆除に対し、専門業者に依頼する場合に駆除に要した費用の2分の1以内で、1万円を上限として補助金を交付する。 | スズメバチ駆除費用補助事業については、季節的な者であるため住民の認知だが低い。しかし季節により多くの被害が予想されるため例年広報等で啓蒙を進めてきた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公衆衛生対策の推進 | | | 補助金交付回数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | 平成27年度より開始した事業のため、認知度が低いと思われる。スズメバチのみの補助金であることが周知されずらい。 | 本スズメバチ駆除費用補助金制度は季節により要望が多い。そのため今後も事業の継続をしていきたいと考える。 | 47 | 47　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 土砂等による埋立て等の適正化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | ・平成28年3月制定した町土砂条例の適正な執行を図る。<br>・制度の周知を行い適正な土砂の埋立等を推進するとともに不正な埋立を排除する。 | 町土砂条例により事業者の適正な土砂の埋め立て等について指導をしている。また公共事業における土砂条例については規模にもよるが多くが届出外となることから把握がむずかしい状況であるが、すべてにおいて大事故につながる可能性があることから監視体制の充実化は必要である。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公害防止対策の推進 | | | 許可申請件数（相談件数） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | ・公共工事における残土処分を土砂条例で適正に扱うこと。<br>・町域が広いのでパトロールや監視体制をどこまで整えるか。 | 土砂条例に伴う埋め立て等の適正指導と公害防止の推進を踏まえて継続的な監視体制を構築し指導強化に当たる。 | 1（1） | 1（4）　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 犬・猫等衛生対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,508,881 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | ○狂犬病を未然に防ぐため、年1回の予防接種が義務付けられています。狂犬病を発症した犬に噛まれると、100%死に至ると言われています。町は利根沼田獣医師会師会と共に、春に1回・秋に1回集合注射を実施していたが、令和元年度から年1回の実施となった。<br>○捨て犬・捨て猫を増やさないための取組みとして、犬猫の避妊手術費の助成を行っています。捨て犬・捨て猫が増えると糞尿の問題や、野生化した犬や猫が私達の生活活動に悪影響をおよぼす可能性があります。 | 本事業は狂犬病予防対策として例年の継続事業である。毎年町内を循環して予防接種業務を実施しているが、実施日の天候により受診者数が左右し、更に飼い主の高齢化や動物病院の獣医師会からの退会などで年々対応が変わることで事務手続きに苦慮している。また、群馬県の管轄事務所が玉村に移転したことで町への対応が増えることが懸念される。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公衆衛生対策の推進 | | | 登録頭数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | ①注射当日の悪天候や飼い主の高齢化等による実施率の低下が懸念される。<br>②主幹する群馬県の管轄事務所について、沼田から渋川へ移転した後も、祝休日の緊急捕獲や動物保護等へは未対応となる。 | 犬の登録をはじめとして狂犬病予防注射業務については継続して行く必要があるが、近年猫の対応についての相談が多く、これについては法的な手続きを要しないため飼い主のモラルに頼るところが多いが、安易に行政に対応を依頼してくる例が増えている。これらの問題については広報等で地道に啓蒙し理解を深めてもらう必要がある。 | 1008 | 925 / 頭 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 公害対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 57,724 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 県・町が協力し、公害対策に取組んでいる。騒音・振動に関する問合せは町が、水質・大気・土壌に関する問合せは県が対応してる。実際に公害が発生した場合は、県・町で協議し双方で情報を共有し対応しています。特定施設・高速道路・一般道の騒音・振動測定を実施しながら、生活環境に影響を及ぼすレベルがどうか判断し、問題があれば特定施設に対し改善命令を指示し生活環境の保全に努めています。町内に設置されている大気観測局（光化学オキシダント濃度測定）のデータを定期的に確認しています。 | 野焼き等に関する焼却苦情については多くが農業による例外的に認められた行為によるものが多かったが、これらの行為に関する広報を継続的に行うことで正しい野焼きについての理解を広げてきた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公害防止対策の推進 | | | 典型7公害　苦情件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | 野焼き等の焼却苦情が多々あるが、例外的に認められる行為であることから、対応に苦慮している。 | 本町に多い野焼きの苦情に対して本課だけでなく農政担当課と連携を図り、法律的に例外として認められているからいつ何時でも良いという事ではなく、近年の時代背景に合致したマナーの配慮の指導も必要と考える。 | 2 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 放射線量低減対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 410,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | ・空間放射線量の測定を月3回本所支所で行う。また、群馬県が放射線マップ作成のため毎年2回測定を行う。<br>・個人消費の食品の放射能測定を行う。 | 月3回本庁支所の空間放射線量測定については平成30年度を持って中止となっている。その他の放射線量測定や食品の放射能測定は継続実施をしていく。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公害防止対策の推進 | | | ・町内各地の放射線量測定件数<br>・食品の放射能測定検査件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 5 | | ・いつまで事業を継続するか。 | 町内の放射線量測定及び食品の放射能測定検査については国等の方針が変わるまでは継続していくことが望ましいと考える。 | 15・12 | 15・7 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 水上火葬場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,145,344 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 町が運営する水上火葬場の維持管理。火葬執行・日常の管理は業務委託している。 | 老朽化が進んでいる水上火葬場については、現状の施設を維持し利用していくこととしている。そのための最低限の修繕等を実施し運営に努めている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公衆衛生対策の推進 | | | 火葬件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 6 | | 施設の老朽化が進んでいるので、必要な修繕を実施しなければならない。 | 火葬件数が増加し、設備の修繕サイクルが早く予定してい修繕を前倒しで実施する必要がある。 | 56 | 77 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 新治火葬場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,777,309 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 町が運営する新治火葬場の維持管理。火葬執行・日常の管理は業務委託している。 | 老朽化が進んでいる新治火葬場については、現状の施設を維持し利用していくこととしている。そのための最低限の修繕等を実施し運営に努めている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公衆衛生対策の推進 | | | 火葬件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 6 | | 施設の老朽化が進んでいるので、必要な修繕を実施しなければならない。 | 火葬件数が増加し、設備の修繕サイクルが早く予定してい修繕を前倒しで実施する必要がある。 | 118 | 125　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 利根沼田広域圏火葬場斎場費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,818,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 利根沼田広域市町村圏振興整備組合が運営する利根沼田広域斎場「ぬまた聖苑」の管理運営にかかる構成市町村負担金の支払い。利用者は主に旧月夜野町地内の住民。負担金分賦割合は人口割100%で、直近の国勢調査人口を用いて広域圏整備組合が算定するが、旧水上町と旧新治村地内は、町営火葬場を利用するため人口割の算定には含めない。 | 利根沼田広域市町村圏振興整備組合が運営する沼田聖苑は、主に旧月夜野町の住民が利用しています。旧水上及び旧新治にはそれぞれ町営火葬場がありますが、ともに老朽化が進んでおり、さらに旧月夜野町地域からは距離的な事もあり沼田聖苑を継続利用することが住民の利便性を考慮していると考える。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公衆衛生対策の推進 | | | 火葬件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 6 | | 火葬場の老朽化が進んでいる | 既存施設の老朽化が進んでいる状況であり、必要な修繕は進めて行く必要がある。 | 146 | 169　件 |

令和　　年　　月　　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 町有墓地維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 457,971 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 町有墓地は、274区画あったが、駐車場や通路に変更した区画があり、272区画となっている。未使用の使用者の募集及び永代使用料徴収事務、承継者の届け・氏名住所変更の手続き、共有部分の維持・補修を実施。共有部分（四阿、通路、周辺の草刈、町有墓地トイレ等）の清掃管理を委託（社会福祉協議会）管理している。また、墓地内にある無縁仏墓地管理を実施している。 | 墓地の開設以来年数が経過したため、使用者の死亡や使用者不明、継承者不在など様々な問題が出始めている。その中で毎年の管理料徴収に当たり諸手続きが必要な使用者には手続きのお願いをしてきた。しかしながら日々利用する施設と違い手続きがスムーズに行っていない状況にある。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公衆衛生対策の推進 | | | 墓地所有区画数・使用区画数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 1 目 6 | | 墓地の老朽化が進んでいる。使用者不明・承継者不在の墓地が出始めている。 | 墓地そのものが老朽化しているとともに使用者の高齢化が進み管理できなくなっている状況になっている。これらの問題に対する指導の方向性を検討していく必要がある、 | 272・264 | 272・265　区画 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 不法投棄対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 204,900 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 不法投棄を行う者を現行犯で捕らえるのは難しく、多くの場合は捨てられた後の現場確認から作業を始め、県・町・警察と連携を取り調査を行います。この事業は、不法投棄をされない、させない町を作るためのものです。 | 不法投棄の通報が増加傾向にあり、通報を受けて現地確認をした上で指導や対応をしているが、民地への不法投棄もふえており、その原因の一つに道路に面した民地が荒廃して投棄が発見されにくい環境になってきていることが言える。これらの対策として土地所有者自身による草刈りなどを実施していただき不法投棄をさせない環境をつくる指導をしていく必要がある。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 公害防止対策の推進 | | | 苦情件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 生活環境　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 4 項 2 目 1 | | 高齢化により耕作地が荒れ、不法投棄されやすい場所が増加している。土地所有者自ら草刈や監視をすることができない状況が多くなっている。 | 不法投棄の早期発見に努め、群馬県や警察等と連携、情報共有を図り、パトロールの強化や防護柵等の設置を推奨し土地所有者に対して注意喚起を促すとともに地域で監視する体制の図る必要がある。 | 5 | 4　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 下水道事業消費税申告納付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,154,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道使用料、下水道工事請負費及び起債償還に伴い発生した消費税を算定し、沼田税務署に中間申告及び確定申告をする。 | - | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 申告金額 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 1 項 1 目 1 | | 課題なし | - | 7,969 | 4,155 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 下水道料金賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,145,507 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道使用料金の徴収業務であり、納入通知書の作成、料金システムの保守管理委託及び使用料の過誤納付による還付事務 | コロナの状況を踏まえ、徴収業務にあたる。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 現年度滞納額 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 1 項 1 目 1 | | 公平性の観点から未収金対策を徹底し滞納額の縮減を図る。<br>・令和2・3年度はコロナ対策猶予を実施しており、滞納繰越額が増加傾向にある。 | 未収金対策を粘り強くおこない滞納額の縮減を図る | 15,233 | 15,146 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 全国町村下水道推進協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 全国の町村に於ける下水道の整備推進を図るために設立された会の群馬県支部であり、その支部に会員として参加し情報の取得をする中で本町の下水道整備の促進を図っている。 | - | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 総会実務研修会出席回数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 1 項 1 目 1 | | 課題なし<br>コロナにより書面決議となっている。 | - | 0 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 日本下水道協会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 81,390 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道整備を推進することを目的に設立された協会であり、この会に加入して本町の下水道整備の推進を図る。<br>また、この協会には下部組織として関東地方下水道協会、群馬県下水道協会があり、県協会では下水道排水設備工事責任技術者試験、登録及び更新・講習を行っている。 | - | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 会議・研修会等への出席回数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 1 項 1 目 1 | | 課題なし | - | 0 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000029 | 下水道事業公営企業会計適用事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,698,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道事業の公営企業会計適用業務<br>1年目　準備　調査　業務<br>2年目　固定資産台帳等整備　業務<br>3年目　条例改正、会計決算、システム構築 | スケジュール管理 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 業務実績 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 5 | 款 1 項 1 目 1 | 法適化業務委託業者と会計システム管理業者の連携が必要 | 企業会計に移行することによる下水道事業の歳入歳出の見直しが必要となる。 | 1 | 1　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000030 | 公共下水道認可変更事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,288,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 5年に一度の公共下水道の全体計画の見直し及び事業計画変更（認可変更）<br>今回は旧水上中部地区旧月夜野地区の一部を認可区域から除外する。 | 住民説明会及び議会への説明 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 業務実績 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 5 | 款 1 項 1 目 1 | 事業計画の見直しによる、今まで都市計画税を納入していた旧水上中部地区の取り扱い | 対象住民への丁寧な説明 | 1 | 1　件 |

令和　　年　　月　　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000025 | 水洗便所改造資金貸付基金管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道が供用開始となった年から2年間以内にくみ取り式トイレから水洗式トイレへ改造する場合、その設置費用の一部を無利子で貸し付ける制度 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 貸付件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 | 款 1 項 1 目 1 | 全体的にくみ取り式トイレが減少している中ではあるが、未だゼロではないので、制度上残しておく必要がある。 | 特になし | 0 | 0　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 公共下水道建設事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 36,856,441 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道未普及地区解消のため、当該地区に下水道管路を布設し沿線住戸の下水受け入れが出来るようにする。<br>下水道整備率を上げることで今後は建設事業から維持管理事業へシフトしていく。 | 群馬県において下水道整備率を上げる取り組みがなされている中で当町の整備率が上がらないことが懸念されている。<br>今後計画していない下水道計画区域を外す事を提案されているが、暗に整備率だけでの議論は町の施策と都市計画税を考えれば実行できるものでないと考えている。<br>地域の実情を理解していただく説明を行っている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 管路布設延長（更新含む） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 | 款 2 項 1 目 1 | 町内における下水道幹線の整備はほぼ終了しているが、下水道整備率は上がらない状況である。これは、家屋等が密集していないため、整備費にかかる資本回収率が低くなるためであり、今後の整備は計画的な整備というよりは、要望のあった箇所を随時、整備していく方針となる。 | 特になし | 349.9 | 58　m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 受益者負担金一括納付推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 217,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 公共下水道工事の費用の一部をまかなうため、下水道処理区域内の土地面積及び用途に応じ負担金を賦課徴収する。<br>負担金は、1年を4期に分割し5年で徴収する事になっているが、事務量削減のため全額一括納入又は年一括納入した受益者に報奨金を交付する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 一括納付件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 1 目 2 | | 受益者負担金の賦課徴収に当たっては受益者への説明を行い理解を求める必要がある。 | 特になし | 11 | 13 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 公共下水道維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 29,002,611 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 公共下水道処理分区の管路施設・ポンプ場施設の維持管理を行う事業。<br>施設の点検、補修、電気保安管理者への業務委託、保守点検委託業務、光熱水費の支払い業務等。 | 今年度ストックマネジメント計画を策定した。<br>今後は、本計画に基づき、補助金を見込んだ更新工事を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 緊急的な不具合件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 1 目 2 | | 施設のストックマネジメントを行うことが急務。計画的に更新工事を行うことで、施設の事故及び故障にそなえた維持管理がおこなえる。<br>また、更新計画により維持管理費から建設改良費へ予算を移行することで、今後の法的化に進める。 | 建設改良費は法的化により資本的支出で計上するべきものであり、計画的な更新事業により、収益的支出である維持管理の修繕費をおさえる。 | 7 | 8 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 特定環境保全公共下水道建設事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,145,680 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道未普及地区解消のため、当該地区に下水道管路を布設し沿線住戸の下水受け入れが出来るようにする。<br>下水道整備率を上げることで今後は建設事業から維持管理事業へシフトしていく。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 管路布設延長（更新含む） | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 2 目 1 | | 町内における下水道幹線の整備はほぼ終了しているが、下水道整備率は上がらない状況である。これは、家屋等が密集していないため、整備費にかかる資本回収率が低くなるためであり、今後の整備は計画的な整備というよりは、要望のあった箇所を随時、整備していく方針となる。 | 特になし | 155.5 | 0 / m |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 特定環境保全公共下水道維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 38,296,567 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 特環下水道処理分区の管路施設・ポンプ場施設・処理場施設の維持管理を行う事業。<br>施設の点検、補修、電気保安管理者への業務委託、保守点検委託業務、光熱水費の支払い業務等。 | 今年度、ストックマネジメント計画を策定した。<br>今後は、本計画に基づき補助金を見込んだ更新工事を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 緊急的な不具合件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 2 目 2 | | 施設のストックマネジメントを行うことが急務。計画的に更新工事を行うことで、施設の事故及び故障にそなえた維持管理がおこなえる。<br>また、更新計画により維持管理費から建設改良費へ予算を移行することで、今後の法的化に進める。 | 建設改良費は法的化により資本的支出で計上するべきものであり、計画的な更新事業により、収益的支出である維持管理の修繕費をおさえる。 | 11 | 3 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 流域下水道建設費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 44,711,253 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 群馬県で行う流域下水道終末処理場及び中継ポンプ場、管渠等の建設（老朽化対策を含む）に係る負担金事業である。<br>流域構成自治体として、施設の機能保全に於ける建設費用を応分負担し、機能維持に努める。 | 群馬県との調整 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 負担金額 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 3 目 1 | | 負担金算出に係る事業内容の精査により経費削減を図る必要がある。<br>施設の老朽化に伴い負担が増える傾向にある。 | 流域下水道の建設改良費の内容をよく説明いただいた上で各市町村も意見が言える体制づくりが必要 | 34,945 | 48,132 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 流域下水道維持管理費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 155,637,402 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 群馬県で行う流域下水道奥利根処理区の終末処理場及び中継ポンプ場、管渠の維持管理に係る負担金事業である。<br>流域構成自治体として、施設の運営管理に於ける維持管理費用を応分負担し機能維持に努める。 | 負担金にかかる協議<br>3年ごとの単価見直し | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 維持管理負担金額 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 3 目 2 | | 負担金算出に係る業務内容の精査により経費削減を図る必要がある。<br>群馬県の流域下水道が法適用会計になったことで、今まで群馬県が負担していた中で基準外にあたるものは受益者負担（市町村）負担となり、負担金の増加となっている。 | 流域下水道の維持管理費の内容をよく説明いただいた上で各市町村も意見が言える体制づくりが必要 | 163,533 | 155,637 / 千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 農業集落排水処理施設維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,377,739 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 農業集落排水処理分区の管路施設・ポンプ場施設・処理場施設の維持管理を行う事業。<br>施設の点検、補修、電気保安管理者への業務委託、保守点検委託業務、光熱水費の支払い業務等。 | 今年度にてストックマネジメント計画を策定予定。<br>これにより補助金を見込んだ更新工事をおこなう。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 緊急不具合件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 4 目 1 | | 施設のストックマネジメントを行うことが急務。計画的に更新工事を行うことで、施設の事故及び故障にそなえた維持管理がおこなえる。<br>また、更新計画により維持管理費から建設改良費へ予算を移行することで、今後の法的化に進める。 | 建設改良費は法的化により資本的支出で計上するべきものであり、計画的な更新事業により、収益的支出である維持管理の修繕費をおさえる。 | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 農業集落排水連絡協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 23,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 群馬県内に於ける農業集落排水事業実施地区相互の連絡を密にし、農集排事業の円滑な推進を図ることを目的に設立された協議会に会員として参加し、情報の取得、提供を行う中で整備地区の発展を図っている。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 総会、研修会等参加件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 款 2 項 4 目 1 | | 下水道的にはなんら機能していない状態 | 農業関連の関係機関と協議し脱退する方針ですすめる。 | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 久保汚水処理施設維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,246,816 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 久保汚水処理施設の維持管理を行う事業である。管路施設では下水道管内の点検、マンホールの補修。汚水処理場では施設保守点検委託業務、光熱水費の支払い業務等を実施している。 | 管理業務委託と連携した点検 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 不具合件数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 | 款 2 項 5 目 1 | 施設設備の老朽化の進行による事後保全管理から予防保全的管理への移行。 | 早期の不具合発見と対応 | 0 | 0　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 企業債元金償還事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 344,114,694 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道事業債を借り入れ、公共下水道事業の財源とする。借り入れた起債については、起債管理台帳を作成・管理し、計画的に元利償還する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 年度内の償還件(本)数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 | 款 3 項 1 目 1 | ①起債することにより事業の推進はできるが、後年度に負担を残すことになる。<br>②国や県による申請方式、方法に従って手続きを進めているため、事務の簡素化等の向上については国・県の考え方によるところが大きい。 | なし | 410 | 405　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 企業債利子償還事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 39,663,008 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 14 | 生活環境の保全 | 下水道事業債を借り入れ、公共下水道事業の財源とする。借り入れた起債については、起債管理台帳を作成・管理し、計画的に元利償還する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 生活排水の適正処理 | | | 年度内の償還件(本)数 | |
| 組織名 | 生活水道　課 | 上下水道　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 5 | 款 3 項 1 目 2 | ①起債することにより事業の推進はできるが、後年度に負担を残すことになる。<br>②国や県による申請方式、方法に従って手続きを進めているため、事務の簡素化等の向上については国・県の考え方によるところが大きい。 | なし | 410 | 405　件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 9 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅱ | 豊かな自然と共生するまち | 主管課 | 名称 | 地域整備課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　　昇 |
| 施策 | 15 | まちなみの整備 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民・事業者<br>②町内全域 | ①良好な景観形成を目指す。<br>②調和のとれたまちなみが整備される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | まちなみ形成活動の推進 | 町民 | 魅力を守り・活かしたまちなみの形成に向けた取り組みを積極的に行う。 |
| | 2 | 適正な土地利用の推進 | 町内全域 | 土地利用や開発が適正に規制・誘導される。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・景観条例の制定を進め、景観条例制定後には行為制限等の周知を行い、届出者に対しては必要な指導・助言を行います。
・都市計画マスタープランに定める将来的な市街地像や都市施設の整備目標の実現に向け、民間開発の誘導を図ります。
・空き家や廃屋などの解消を促すための制度を構築するなど、美しい郷土景観の阻害要因の排除に向けた取り組みを推進します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 景観条例による行為の届出受理件数 | 件 | 実績値 | 実績なし | 0 | 0 | 4 | 15 | 19 | 17 |
| | | | 目標値 | | 0 | 0 | 15 | 20 | 25 | 30 |
| B | 都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合 | % | 実績値 | 80.5 | 80.9 | 81.2 | 81.3 | 81.3 | 78.3 | 78.3 |
| | | | 目標値 | | 80.6 | 80.7 | 80.8 | 80.9 | 81.0 | 81.1 |
| C | 町の指導助言等によって状態が改善された空き家の棟数 | 棟 | 実績値 | 実績なし | 0 | 10 | 14 | 10 | 20 | 24 |
| | | | 目標値 | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）2018年度に制定される景観条例による行為の届出件数が増加すれば、周辺環境との調和に配慮した景観形成を誘導したと考えられるため成果指標とした。
B）都市計画税課税区域の土地利用について、宅地等として利用されている状態を適正と考え成果指標とした。
固定資産の価格等の概要調書＞第53表　地積及び床面積等に関する調（法定免税点以上のもの）による
※土地の地積（宅地等小計）/土地の地積計
C）空き家の状態が改善されれば、周辺環境との調和に配慮した景観形成を誘導したと考えられるため成果指標とした。

**目標値設定の考え方**

A）2022年度に景観条例による行為の届出受理件数を30件としたのは、工作物の設置行為と木竹の伐採が届出対象行為となっているためで、2019年度より新たな景観条例の施行を予定しており、住民への周知によって、景観条例が浸透することで、届出件数が増加することを想定している。
B）2022年度に都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合が81.1%としたのは、都市施設整備の進捗によって、民間開発が誘導され、宅地化が図られることを想定している。
C）2022年度に町の指導助言によって状態が改善された空き家の棟数が10棟としたのは、助成事業の活用が見込まれる数を想定している。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・景観計画並びに景観条例を遵守するとともに、それぞれの地域に見合ったルールづくりに取り組む。<br>・花苗の植え付けなど、身近な景観づくりに地域ぐるみで積極的に取り組む。<br>・事業者は、景観計画並びに景観条例を遵守し調和の取れた景観形成に配慮する。景観形成重点地区の住民は景観形成基準を守る。<br>・都市計画、開発等に関する各種規制を遵守する。<br>・空き家の所有者等は、周辺環境に配慮した管理を行う。 | ・開発については、開発事業指導要綱及び再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例に基づき必要な規制等を行い、無秩序な開発を抑制し、適正な指導及び許可を行う。<br>・景観形成について、町民の理解を深めるとともに、地域の取り組みを支援する。<br>・景観に配慮した公共施設の整備を図る。<br>・景観条例による届出案件を審査指導するとともに、届出がなされているか監視する。<br>・適切に管理されていない空き家の所有者等に助言等を行う。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・地域住民の高齢化により花植等への参加者が減少する。<br>・令和元年度に景観法に基づく景観計画を策定し、景観条例を制定した。これにより条例に基づき、周辺環境に調和した景観形成へと誘導することができるようになる。<br>・令和2年度に都市計画マスタープランを策定した。策定後は地区計画等の検討を行うが、地区計画等が定められることによって、より細かなルールができる。<br>・令和2年度に空き家の実態調査を実施した。人口減少により空き家が増加する。 | ・景観が悪いところが多い。<br>・廃業したホテルは景観が悪く、何とかならないか。<br>・町内の廃墟を撤去することで町全体が明るくなると思う。<br>・別荘が増えているため、空き家が増える。<br>・空き家の有効利用や廃屋の撤去をしてほしい。<br>・空き家問題について対策してほしい。<br>・都市計画区域内の用途地域について見直しの要望がある。 |

| 施策 | 15 | まちなみの整備 | 主管課 | 名称 | 地域整備課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　　昇 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①景観条例に基づく届出は、令和元年10月1日に景観条例が施行となり、町に届出が必要となった。景観条例による行為の届出受理件数は、令和3年度の19件に対し、令和4年度は17件となり、2件減少した。<br>②都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合については、令和3年度の78．3%に対し、令和4年度は78．3%で変わらなかった。<br>③町の助言・指導によって状態が改善された空き家の棟数については、みなかみ町空き家解体補助金の活用により、令和3年度の20棟に対し、令和4年度は24棟となり、4棟増加した。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①景観法に基づく景観行政団体は、令和4年3月31日現在で全国に799団体ある。群馬県では、23団体(群馬県、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、藤岡市、安中市、富岡市、下仁田町、甘楽町、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、玉村町、板倉町、みどり市)となっている。本町は、平成30年10月20日に県内20番目の景観行政団体となった。<br>②非公表のため、他団体との比較はできない。<br>③令和4年4月1日現在で県内の空き家の改修・除却支援等の取組を行っている団体は、28団体となっている。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>☑ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①景観条例に基づく届出受理件数は、目標値30件に対し17件の届出があり、目標値を下回った。<br>②都市計画税課税区域で宅地等として利用されている面積の割合については、課税区域の見直しにより、目標値81．1%に対し78．3%で変わらず、目標値を多少下回った。<br>③町の指導助言等によって状態が改善された空き家の棟数は、目標値10棟に対し24棟の解体があり、目標値を大きく上回った。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | まちなみ形成活動の推進 | A | 調和のとれたまちなみの形成へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合 | % | 実績値 | 55.4 | 57.4 | 58.1 | 56.0 | 57.9 | 55.2 | 57.3 |
| | | | | | 目標値 | | 55.0 | 55.0 | 60.0 | 65.0 | 65.0 | 65.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 適正な土地利用の推進 | A | 用途地域内の人口密度(1ha当たり) | 人 | 実績値 | 25.8 | 25.3 | 24.1 | 23.4 | 23.1 | 23.1 | 24.9 |
| | | | | | 目標値 | | 20.3 | 20.0 | 19.9 | 19.8 | 19.7 | 19.6 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み(案)

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | まちなみ形成活動の推進 | ①事業者や町民に良好な景観の形成に関する理解を深めていただくための取組が必要である。<br>②町民が良好な都市環境の形成に配慮できるよう都市計画に関する理解を深めていただくための取組が必要である。<br>③町内の空き家棟数が年々増加している。 | ①良好な景観の形成を行うため、景観補助制度を創設する。<br>②都市計画に係る住民や事業者からの相談に対し、県都市計画課や沼田土木等と連携し、的確な指導ができるよう相談体制を強化する。<br>③空き家棟数を削減させるため、空き家解体補助要綱を見直しをする。 |
| 2 | 適正な土地利用の推進 | ①用途地域内は、積極的に市街化が行われるべきであるが、2ha以上の一団の土地である低未利用地が4箇所存在する。<br>②上毛高原駅周辺及び都市計画道路真政悪戸線周辺の土地利用規制の再編が必要である。用途地域における建築制限等の基準の緩和が必要である。 | ①用途地域内の低未利用地の利用促進方策を検討する。また、開発については、開発事業指導要綱及び再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例(議員発議により令和4年6月7日施行)に基づき必要な規制等を行い、無秩序な開発を抑制する。<br>②庁内関係各課と連携し、上毛高原駅周辺及び都市計画道路真政悪戸線周辺の土地利用規制の再編に取り組む。また、都市計画法及び県ガイドラインに基づき、用途地域における建築制限等の基準の見直しを検討する。 |
| 3 | | | |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 上毛高原駅を核としたまちづくり推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,545,768 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 15 | まちなみの整備 | 開業40周年を迎える「上毛高原駅」の駅名変更及び駅周辺まちづくりの必要性を検討する | 策定委員会を組織し、単に名称変更を推し進めるのではなく、周辺まちづくり事業との関係性、関連性の方向性を示すことができた | 事業実績 | |
| | 基本事業 01 | まちなみ形成活動の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 会議回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | 名称変更に関しては利根沼田、吾妻地域の自治体の合意形成が必要である。土地区画整理事業などまちづくり事業に関しては土地所有者の意向確認が必要である | JR東日本との協議調整を図りつつ、名称変更に係る費用規模を探る。併せて土地所有者の意向調査を行う | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | | | 7 | 0　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 産官学金連携による観光拠点整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 247,003,691 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 15 | まちなみの整備 | 水上温泉街中心部に位置する大型廃業ホテルを解体し、跡地利用による観光拠点整備を行う | ・補助事業を活用するための地域計画の策定<br>・サウンディング型市場調査を行い、残存施設の活用を見通した企業選定を実施 | 事業実績 | |
| | 基本事業 01 | まちなみ形成活動の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 撤去された棟数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | 観光庁補助事業の活用と活用事業者の公募による運営・経営主体の選定を見据えた解体ボリュームの決定 | サウンディング型市場調査による成果が見通せる中、解体ボリュームを決定し、補助期間内の事業完了を目指す | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | | 0 | 1　棟 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 地籍調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 16,940,706 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 15 | まちなみの整備 | ・国有林、公有水面を除く一筆ごとのすべての土地について、所有者、地番、地目を調査し、その境界及び面積を測量してその結果を記録し、地籍図と地籍簿を作成する。 | ・羽場Ⅰ地区　0.11k㎡　認証請求完了(認証遅延地区)<br>・相俣Ⅴ地区　0.34k㎡　認証請求及び登記完了<br>・相俣Ⅵ地区　0.71k㎡　地積測定・地籍図・地籍簿作成業務完了<br>・相俣Ⅶ地区　0.52k㎡　一筆地調査・測量業務完了 | 事業実績 | |
| | 基本事業 02 | 適正な土地利用の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 実施面積(換算面積) | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ・全地区完了に至るには数十年以上を要するが、土地の境界を把握している所有者の高齢化等により早期完了を目指すことが求められる。 | ・地籍の明確化により、公共事業の円滑化を図る。<br>・引き続き相俣地区の調査を進める。<br>・航空測量や既存のリモートセンシングデータを使用した地籍調査を導入し、広範囲を効率的に調査できるようにする。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 6 | | | 0.61 | 0.57　k㎡ |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | みなかみお花畑管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 30,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 15 | まちなみの整備 | 地域住民、企業等が実施団体となり、国道17号月夜野バイパス沿いに花の植栽及び管理地の清掃、除草等の活動を行っている。 | 植栽頻度を減らして作業の負担を軽減する目的として、多年草の植栽を実施した。 | 事業実績 | |
| | 基本事業 01 | まちなみ形成活動の推進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 実施団体数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | 参加団体の減少と高齢化に伴い、活動が衰退しつつある。空き区画の荒廃が目立ち、除草管理も必要である。 | 空き区域が解消できるように、再募集等を行う。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | | 3 | 3　団体 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 国土利用計画法に基づく届出事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 国土利用計画法において、土地に関する所有権・地上権・賃借権・その他の権利を移転あるいは設定する契約行為については届出することとなっており、市町村を窓口として群馬県知事あてに通知する経由事務である。 | 国土利用計画法の届出があった。無届事案が13件、遅延届出事案が1件あり、県の主導により指導を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 適正な土地利用の推進 | | | 無届事案の指導件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 1 | 無届事案が発生している。 | 適正な土地取引が行われるよう必要な助言等を行う。広報で周知する。 | 2 | 13　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 都市計画審議会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 22,342 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき、みなかみ町都市計画審議会を設置し、円滑な運営を行う。 | 令和3年度に都市計画道路の変更（4路線の廃止）、令和4年度に都市計画下水道（公共下水道）区域の変更にあたり、審議会を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 適正な土地利用の推進 | | | 審議会の開催回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 1 | 必要に応じて、審議会を開催している。 | 都市計画道路真政悪戸線における都市計画決定変更及び周辺の用途地域の見直しが必要となるため、審議会を開催する。 | 1 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 都市計画基礎調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,523,259 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 都市計画法第6条の規定による法定調査であり、概ね5年ごとに実施するものである。土地利用現況、建物現況、都市施設及び市街地整備の状況等について調査し、都市の現況及び動向を把握することが目的であり、群馬県が主体となり調査を実施し、市町村が調査費を負担する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 適正な土地利用の推進 | | | 調査回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 1 | 課題なし | － | 0 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 都市計画協会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 都市計画協会が主催する講演会や研修会に出席し、知識の向上を図る。 | 講演会等が徐々に再開してきたので、継続して出席している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 適正な土地利用の推進 | | | 講演会等の出席回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 1 | 新型コロナウイルス感染防止のため、講演会等が中止となっている。 | 引き続き、講演会や研修会に参加し知識の向上を図る。 | 0 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 都市計画総務費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 全国街路事業促進協議会、群馬県街路事業促進協議会、群馬県都市計画協会へ負担金を納付し、都市計画に係る情報を提供してもらい、事務事業に活かす。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 適正な土地利用の推進 | | | 負担金支払い件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 1 | | 課題なし | － | 1 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 水上地区街なみ環境整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 地域の特性を活かした美しい街なみの形成と良好な住環境の整備を図るために、地区住民等の行う修景整備等に対し、予算の範囲内において、補助金を交付する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | まちなみ形成活動の推進 | | | 修景助成の申請件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 2 | | 課題なし | 地域住民の街なみ景観に対する意識の高揚と合意形成の支援を行う。令和6年度で終了を予定している。 | 1 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 湯宿地区街なみ環境整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,900,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 湯宿地区において、より良い街なみ景観を整備するため、協議会運営、公園整備、道路美装化、修景助成を行う。公園の維持管理は、湯宿区へ無償で委託している。 | 公園整備が完了し、ハード整備が終了となった。修景助成について、チラシの全戸配布や協議会において制度説明を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | まちなみ形成活動の推進 | | | 修景助成の申請件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 2 | | 修景助成の申請が少ない状況である。 | 地域住民の街なみ景観に対する意識の高揚と合意形成の支援を行う。令和5年度で終了を予定している。 | 2 | 3 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 日本公園緑地協会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 公園緑地に携わる全国の地方自治体等を対象としたパークマネジメントや遊具の日常点検講習会等に参加する。 | 講演会等には参加出来なかったが、インターネットで情報を収集し、公園の適正な維持管理を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 適正な土地利用の推進 | | | 講習会等の出席回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 4 | | 新型コロナウイルス感染防止のため、講習会等が中止となっている。 | 引き続き、公園の適正な維持管理に取り組む。 | 0 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 景観審議会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 審議会は、条例の規定により定められた事項を調査審議するほか、町長の諮問に応じ景観形成に関する事項を調査審議する。 | 景観審議会委員の選考案を作成した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | まちなみ形成活動の推進 | | | 審議会の開催回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 4 目 5 | | 景観条例に基づく景観審議会を設置する必要がある。 | 景観審議会を開催し、景観補助制度補助金交付要綱を創設する。 | 1 | 0　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 空き家解体補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,743,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 個人所有の空き家を解体する者に対して解体費用の一部を補助する。解体経費の1／3を補助し、上限額は旧耐震基準建物で30万円、それ以外は20万円とする。 | 空き家解体を推進しているので、受付状況を確認し、補正対応した。また、補助を使いやすくするため、令和5年度より補助要綱を改定する手続きを行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | まちなみ形成活動の推進 | | | 補助金交付件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 5 目 1 | | 空き家が年々増加しており、予算の拡充が必要になる可能性がある。 | 広報やホームページを通じて制度の周知を徹底する。また、令和5年度より補助要綱を改定し、一般住宅又は併用住宅について上限額は旧耐震基準建物で30万円それ以外は20万円とする。その他建物について上限額は旧耐震基準建物で15万円それ以外は10万円とする。 | 20 | 24　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 空家等対策推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 55,504 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 15 | まちなみの整備 | 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、条例の制定、空家等の実態把握、協議会の設置及び空家等対策計画を作成することで、空き家対策の推進を図る。 | 空家等実態調査と所有者等アンケートを行い、町内にある空家の状況を把握することができた。空家情報をGISに登録し、共有することができた。なお、空家等対策計画を令和4年8月に策定した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | まちなみ形成活動の推進 | | | 空家等対策協議会開催回数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 5 目 1 | | 現在の空家件数や管理状況等を把握していない。 | 空家等対策計画に基づき、庁内検討委員会・協議会を設置して協議を行い、空家等対策を推進する。 | 0 | 0　回 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 14 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅱ | 豊かな自然と共生するまち | 主管課 | 名称 | 農林課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原澤 真治郎 |
| 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 関係課 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 鳥獣による被害にあわない。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 | 町民 | 鳥獣による被害の危険性が軽減される。 |
| | 2 | 農林産物被害の軽減 | 農家 | 鳥獣による農林産物の被害が軽減される。 |
| | 3 | 人的被害対策の推進 | 町民 | 鳥獣による人身被害にあわない。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・地域住民と行政が一体となり、野生鳥獣が出没しにくい環境整備を推進します。
・被害関係者と協働による侵入防止柵等の守る対策や、追い払い活動を推進するとともに、捕獲活動を強化し、鳥獣被害の軽減を図ります。
・出没・目撃情報の収集と提供により、事故の未然防止や安全確保に努めます。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 鳥獣による農林産物被害金額 | 千円 | 実績値 | 7,455 | 7,221 | 6,454 | 5,952 | 12,893 | 18,871 | 10,715 |
| | | | 目標値 | | 7,500 | 7,000 | 6,500 | 6,000 | 6,000 | 6,000 |
| B | 鳥獣による農林産物被害面積 | ha | 実績値 | 9.0 | 8.4 | 8.6 | 7.7 | 7.6 | 9.3 | 4.4 |
| | | | 目標値 | | 9.0 | 9.0 | 8.5 | 8.0 | 7.5 | 7.0 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A)B)被害が減少すれば対策の効果が現れているといえるため、成果指標とした。
(野生鳥獣による農作物の被害状況調査により把握)

**目標値設定の考え方**

A)B)農業被害額は2016年で約7,500千円であるが、有害鳥獣の出没目撃数が隔年で増減し、成り行き値では想定できないが、侵入防止柵（電牧柵）の設置支援や追い払い、個体数調整（捕獲）などに取り組むことにより、被害額・被害面積の増加を抑制する。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・未収穫農産物や野菜くず等を農地に放棄しない。<br>・出没した鳥獣の追い払いを行う。<br>・農地の荒廃化を防ぎ、集落に隣接する林野の刈り払いを行うなど、獣が出没しにくい環境を整備する。 | ・獣が出没しにくい環境を整備するための支援を行う。<br>・有害鳥獣の個体数調整を行う。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・鳥獣保護法が改正され、以前より駆除等に取り組みやすくなった。一例として一定の条件のもと捕獲業務を民間事業者に委託が可能となっている。<br>・県の適正管理計画（シカ、イノシシ、サル、カワウなど）の策定により、捕獲目標頭数が明確に示された。基本的には個体数を減少させ被害額の軽減に努めることであるが、サルについては群れの数を83群から50群（平成15年度水準）としており、広域による取り組みが求められる。<br>・イノシシやシカやクマ、サル等の市街地への出没が確認されており、獣害対策は中山間地域の課題では済まなくなっている。 | ・農林業で獣害被害に不安を感じるとの意見が多くある（町民アンケート）。<br>・有害鳥獣の駆除を可能な限りしていただきたい（町民アンケート）。<br>・獣害パトロールによる成果が見えにくい（町民アンケート）。<br>・電気柵設置の要望が多くなっている。<br>・捕獲個体の処理施設の設置要望がある（捕獲従事者から）。 |

| 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 主管課 | 名称 | 農林課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原澤 真治郎 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | 被害面積は令和4年度4.4haで、令和3年度から半減している。豚熱の影響と思われるイノシシの減少や、山の実りが豊富だった影響もあり、有害鳥獣の出没件数が減少している。また、電気柵の導入による防除の効果が出ていると思われる。被害額は、令和４年度は10,715千円と減少となっている。<br>令和４年度は侵入防止柵（電牧柵等）を13地区、15.3km設置し（累計約248km）整備している。また、地域での追い払い活動を推進するため、追い払い用煙火を支給して地域ぐるみの取り組み等が行われるているが、侵入対策の無い圃場や、追い払いの効果が薄いところでは被害が発生している。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①令和４年度の農地面積被害割合は、みなかみ町0.18%、沼田市0.07%、片品村0.28%、川場村0.07%、昭和村0.07%。　また、農地１ヘクタールあたりの被害金額は、みなかみ町4,407円、沼田市748円、片品村4,606円、川場村1,663円、昭和村2,652円という結果であった。地形や標高等条件は異なるが、単位面積に換算し比較すると、どちらかと言えば低い水準といえる。<br><br>※管内各市町村の農地面積は令和４年度群馬県市町村要覧を参照。<br>みなかみ町2431ha、沼田市4280ha、片品村1059ha、川場村547ha、昭和村2864ha |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>☑ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①被害金額目標値6,000千円に対して実績値10,715千円、被害面積目標値7.5haに対し実績値4.4haとなり、被害面積では目標を達成しているものの、被害額では目標を達成できなかった。これは、被害金額のうち、キロ単価の高い果樹などの被害割合が多くなったため。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 | A | 鳥獣追い払い用花火等の配布数/追い払い煙火受講者数 | 個/人 | 実績値 | 4,927/178 | 3,272/181 | 3,514/190 | 3,710/194 | 5,170/194 | 4,080/215 | 5,350/213 |
| | | | | | 目標値 | | 5,000/181 | 5,000/185 | 5,000/190 | 5,000/195 | 5,000/200 | 5,000/200 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 農林産物被害の軽減 | A | 侵入防止柵の延長 | km | 実績値 | 8.7 | 8.2 | 4.9 | 20.5 | 21.2 | 23.2 | 15.3 |
| | | | | | 目標値 | | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 人的被害対策の推進 | A | 獣による人的被害者数(町内の人/町外の人) | 件 | 実績値 | 0/2 | 0/1 | 2/2 | 0/0 | 1/1 | 0/0 | 0/0 |
| | | | | | 目標値 | | 0/0 | 0/0 | 0/0 | 0/0 | 0/0 | 0/0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 | ①有害鳥獣誘引の原因となる放任果実等を取り除く必要がある。<br>②ニホンジカの爆発的な増加を防ぐため、関係団体と協力して、低密度管理の実現が必要。<br>③生活圏への出没を防ぐため、林縁部の刈り払いや森林整備を行い、地域での追い払い活動を推進する必要がある。 | ①放任果実等の持ち主に撤去等の周知を図る。また、伐採を進めるため経費に対する補助の検討をする。<br>②日本自然保護協会、三菱地所、町との三者連携の取り組みの中でシカの低密度管理を実現する。<br>③地域の方々による林縁部の刈り払いの実施や、自伐型林業協議会との連携による森林整備を検討する。またGPS装着により情報収集をおこない、地域に情報を共有する。 |
| 2 | 農林産物被害の軽減 | ①有害鳥獣の捕獲を実際に行う捕獲隊員が少ない。<br>②侵入防止柵を少人数で整備しているため、非効率であることから広域的な取り組みが必要である。<br>③ニホンザルの個体数管理。<br>④捕獲後処理の適正管理。 | ①有害鳥獣捕獲隊員を確保するため、狩猟免許取得経費、銃所持免許経費の補助を継続していく。<br>②侵入防止柵を集落全体を囲うように地域ぐるみで協力できるように推進していく。<br>③ニホンザルの行動域の把握の為ＧＰＳ発信器による調査の拡充を図り、捕獲檻を効果的に設置する。<br>④捕獲鳥獣処理施設の検討。 |
| 3 | 人的被害対策の推進 | ①人的被害は山菜・キノコ採り等において、ツキノワグマの加害ケースが発生しており、被害に遭わないための周知が必要。<br>②獣害対策の情報周知。 | ①登山道等への注意を周知する看板の設置及び町報や回覧による注意喚起を継続的に行う。更に頻繁に出没する個体については積極的に捕獲する。<br>②獣害パトロールの活動周知。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 有害鳥獣捕獲奨励事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,076,646 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、アライグマの捕獲及び処分することにより奨励金を交付する。 | 捕獲奨励金の増額 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 農林産物被害の軽減 | | | 奨励金支払件数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | 有害鳥獣の捕獲資格者は、捕獲活動を生業としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。<br>住民の理解を得ることはもちろんのこと、行政による支援を充実させる必要がある。 | 奨励金の増額 | 183 | 154 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 有害鳥獣情報収集・管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,000,355 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 有害鳥獣の出没及び被害状況の情報を収集し、農林産物等の被害低減に役立てる。また、猿追跡用発信器取付業務委託費用、野猿追跡調査員の選定、指導、委託契約事務。 | 出没・目撃情報を有効活用する方法の検討 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 | | | 追跡調査員数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | 出没情報等収集した情報を農作物被害の低減に役立てる必要がある。 | 特になし | 5 | 4 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 鳥獣被害対策実施隊運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,466,480 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 鳥獣被害防止対策特別措置法による鳥獣被害対策実施隊を編成し、隊員が対象鳥獣の追い払い等行うことで、猟銃の所持許可更新に必要な講習や狩猟税が免除される。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 | | | ニホンザル捕獲数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | ・実施隊員は非常勤公務員であるため、実施隊活動中に捕獲業務を行っても捕獲奨励金を受けることができない。 | 特になし | 83 | 134 / 頭 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 鳥獣被害防止パトロール事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 249,315 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 会計年度職員としてニホンザル捕獲班を雇用して、捕獲オリの設置・見回り・捕獲・処分を実施する他、有害鳥獣の追い払いのほか、イヌネコの轢死体処理、道路パト等を実施する。 | 地域住民と積極的に関わり、出没情報の収集や被害に遭わないための指導の実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 鳥獣が出没しにくい環境整備 | | | 有害鳥獣の捕獲数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | 地域住民や農業者が追い払い活動に参加できる仕組みづくり | 引き続き猿檻の管理捕獲は継続しながら、地域の要望等の聴取も行う。 | 646 | 732 / 頭 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 囲いわな・捕獲おり貸出事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 576,199 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 囲いワナ・捕獲オリ等の有害鳥獣の捕獲用具を購入し必要に応じて貸し出しを行う。 | ククリワナを中心に捕獲資材を貸し出し | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 農林産物被害の軽減 | | | 貸し出し件数（ハクビシン檻＋イノシシ檻＋ククリワナ） | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 地域の協力、わな免許の取得者を増やす。 | 捕獲資材の修理、整備 | 1100 | 1100 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 有害鳥獣追い払い事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,073,917 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 有害鳥獣の農作物等被害を軽減するため、追い払いの資材（轟音玉、駆除雷3連発、爆竹等）を購入し、農業者等追い払いを実施する方に交付する。 | 動物駆逐用煙火の新規資格取得及び更新経費に対して費用を町で負担した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 農林産物被害の軽減 | | | 資材（轟音玉、駆除雷3連発等）交付件数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 農業者等に積極的に追い払いに協力してもらう必要がある。 | 動物駆逐用煙火免許費用の補助を行う。<br>地域での追い払いに花火等の資材を支給する。 | 4080 | 5350 / 本個 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 猟友会活動事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,300,949 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 利根沼田猟友会月夜野支部、水上支部、新治支部の運営全般に渡る事務を行う。 | 狩猟者登録に必要な経費の一部を補助した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 農林産物被害の軽減 | | | 猟友会員数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 新規入会者が少ないため、高齢化が進んでいる。 | 狩猟免許の新規取得経費の補助を行い、有害鳥獣捕獲隊員の確保する。 | 92 | 87 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 有害鳥獣侵入防止柵設置等補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,989,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 16 | 獣害対策の推進 | 有害鳥獣が田畑等に侵入するのを防ぐため電気柵等の侵入防止柵を設置する費用に対する補助金の交付。 | 地域の要望に対応し、設置地区数、延長距離が大幅に増えた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 農林産物被害の軽減 | | | 電気柵設置カ所数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 獣害対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 電気柵を設置していない田畑等に有害鳥獣が出没が増えている。 | 毎年20km程度の設置を計画しているが、金網柵や段数の多い柵の要望が多くなっている為、設置距離が短くなる傾向がある。<br>小さい囲いよりも、林縁部や圃場一帯に設置する方法を検討する。 | 27 | 13 / カ所 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 9 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅲ | 活力にあふれるまち | 主管課 | 名称 | 観光商工課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |
| 施策 | 17 | 観光の振興 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町外の人 | 町に何度も訪れ、消費する。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 観光情報の発信 | 観光客 | 町の魅力を知る。 |
| | 2 | 観光資源の充実 | 観光客 | さまざまな観光資源を安全に安心して楽しむことができる。 |
| | 3 | 国際観光の推進 | 外国人観光客 | 町を訪れ、消費する。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・観光協会などの観光関係団体や地域住民、行政との連携を強化し、観光地としての一体感の醸成を図ります。
・豊富な観光資源を有効に活用し、魅力ある観光地づくりを推進します。
・国際的にも魅力ある観光地としての受入れ環境を整備し、海外からの観光客誘致を推進します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 宿泊客数 | 千人 | 実績値 | 1,112 | 1,090 | 1,127 | 1,002 | 473 | 578 | 919 |
| | | | 目標値 | | 1,120 | 1,180 | 1,240 | 1,300 | 1,300 | 1,300 |
| B | 入湯客数 | 千人 | 実績値 | 1,267 | 1,260 | 1,224 | 1,173 | 665 | 720 | 965 |
| | | | 目標値 | | 1,349 | 1,436 | 1,529 | 1,628 | 1,628 | 1,628 |
| C | 観光消費額 | 百万円 | 実績値 | 19,225 | 18,498 | 18,866 | 16,962 | 9,906 | 9,901 | 13,804 |
| | | | 目標値 | | 20,282 | 21,521 | 22,760 | 24,000 | 24,000 | 24,000 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
群馬県観光客数・消費額調査に基づき、主管課が実数を把握
B）数値が高まれば町に多くの観光客が訪れているといえるため、成果指標とした。
税務課の課税状況調査による（毎年5月時点）
C）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
群馬県観光客数・消費額調査による

**目標値設定の考え方**

A）宿泊客数は減少傾向にありますが、本計画で減少を食い止め、増加に転じることを目指して、2016年度の実績から17%増の1,300千人を目標とします。
B）入湯客数は減少傾向にありますが、本計画で減少を食い止め、増加に転じることを目指して、2016年度の実績から28%増の1,628千人を目標とします。
C）観光消費額の消費単価は減少傾向にありますが、本計画で減少を食い止め、増加に転じることを目指して、2016年度の実績から24%増の24,000百万円に回復させることを目指していきます。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・地域の良さを知り観光地であることを認識することで、地域をきれいにするとともに、観光客におもてなしのこころで接する。<br>・観光ボランティアなどに参加するなど、町の魅力を積極的に発信する。<br>・観光関係者・事業者同士で連携し、主体的に観光素材の発掘や企画・提案、情報の発信などを行う。<br>・ユネスコエコパークの理念に基づいて、一体感や郷土愛を醸成する。 | ・総合的な観光振興策の企画立案を行う。<br>・施設の維持管理や観光資源の品質を管理する。（整備、規制、保護など）<br>・観光関係団体と連絡・調整を行う。<br>・地域の特性に応じた観光振興への取り組みを育成支援する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・国の訪日プロモーション方針は、ポストコロナを見据え、2030年訪日外国人旅行者6,000万人、訪日外国人旅行消費額15兆円等の目標達成に向けて、インバウンドの早期回復を図るとともに、旅行消費額増加や地方部への誘客を促進するため、戦略的な訪日プロモーションに取り組むこととしている。<br>・雪国観光圏では、スノーカントリートレイルをはじめ、雪国リトリートやサクラクオリティなど、雪国ならではの各種事業を展開している。<br>・全国各地で教育旅行、エコツーリズムやアウトドアスポーツを観光資源として誘客に取り組む傾向にある。<br>・ITの進歩により、観光情報はSNSを活用した発信が効果的である。<br>・ユネスコエコパークの登録により利活用が求められている。<br>・みなかみ町観光協会がDMOに登録されたことにより、有効な情報発信が期待される。<br>・住宅宿泊事業法が施行される。<br>・新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、人や物の移動が滞り、インバウンド業界にも大きな影響を及ぼしている。このため旅行形態は、遠距離から近距離にシフトしている。また、感染収束後は、”新しい生活様式”を意識した受け入れが必要となる。 | ・みなかみ町観光協会を母体とした、みなかみ版DMOに、ブランド力を高め国内外の顧客にみなかみ町の魅力を発信し、より多くのみなかみファンを創出することに期待が高まっている。<br>・観光業等にたずさわっている人達に連帯感をもってもらいたい。また、地域住民へ観光への理解を深める機会を増やす必要がある。<br>・みなかみの「食」のレベル向上が必用。「食」を利用した割引制度等を導入してほしい。<br>・滞在型交流プログラムを企画造成し、周遊型滞在地の魅力を高めてほしい。<br>・二次交通の充実を図り、駅からの利便性を高める必要がある。<br>・台南市、さいたま市、取手市、伊奈町、中野区をはじめとする友好都市との更なる誘客施策実施が必要である。<br>・観光人材を育成し、インターシップ、外国人労働者を導入し人手不足の解消をする必要がある。<br>・新型コロナウイルスの感染拡大により、安心・安全な受け入れが望まれている。 |

| 施策 | 17 | 観光の振興 | 主管課 | 名称 | 観光商工課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①宿泊観光客の推移<br>令和3年度578千人に対して令和4年度は919千人（前年対比159.0%）となり、341千人の増。<br>②入湯客数の推移<br>令和3年度720千人に対して令和4年度は965千人（前年対比134.0%）となり、245千人の増。<br>③観光消費額の推移<br>令和3年度の9,901百万円に対して令和4年度は13,804百万円（前年対比139.4%）となり、3,903百万円の増。<br>令和4年度はスキー等の入込客数が、342,815人（前年対比95.8%）となり15,111人減。谷川岳の登山者数は52,720人（前年比対125.2%）となり、10,620人増。また、日帰り観光客の推移は令和3年度1,565千人に対して令和4年度は1,734千人（前年対比110.8%）となり、169千人の増。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | 群馬県内の四大温泉地：草津、伊香保（渋川）、四万（中之条）との日帰り観光客数、宿泊観光客数、観光消費額についての比較は以下のとおりである。<br><br>①草津温泉　日帰り観光客数　宿泊観光客数　観光消費額<br>令和２年度実績　627,781　人　1,315,807　人　22,417,384　千円<br>令和３年度実績　808,517　人　1,537,428　人　50,404,243　千円<br>令和４年度実績（前年比）　932,302　人（115.3%）　2,071,567　人（134.7%）　35,242,014　千円（69.9%）<br><br>②伊香保温泉　日帰り観光客数　宿泊観光客数　観光消費額<br>令和２年度実績　290,287　人　554,327　人　8,315,506　千円<br>令和３年度実績　240,659　人　542,847　人　6,753,661　千円<br>令和４年度実績（前年比）　336,717　人（139.9%）　805,721　人（148.4%）　9,951,348　千円（147.3%）<br><br>③四万温泉　日帰り観光客数　宿泊観光客数　観光消費額<br>令和２年度実績　63,830　人　183,285　人　3,489,696　千円<br>令和３年度実績　72,138　人　175,526　人　3,519,974　千円<br>令和４年度実績（前年比）　74,670　人（103.5%）　213,060　人（121.4%）　4,261,955　千円（121.1%） |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | ①宿泊客数<br>令和4年度の目標値1,300千人に対し、令和4年度実績が919千人となり、目標値を381千人下回った。（対比70.7%）<br>②入湯客数<br>令和4年度の目標値1,628千人に対し、令和4年度実績が965千人となり、目標値を663千人下回った。（対比59.3%）<br>③観光消費額<br>令和4年度の目標値24,000百万円に対し、令和4年度実績が13,804百万円となり、目標値を10,196百万円下回った。（対比57.5%） |

## 基本事業の成果指標

| 基本事業名 | 成果指標名 | | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 観光情報の発信 | A | 観光協会のホームページアクセス数 | 千件/年 | 実績値 | 2,642 | 2,709 | 2,927 | 2,835 | 2,250 | 2,222 | 2,450 |
| | | | | 目標値 | | 3,060 | 3,320 | 3,640 | 3,960 | 4,280 | 4,600 |
| | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 観光資源の充実 | A | 新しい資源の数(特色ある食事や土産品、体験メニュー及び景勝地等) | 件 | 実績値 | 実績なし | 5 | 7 | 6 | 1 | 2 | 0 |
| | | | | 目標値 | | 2 | 4 | 5 | 8 | 11 | 15 |
| | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 国際観光の推進 | A | 外国人宿泊客数 | 人 | 実績値 | 25,126 | 30,123 | 30,067 | 24,367 | 393 | 1,044 | 9,734 |
| | | | | 目標値 | | 30,000 | 40,000 | 60,000 | 80,000 | 80,000 | 80,000 |
| | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|
| 1 観光情報の発信 | ①ホームページやマスメディア、SNS等を活用した情報発信の充実。<br>②県やJR、観光協会、周辺市町村等との連携の強化。 | ①みなかみフィルムコミッションによる、ロケ地等の誘致活動を積極的に行うことにより、町のPR活動に繋げていく。また、ホームページを常に更新することにより、最新の情報を発信し、東日本連携センター等を積極的に活用しながら、イベントや季節の最新情報をきめ細かく発信する。<br>②JRや県、周辺市町村等、関係機関と連携を密にしながら情報共有を行い、地域全体で誘客活動を行う。<br>③MINAKAMI　HEARTpayやふるさと納税を活用し、効果的なプロモーション・マーケティングを推進する。 |
| 2 観光資源の充実 | ①地域の観光資源が効果的に活用できていない。<br>②施設や景勝地等の受入環境が整っていない。 | ①観光協会や商工会、町内関係機関と連携しながら、温泉や農林業、歴史文化等多様な事業者が情報を共有を行い、観光資源の磨き上げを行う体制を構築していく。<br>②登山道等の点検を実施し、大雨や雪崩等による災害箇所を確認することにより、早急に災害箇所等の復旧を行い、安全・安心に楽しんでいただけるよう登山道や遊歩道等、観光施設の維持管理を継続して行う。また、老朽化している看板、案内表示の整備、維持管理を行う。 |
| 3 国際観光の推進 | ①コロナ終息後に向けたインバウンドの取り組み<br>②インバウンド戦略の推進 | ①外国人観光客へ誘致活動や受け入れ体制整備を観光協会や商工会と連携しながら行い、快適にみなかみ町を満喫できるように看板や案内表示等の多言語対応や観光施設等の受入環境整備を行う。<br>②群馬県商工会連合会等関係機関と連携し、ターゲット国への商談会や旅行展へ積極的に参加して、宿泊客数をコロナ前の水準に戻す。 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 観光振興事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 65,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 本町の基盤産業である観光を振興するため、DMO組織である観光協会に補助金を交付する事業。 | これまでのDMO活動の実績を振り返り、効果的な事業成果と不十分な部分を検証した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 観光情報の発信 | | | 補助金交付件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | 行政と観光協会、観光関係事業者の役割を整理し、連携を深めていく。 | DMOとして成果が出ている活動は更に拡充し、不十分な部分は関係者との協議を踏まえ改善を図る。補助金交付を事業項目別に整理する。 | 1 | 4 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 観光総務費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,001,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて観光の振興を図る。<br>R元より事務事業を1本化した。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 観光情報の発信 | | | 加盟団体数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | 課題なし | 加盟団体と観光振興に努める | 8 | 8 / 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 観光情報発信事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,539,415 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 観光地みなかみ町の魅力を知ってもらうため、各種宣伝事業や、県及びJRと連携による群馬DC等を推進する。新聞や雑誌、テレビやラジオなど、マスコミを活用した観光宣伝を行う。 | コロナ禍において、事業を精査し実施可能なものにおいて観光宣伝を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 観光情報の発信 | | | 観光キャンペーン | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 観光協会への観光宣伝補助と連携 | コロナの感染状態を見極めながら、アフターコロナでの取り組みの協議・検討。 | 1 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 観光看板・モニュメント等維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 350,282 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 案内看板及び花文字の管理業務・町内にある看板モニュメント等の修繕（①水上IC前看板②R17沿案内看板③坤六峠看板④「ホタル」花文字⑤SL⑥EL） | 定期的な点検と必要に応じた修繕をおこなった | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 観光情報の発信 | | | 設置物点検箇所 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 設置及び管理物件の老朽化。 | 施設管理を徹底し、安全な状態を維持する | 6 | 6 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 電子地域通貨運営・活用事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 306,474,271 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 本町をもっとお得で便利に楽しんでいただけるように、町内で使える電子地域通貨の普及及び運用を行い、地域経済の好循環を図る。地域のファンづくりや利用履歴をマーケティングへ活用する。 | 加盟店の拡充。キャンペーンの実施による会員獲得。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 観光情報の発信 | | | アプリ会員数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | データを有効に活用するためにも、アプリ会員数や加盟店数の増加をさせる。さらに利用が増えるようなイベント等を開催していく。 | データの活用。会員の獲得。 | 6,611 | 10,366 / 名 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 愛郷ぐんま地域クーポン事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 400,408,262 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 愛郷ぐんまプロジェクトに伴い、宿泊した対象者にMINAKAMI HEARTカード（電子地域通貨）を発行し、非接触型決済の普及と地域経済活性化を図る。 | 愛郷ぐんまキャンペーンの周知。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 観光情報の発信 | | | 利用金額 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 愛郷ぐんまキャンペーンの認知不足。 | 今後、同様な事業があれば検討していく。 | 148,771 | 335,180 / 千円 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 尾瀬交通対策連絡協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 80,363 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 尾瀬の自然保護と交通安全の確保のため交通規制を実施するにあたり、関係機関との連絡調整及び広報活動、情報交換を行う。 | 現状維持 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 協議会・検討委員会開催数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | 片品村主体協議会であり、隣接町村といて参画しているので現状維持であり、特に課題はない。 | 現状維持 | 2 | 2 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 山岳遭難対策協議会運営費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 70,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 谷川岳を中心に遭難等発生時に要請を受け、捜索活動を行う団体の事務局業務。遭難事故防止の啓蒙。登山道・道標の点検・修理。 | 遭難事故防止の啓蒙。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 登山指導・遭難件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | 協議会の登山指導の充実及び登山道の安全点検。 | 引き続き各団体と連携をとり安全強化を支援する。 | 3・29 | 4・31 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 日本ロマンチック街道協会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 50,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 日本ロマンチック街道協会に加盟し、情報交換等を行う事で、地域振興や観光振興につなげる。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | ロマンチック街道協会構成団体 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 1 | | 町内関係事業者への説明<br>加盟している他市町村との関係性 | 現状維持 | 27 | 27 / 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 雪国観光圏事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 953,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 新潟県湯沢町、南魚沼市、魚沼市、十日町市、津南町、長野県栄村、群馬県みなかみ町の7市町村で観光圏を組織し、広域地域連携による観光振興を図る。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 総会・協議会・理事会等実施回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 各関係市町村の取り組みに温度差がある。官民一体の体制作りを行うことで、より理解が深まっていく。 | 雪国観光圏全域に有効的な連携事業を形成する。 | 5 | 5 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 歴史を活かしたまちづくり事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,285,472 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 上杉・真田にゆかりのある町内の歴史遺産を活かして町の集客につなげることを目的とする。平成28年度はNHK大河ドラマが「真田丸」を活用し観光誘客を図るための事業を展開する。 | 御城印の販売等により集客を得られたが、新型コロナウイルスの影響もあり、来場者数は伸び悩んだ。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 名胡桃城址等来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | ①歴史を活かしたまちづくり事業実行委員会の取扱 ②教育委員会との調整 ③名胡桃城址の価値を町民に周知し、真田ブランドの相乗効果で観光客の増加につなげる。 | 今後も名胡桃城と真田との関わりを強調しつつ、他の歴史遺産についてもPRを続ける。 | 12,049 | 18,407 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000060 | 観光戦略プラン実践事業費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,807,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 観光の振興と地域の活性化を図ることを目的に、町の資源を活かし、情報発信の強化や地域の魅力の創造と高付加価値化、環境整備等のために実施する事業に対し補助金を交付する。 | 補助対象外経費等について検討。要綱を改正することにより明記することとした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 補助金交付（申請）件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 事業費に対して90%の補助となるため、事業実施団体には活用しやすいと感じられる。自己負担額を減らせば利用団体も増え、地域振興に繋がってくる。予算の範囲内で執行できるよう事業の選択を行う。 | 補助金要綱の一部を改正する。 | 10 | 24 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 教育旅行事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,500,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 平成26年4月「みなかみ体験旅行」が法人化。みなかみ町における教育体験旅行受入に対する活動支援。 | コロナ禍でもあり現状維持とした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 教育体験旅行への受入総数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 現状を踏まえ今後の支援内容を協議する。 | 運営状況等を確認しながら支援内容について検討していく。 | 7、353 | 11、108 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | アウトドアスポーツ推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 80,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | アウトドアスポーツの推進及び支援を目的とした事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 支援イベント数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 事業関係者と相互理解。 | 安心安全で有益な開催とする。 | 2 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000054 | ヘルスツーリズム推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,500,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 地方創生の一つの取り組みとして、地域資源を最大限活用し、ヘルスツーリズム視点で仕組みを構築。町内アクティビティの健康プログラムの開発、食の開発、情報の発信、人材の育成、受入態勢の整備を、一社）みなかみ体験旅行を支援する形で行っている。 | 一社）みなかみ体験旅行との情報共有。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | ヘルスツーリズム参加者 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 事業展開を進めるプログラム開発における効果的なエビデンスの取得と人材育成および受入態勢の整備。 | 受入態勢整備の確認と事業運営の精査。 | 723 | 0 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 藤原湖マラソン開催費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,716,794 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 藤原ダムの完成を記念して開催している藤原湖マラソン大会への補助事業。 | コロナ禍での開催となり、消毒液や検温などの感染対策用品が必須であったことから、経費を抑えることはできなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 大会エントリー数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | | 物価高の影響などにより、事業に係る経費が増加傾向にある。 | 経費の削減に努める。 | 0 | 960 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000066 | 観光用公衆トイレ維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,454,102 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 町内各所に設置されている公衆用トイレに係る清掃員の選定と賃金の支払い。<br>浄化槽点検委託業務。<br>設備の修繕、消耗品の補充等 | 故障修繕については管理委託者や会計年度職員と連携して迅速に対応した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 対象トイレ数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 故障時の速やかなトラブル対応。<br>直営での冬期間の閉栓及び開栓作業。<br>施設設備の老朽化。 | 委託者の高齢化が進んでいるため、清掃員選定を進めていく必要がある。 | 25 | 15 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 登山道・山の家等管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,539,573 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | H29年度より事務事業一本化 | 危険箇所の点検、調査 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 管理登山道数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 雨や雪等の影響で壊れたり、傾いたりしている案内看板のヶ所数を把握と整備。また、群馬県自然環境課が利根沼田森林管理署から貸付を受けている一ノ倉沢新道の貸付変更の検討。 | 登山道の点検を行い、整備の必要な箇所を把握し、優先的に行う箇所から整備を行う。 | 42 | 42 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000039 | 名胡桃城址案内施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,648,052 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 平成22年9月14日に開所。県指定史跡である名胡桃城址は、民間事業者から施設を借り上げ、資料館及び休憩施設として整備し、施設の運営管理はみなかみ町観光協会に委託。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 案内所入館者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 大河ドラマで注目を集めるようになったため、他の観光施設との周遊を図る必要がある。 | 老朽化した施設のため、安全管理に配慮していく。 | 12,049 | 18,407 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 諏訪峡・利根川遊歩道等管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 682,818 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 水上駅前～湯原温泉街入口までの遊歩道の管理業務。諏訪峡遊歩道・笹笛童子公園トイレの清掃業務及び管理委託業務 | 危険箇所の修繕を行い、利用者が快適に利用できる環境を整えた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 清掃回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 災害や施設の老朽化による修繕費の増加。受託者の高齢化。 | 施設管理を徹底し、安全な状態を維持する。 | 60 | 96 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 藤原湖畔公園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 941,263 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 藤原ダム周辺環境整備事業により国交省が整備した施設を協定書に基づき維持管理を行う事業 | 安心安全に利用していただけるような整備の実施 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | サッカー場等、夏休み期間だけではなく年間利用の推進が課題 | 施設の老朽化 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 845 | 1275 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 奈良俣サービスセンター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 422,600 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 指定管理者選定替えの年度は基本協定・年度協定締結。選定替えの無い年は年度協定のみの締結。年度終了時、総合戦略課へ事業成果報告書を提出。<br>独立行政法人水資源機構、(株)水の故郷との情報共有並びに施設連携会議を実施。 | 令和4年度はダム工事につき営業は未実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 入込み数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 地域と指定管理者とのコミュニケーション。 | 施設の老朽化が著しく整備に見合った運営を実施できるかが課題。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 3681 | 0 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 愛宕山公園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 76,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 土地所有者と賃貸借契約の締結。地代の支払い事務。<br>草刈委託事務。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 遊歩道管理回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | ヒル対策等、安全な施設整備。 | 利活用の検討。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 0 | 0 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 鹿野沢水芭蕉園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 観光振興のため、水上駅裏へ水芭蕉園を作り維持管理している。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 地元の皆様の理解と意欲 | 現状維持を継続する。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | － | － / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000068 | 藤原ダム駐車場管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 31,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 藤原ダムが望める国有林を借り受け駐車場として管理している。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 駐車場面積 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 返還にあたり、植林が必要になる。森林にして返還しなければならない。 | 現状維持。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 1943 | 1943 / ㎡ |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000067 | 水上駅前駐車場管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 375,925 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | JRより水上駅前のスペースを駐車場として借り受け、駅前で買い物等をする観光客等に開放する。<br>駅前商店街を中心に鹿野沢区として、一部負担をしている。<br>土地の賃貸借契約締結事務。<br>鹿野沢区への一部負担金請求事務。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 駐車場数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 駅前商店街及び地域住民の理解と協力。 | 地域と頻繁にコミュニケーションをとる。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 10 | 10 / 台 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 国民休養施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 516,677 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 国民休養施設（体育館・多目的広場）の整備及び維持管理運営委託業務。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 施設の老朽化。 | R5年度より教育委員会施設へ移管。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 1794 | 2075 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000064 | 土合町営駐車場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 429,473 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 谷川岳ロープウエーが指定管理者として管理・運営を行っていたものを、平成26年度から町の管理と移行した。具体的な業務として、利根沼田森林管理署への土地賃借料の支払い。 | インフォメーションセンターオープンに伴い、駐車場を全部解放して試用期間とした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 町イベント時の利用台数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 駐車場の今後の利用について検討する。 | 駐車場の利用について、全部、または一部を一般開放する試用期間を経て検討していく。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| | | | | | 120 | 120 / 台 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000062 | 大穴町営駐車場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 700,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 住民サービスの一層の向上と行政コストなどの経費削減を図るため平成20年より指定管理者制度を導入し、大穴区で管理・運営を行っている。具体的な業務として指定管理者との年度協定の締結や指定管理料に関する協議・支払いなどの事務。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 指定管理料 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 地域や指定管理者に維持管理の理解をいただく。 | 地域と指定管理者とのコミュニケーションをとる。 | 700000 | 700000 / 円 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000035 | たくみの里施設管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,019,957 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | たくみの里内にある町の施設の管理。<br>具体的には、たくみの家の指定管理事務、公衆トイレの管理、案内看板等の整備を行っている。 | 指定管理者とのコミュニケーション。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 町所有のたくみの家 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 指定管理者の高齢化等に伴い、担い手の確保が困難になることが予想される。また、施設の老朽化によってメンテナンスが必要となってくる。 | 中長期的な計画を立て課題に取り組む。 | 5 | 5 / 軒 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000036 | 須川宿資料館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,582,752 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 三国街道や須川宿の歴史を学べる資料館の管理・運営と資料の保管・展示を行う。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | たくみの里全体で誘客を図れるような体制をとっていく必要がある。とりわけ、冬季間の利用者が少ない状態である。 | 周知保全活動を行う。 | 936 | 1，544 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000031 | 猿ヶ京ふれあい広場管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 112,540 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 猿ヶ京温泉民宿街のふれあい広場（水車小屋・公衆トイレ）の維持管理を猿ヶ京温泉民宿民宿組合へ委託し、施設を良好な状態に維持して観光客等の利用促進を図る事業。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 修繕件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 課題なし | 特になし | 1 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000028 | 相俣ダム周辺レクリエーション施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,776,285 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 相俣ダムに隣接する温泉付きキャンプ場施設等を指定管理者制度により管理運営し、アウトドア愛好者の利用をとおして猿ヶ京地区の活性化及び来町者の増加を図る事業。 | 相俣ダム管理事務所と合同で安全点検を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 夏休みや週末は常時満室でキャンセル待ちが常態化している。区画の拡充が可能か河川占用の用途変更を含め検討が必要。 | 特になし | 10,540 | 9,610 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000033 | 猿ヶ京温泉くつろぎ広場・屋内運動場管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,437,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 指定管理を行うことにより、良好な維持管理と利便性の向上を図る。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 経費の削減及び利用者増による収入の増加。 | 引き続き指定管理により安定した運営に取り組む。 | 46 | 43 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000034 | 湯宿温泉屋内運動場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 251,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 湯宿温泉屋内運動場の指定管理を行うことにより利用者のサービス向上及び経費削減を図る。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 計上されている費用は指定管理料及び土地借用料のみで削減は不可。ゲートボール以外の使用をするとコートが傷むため他事使用も困難。 | 引き続き指定管理制度を活用していく。 | 788 | 1，360 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000037 | ファミリーオみなかみ運営支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,138,300 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 用地の賃貸借契約業務 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 土地賃貸借契約者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 特になし | 特になし | 9 | 9 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000061 | 観光施設環境美化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 467,037 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 会計年度職員を雇用、観光施設の維持管理を行う。 | 雇用者の確保 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 対象施設 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ①高齢の方が多いため、雇用期間中の退職をどう扱うか<br>②資格や免許が必要となる業務があるため、雇用の範囲が狭まりやすい | 各種講習会参加助成 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 7 項 2 目 3 | | | 20 | 20　ヶ所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000065 | 上牧駅周辺施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 547,680 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 上牧駅前の有料駐車場、公衆トイレ、駐輪場等の維持管理を上牧温泉旅館協同組合に委託して実施し、観光客等駅利用者の安全性と利便性を図る事業。具体的には月決め有料駐車場使用者との連絡調整、使用料の徴収業務、施設の確認、管理費の支払い等を実施。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 施設点検回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | 冬期の除雪対策について検討する。 | 特になし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 7 項 2 目 3 | | | 50 | 50　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000025 | 観光会館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,183,040 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 観光会館の管理運営業務<br>臨時職員賃金支払い・各種支払い業務・観光会館修繕業務等・使用料請求・イベント時の照明・音響作業等 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 観光会館開館日数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | 施設が老朽化していることもあり、今後も修繕等が必要になってくる箇所も増える。 | 修繕のための予算が措置できないため、現状維持を続けていく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 7 項 2 目 3 | | | 245 | 245　日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 武尊青少年旅行村等管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,980,934 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 武尊青少年旅行村の指定管理業務及び施設維持管理 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | キャンプ場入込数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | 安全安心に利用できる施設の維持管理 | 特になし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 7 項 2 目 3 | | | 0 | 4495　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000029 | 赤沢スキー場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 21,075,921 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 町民の定住促進、健康及び福祉の増進のため設置され、町内外よりの利用者が快適に利用できよう施設の運営管理を行う。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 4 | | 索道技術管理者等の後継者不足。施設の老朽化に伴う対応。 | 施設の老朽化への対応と人材育成が課題である。 | 10493 | 11,211 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 猿ヶ京温泉給湯施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 163,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 町が所有する源泉供給に関する管理運営を安定的に行い、温泉事業の円滑な運営並びに住民の健康維持増進を図るとともに、猿ヶ京温泉の活性化を目指す。 | 第1配湯所貯湯槽タンクの清掃および老朽化調査について、中央温泉研究所に依頼し、事前調査をおこなった 。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 給湯口数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 3 | | 修繕が必要な箇所について、計画的に修繕を実施していくこと及び現状に沿った制度を整える。また、第1配湯所貯湯槽タンクの清掃・点検を実施する。 | 温泉事業運営委員会を開催し、第1配湯所貯湯槽タンクの清掃・点検をいつ実施するか検討する。 | 145 | 144 / 口 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000058 | 観光センター1階管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,872,312 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 利根沼田広域市町村圏振興整備組合より事務委任を受け町が管理運営をおこなっていたが、平成24年3月みなかみ町に譲渡され、以後一般会計にて管理運営。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 利用客数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 5 | | 新たな活用方針の検討が必要である。 | 定期的なメンテナンスを実施し、利用者が快適に利用できるようにする。 | 8,510 | 16,378 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000059 | 観光センター2階管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,194,160 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | ・観光センター2階の維持管理（庁舎管理）<br>役場観光商工課及びみなかみ町商工会の事務室として使用共有スペース、会議室2部屋、休憩室、書庫及びトイレ等の管理 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 事務室（使用団体） | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 5 | | 課題無し。 | 特になし。 | 3 | 3 / 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000074 | 観光センター改修事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,176,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 上毛高原駅乗降者への観光案内機能の強化と駅周辺の休憩スペースの拡充を図ると共に、観光センター利用者の利便性向上を目的にエレベーターを設置する。 | 車イス対応のエレベーター設置工事及び、エレベーターホール2階に休憩可能なラウンジの整備工事完了 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 工事進捗度 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 5 | 町内外からの利用者が快適に利用できるよう設備の点検・整備。空きスペースの利活用。 | 観光センター2階の利用していないスペースを有効活用し、近年増加しているリモート会議やweb会議等可能な環境整備を進める。 | 70 | 100 / % |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000051 | たくみの里活性化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 地方創生推進交付金を活用し、たくみの里における生活基盤の強化と就業機会を創出したくみの里を活性化させるため、ソフト面とハード面の整備を行う。 | たくみの里商品開発、ネットショップの開設を整備した。プレーパーク建設は地権者死亡により繰越となった。次年度にトイレの建設を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 入り込み観光客数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | たくみの里「豊楽館」の拠点機能の強化と来訪者に対する情報発信が課題である。また、景観の保全、来訪者の利便性向上、地域住民の参画する場とふれあいの場の提供が課題である。 | コロナの影響で事業実施を見送った情報発信事業とトイレの建設を行う。 | 248,070 | 329,430 / 千人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000044 | 湯テルメ・谷川管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,420,670 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 「湯テルメ・谷川」に指定管理者制度を導入し、地域住民の福祉の増進並びに観光客の誘客促進を図る。 | 指定管理者からヒアリングを実施し、修繕計画を策定。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 17 | 施設の老朽化とともに増加傾向にある修繕箇所への対応、修繕計画の策定 | 修繕を進める。 | 46281 | 53496 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000049 | 猿ヶ京温泉交流公園（満天星の湯）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 14,427,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 「満天星の湯」並びに「でんでこ座三国館」に指定管理者制度を導入し、猿ヶ京温泉の活性化及び地域住民の健康維持・増進や生涯学習・芸術文化の振興を図る。 | 優先順位をつけて修繕を実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 17 | 施設の老朽化とともに増加傾向にある修繕箇所への対応。修繕計画に沿った修繕。 | 優先順位をつけて、修繕を実施していく。 | 63,920 | 72,014 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000048 | ふれあい・やすらぎ温泉センター（風和の湯）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,040,028 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 「風和の湯」に指定管理者制度を導入し、町民の健康増進並びに休養を図り、福祉の充実向上に資することを目的とする。 | 源泉ポンプと昇温ポンプ更新工事及び女子露天風呂目隠し塀改修工事を行い、施設の安定的な運営を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 策定した修繕計画を基に老朽箇所の修繕実施 | 策定済みの修繕計画の緊急度を基に予算措置を行い、修繕を実施し利用客への安心安全を確保しサービスの向上を目指す。 | 19,717 | 19519　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000047 | 温泉センター（三峰の湯）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 21,627,827 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 町営温泉センターを運営することにより、町民の健康増進と観光振興を図る。 | 施設の軽微な修繕及びポンプの入れ替え工事を行い、施設の安定的な運営を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 施設の老朽化による修繕の対応。 | 計画的な修繕及びポンプの管理を行う。 | 32410 | 30861　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000045 | ふれあい交流館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,491,900 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 「ふれあい交流館」に指定管理者制度を導入し、観光客誘致や地域住民の交流を図る。 | 塀及びガラスフィルム修繕、貯湯槽オーバーフロー管設置工事を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 施設の老朽化とともに増加傾向にある修繕箇所への対応。 | 修繕計画に基づき、緊急度の高いものから計画的に修繕を実施するため予算措置をする。 | 22259 | 21764　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000043 | 稲荷の湯管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 616,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 町は源泉を2口所有しており、稲荷湯管理組合に加入している。ただし、源泉が温度・成分ともに温泉の基準を満たしていないため、源泉管理に係る負担金を支出している。 | 組合を解散し、整理が終了した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 源泉利用施設数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 源泉を利用している施設がなくなったため、稲荷の湯協同組合の解散・整理を目的とし各関係者と調整を図る | 事業終了。 | 0 | 0　施設 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000046 | 真沢ファーム交流施設（真沢の森）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 31,979,315 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 「真沢ファーム交流施設」に指定管理者制度を導入し、農林業の振興及び観光の健全な発展を図り、都市と農村の交流の場とすることを目的としている。 | ワーケーション受入設備を整え、観光振興・交流・移住・定住促進を図る実証実験を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 来場者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 従来の施設運営は行き詰まっているため、新たな施設の活用法を探る。 | 実証実験の結果を踏まえ、指定管理者制度を導入する。 | 2384 | 8246 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000041 | 湯桧曽足湯施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 188,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 湯桧曽地区にある足湯施設の維持管理事業である。指定管理者は、ゆびそ塾である。 | 指定管理料の範囲内で修繕や補修等の維持管理を行うことが出来た。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 管理上の問題発生（対処）件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | 指定管理料に対し、維持管理費が多いため、協力金（募金）により運営している。 | 指定管理料と施設の管理方法等について検討する。 | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000075 | 湯桧曽公園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 766,300 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 都市公園（H12年8月告示、地区公園）に係る維持管理事業である。指定管理者は、ゆびそ塾である。 | テニスコートの有効活用について、指定管理者と協議を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 管理上の問題発生（対処）件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 4 | テニスコートの利用者がほとんどいないため、用途変更が必要である。 | テニスコートの有効活用案を検討する。 | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000078 | 都市公園等管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,467,860 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 17 | 観光の振興 | 大中島公園・総合公園・蟹枠児童公園・真政河原児童公園・合流の丘公園・湯原温泉公園・忠霊塔公園・湯宿温泉公園の8施設に係る維持管理事業である。 | 適正に管理を行うため、公園管理台帳を作成した。湯原温泉公園にて迷惑駐車2件、忠霊塔公園にて遊具不具合1件発生したため、適正に対処した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 観光資源の充実 | | | 施設維持管理上の・トラブル発生（対処）件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 4 | 公園管理台帳を作成し、適正な維持管理を行うとともに、課題を検討する。 | 点検結果を基に補修等適正に管理を行う。 | 0 | 3 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 国際観光振興事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 716,253 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 17 | 観光の振興 | 訪日外国人観光客誘致のための海外プロモーション、商談会への参画及び招聘事業の実施。町内施設の受入環境整備や海外へ向けての情報発信を行う。 | 観光協会・群馬県商工会連合会と連携してターゲット国・地域に向けた商談会、オンラインツアー等を開催した | 事業実績 | |
| | 基本事業 03 | 国際観光の推進 | | | みなかみ町への外国人宿泊客数（群馬県調査） | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 7 項 2 目 2 | 行政と観光協会等民間団体との情報共有・意識共有。 | 2次交通、キャッシュレス決済、多言語SNS情報発信、多言語看板の設置等が課題となる | 1,044 | 9,734 / 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅲ | 活力にあふれるまち | 主管課 | 名称 | 農林課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原澤真治郎 |
| 施策 | 18 | 農業の振興 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①農家<br>②農地 | ①農業所得を増やす。<br>②有効に活用される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 地域の農産物の利用促進 | 農家 | 農産物を高く売る。 |
| | 2 | 生産基盤の維持・保全 | 農家、農地 | 生産性を維持・向上させる。 |
| | 3 | 担い手の育成・確保 | 農家 | 経営基盤を強化する。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・地産地消を基本に6次産業化による農産物利用の促進をします。
・農地中間管理機構制度や耕作放棄地対策事業を利用した担い手への農地集積・集約化促進により、生産性の向上を図ります。
・基幹農業用施設の保全や機能強化を図ります。
・担い手の育成や法人化の促進により、農業経営基盤強化や経営規模の拡大を図ります。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 農業所得者の総所得金額 | 千円 | 実績値 | 196,648 | 193,109 | 232,443 | 212,606 | 224,859 | 218,972 | 246,424 |
| | | | 目標値 | | 174,000 | 177,600 | 181,200 | 184,800 | 188,400 | 192,000 |
| B | 農地として利用すべき耕作放棄地面積 | ha | 実績値 | 265 | 221 | 195 | 177 | 179 | 161 | 181 |
| | | | 目標値 | | 258 | 211 | 204 | 197 | 190 | 184 |
| C | 米の栽培面積 | ha | 実績値 | 354 | 335 | 331 | 331 | 338 | 327 | 327 |
| | | | 目標値 | | 354 | 354 | 354 | 354 | 354 | 354 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）数値が高まれば、農業所得者の所得が増えているといえるため成果指標とした（税務課、課税データのため毎年度の数値を把握でき、他団体との比較もしやすい。）。
　課税状況調査＞第53表 課税標準額段階別○○年度分所得割額等に関する調【農業所得者】第7表関係(1)総所得金額等に関する調＞(1)総所得金額欄＞行番号100（合計）
B） 耕作放棄地対策事業と集積、集約化をすすめることにより再生可能な耕作放棄地面積が増加しなければ同時に農業が継続されていると判断されるため指標とした。農業委員会荒廃農地に関する調査より再生可能耕作放棄地面積を把握。
C）水田台帳の集計数字を指標とした。水田は当町の耕作面積を客観的な数量を把握が可能なため、主な農産物の農地の利用方法として栽培面積が維持されれば農業所得の増加や多面的機能を有するため成果指標とした。

**目標値設定の考え方**

A）農業者の総所得金額：成り行き値では、景気の影響等他の要因から2017年度の値、174,000千円程度で推移すると考える。目標値は地産地消、6次産業化の推進、農地の集約化や高付加価値化に取り組むことで農業者全体の所得は増加するよう目標を定めた。
B）群馬県によるみなかみ町に対しての目標数値は1年に6.8haの減であり、県の数値を目途にすると2022年に184haとなる。
C）成り行きでは、毎年数ヘクタールずつ減少している。水田の集積や作業受託の組織化に加え、日本型直接払い制度を利用により2016年度の水準を維持することを目指す。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・良質で安全な農畜産物の生産に努める。<br>・農地、農業用施設の適切な維持管理に努める。<br>・集落営農等の組織化（法人化）に取り組む。<br>・担い手への農地集積に協力する。 | ・良質な農畜産物の生産や高付加価値化を支援する。<br>・生産基盤の整備等により農業経営の安定化を支援する。<br>・集落営農等の組織化や担い手の育成、確保を支援する。<br>・農地利用の最適化や耕作放棄地解消のための支援を行う。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・少子高齢化が進むことで後継者不足が深刻となり、耕作放棄地の更なる増加が懸念される。<br>・これからの地域農業を担っていく世代が、効率的な農地利用やスマート農業を行うための農地集積・農地集約化を図るべく、実質化した人・農地プランを作成。（令和3年3月16日作成）<br>・水田等、農地の持つ多面的機能の維持、持続可能な営農活動等の必要性が高まっており、国による支援が継続されている。<br>・国は、新たな食料・農業・農村基本計画（令和2年3月31日閣議決定）を策定すると共に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定（令和3年5月12日）。2050年カーボンニュートラル実現に向けて、化学農薬使用量50%低減、化学肥料の用量30%低減、有機農業の取組面積25%拡大(100万ha)を目指す。 | ・自然災害や農地の維持管理、後継者不足に不安を感じている。（町民アンケート）<br>・販売農家は収益を増やしたい思いがあり、地産地消の推進やブランド化、6次産業化へ支援に期待が寄せられている。<br>・認定農業者や農業法人に対して、農作業の受託や農地集積や農地集約化などの期待がある。<br>・今後も耕作放棄地・遊休農地が増加することが予想されるため、行政主導による法人化を進め、対策に当たるべきとの意見がある。 |

| 施策 | 18 | 農業の振興 | 主管課 | 名称 | 農林課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 原澤真治郎 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①農業総所得金額は、令和2年度に比べ令和3年度は5，887千円減の218，972千円に減少した、減少の要因は、新型コロナウイルスの影響や気候等の影響も考えられるが、令和4年度27，452千円増の246，424千円と増加した、増加の要因は、新型コロナウイルスの影響が無くなり消費の回復や継続的に行われている大・中規模農家の経営手段（新規就農者・経営移譲・販売方法）等で所得の安定を保っていると思われる。<br>②調査、集計方法が大幅に改正され、昨年度実施された農地パトロールによる調査結果を集計したところ農地として利用すべき再生可能な耕作放棄地（遊休農地）は、令和３年度161ｈａとくらべ181ｈａと増加してしまった。<br>③米の栽培面積は、令和２年度338ha、令和３年度327ha、令和４年度327haと多少減少傾向であるが、ほぼ横ばいである。地域の担い手による水田の利用集積が行われているため、栽培は維持されていると考える。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①令和４年度末の利根沼田管内市町村の再生可能な耕作放棄地面積は、沼田市196ｈａ、昭和村 6ｈａ、片品村8.4ｈａ、川場村10.3ｈａ、みなかみ町18ｈａとなっている。<br>集積率は沼田市25.3%、昭和村76.9%、片品村29.7%、川場村48.65%,みなかみ町18.6%と小規模農家多い事が反映し低調である。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☐ 目標値を大きく下回った。 | ①農業所得者の総所得金額は、目標値184,800千円に対し実績値246，424千円となり目標値を61,624千円上回った。<br>②再生可能な耕作放棄地面積は、目標値190haに対し①でも記載したが区分が変更となり実績値181haとなったが目標は184haと上回っている。農地として利用すべき耕作放棄地は農家数の減少等により今後も増加は予想されるが、中間管理機構を利用した耕作放棄地対策事業により農地の集約、集積化を図りながら増加を防ぐ。<br>③米の栽培面積は、目標値354haに対し実績値327haとなり目標を下回ったが、耕作が維持されていると判断する。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域の農産物の利用促進 | A | 直売所の農産物販売額 | 千円 | 実績値 | 221,878 | 214,038 | 230,338 | 155,769 | 211,287 | 191,875 | 290,887 |
| | | | | | 目標値 | | 228,500 | 235,300 | 242,300 | 249,500 | 256,900 | 264,600 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 生産基盤の維持・保全 | A | 農地集積面積 | ha | 実績値 | 228 | 244 | 253 | 263 | 274 | 287 | 305 |
| | | | | | 目標値 | | 260 | 292 | 324 | 365 | 388 | 420 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 担い手の育成・確保 | A | 農業法人数/認定農業者数 | 団体/人 | 実績値 | 12/80 | 13/78 | 14/79 | 14/80 | 13/77 | 14/82 | 14/86 |
| | | | | | 目標値 | | 12/79 | 13/79 | 14/80 | 15/80 | 16/81 | 18/81 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域の農産物の利用促進 | ①更なる地産地消推進の推進。<br>②農産物の加工場とブランド化の具体化を目指し戦略を策定する。<br>③直売所を活用した農産物の販売促進。 | ①学校給食の地産地消比率データを地産地消推進を町内外に発信し、地産地消比率を向上させる。<br>②BR・水・有機など町としての統一的な地域ブランドを生かし，小規模多品種生産の特長を生かし、身の丈に合った加工場新設に取り組む。<br>③直売所連携による、統一レジシステム活用した農産物売れ残り0の実現。 |
| 2 | 生産基盤の維持・保全 | ①担い手への農地集積・集約を図る生産基盤の整備促進。<br>②用水路等の長寿命化と、ため池の防災減災対策。 | ①担い手の減少に伴う農地の遊休化を利用権の定期更新時に認定農業者や地域計画により掘り起こされた担い手等に集約・集積を図り、農地集積を加速させ、荒廃を防ぐ事により生産基盤の保全の向上を図る。<br>②ため池の調査結果に基づいた、危険度の高い施設からの改修の実施。 |
| 3 | 担い手の育成・確保 | ①新規就農希望者等の受け入れ体制の整備。<br>②本年度より始まる「地域計画」により、実質化された「人・農地プラン」の見直し等を行い、担い手の掘り起こし、育成、中心経営体への農地集積・集約を図り易い体制作る。 | ①関係部署と連携を行い、移住定住をふまえた新たな支援と情報発信を行う。<br>②地域計画による地域毎の話し合いにより担い手等の支援策や農地のマッチングを検討し、支援に取り組む。 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | まごころ便事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 88,278 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | JA利根沼田みなかみ支店青年部が中心となり、町内の農産物・特産品を年4回、会員に対し発送しPRに取り組む。 | 補助金申請の流れについて資料提供。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 会員数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 会員募集案内や会費徴収等において事務手続きなど指導を要する。 | 町内農産物の普及のため継続実施する。 | 72 | 67 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 地域の農林水産物利用促進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,364,160 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 地域の農林産物利用促進を目的とした各種補助金事務等。具体的には地産地消事業や農業団体支援事業などがあげられる。 | 新型コロナウイルスの影響により農産物の消費拡大に向けた事業の実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 実習会等活動日数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 良質農産物の産地であることをアピールし、購買意欲への結び付きを図る。 | 販路拡大に向けたシステム戦略等検討。 | 5 | 6 / 日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 水紀行館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 指定管理制度の導入に伴う協定書作成、協定締結、協定に基づく修繕処理等の施設の維持管理。 | 適正な施設管理運営について検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 入り込み客数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 施設の老朽化に伴う改修。省エネ設備等導入。 | 補助事業等を利用した改修、適正な施設管理。<br>施設のPRと施設利用者のニーズに応じた品揃え等を検証する。 | 172,733 | 241,257 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000033 | 地産地消推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,745,228 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 地域の農林水産物利用した地産地消・6次産業化の推進。 | 地産地消推進委員会における地産地消・6次産業化調査。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 地産地消推進事業 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 事業内容の精査 | 地産地消推進委員会を中心に今後の事業の検討 | 5,797 | 6,745 / 千 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 産地形成促進施設（月夜野はーべすと）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,180,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 指定管理制度の導入に伴う協定書作成、協定締結、協定に基づく修繕処理等の施設の維持管理。 | 適正な施設管理運営について検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 入り込み客数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 施設の老朽化に伴う改修。省エネ設備等導入。 | 補助事業等を利用した改修、適正な施設管理。<br>施設のPRと施設利用者のニーズに応じた品揃え等を検証する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 61,662 | 61,945　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 交流促進センター（太助の郷）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,800,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 施設の指定管理に伴い、指定管理制度に基づく協定締結並びに指定管理料の支出、施設敷地賃貸借契約に基づく賃貸借料の支出事務。 | 適正な施設管理運営について検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 入り込み客数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 施設の老朽化に伴う改修。省エネ設備等導入。 | 施設のPRと施設利用者のニーズに応じた品揃え等を検証する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 8,856 | 9,478　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 農林漁業体験実習館（豊楽館）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,632,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 指定管理制度の導入に伴う協定書作成、協定締結、協定に基づく修繕処理等の施設の維持管理。 | WITH コロナに向けた施設管理運営について検討。<br>買い物難民救済措置実施　施設内改修。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 入り込み客数<br>（豊楽館、香りの家、福寿茶屋） | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 適正な施設管理運営。 | 施設のPRと施設利用者のニーズに応じた品揃え等を検証する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 241, 200 | 367, 594　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | フルーツ公園（桃李館）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,325,976 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 指定管理制度の導入に伴う協定書作成、協定締結、協定に基づく修繕処理等の施設の維持管理。 | WITH コロナに向けた施設管理運営について検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 適正な施設管理運営。 | 新型コロナウイルス対策の徹底。<br>施設のPRと施設利用者のニーズに応じた品揃え等を検証する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| | | | | | 28, 466 | 31, 944　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 大穴農村公園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 438,286 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・大穴農村公園の電気料、水道料、浄化槽保守管理委託料の予算管理並びに支出事務。 | 滑り台が危険遊具と判定されたため撤去。鉄棒、ブランコは修繕を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 大穴地区農業従事者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 現状維持の施設の存続。 | 町全体で事務事業の見直しを検討することになった。 | 7 | 7　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 高日向農村公園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 18,766 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 高日向農村公園の維持管理に伴う電気料。 | ため池付近に付けている外灯について地元要望で当分の間、存続となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 高日向地区農村従事者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 課題なし | 特記事項無し | 0 | 0　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 阿能川農村公園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 21,198 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 高齢者婦人センターの建設とともに、駐車場脇に整備されたポケットパークのような公園。散策路があり、周辺には季節の花が植えられている。 | 町民福祉課と事務事業の見直しを検討 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 地域の農業従事者 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 地権者との協議が必要<br>高齢者婦人センター・ディーサービスセンターとの景観があり、そこを含めて、検討要。 | 町全体で事務事業の見直しを検討することになった。 | 8 | 8　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 平出農村公園管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 174,489 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 平出農村公園の修繕料、借地料及び公衆トイレの電気水道料関係処理。 | 特記事項無し | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 地域就農者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 管理担当部署の一元化。 | 町全体で事務事業の見直しを検討することになった。 | 12 | 12　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | たくみの里ヨーグルト工房管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 141,360 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 飲むヨーグルト工場施設用地賃借料の支払い | WITH コロナに向けた施設管理運営について検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 販売収入額 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | 販路の確保、「塩ヨーグルト」を利用したメニューの開発 | 施設のPRと施設利用者のニーズに応じた品揃え等を検証する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 4 | | | 28，968 | 29，688 / 千円 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 雲越家休憩施設遊山館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 196,676 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・田園空間整備事業により藤原地区に整備された遊山館の光熱水費、施設管理委託費の支払い。 | 補助金事業での施設のため償還期間が残り4年となっている。償還期間経過後の譲渡へ向けて直営での維持整備を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 施設利用回数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ・現在委託管理をしているが利用頻度が低く、今後指定管理対応が望ましいと思われるため検討をする。 | 残り4年間現状維持のまま事業継続を行い、その後地元団体等へ施設の無償譲渡を検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 5 | | | 9 | 3 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 集落水辺環境施設恋越公園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,026,304 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・恋越公園の光熱水費、消耗品費、施設管理委託費の支払い。また、釣り体験に係る事務。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 施設利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ・課題なし | ― | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 5 | | | 1119 | 2163 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 大峰休養施設（見晴荘）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 393,981 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 水道光熱費及び施設敷地国有林借り上げ料の処理。 | 次年度予算の打合せにおいて、施設の解体を検討することになった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 利用者数　休止中 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | 施設は休止しているため、解体へ向けて進めていく必要がある。 | 公共施設の担当者と現地確認を行い、施設の廃止や解体を検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | | | 0 | 0 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 緑の少年団活動費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 180,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 町内の各小学校に組織されている緑の少年団に補助金を支払う。 | — | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 緑の少年団数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | 課題なし | — | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | | | 6 | 6 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 農村交流公園（遊神館）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 47,329,978 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 奥平温泉遊神の湯「遊神館」の管理運営と農産物、加工品の販売を行う。 | 温泉運営に支障をきたさないよう、うたせ湯昇温用電動三方弁修繕、サウナ施設セラミックヒーター・ファン交換、空調設備修繕などを実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 地域の農産物の利用促進 | | | 入館者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | 最善な状態での施設提供と施設設置から27年を迎え施設の老朽化の対応が課題である。 | 修繕計画に基づき施設整備に努める。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 17 | | | 45814 | 49212 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 牧道維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 191,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 草地や飼料畑に通じる道路（支線）の補修に必要な資材支給を行う。 | 現地確認を行い、車両通行に支障があるなど緊急性の高い事案から着手している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 整備延長 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | 利用者の減少に伴い、必要性が低下している。 | 緊急性、利用状況を鑑みて、優先順位の高いところより着手する。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 4 | | | 60 | 55 m |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000044 | 生産振興対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 506,845 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ゲノミック評価により早期にその能力を把握することで、保留判定に資するとともに、繁殖雌牛の効率的な改良を推進する。 | 取り組みの初年度となったため、畜産農家や畜産関係団体への周知を行い、実施を促した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 頭数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | 畜産物の産地として持続的に発展していくためには、生産の低コスト化を推進するとともに、消費者ニーズに対応した高品質で安全な畜産物の生産を図ること | 全国の畜産業界でもゲノミック評価への関心は高く、群馬県は以前から取組を続けていた。市場取引で活用される事例もでている。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 4 | | | 66 | 70 0 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 大峰牧場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,000,982 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 放牧場の維持管理運営 | 利根沼田地区の畜産関係団体と調整して、牧草地の改善に取り組んだ。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 延べ預託放牧頭数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 4 | | 牧草地や管理施設の更新が必要となって来ている。今後、維持管理費の拡大および改修費が必要となる。 | 良質な牧草地を求める預託農家や家畜衛生面を指導する利根沼家畜保健衛生課とともに最良の運営方針を決めていく。 | 99，461 | 114，870 / 頭 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 高畠牧場管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 345,341 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 高畠育成牧場用地の返還に向けた、植栽・除草作業及び防災工事など | 植栽、除草作業を行った | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 地権者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 4 | | 課題なし | 現状維持 | 7 | 7 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 資源リサイクルセンター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,324,019 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・家畜排泄物と食品残渣、脱水汚泥の受入<br>・発酵機等備品の修繕、管理<br>・堆肥製造、販売<br>・施設管理運営委託業務 | 食品残渣の搬入条件の見直し、水分調整材の品質向上。機械等のメンテナンス。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 参加畜産家数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 4 | | 撹拌装置等の老朽化による修繕費の増加<br>生産堆肥の品質 | 堆肥購入者の意識調査など行い、生産堆肥の有効利用等を考える。<br>国が掲げる「みどりの食料システム戦略」による有機農業に取り組む農家に対し生産堆肥支援を行う。 | 3 | 2 / 戸 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 土地改良総務費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 163,040 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・群馬県土地改良事業団体連合会に負担金を支払い、団体の活動を通じて農業振興を図る。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 委託業務数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 5 | | ・課題なし | － | 8 | 9 / 業務 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 小規模農村整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 69,883,054 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・農業用施設等の長寿命化・機能保全のため、調査を行い、設計・積算委託及び工事を実施する。 | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 受益戸数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 5 | | ・工事箇所の要望が増加している。<br>・現場条件が悪く、改修に多額な費用が掛かる箇所についての要望が年々増加しており、検討に苦慮している。 | | 54 | 165 / 戸 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000040 | ため池整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,647,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・県営、県単事業の負担金の支払い及び地元調整。また、団体営事業で実施する調査等委託。 | ・防災重点農業用ため池の各調査が完了し、改修工事の優先度を検討するための資料を一通りそろえることができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 実施箇所 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 5 | | ・決壊の危険性が高い防災重点農業用ため池を計画的に改修していく必要がある。 | 優先度の高いため池から、順次改修工事に着手出来るよう、県や地元と調整を行っていく。 | 12 | 18 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 農道・農業用水路維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,810,706 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・行政区・農事組合からの要望により農業用施設等の修繕を実施。また、それら作業を地元で実施する場合の重機借上及び原材料支給。 | ・緊急性を考慮し、優先順位を付けて実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 農業用施設維持管理修繕箇所 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 5 | | ・修繕箇所の要望が増加し、予算の範囲内で対応できなくなり繰り越し件数も増えてきている。 | ・軽微な修繕については、資材支給などにより地元作業で対応してもらう。 | 14 | 19 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 多面的機能支払交付金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,888,144 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・地域共同で行う多面的機能を支える活動や地域資源の質的向上を図る活動を支援するため、団体より提出される実績報告書の内容確認及び訂正・指導・交付金の支払い。 | 活動組織個別にフォローアップ面談を行い事務指導を行い事務の適正化を図った | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 事業参加団体 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 5 | | ・制度面などの環境の変化により、次第に町が行う事務が増えている。 | 組織役員の高齢化・活動会員の減少に伴い、更なる事務の効率化・適正化を検討する。 | 9 | 9 / 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000041 | 農業用用排水路長寿命化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,510,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・県営・県単事業の負担金の支払い及び地元調整。また、団体営事業で実施する調査等委託、設計積算委託及び工事。 | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 整備・更新施設延長 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ・整備後、数十年経過している施設が多いため、機能保全計画に基づく計画的な改修が必要である。 | ・施設の定期的なモニタリングにより、必要に応じ機能保全計画の見直しを行いながら老朽度が高い箇所から順次改修工事を実施していく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 5 | | | 0 | 0　m |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000035 | 土地改良施設維持管理適正化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 406,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・農業水利施設の機能診断の実施。また、資金造成により整備更新を行う。 | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 整備・更新施設数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ・実施要望から採択までの期間が2年越しである為、実施の見通しを立てることが他の補助事業に比べて難しい(すぐに実施したいものが実施できない)。 | | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 5 | | | 1 | 1　施設 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000030 | 農林水産業施設災害復旧事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 37,257,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・豪雨等で被災した農地及び農業用施設の調査を行い、設計・積算委託及び工事を実施する。 | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 復旧完了箇所数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農村整備　係 | ・国庫補助事業の手続きの期間が長く、災害の時期によって翌年の作付け開始に工事完了が間に合わない。 | | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 11 項 1 目 1 | | | 0 | 0　箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 森林整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,159,947 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ○森林組合や素生協が国・県の補助事業による間伐を実施した際に、町からも補助金を出す。<br>○森林・山村多面的機能発揮対策交付金について、町からも補助金を出す。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 事業主体数（森林組合＋多面的実施者） | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | 課題なし | ― | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | | | 10 | 10　団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000043 | 森林情報整備運用事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 213,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ○林地台帳の整備と運用<br>○森林情報管理システムの運用 | 森林情報管理システムの情報量が多く、統合型GISとの連携が難しいとの結果となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 森林管理システムの更新、保守の実施回数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | ○統合型GISと森林情報管理システムの連携を今後進める | 将来的に資源量調査を実施するが、どのように情報を取り込むか検討を行う。 | 1 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 森林整備担い手対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,730,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 町民が勤務する林業事業体の、勤務する町民に対する厚生年金等の事業者負担金の一部を補助 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 林業事業体 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 2 | 課題なし | ― | 7 | 7 / 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 林道維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,083,905 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・林道の維持管理に係る業務委託及び修繕を実施する。 | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 修繕箇所数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 3 | ・昭和41～49年に建設又は塗り替えが行われた橋梁の塗料に低濃度PCB廃棄物が含有している可能性がある。みなかみ町林道には、3つの橋梁が対象となっている。 | | 14 | 9 / 箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000042 | 林道整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,167,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・県単林道改良事業により林道の整備を実施する。 | ― | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 生産基盤の維持・保全 | | | 施工距離 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 2 目 3 | 課題なし | ― | 399.5 | 84 / m |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 全国中山間地域振興対策協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 43,028 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 全国中山間地域振興対策協議会及び関東支部の総会及び研修会へ出席し中山間事業の継続推進、事業の見識を深める事業 | 令和4年度は総会等延べ2日の開催となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 総会・研修会参加回数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 2 | 中山間地域の活性化・交流促進は過疎化を食い止める有効な手段と捉え、先進的な取組みなど情報交換による継続的な取組みを必要とする。ニーズにマッチした事業の選定が課題。 | 全国大会等参加を検討する。 | 0 | 2 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 園芸用廃プラ適正処理推進協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 300,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 園芸用廃プラスチックの適正処理により農村環境の保全を図る。JAを中心とする協議会に対し処理費用の一部を助成する。法改正により一般家庭から排出される廃プラも適切に処理する。 | 関係機関と協議 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 回収した廃プラスチック類 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 3 | 一般家庭からの廃プラスチックの排出も徐々に増加しており、事業量の増大に比例し処理費（助成金）の増加が見込まれる。 | ・JAの回収に引き続き助成を行う。<br>・年々処理費が高騰しているため、廃プラ回収袋を1枚50円から100円に値上げする。<br>・年々高騰する廃プラの処理費用を負担し続けるのでは無く、今後は生分解性マルチの導入に助成をするなど、環境保全に配慮された取組への助成も検討していく。 | 21,024 | 18,333 / kg |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 農業者等健康増進施設（体育館）管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,493,182 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ・水上地区の農業者等健康増進施設（川上地区・通称、南部体育館）、農林漁業者等健康増進施設（綱子地区・通称、中部体育館）、農業者トレーニングセンター（藤原地区・通称、北部体育館）、の施設維持管理。令和4年度は「令和3年度繰越事業水上地区南部・中部体育館LED照明ランプ交換」実施。 | 農業予算で整備した施設だが観光的な要素が大きいため事務事業の見直しを検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 3 | 農林省所管の補助事業により開設された施設のため、管理所管課が農政課となっているが、類似した体育施設及び観光施設との統合管理の必要性があると思われる。 | 関係機関と協議が必要である。<br>協議の折、施設老朽化により廃止も視野に入れる。<br>令和5年度より施設運営管理を教育委員会に所管替え。 | 0 | 1,956 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 認定農業者支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 50,510 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 役員会、総会、群馬県認定農業者連絡協議会全体会議、利根沼田地域認定農業者協議会代表者と県農政部長等との意見交換会、群馬県認定農業者連絡協議会ぐんまﾞいきいきファーマーﾟ研修会、視察研修会、 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 会議研修会回数（会議+研修） | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 6 項 1 目 3 | 課題なし | 事業継続 | 3 | 5 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 地域農業再生協議会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,221,029 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 経営所得安定対策制度を円滑に実施するため、事業実施主体（地域農業再生協議会）が行う推進活動及び要件確認等に必要な経費に対して補助金を交付する。 | 水田一帯化台帳の整理。申請者個別の事務支援。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 経営所得安定対策制度加入者 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 事業内容の変更が高頻度であり、利用可能な対象者が減少する状況。<br>対象となる農地所有者の把握が困難。 | 事業内容の把握と農家支援を継続する。 | 7 | 7　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 「はばたけ！ぐんまの担い手」支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,560,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 県単の補助事業。スマート農業の導入や意欲ある担い手の育成、新規就農者・企業の確保、経営多角化等へ支援する。 | 認定農業者協議会等を通じ県に対し要望。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業補助金申請件数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 予算額増額や審査基準の緩和。 | 要望を継続していく。 | 1 | 1　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 蚕糸業継承補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 405,840 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 各養蚕製糸推進協議会が実施する、県産の繭・生糸の生産量確保のための県単補助事業事務。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 補助金交付団体数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 課題なし | 特になし | 1 | 1　団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 日本型直接支払事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 41,601,576 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 中山間地域では後継者不足・高齢化等の問題があり、耕作放棄地の解消や担い手育成に取り組むため農業基盤の維持、多面的機能を確保するため交付金を交付する。本事業は、平成12度より実施され、令和2年度より第5期目となる。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 対象農用地面積 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 課題なし | 5期対策として継続実施する。 | 256 | 258　ha |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 月夜野農村環境改善センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,416,635 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 月夜野農村環境改善センターの維持管理、及び施設利用申請書の受理、使用許可書発行、使用料収納等。 | 新型コロナウイルスの影響により利用者数減による施設管理運営・施設維持について検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 施設維持のための老朽化に伴う計画的な修繕 | 老朽化に伴う効率的な修繕。 | 892 | 455 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 新治農村環境改善センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,522,289 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 新治農村環境改善センターの維持管理、及び施設利用申請書の受理、使用許可書発行、使用料収納等。 | 関係機関との調整。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 吊り天井があるため、施設の改修工事が必要。雨漏り等による天井破損。 | 適正な施設管理を行うための調査。関係課と話し合いを行う。 | 559 | 485 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | 高齢者婦人センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 725,480 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 地域交流活動の拠点施設として平成5年度にデイサービスセンターと併設される形で整備されたもので、現在は社会福祉協議会による施設利用がなされている。 | 町民福祉課と事務事業の見直しを検討。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 農水省の補助事業であることが最大の課題と考えている。国も、一定の期間を経過した施設については、利用計画の変更協議に柔軟な考え方を示していると思われるため、関係機関と協議を重ねていくことが重要。 | 町全体で事務事業の見直しを検討することになった。 | 783 | 1003 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 家畜防疫推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 148,050 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 法定伝染病の防疫対策業務を実施している利根沼田地区家畜防疫推進協議会に対し、町負担金の支払い。 | 防疫対策を効率的に行うため、防疫薬品等を利根沼田自営防疫協議会が一括購入して各生産者に配布している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 総会出席者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 4 | | 近年、家畜伝染病が多く発生しており、畜産業の保護のため日常の防疫対策が必須となっている。 | 組織的な防疫対策を継続していく。 | 0 | 0 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 畜産共進会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 全国共進会 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 共進会開催回数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農政　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 4 | | 特になし | 令和4年度に全国大会が開催される。 | 0 | 1 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000025 | 特用林産物生産活力アップ事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,428,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 特用林産物の生産振興のため、生産施設について補助する。<br>なお、現在、原木の購入は放射能汚染の影響により、原木購入補助は行っていない。 | — | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 補助事業件数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 林業振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 2 目 2 | | 特になし | — | 1 | 2 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 農業委員会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,891,877 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 農地法などの法令に基づく審査等を行うと共に、農地や担い手に関する具体的な活動を実施する事業。 | 農業委員会の活動目標を掲げ、農家や担い手の意見を収集・集約することで課題解決に取組む。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 農業委員会定例会開催件数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農地利用　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 1 | | 農家の減少や高齢化が進む中、農地を貸したいが相手が見つからない農地所有者が多い。後継者の見込みがなく自作できない農地に担い手をどのように確保し集積できるかが課題。 | 地域における聴き取りや話し合いを行い、農業委員会の活動目標の実現に取り組む。担い手への集積・集約を進めたや耕作放棄地の解消に取り組む。 | 12 | 12 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 農業者年金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 107,938 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 独立行政法人農業者年金基金法に基づき創設された独立行政法人農業者年金基金から業務を一部委託されている事業。 | 研修会開催、広報への掲載、担当委員の勧誘等で加入推進へ取り組んだが新規加入は無かった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 加入者・受給者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農地利用　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 1 | | 農業者の老後生活の安定及び福祉の向上と、担い手の確保を目的とする事業だが、新規加入者数が低迷している。 | 新規加入者確保の目標を掲げ、詳細な制度説明等を実施しながら農業者に安定した生活を過ごしていただけるよう取り組む。 | 273 | 249 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 農地情報管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,249,450 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | ①農家・法人等の情報管理②農地の権利状況管理③農地転用の情報管理④荒廃農地調査に関する情報管理⑤その他 | データ管理の徹底やシステムの比較を行った。<br>住民サービス、管理運用面、コスト面、その他で結果には至っていない。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 農地保有戸数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農地利用　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 1 | | 農地情報の整理と充実化。管理運用面で農地情報システムの統一化が必要（町・国　両システムの効率的な運用が早急に必要）。 | データ管理の一本化に取組み、住民サービス、管理運用面、コスト面、その他の面で効率を図る。 | 3345 | 3350　戸 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 農業近代化資金等利子補給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 383,255 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 認定農業者等の担い手農業者が機械の更新等で、金利優遇される県の制度資金（農業近代化・総合農政推進等）を利用した際、金融機関に金利分の補助を県と町で行う。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 借り入れ件数(総数) | |
| 組織名 | 農林　課 | 農地利用　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 申請者数の予測が困難。 | 特になし | 85 | 87　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 農地利用集積円滑化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 171,792 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 離農・規模縮小により遊休化する農地を町が借り入れ、規模拡大を考えている農家に貸し付け経営の安定化と農地の保全・有効利用を図る。平成26年以降、農地中間管理事業へ移行を開始し令和6年に完了予定。 | 期間満了を迎える人から順次移行の希望が得られた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 貸付農地所有者数 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農地利用　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 農地中間管理機構を通じた農地管理へ移行する事業だが、契約期間が長く完全な移行までに時間を要している。 | 期間満了時に農地中間管理機構を活用した権利設定となるよう取り組む。 | 4 | 3　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 農地利用集積促進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,297,183 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 18 | 農業の振興 | 農地中間管理機構等を活用した担い手への集積・集約を促進する。新規の集積には奨励金を交付し、認定農業者の確保、優良農地の効率的利用、耕作放棄地化の解消を促進する。 | 地域の担い手に農地中間管理機構を活用した権利設定を推進し、集約・集積化を図った。<br>荒廃農地の再生事業に取り組み担い手への集約を行った。<br>粗放的農業を実施し担い手へ集約できるよう仕組み作りに取り組んだ。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 担い手の育成・確保 | | | 農地中間管理機構を活用し農地に新規の利用権設定を行った認定農業者 | |
| 組織名 | 農林　課 | 農地利用　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 6 項 1 目 3 | | 高齢化や後継者不足による、生産力の低下と耕作放棄地化が課題。 | 農地の再生や粗放的農業の推進に取り組み、地域の話し合い等で遊休農地の発生を防ぐ。新規担い手の確保策を検討し、集約・集積の促進を図る。 | 7 | 7　人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 8 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅲ | 活力にあふれるまち | 主管課 | 名称 | 観光商工課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 鈴木　和幸 |
| 施策 | 19 | 商工業の振興 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①商業事業所<br>②工業事業所 | ①販売額を伸ばし、安定した経営ができる。<br>②出荷額を伸ばし、安定した経営ができる。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 商業事業者の経営改善 | 商業事業所 | 販売額を伸ばし、安定した経営ができる。 |
| | 2 | 工業事業所の安定経営 | 工業事業所 | 出荷額を伸ばし、安定した経営ができる。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・関係機関が連携して、販路拡大による販売体制強化や経営の近代化、特産品の研究開発などを推進します。<br>・積極的な情報提供や経営指導・相談融資制度の充実により、中小企業の育成を推進します。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | 商業の法人税割額 | 千円 | 実績値 | 5,546 | 7,957 | 7,422 | 5,979 | 4,911 | 5,426 | 2,595 |
| | | | | 目標値 | | 5,490 | 5,435 | 5,381 | 5,327 | 5,274 | 5,221 |
| | B | サービス業の法人税割額 | 千円 | 実績値 | 13,292 | 8,238 | 5,842 | 4,699 | 3,074 | 3,396 | 4,007 |
| | | | | 目標値 | | 13,159 | 13,027 | 12,897 | 12,768 | 12,640 | 12,514 |
| | C | 建設業の法人税割額 | 千円 | 実績値 | 7,817 | 10,712 | 6,783 | 11,981 | 3,944 | 7,933 | 9,614 |
| | | | | 目標値 | | 7,582 | 7,355 | 7,134 | 6,920 | 6,712 | 6,511 |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A)B)C)法人税額が高まれば、商業事業所や工業事業所が販売額または出荷額を伸ばしているといえるため、成果指標とした。<br>税務課の事業種目・月別調定額集計表【法人税割】欄の年度合計額から集計<br>※分類は、日本標準産業分類による<br>A)商業：大分類が「卸売・小売業」のもの、大分類が「飲食店、宿泊業」のうち中分類「一般飲食店」「遊興飲食店」のもの<br>B)サービス業：大分類が「医療、福祉」「教育、学習支援業」「サービス業（他に分類されないもの）」のもの、「飲食店、宿泊業」のうち中分類が「宿泊業」のもの、「複合サービス事業」のうち中分類が「情報サービス業」のもの<br>C)建設業：大分類が「建設業」のもの |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A)商業の法人税割額は、成り行きでは年3%程度減少し、2022年度に4，619千円が想定されるが、計画実施により下げ幅を年1%にとどめ、目標5，221千円に設定した。<br>B)サービス業の法人税割額は、成り行きでは年3%程度減少し、2022年度に11，072千円が想定されるが、計画実施により下げ幅を年1%にとどめ、目標12，514千円に設定した。<br>C)建設業の法人税割額は、成り行きでは年7%程度減少し、2022年度に5，058千円が想定されるが、計画実施により下げ幅を年3%にとどめ、目標を6，511千円に設定した。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1．町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2．行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・事業者は、特産・名産品を開発したり、魅力ある店舗づくりに努めるなど、安定した経営に努める。<br>・町民は、町内で買えるものはなるべく町内で買う。 | ・商工会や観光協会等と連携し、販売額や出荷額、収益の増加につながる取り組みや支援を行う。<br>・消費者行動の多様化や流動客に対応するために、起業や販路拡大を支援する。<br>・新規企業の進出や既存企業の拡大など、事業者要望への協力、支援を行う。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1．施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2．施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・群馬県商工会連合会の「商工会の現況」より、地域の小売商店が減少している。<br>・買い物に困っている方に対する、移動販売や宅配等の支援が求められている。<br>・平成29年度伴走型小規模事業者支援推進事業の実態調査アンケートや、群馬県商工会連合会の「商工会の現況」により、事業主の高齢化・後継者不足により事業所が減少している。 | ・高齢化やバスの本数が減るなど、買い物に困っている人が増え、宅配サービスや移動販売を望む人が増えている。<br>・「泊」「食」分離による周辺商店街への回遊を望む声がある。<br>・交通弱者に向け、商店、食堂、銀行、郵便局、医療、行政業務など集約設置の検討を望む声がある。<br>・事業承継への支援を望む声がある。 |

| 施策 | 19 | 商工業の振興 | 主管課 | 名称 | 観光商工課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 鈴木　和幸 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|---|
| | ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☑ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①商業では、平成28年度5,546千円、平成29年度7,957千円、平成30年度7,422千円、令和元年度5,979千円、令和2年度4,911千円、令和3年度5,426千円、令和4年度2,595千円で、前年度から2,831千円(52.2%)減少した。大幅に減少した要因としては、大型店舗の閉店及び店舗のリニューアルに伴う一時閉店が影響したものと推測される。<br>②サービス業では、平成28年度13,292千円、平成29年度8,238千円、平成30年度5,842千円、令和元年度4,699千円、令和2年度3,074千円、令和3年度3,396千円、令和4年度4,007千円で、前年度から611千円(18.0%)増加した。<br>③建設業では、平成28年度7,817千円、平成29年度10,712千円、平成30年度6,783千円、令和元年度11,981千円、令和2年度3,944千円、令和3年度7,933千円、令和4年度9,613千円で、前年度から1,680千円(21.2%)増加した。 |
| | ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①令和2年度における、本町の製造品出荷額は497億円と、前年と比べ98億円減少した。近隣市町村の数字を見ると、沼田市798億円(対前年比58億円減)、片品村31億円(同6億円増)、川場村21億円(同10億円増)、昭和村524億円(同116億円増)となっている。本町は平成26年以降、沼田市を除けば、郡トップを維持していたが、令和2年度は昭和村に次いで2位となった。また、前年対比では、沼田市と本町以外の町村はすべて増となったが、全体として24億円減となった。(令和3年経済センサス活動調査結果)　本町の製造品出荷額が大幅に減少した要因としては、出荷額1位である輸送機器製造業が、新型コロナウイルス感染症の拡大や半導体不足の影響により減産となったことが影響していると推測される。また、出荷額2位の食料品製造業が、観光客の減少や飲食店の時短などの影響を受けたと考えられる。<br>②令和3年6月1日現在における、本町の製造業の事業所数は、38事業所(対前年比8事業所増)、従業者数は1,378人(対前年比262人増)であった。近隣市町村の状況を見ると、沼田市は3事業所減少し85事業所、従業者数は219人減少し2,462人、片品村は増減なしで9事業所、従業者数は26人増加し194人、川場村は2事業所増加し7事業所、従業者数は43人増加し133人、昭和村は4事業所増で14事業所、従業者数は274人増加し966人となっている。(令和3年経済センサス活動調査結果)<br>③1事業所当たりの従業者数を見ると本町36.3人、沼田市29.0人、片品村21.6人、川場村19.0人、昭和村69.0人であった。<br>※他団体との法人税額割の比較ができないため、経済センサス活動調査の結果で比較した。 |
| | ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①商業では、目標値5,221千円のところ、実績値2,595千円で、目標値を大幅に下回った。<br>②サービス業では、目標値12,514千円のところ、実績値4,007千円で目標値を大幅に下回った。<br>③建設業においては、目標値6,511千円のところ、実績値9,613千円で目標値を大幅に上回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 商業事業者の経営改善 | A | 産業別売上金額(全産業)<br>※経済センサス活動調査 | 百万円 | 実績値 | 95,806 | ー | 116,328 | ー | 未発表 | ー | ー |
| | | | | | 目標値 | | 98,296 | 100,852 | 103,470 | 106,165 | 108,925 | 111,748 |
| | | B | 産業別売上金額(卸・小売業)<br>※経済センサス活動調査 | 百万円 | 実績値 | 17,307 | ー | 17,506 | ー | 15,452 | ー | ー |
| | | | | | 目標値 | | 17,756 | 18,218 | 18,691 | 19,178 | 19,676 | 20,186 |
| | 2 工業事業所の安定経営 | A | 製造品出荷額<br>※経済センサス活動調査 | 百万円 | 実績値 | 69,721 | 64,599 | 61,089 | 59,491 | 49,668 | ー | ー |
| | | | | | 目標値 | | 69,721 | 69,721 | 69,721 | 69,860 | 70,000 | 70,140 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | 3 | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み(案) | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| | 1 商業事業者の経営改善 | ①事業主の高齢化や後継者不足による廃業、空き店舗が増加しているので、事業承継や店舗の再利用を支援していく。<br>②商店街の魅力づくり。地場産品の商品開発と販路開拓の支援。<br>③中小企業・小規模企業の振興を支援する。 | ①商工会とも連携を図り、事業承継や起業の支援に取り組む。また、やる気のある若者世代を支援するリノベーションまちづくり事業を引き続き展開する。<br>②地場産業振興対策事業補助金を推進し、商品開発や販路開拓等に努める。店舗等改装等補助金制度や商店街活性化事業の推進により商店街の魅力をアップしていく。<br>③みなかみ町中小企業・小規模企業振興基本計画や、創業支援計画に基づき、商工会等と連携し事業を展開する。また、地域通貨MINAKAMI HEART Payの活用等により地域経済活性化を図る。 |
| | 2 工業事業所の安定経営 | ①町内に所在している企業の事業内容を充分把握できていない。<br>②設備投資等に関する優遇措置の利用を増やせるようにする。 | ①工業会などの組織を利用し、情報交換を行い現状の把握に努める。<br>②商工会などの認定支援機関と連携し、先端設備導入計画を認定し、国などの補助制度等を活用することにより設備投資を促進する。また、ＨＰにおいてもＰＲを行っていく。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 物産振興対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,151,570 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 東京都内や友好都市において、みなかみ物産展を実施し、町の特産品をPRする。 | コロナ禍の影響により物産交流の機会は減少したが、秋くらいから徐々に増えてきた。友好都市の中野区や取手市に予定外の出張販売の機会を頂いたり、東日本連携センターなどを活用することで特産品販売や観光PRを実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 参加回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 生産者は、商品を単一的に販売するだけでなく、先方関係機関や事業者とビジネスマッチングの機会を設けることで販路開拓と所得向上に繋がるという意識を持つことが重要となっている。 | コロナ収束により、商談会や再開されるイベントに積極的に参加し、出店事業者の育成も行う。 | 19 | 24 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 地場産業振興対策事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,103,865 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 本町の地場産業振興と地産地消推進を図るため、地域特性や資源を活かした産業振興等を推進しようとする団体に対し、その試作・調査及び研究等に要する経費について補助する。 | 次年度より新製品開発事業を対象とするよう、交付要綱を改正した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 地場産業振興対策事業・地場産品普及開発事業<br>補助金交付（申請）件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 9 | | 地場産品普及開発事業補助金については、既存製品の改良が対象となるが、新製品の開発に対する補助を望む声も上がっている。 | 適正に事務執行を行う。 | 11 | 15 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 新技術・新製品開発支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 町内の中小企業者が行う新技術・新製品に関する研究開発を対象に、群馬県と町が補助金を交付する。 | 1次募集で申請がなかったため、2次募集を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 補助交付（申請）件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 9 | | 県制度のため、交付決定（7月上旬）から実績報告（1月下旬）の提出までの期間が短く、且つ、手続、書類等の整備が複雑で中小企業が手を上げにくい。 | 引き続き制度の周知を図る。 | 1 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 勤労者生活資金融資事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 16,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 金融機関に資金を預託し、勤労者の福祉増進と生活の安定に寄与することを目的に、町内に勤務している勤労者に必要な資金を融資する。 | 制度の周知を行ったが、利用者がいなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 工業事業者の安定経営 | | | 借り入れ件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 5 項 1 目 1 | | 制度が活用されていない。 | 引き続き制度の周知を行う。 | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 労働諸費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 105,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 賛同、参画する各種団体（沼田労働基準協会、利根沼田職業安定協会、利根沼田職業訓練協会）に負担金を支払い、団体の活動を通じて商工業等の振興を図る。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 工業事業者の安定経営 | | | 負担金支払件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 5 項 1 目 1 | | 特になし。 | 適切に事務執行を行う。 | 3 | 3 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 商工会運営費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,000,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 町内商工業者を経営指導・経営支援している商工会に対する運営の支援を行う。 | 商工会と連携し、生産性向上導入に関する認定を行うとともに、「みなかみ創業塾」を開催し,創業のスキルを身につけてもらった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 商工会活動事業数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 1 | | 町は創業支援計画また生産性向上導入基本計画を策定、商工会は経営発達計画を策定し、それぞれ国の認定を受け、連携して中小企業者・創業者支援に取り組む。 | 今後も商工会と連携して、中小企業者の創業支援等に取り組む。 | 7 | 7 / 本 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 小口資金融資促進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 66,383 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 県と連携し、金融機関及び群馬県信用保証協会の協力を得て、町内中小企業者の信用力及び担保力の不足を補い、小口資金の融資を促進するとともに、町内中小企業の振興を図る。 | 滞納のある事業者がいなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 小口資金融資申請件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 町税等に滞納がある場合の対応。 | 適正に事務執行を行う。 | 9 | 7 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 中小企業融資制度利子補給金交付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,528,940 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 町・県・政府系金融機関融資制度を利用している町内中小企業者に対し、年間で支払う利息の一部を補助することにより、負担の軽減を図るとともに経営安定させることを目的とする。 | 広報・ホームページでの周知のほか、商工会や金融機関へ周知の協力を依頼した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 申請者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 受付期間を過ぎてからの申請がたびたびある。 | 状況に応じ、適正に事務執行を行う。 | 113 | 66 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 住宅新築改修等費用補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 13,433,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 町内における住宅の新築又は改修等の費用の一部を補助することにより、町民の住環境の向上を図るとともに、町内商工業者の活性化を図る。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 工業事業者の安定経営 | | | 補助交付(申請)件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 特になし。 | 適切に事務執行を行う。 | 121 | 117　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 商店街活性化補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,843,232 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 商工会を通じて、商店街団体等が行う空き店舗対策、リノベーションまちづくりの推進やイベント、店舗改修補助などの取組に対して、事業経費の一部を補助し商店街の活性化を図る。 | 活動団体や移住支援担当と連携し、情報の共有を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 商工会、商店会との打合せ | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 商店街事業者の高齢化等による活性化事業の停滞。 | 継続して取り組む。 | 6 | 6　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 起業支援補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,981,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 本町の産業の振興及び活性化を図るとともに、移住及び定住に寄与することを目的に、町内で起業する者に対して補助金を交付する。 | 利用しやすい制度づくりに務めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 補助交付(申請)件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 働き方の多様化に対する対応。 | 引き続き利用しやすい制度づくりに務める。 | 6 | 4　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | エールみなかみ商品券事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 152,399,075 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 町内で使用できる商品券を町民向けに販売し、生活支援及び地域経済活性化を図る。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 消費額 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | 特になし。 | 事業終了。 | ― | 292401　千円 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | みなかみ町事業復活特別支援金事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 31,378,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 19 | 商工業の振興 | 新型コロナウイルス感染症の拡大、燃料価格又は物価の高騰に起因して売上高が減少している町内の事業者に支援金を交付する。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 商業事業者の経営改善 | | | 申請件数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | 特になし。 | 事業終了。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 期間限定事業 | 会計 1 款 7 項 1 目 2 | | | ー | 441 件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 15 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅳ | 豊かな心と文化を育むまち | 主管課 | 名称 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 河合　博市 |
| 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 関係課 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町内の児童生徒 | 豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 教育水準の向上 | 町内の児童生徒 | 確かな学力を身につける。 |
| | 2 | 教育環境の整備 | 町内の児童生徒 | 適切な教育環境で教育が受けられる。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・少子化の動向を踏まえ、学校の適正規模を考慮した配置を進めるとともに、地域に根ざした特色ある教育を推進します。
・学校と家庭、地域との連携により、通学における児童生徒の安全性の向上に努めます。
・学力や体力の向上を図るとともに、不登校や問題行動、特別な支援を必要とする子どもたちへの取り組みを強化します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 学力テストの結果（児童/生徒） | % | 実績値 | 82.3/81.3 | 80.1/80.5 | 78.8/81.6 | 75.3/79.3 | 77.3/80.5 | 78.2/74.7 | 72.3/76.5 |
| | | | 目標値 | | 82.0/82.0 | 82.0/82.0 | 82.0/82.0 | 82.0/82.0 | 83.0/83.0 | 83.0/83.0 |
| B | 体力テストの結果（児童/生徒） | ポイント | 実績値 | 50.9/50.8 | 50.6/49.0 | 50.4/48.4 | 54.5/50.4 | ― | 53.9/49.8 | 56.1/51.0 |
| | | | 目標値 | | 50.0/50.0 | 51.0/51.0 | 51.0/51.0 | 51.0/51.0 | 51.0/51.0 | 51.0/51.0 |
| C | 不登校児童生徒数の割合 | % | 実績値 | 1.52 | 1.51 | 1.74 | 1.58 | 1.70 | 2.62 | 2.47 |
| | | | 目標値 | | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）結果が良ければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。
1学期中に小2～中3までの全員を対象として実施する教研式標準学力検査NRTおいて、学習到達度5段階中3以上（概ね学習内容を理解している）の児童・生徒が全体に占める割合を百分率で表記したもの。（児童の割合／生徒の割合で表記）
B）結果が良ければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較がしやすい。
全学年を対象に1学期中に実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」のうち、全国の比較対象となっている小5・中2のそれぞれの平均点について、全国の標準を50ポイントとした時の比較。
C）数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。
【児童生徒の問題行動等に関する月例報告書】に基づき【不登校児童生徒の数/児童生徒数（年度内5月1日現在人数）】を百分率（小数点第3位を四捨五入）で表記したもの。

**目標値設定の考え方**

A）町費の補助教員や支援員・介助員の拡充、指導主事の設置などを実施しており、現状でも他団体と比較して学力水準が高いことから、成果を今以上に上昇させるためにはより一層の努力を要する。
B）家で過ごす子どもが多い近年では、体力づくりに関心のある家庭と、そうではない家庭の二極化が進んでいる。学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、全国の平均値を上回ることを目指す。スクールバスの利用に伴い、子ども達の体力の低下が懸念される。
C）不登校児童生徒は、何かしらの支援が必要な子どもである傾向が見られる。分母となる児童生徒数は益々減少傾向にあるが、対象となる児童生徒の割合が増えており、目標達成は非常に難しい状況であると言える。町の教育支援センター「みらい」や県等の関係機関と連携して、不登校児童生徒数の割合を1％以下とすることを目標とする。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ＜家庭・保護者＞<br>・家庭では子どもたちの心身の健康を育み、基本的生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎を作る。<br>・保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。<br>＜地域住民＞<br>・「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持ち、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを進める。<br>・地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。 | ・教育の基本方針を策定する。<br>・児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。<br>・教員の資質の向上を図る。<br>・小中学校統合推進計画に基づき、統合小学校の計画的な整備を行う。<br>・ユネスコエコパーク登録により、本町の自然や文化など多くの魅力を見つめ直し、持続可能な開発のための教育の学習を図るため、管内小中学校のユネスコスクールへの登録加盟・活動を支援する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・少子化により、児童・生徒が更に減少することが見込まれ、それに伴い集団学習や集団活動の実施に制約が生じてきている。<br>・2018年度より小学校、2019年度より中学校で特別な教科「道徳」が始まり、2020年度に小学校3・4年生は外国語活動、小学校5・6年生では英語が教科化され、時間の確保や指導体制の整備が急務となる。<br>・校舎等の老朽化により、修繕、大規模改造等が必要である。<br>・地球温暖化による異常気象（高温・集中豪雨）や通学時等の予測不能な事件・事故が多発している。<br>・GIGAスクール構想に基づく、ICT機器を活用した授業展開が進む。 | ・不登校の児童生徒数は、子ども達の減少とは対照的に増加傾向にあり、早期対応等の取り組みが求められている。<br>・特別支援教育の対象児童生徒は増加しており、意見や要望は多岐にわたっているため、細かな対応が必要とされている。<br>・少子化に関連し、部活動等の課外活動も含めた様々な場面において、学校の教育環境整備が求められている。<br>・登下校の安全確保、点検、見守りの強化等が求められている。<br>・GIGAスクール構想に基づく、1人1台端末などハード面の整備とともに、端末を活用した授業内容の充実や家庭学習への活用などのソフト面の整備について、議会の一般質問などで取り上げられている。 |

| 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 主管課 | 名称 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 河合　博市 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①学力テストの結果で、学習到達度５段階中３以上（概ね学習内容を理解している）の割合は、小学生が72.3%、中学生が76.5%（前年78.2%、74.7%）であり、昨年度と比較して、小学生が5.9ポイントの低下、中学生は1.8ポイントの上昇という結果であった。<br>②体力テストは小学生が56.1ポイント（男子56.2、女子56.0）であり、前年度の53.9（男子52.1、女子55.7）ともに上回った。中学生は51.0ポイント（男子50.9、女子51.1）で、前年度の49.8（男子48.3、女子51.3）ともに上回る結果となった。<br>③不登校児童生徒（30日以上欠席）の数は、23人（前年25人）であり昨年度より2名減少した。割合は2.47（前年2.62）と0.15ポイント減少した。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①平成23年度から導入している町独自の教育補助員事業を継続しており、比較的高い水準にある。学力テストは、他の団体とは比較出来ないが、教科総合の偏差値は小学校50.2、中学校50.8(前年51.2、50.9)であり、昨年度と比較して、小学生が1.0ポイント、中学生は0.1ポイントそれぞれ低下した。(偏差値50を全国平均とし比較した場合)<br>②体力テストは小学生が56.1ポイント(男子56.2、女子56.0)であり、全国平均の50.0、県平均の50.7(男子50.4、女子50.9)ともに上回った。中学生は51.0ポイント(男子50.9、女子51.1)で、全国平均の50.0、県平均の50.7(男子50.2、女子51.3)ともに上回った。令和4年度はコロナの影響も徐々に少なくなったことから、小学生は外での活動が増え、体力向上につながったと考えられる。また、中学生おいては、清掃時間を体力向上の時間として活用するなど徐々にではあるが成果が出始めている。<br>③不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は、数値が公表されている「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」によると、みなかみ町の2.62%(小学生1.13%、中学生5.36%)に対し、全国平均2.57%(小学生1.30%、中学生5.00%)、県平均2.62%(小学生1.36%、中学生4.91%)であり、全国や県とほぼ同水準のとなっている。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>☐ 目標値を大きく下回った。 | ①学力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値を下回った。<br>②体力テストは、小学生は目標値を上回り、中学生については、目標どおりだった。<br>③不登校児童生徒（30日以上欠席）の数の割合は2.47%と、目標値1.00%を1.47ポイント上回るため、目標を下回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 教育水準の向上 | A | 確かな学力を身につけることができた児童の割合 | % | 実績値 | 73.0 | 91.9 | 90.4 | 86.1 | 90.6 | 95.3 | 90.7 |
| | | | | | 目標値 | | 73.5 | 74.0 | 74.5 | 75.0 | 75.5 | 76.0 |
| | | B | 授業で学習したことが身についた生徒の割合 | % | 実績値 | 80.0 | 88.6 | 83.4 | 85.1 | 90.1 | 94.7 | 86.0 |
| | | | | | 目標値 | | 81.0 | 82.0 | 83.0 | 84.0 | 85.0 | 86.0 |
| 2 | 教育環境の整備 | A | タブレット型端末機器の環境整備の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | | | | | 目標値 | | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 30.0 | 50.0 | 70.0 |
| | | B | 小中学校の洋式トイレの割合 | % | 実績値 | 50.9 | 55.9 | 59.0 | 60.0 | 60.0 | 60.0 | 60.0 |
| | | | | | 目標値 | | 55.0 | 60.0 | 65.0 | 70.0 | 75.0 | 80.0 |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 教育水準の向上 | ①授業改善など学力向上対策。<br>②補助教員兼支援員・介助員等の人材確保。<br>③みなかみユネスコエコパークに関わる学習の積極的な実施。<br>④体力向上及び肥満対策。<br>⑤不登校児童・生徒への支援と未然防止対策。<br>⑥ICTの効果的な活用。 | ①三国会や校内研修、指導主事訪問等により教員の資質向上に努める。<br>②教職員等の資格保有者を積極的に活用する。<br>③赤谷プロジェクト、谷川エコツーリズム、環境学習発表会の活用を図るとともにユネスコスクールの活動を支援していく。<br>④学校へ運動量確保の働きかけを行うとともに、子育て健康課と連携した肥満解消の啓発活動を行っていく。<br>⑤教育支援センター「みらい」の活用、スクールカウンセラーの活用など、学校、家庭、教育委員会及び子育て健康課に設置されたこども家庭相談係が連携を図り、不登校傾向の児童・生徒への早期対応を図っていくとともに、温かな学級づくりに努める。<br>⑥三国会のICT活用促進委員会等を生かし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業づくりを支援する。 |
| 2 | 教育環境の整備 | ①月夜野地区の3小学校の統合の推進。<br>②小中学校のほか給食センターなど老朽化施設・設備の計画的更新。<br>③校務支援システム、タブレット等の更新。 | ①月夜野統合小学校準備委員会により計画を進める。<br>②学校施設点検結果に基づき、学校施設や給食センターなど、計画的に整備を行っていく。<br>③県の関係事業の動きを注視しつつ、郡教育委員会連絡協議会と連携して更新方法・内容を検討する。 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 教育委員会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 910,301 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | みなかみ町の教育行政や学校運営をつかさどる行政委員会 | 管内小中学校にもA訪問等足を運んでもらい、学校の状況を把握してもらっている。また、各種会議にも出席いただき、地域の住民と意見交換を行っている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 教育委員会／教育委員会協議会／総合教育会議開催回数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 1 | | 委員会に現場の声を反映するために、住民の意向を把握することが重要と考える。そのため学校を訪問したり、PTAや学校関係以外の団体等とも意見交換が必要となる。 | 機会があれば、さらに地域住民やPTAの役員等と意見交換する機会を増やしていきたい。 | 8 / 1 / 1 | 10 / 6 / 1 / 回 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 事務局一般管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,889,753 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 教育委員会事務局業務を遂行するために必要な経費について、的確に管理し、円滑に業務が行われるようする。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 決算額 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 課題なし | － | 3,012 | 2,890 / 千円 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 卒業記念品事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 139,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 毎年小・中学校の卒業生に卒業記念品として卒業証書を入れるホルダーを贈呈する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 卒業記念品数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 課題なし | 令和5年度より事務局一般管理事業に事業統合 | 244 | 240 / 冊 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 教職員労働安全衛生管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,606 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 長時間労働者に対する医師の面接指導と、全教職員を対象としたストレスチェックの実施。 | 毎月、教職員時間外勤務状況を把握し医師の面接体制を整備したが利用の実績なし。ストレスチェック事業の受検者は、中学校統合などにより教職員数そのものが昨年度より減ったため、120人が受検した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 面接指導／ストレスチェックの受検者数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 教育環境対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 根本的な問題である教職員の多忙化を解消できるよう、業務の削減や見直しを行うことが必要である。 | 学校に対して、多忙化解消のために取り組んでいる先進地の事例などを調査し、情報を提供できるように検討する。<br>毎月、在校等時間記録表を提出してもらい勤務時間の把握を行う。 | 0 / 146 | 0 / 120 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 外国語指導助手(ALT)事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,003,430 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、5名のALTを配置し、ティームティーチングによる英語指導を行う。 | 連絡など、町教委担当から直接ALTへするのではなく、各学校の英語教諭等を通して連絡するようにしたことで、町教委、学校、ALTで情報の共有ができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 小学校の兼務校における学校訪問日数(平均)／ALT人数(小中) | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 各校の英語担当者とコミュニケーションを深め、教職員と共に活動する意識をもてるようにしていく。 | 引き続き、学校の英語教諭や事務職員に協力いただきながら、情報共有を行う。 | 46 / 4 | 72 / 5　日／人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 教育補助員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,313,803 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 支援が必要な児童生徒に対し、町費負担の補助教員・介助員を配置する。 | 各学校より提出された要望書により聞き取り調査を行い、必要と判断した学校へ配置を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 補助教員数／介助員数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう継続的に配置していく必要がある。 | 今後も継続的に必要学校数を把握し、配置を行う。 | 8 / 4 | 9 / 4　人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 尾瀬ネイチャーラーニング事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 794,440 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を提供する。事業実施小中学校に、事業費(バスの借り上げや現地ガイド料)を県に補助申請し、支払業務を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 参加学校数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | － | 1（小学校） | 5(小学校)　校 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 文化活動派遣費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 61,732 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 音楽祭、コンクール、音楽研究大会、社会科見学等の小中学校における文化活動を対象にバスの借上や移動費補助を行う | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 補助件数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | 令和5年度より「運動選手派遣費補助事業」と統合し「課外活動費補助事業」へ名称変更 | 1 | 1　件 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 運動選手派遣費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,038,997 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 小中学校の運動大会（県大会等）出場に関する派遣費補助を行う。<br>補助金申請事務、補助金の支払い、大会成績の広報などを行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 補助件数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | 令和5年度より「文化活動派遣費補助事業」と統合し「課外活動費補助事業」へ名称変更 | 6 | 10　件 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 学校経営研究・研修事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 74,860 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 群馬県小学校長会・群馬県中学校長会・群馬県公立学校教頭会等の市町村負担金 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 学校数（小／中） | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | － | 6 / 4 | 6 / 1　校 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 学校教育研究・研修事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 291,897 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 群馬県小学校中学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡小中学校教育研究会等の市町村負担金 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 学校数（小／中） | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | － | 6 / 4 | 6 / 1　校 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 総合的な学習の時間支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 152,860 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかける保険、及び谷川岳エコツーリズム登山実施に伴う補助を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 児童数／生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | － | 617 / 336 | 602 / 329　人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000027 | 英語検定料補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 263,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 実用英語技能検定の検定料を補助することで、児童生徒の英語力及び英語学習意欲の向上を図る。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 補助金申請者数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | | 172 | 124 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000030 | 教育支援推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,861,114 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 幼児・児童・生徒の就学に係る相談や助言、支援を行う。<br>また、特別支援教育の充実を図るため、調査や研究、講演会など開催する。 | 乳幼児期については保健師と、その後は、こども園、小中学校と連携し、早期より支援の必要な児童生徒を把握し、必要な時に必要な支援を行う。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 教育支援委員会審議対象者数（新就学児童/就学児童生徒） | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | 少子化に反して、支援を必要とする幼児や児童生徒は年々増加しており、支援を行える人材を育成して行く必要に迫られている。 | 関係機関とより親密な連携を図り、支援を必要とする児童生徒の援助を行う。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | | 22 / 134 | 21 / 102 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 小中学校教育研究会（三国会）事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 258,289 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 管内の常勤の教職員を持って組織し、みなかみ町の教育の振興を図るため、研究、調査、講習等に関わる事業を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 会員（教員）数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | | 123 | 106 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 特別支援学級就学援助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 958,658 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 受給者数(小学生／中学生) | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 10 項 2 目 1 | | | 21 / 4 | 20 / 7 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 高等学校総務費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 定時制教育への市町村負担金。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 沼田高校定時制生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 4 目 1 | | 課題なし | － | 7 | 5 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 家庭教育支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 70,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。 | 各小学校で就学時検診時に子育て講座をを行った。中学校での思春期子育て講座も実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 講座開催数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | 学校行事の「就学時健診」や「知能検査」との日程調整や、小中学校入学前の児童の保護者のニーズに応えた講師の選定が課題である。 | 参加者や学校側のニーズの調査を引き続き行う。 | 5 | 6 / 回 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 奄美大島青少年交流事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,680 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 奄美市笠利町の児童とみなかみ町の児童が、夏・冬相互に各々の土地を訪れ、風土の違いを肌で実感しながら交流を図ることで、青少年の健全育成を図る。 | コロナの影響により事業が中止となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 教育水準の向上 | | | 応募者数/参加者の数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | 応募が多数のため、参加児童の男女の比率、参加人数の調整が難しくなってきている。 | ホームステイが中心の事業のため、コロナウィルス感染症対策を徹底して実施 | 0 | 0 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000023 | 利根沼田学校組合地方交付税交付事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 419,858,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 利根沼田学校組合理事会の協議書により、地方交付税（普通交付税高等学校費及び特別交付税高等学校寄宿舎分等）を一括算入し、負担金として支出する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 普通交付税交付額<br>特別交付税交付額 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 4 目 1 | | 課題なし | － | 372,568・39,782 | 375,977・43,881 / 千円 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000027 | 校務支援システム導入・運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,641,956 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 学校事務等にかかる校務のシステム化を図る事業。統合型校務支援システムの導入により、教員の事務負担の軽減等によって教育の充実を図る。 | 学校の業務改善、教員の多忙化解消等のため、導入費用を縮減するよう利根郡1町3村で統合型校務支援システムを導入し、運用している。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 利根郡共同利用による統合型校務支援システムを利用する学校数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | システムの導入費用及び使用料は多額の費用が必要となる。 | 令和6年度の更新に向けた利根郡内他村との協議 | 10 | 7 / 校 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000035 | GIGAスクール構想推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,452,336 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末等を整備し、ICT技術を活用した授業展開をはかるとともに、個別最適化され、創造性を育む学びを実現する。 | 学習支援ソフトの再検討を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 児童数／生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | タブレット端末の更新方法及び活用推進方法検討 | 家庭学習のため持ち帰りも行っているため、端末の故障が増えてきている。<br>現状予備機で対応しているが、今後修繕による対応が見込まれる。 | 617 / 336 | 602 / 329 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 児童生徒等健康保持増進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,675,283 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 受診児童生徒数／受診教職員数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | － | 951 / 50 | 919 / 35 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 児童生徒非行防止・健全育成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 22,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 利根沼田地区学校警察連絡協議会の市町村負担金。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 児童数／生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 課題なし | － | 617 / 336 | 602 / 329 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 290,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 児童生徒の安全安心な通学を維持するため、地域全体で協力して見守る活動を行う。 | 防犯ブザー・熊よけの鈴の配布。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 配布対象児童数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 全国的に登下校時に犯罪等被害にあうケースが多い。地域ごとに取り組みに差があり、各学校及び各地域で一定以上の見守り体制等を構築できていない。 | 特になし | 85 | 90 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | スクールバス管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 85,424,086 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | みなかみ町の小中学校の児童・生徒の通学に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。 | 本年度から受託者が行っていた研修に加え、運転手の適正診断と特別研修の実施を行った。事故再発防止策や緊急連絡体制の再整備を行うことができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | バス利用者数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 教育環境対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 受託者の事故防止対策など業務おける安全管理はもとより業務における精度の徹底を図る。また同業他社の情報を収集し、検討をしていく。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の提案を図っていく。 | 業務改善のため受託者と学校関係者で実施している運行会議に担当者も同席し、情報の共有を図っていく。<br>3地区のスクールバス運営委員会を開催していく。 | 235 | 335 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 遠距離通学費助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 205,330 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 遠距離通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減するために、通学費の全部又は一部を補助する。（居住地⇔学校、小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上が対象） | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 遠距離通学児童生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 課題なし | － | 23 | 5 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 小・中学校施設等維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,802,547 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 学校では対応が出来ない老朽、破損等に伴う修繕を事務局が主体となって行う。基準として請書、契約書が必要となる高額な修繕を行う。 | 月夜野地区小学校統合を見据え、必要最低限の修繕を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 全体の修繕等件数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 1 目 2 | | 今後、施設が老朽化していくに修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。 | 軽微な修繕は直営等で対応する。 | 13 | 13 / 件 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 藤原小中学校教職員住宅管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 481,276 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、入居希望教職員の入退去の管理及び住宅施設の維持管理を行う。 | 今年度発生した施設の破損は、早急に業者へ指示を行い、修繕対応を行った。<br>施設の老朽化により、2名が退去。令和5年（3月末）の時点では入居者数は0名となっている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 入居者数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 教育環境対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 経過年数により、老朽化が進んでいる。屋根の補修や塗装のみならず建物本体も劣化しており、大規模な改修工事が必要となっている。また、令和5年1月、2月と続けてガスボンベ置場屋根の破損、施設内での漏水が発生した。 | 教職員住宅の老朽化により、入居希望者を募ることができないため、廃止を検討したい。 | 3 | 0 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 小・中学校施設等整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,794,560 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 当事業は破損・劣化箇所を修繕し、児童・生徒・教職員が安全に利用できる施設とする。 | コロナウイルス対応のため網戸を設置した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 整備件数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 管内小・中学校施設において破損・劣化・消耗等により修繕が必要な箇所が多い。今後、施設が老朽化していくに従い修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。 | 特になし | 13 | 3 / 件 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 地域学校保健委員会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 59,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 児童生徒の体と心がバランスよく成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのため、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設置する。 | 書面開催に伴い、書面での内容を充実させ、共通理解を図った。歯科衛生士訪問については、講話を行い歯科保健への啓発へ効果があがっている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 児童数／生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | 新型コロナウイルス感染症対策により、令和2年度より書面開催。歯科衛生士訪問においても感染症対策をしながら進めている。 | 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となることから、委員会の開催など、内容を十分検討し行っていく。 | 617 / 336 | 602 / 329 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 児童生徒災害共済保険事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 863,045 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 給付件数(小学生/中学生) | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 2 目 1 | 課題なし | － | 34 / 35 | 37 / 45 / 件 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,898,602 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 受給者数(小学校/中学校) | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 2 目 1 | | 課題なし | － | 32 / 12 | 41 / 12 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 利根沼田学校組合運営費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,544,100 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | みなかみ町在住生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 4 目 1 | | 課題なし | － | 162 | 171 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 月夜野給食センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 162,441,002 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。 | 3年計画の1年目として空調設備の改修工事を一部行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 1日あたり調理食数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 7 目 1 | | 調理機器や空調設備などの老朽化に伴い故障・修理が増えている。(平成16年移設稼働) | 厨房設備及び建築設備の点検を定期的に行い、十分な給食が提供できるよう維持管理計画を作成する。 | 871 | 930 食 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 新治給食センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 69,765,705 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。 | 空調設備改修工事を行うための設計業務委託を発注し、改修の計画を進めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 1日あたり調理食数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 学校教育　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 7 目 1 | | 調理機器・施設内設備の老朽化(平成15年施設稼働時より使用している調理機器が耐用年数を過ぎ、故障修理が増えている。) | 厨房設備及び建築内設備等の点検を定期的に行い、十分な給食が提供できるよう維持管理を計画的に行っていく。 | 352 | 230 食 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 小学校運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 70,380,317 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 学校教育を充実させるための学校管理事業。 | 学校から予算ヒアリングを行い、他校との公平性（教育環境の平等）を確保しつつ、経費削減を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 児童数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 小・中学校事務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 2 目 2 | 児童数の減少、施設の老朽化を考慮しながら、他校との予算の公平性の確保。 | 学校統合を見据えながら、引き続き適正な予算措置が必要。 | 617 | 602 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 中学校運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 24,135,515 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 学校教育を充実させるための学校管理事業。 | 学校から予算ヒアリングを行い、小学校との公平性（教育環境の平等）を確保しつつ、経費削減を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 生徒数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 小・中学校事務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 3 目 2 | 生徒数の減少を考慮しながら、小学校との予算の公平性の確保。 | 引き続き適正な予算措置が必要。 | 336 | 329 / 人 |

令和　5　年　6　月　30　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000028 | 小中学校統合推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 325,367,719 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 20 | 学校教育の充実 | 小中学校統合推進計画に基づき、みなかみ中学校の施設整備を行う。また月夜野地区統合小学校は建設の適地を決定し、基本計画や必要な調査等を行う。水上小学校移設のための移設整備を行う。 | みなかみ中学校、水上小学校の施設整備のため改修工事を行った。月夜野地区統合小学校適地検討委員会から小学校適地について、提言が出され、その提言を基本として、教育委員会で協議し、適地の答申を行った。町長が総合教育会議を開催し、適地について方針を決定した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 教育環境の整備 | | | 改修を行った施設数 | |
| 組織名 | 学校教育　課 | 教育環境対策　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 10 項 1 目 2 | みなかみ中学校体育館の外壁・屋根補修工事が必要である。月夜野地区の小学校について、築50年超経過しており、老朽化が進んでおり、早期の対応が必要である。水上小学校の移転のため、校舎改修とプールの新設工事が必要となる。 | 令和5年度中に、用地取得・基本設計・実施設計を実施し、開発協議の本申請を行う。令和6・7年度にかけ新校舎建設工事を実施していきたい。<br>水上小学校旧校舎の解体工事を行い借地を返地する。 | 2 | 3 / 施設 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 8 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅳ | 豊かな心と文化を育むまち | 主管課 | 名称 | 生涯学習課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 丸山　浩文 |
| 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 関係課 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 生涯を通じて自主的に学習する。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 学習意欲の高揚 | 町民 | 生涯学習への意欲や関心が高まる。 |
| | 2 | 学習機会の充実 | 町民 | 学びの機会を得られる。 |
| | 3 | 学習環境の整備 | 町民 | 学びの場を得られる。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・情報発信媒体を活用し、学習の情報等を発信することで、学びの楽しさや必要性を啓発し、生涯学習への意欲や関心を高めます。
・多様な学習ニーズを的確に捉えた学習機会を提供し、文化協会をはじめとする自主学習グループの活動支援を推進します。
・公民館（図書室含む）やカルチャーセンターは、学びの拠点施設として生涯学習の推進において重要な役割を担っています。施設の整備や機能の充実を図り、町民誰もが生涯にわたって学習活動が行える環境整備に努めます。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合 | % | 実績値 | 25.4 | 28.7 | 32.7 | 28.8 | 27.4 | 27.1 | 30.4 |
| | | | 目標値 | | 25.0 | 26.0 | 27.0 | 28.0 | 29.0 | 30.0 |
| B | 公民館利用者数（行政利用を除く） | 人 | 実績値 | 10,013 | 8,300 | 10,456 | 10,573 | 3,618 | 2,858 | 6,168 |
| | | | 目標値 | | 9,600 | 9,600 | 9,600 | 9,600 | 9,600 | 9,600 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート(翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」と回答した人の割合
B）公民館は学習活動の拠点施設と位置付けられており、その利用者は自らの教養を高めるために学習活動を行っている人達と考え、成果指標とした。中央公民館・水上公民館・新治公民館（B&G海洋センター会議室含む）の図書室利用者数と行政利用者数を除いた町内利用者数とする。主管課で実数を把握。

**目標値設定の考え方**

A）町民アンケートの結果から、生涯学習活動を行っている町民の割合は、20歳から39歳までの世代が高く、40歳以上は低いことが分かります。
この低い世代の関心を引き出せる的確な施策の展開と、今後さらに増加する高齢者の学習意欲を保つことで、2017年度の数値 25.0%（町民の4人に1人）から毎年1%の増加を図り、最終年には30%（3人に1人）に近づけることを目指します。
B）公民館は生涯学習を進める拠点施設として重要な役割を担っています。生涯学習に取り組む町民が増えれば、施設の利用者も増加するものと考えます。人口は毎年2%の減少が見込まれておりますが、今後更に増加が見込まれる高齢者向けの講座開催や多様化する学習ニーズに応える既存講座の充実と、施設の利便性を図ることで、現状利用者数の維持を目指します。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・地域社会の環境向上や自己啓発につながる取り組みに積極的に関わり、生きがいとなるような活動を行う。<br>・学ぶことの楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。<br>・指導者となり、さらには後継者を育成する。 | ・学びのきっかけとして、気軽に参加できる学習機会を提供する。<br>・生涯学習施設の計画的な整備と管理運営を行い、安全で利用しやすい環境を提供する。<br>・生涯学習活動を行う人・団体の支援を行う。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・県内35市町村のうち図書館の未設置自治体は、みなかみ町を含め12町村である。生涯学習活動を推進するうえで、図書環境の整備が必要となる。<br>・高齢者の利用が増加するため、既存施設のバリアフリー化等、利便性の向上が必要となる。<br>・文化協会では活動している団体の高齢化が進み、存続が危ぶまれる。<br>・町民の学びに対する要求は、多種多様化し、町民のニーズを的確に把握しより充実した学習内容と学習機会の提供が求められる。<br>・幅広い年齢の町民が経験や知識を活かし、生涯を通して学びの実践ができるよう、学習環境の整備・充実が必要となる。 | ・施設によっては利用者（特に障害者や高齢者）に不便であったり、利用できない施設も有り、バリアフリー化が望まれている。施設利用の解消策として、1階で学習できる場を確保し、提供をして欲しい。<br>・自発的学習の拠点となるような図書施設の機能充実・利便性の向上が求められている。（図書システムの構築等）<br>・公民館の老朽化により、雨漏り等施設使用に支障を来している箇所の整備や洋式トイレの設置が求められている。<br>・生涯学習フェスティバルで、生涯学習活動のPRや会員募集のため生涯学習活動についての展示やフロアー発表を検討して欲しい。<br>・支所公民館や遊休施設の有効利用を図って欲しい。 |

| 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 主管課 | 名称 | 生涯学習課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 丸山　浩文 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | A)「日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合」と、B)「公民館利用者数（行政利用を除く）」については、平成30年度から令和3年度まで減少傾向にあったが、この要因は、①コロナ禍による実施事業の減少と②令和2～3年度に行われた中央公民館改修工事である。しかし、令和3年度から令和4年度にかけては3.3ポイント増加している。実施事業が増加したこととコロナが比較的安定し、町民の生涯学習活動が一部で再開されたことなどが考えられる。しかし、文化協会所属団体等を見ても再開した団体もあるが、していない団体もある。いずれにしても令和5年度以降は自然に増加すると思われる。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | A)「日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合」については、近隣市町村にデータがなく比較できない。<br>B)「公民館利用者数（行政利用を除く）」については、以下のとおりである。<br>町村名　利用者数　人口に対する利用率<br>みなかみ町　6,168人　35.8%<br>昭和村　5,849人　84.0%（公民館）<br>川場村　1,939人　55.7%（文化会館）<br>＊片品村、沼田市についてはデータ（公民館）なし |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | A)「日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合」については、目標値30.0%に対して実績値30.4%でクリアしている。<br><br>B)「公民館利用者数（行政利用を除く）」については、目標値9,600人に対して実績値6,168人と下回っている。ただし、前年度の2,858人、前々年度の3,618人からは増加している。しかし、コロナ以前（令和1年度以前）は年間10,000人を超えていた。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 学習意欲の高揚 | A | 生涯学習フェスティバル参加者数 | 人 | 実績値 | 200 | 300 | 420 | 0 | 0 | 0 | 49 |
| | | | | | 目標値 | | 300 | 350 | 400 | 440 | 480 | 500 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 学習機会の充実 | A | 生涯学習を推進するための講座・教室等の開設数 | 件 | 実績値 | 8 | 9 | 7 | 3 | 0 | 2 | 4 |
| | | | | | 目標値 | | 9 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 学習環境の整備 | A | 図書室利用者数 | 人 | 実績値 | 5,707 | 8,613 | 10,256 | 10,258 | 9,564 | 5,438 | 6,423 |
| | | | | | 目標値 | | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 5,400 |
| | | B | カルチャーセンター利用者数（全体/町民） | 人 | 実績値 | 20,190/10,473 | 21,379/15,501 | 18,425/14,717 | 16,807/14,028 | 4,113/2,325 | 5,409/5,056 | 13,324/11,074 |
| | | | | | 目標値 | | 20,000/10,000 | 20,000/10,000 | 20,000/10,000 | 20,000/10,000 | 20,000/10,000 | 20,000/10,000 |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 学習意欲の高揚 | ①町民の生涯学習への関心度がコロナ以前のレベルに戻るよう、各種広報媒体を活用し、積極的な情報提供や啓発が必要である。 | ①生涯学習フェスティバルの主管となる社会教育委員との連携を深め、プログラム内容の充実に努める。 |
| 2 | 学習機会の充実 | ①町民の多様化するニーズに応えるため生涯学習講座・文化教養講座など、学びの機会を増やす必要がある。<br>②自主的な学習活動を行う団体を支援し、指導者の育成を図る必要がある。<br>③文化協会員の高齢化が進み団体活動の維持が困難となってきている。 | ①生涯学習講座の企画立案を検討する生涯学習講座実行委員会を組織する。<br>②地域の人材（ボランティア）を発掘し、指導者としての活用を進め、地域に根ざした学びの事業展開を進める。<br>③若い世代に文化団体の活動を周知し、加入に繋げる。 |
| 3 | 学習環境の整備 | ①図書の管理と貸し出しの効率化。<br>②カルチャーセンターの利便性の向上を図るため指定管理者と連携して運営する必要がある。 | ①新治公民館図書室のシステム化を行い、4図書室をシステム連携する。<br>②カルチャーセンター運営委員会を定期的に開催し運営に関わっていく。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 社会教育委員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 203,274 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。 | コロナの影響で社会教育委員の活動も実施が難しい状況だが、令和4年度は3回の会議を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 学習意欲の高揚 | | | 会議回数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 社会教育委員個人々の意識が高く積極的に活動が出来ている。 | 新しい生活様式に対応した社会教育事業を進める。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 1 | | | 1 | 3 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 婦人会活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 660,972 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に活動する婦人会の支援を行う。 | 会員相互の親睦を高め、地域の環境や生活の改善。コロナのため活動実施不可。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 学習機会の充実 | | | 会員数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 婦人会員も仕事をしている人が多いため、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。 | コロナ禍の中、できる範囲での事業を検討。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 1 | | | 113 | 91 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 利根沼田文化会館運営費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 40,041,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 学習環境の整備 | | | 施設利用者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 1 | | | 16,104 | 34,580 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 若山牧水顕彰事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 平成30年度に全国大会をみなかみ町で開催して依頼、短歌大会は定着しつつある。今後も短歌大会を通じて若山牧水の顕彰活動を行っていく。 | 短歌大会は2首一組1,000円の参加費をとっているが、町民に限り五組まで無料とした。その結果、令和元年度の町民投稿数は151首だったが、令和2年度は393首、令和3年度は452首、令和4年度は471首に増加した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 学習機会の充実 | | | 一般の部作品応募者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 平成30年度に全国大会を行ったことからも県外の参加者が多いが、今後は町民の参加を増やしたい。 | 町民の投稿数は増加したが投稿者数（参加者数）は逆に令和元年度は63人、令和2年度は50人、令和3年度は70人、令和4年度は65人と若干数の増減を繰り返している。広報、呼びかけ、短歌団体への活動支援等により参加を促したい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 1 | | | 212 | 198 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 文化振興事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,075,202 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 文化・社会教育の振興を図るため活動団体を支援する。<br>○文化振興事業<br>○文化協会事業<br>○若山牧水みなかみ紀行短歌大会事業<br>○合唱祭事業<br>○国際交流協会事業 | 各団体に高齢化が目立つが、文化協会においては若い世代を中心とした新しい団体創設を支援した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 学習機会の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 交付件数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 様々な社会教育団体があるが、自己資金がない団体や人材不足により各種事務作業が困難な団体等があり、実際の団体自立は難しい。 | コロナで中止の可能性があるため、イベント関連の事業申請は慎重に審査する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | | | 3 | 2　件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | おもしろ科学教室事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 学習機会の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 実施回数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 特に問題なく良い活動ができているので、引き続きこの状態を維持していきたい。 | 現状維持 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | | | 1 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 成人式事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 856,804 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 民法の改正に伴い成年年齢は18歳に引き下げられたが、20歳の門出を祝い、成年としての意識を啓発するため、実行委員会を組織して二十歳の集い事業を開催する。 | 成年年齢が18歳に引き下げられたことへの対応については、事務局、社会教育委員等で検討の結果、今までどおり1月の式典には20歳の該当者だけに来てもらい、18歳と19歳には町からのお祝いメッセージを送った。また、従来は「成人式」としていた式典を「二十歳の集い」という名称にあらため、さらに町主体で実施していたが、成人の意識を持ってもらうため実行委員会形式ではじめて実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 学習機会の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 参加率（当日参加者数/該当者数） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ・令和4年度から実行委員会形式で二十歳の集いを開催しているが、感染症に配慮した簡易開催だったため、今後の開催方法を検討していかなければならない。<br>・実行委員会を組織する効率的な手段の検討。 | 該当者へ成人としての意識を高めて魅力ある二十歳の集いにするため、実行委員会形式での式典をより高いレベルにする。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | | | 80.8 | 80.2　% |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 生涯学習講座事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 49,459 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する。 | コロナ対策をふまえ、令和3年度の4講座から1講座増やし、5講座開催し出席者も20人増やすことができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 学習機会の充実 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 講座回数・出席者数（延べ） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | コロナ対策をふまえたうえで、新しい生活様式に基づいた生涯学習講座を新たに検討する。 | コロナ対策をしっかりととったうえで年3回以上は講座を実施する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 1 | | | | 4・149 | 5・169　回・人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 中央公民館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,418,427 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。 | 新型コロナウイルス等の影響により公民館活動実施不可であったが、活動を再開した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 学習環境の整備 | | | 公民館利用者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 2 | | 他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。 | 公民館利用者は年齢層が幅広く、高齢者でも利用しやすい方法・システムを構築する必要がある。 | 1351 | 4867 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 水上公民館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,997,723 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。 | コロナウイルスの影響により稼働日数は少なかったが、制限は無くなった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 学習環境の整備 | | | 公民館利用者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 2 | | 施設の老朽化が目立ってきている。 | 社会教育団体の利用促進を図るとともに、老朽化が目立ってきたことにより、利用者の安全を考慮しながら随時修繕を検討。 | 3049 | 3318 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 水上中部コミュニティセンター管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 279,221 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | 水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。 | 新型コロナウイルスの影響により活動の実施ができなかったが、活動を再開した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 学習環境の整備 | | | 利用者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 3 | | 施設は緊急避難場所になっているため、施設の老朽化に注意が必要である。 | 地域住民の健康促進、生涯学習の推進が図れるよう、安全な活用。 | 375 | 148 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | カルチャーセンター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 29,333,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、生涯学習の推進に取り組む。 | 施設の設備確認など、現状でできる仕事をしてもらい、今後のイベントに備えている。<br>漏水修理や排水ポンプの修理等できる範囲で修理を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 学習環境の整備 | | | 施設の利用者数<br>・施設の利用回数<br>（全施設利用団体の累計） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 10 項 5 目 3 | | 令和3年度より指定管理制度による運営を開始したが、現在は感染症の影響により、事業を積極的に行うことができずにいる。<br>施設の老朽化により、漏水や設備の修繕が必要。 | 指定管理者に任せきりにならないよう、普段から連絡を密にするとともに、カルチャーセンター運営委員会を定期的に開催し運営に関わっていく。 | 5049 | 13324 / 人・回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業 | | 000008 | 図書室運営事業 | | | | | | | | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 7,514,569 円 |
| 施策体系 | 施策 | 21 | 生涯学習の推進 | | | | | | | | | 資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。 | | 水上公民館図書室に、カルチャーセンターと中央公民館図書室と共通の電算システムを導入した。<br>中央公民館図書室と新治図書室のエアコンを旧新治中学校から移設して整備した。 | | 事業実績 | |
| | 基本事業 | 03 | 学習環境の整備 | | | | | | | | | | | | | 図書室利用者数 | |
| 組織名 | | | 生涯学習　課 | | 生涯学習　係 | | | | | | | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | | |
| | | | | | | | | | | | | 図書の充実を図る。<br>利便性向上を図るため、4室共通の電算システムを導入する。老朽施設の修理更新が必要。 | | 新治図書室に4室共通の電算システムを導入し、常駐職員を配置するなど町民の利便性向上を図りたい。 | | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 5 | | | | | | 5438 | 6423 | 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 5 | 月 | 31 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅳ | 豊かな心と文化を育むまち | 主管課 | 名称 | 生涯学習課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 丸山　浩文 |
| 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 関係課 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 生涯を通じてスポーツや運動に親しむ。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | スポーツ意欲の高揚 | 町民 | 地域からスポーツや運動への意欲や関心が高まる。 |
| | 2 | スポーツ機会の充実 | 町民 | スポーツや運動をする機会を得られる。 |
| | 3 | スポーツ環境の整備 | 町民 | スポーツや運動をする場を得られる。 |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・町民の多様なスポーツニーズにこたえ、身近な地域で気軽に運動に親しむ環境の整備を進めるとともに、生涯スポーツに触れる機会を創出し地域に根づいたスポーツの振興を図ります。
・町民が、スポーツに「関心や興味を持ち・気軽に取り組み・自主的に継続できるよう」段階を追った支援に努めます。
・主体的、継続的な競技スポーツを担うスポーツ協会の活動と、子どもたちのスポーツ振興を担うスポーツ少年団の活動を支援します。
・既存体育施設の計画的な施設整備や改修、備品等の更新を進め、生涯スポーツの場の確保と利便性の向上に努めます。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合 | % | 実績値 | 45.5 | 44.9 | 47.0 | 48.2 | 51.0 | 43.9 | 50.4 |
| | | | 目標値 | | 52.0 | 50.0 | 51.0 | 53.0 | 50.0 | 55.0 |
| B | スポーツ協会加盟競技団体数/登録者数 | 団体/人 | 実績値 | 20/1,418 | 19/1,349 | 19/1,277 | 19/1,278 | 19/1,287 | 19/1,233 | 19/1175 |
| | | | 目標値 | | 20/1,400 | 20/1,350 | 20/1,300 | 20/1,300 | 20/1,250 | 20/1,250 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート(翌年度実施分)により把握
※あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」と回答した人の割合
B)数値が変わらず推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
※みなかみ町スポーツ協会加盟団体数及び会員数

**目標値設定の考え方**

A)みなかみ町スポーツ推進計画(H25.4～R5.3)の目標である「週1回以上スポーツに取り組む成人の割合を55%以上とします」との整合性を図ります。この55%の根拠は、計画作成時の上位計画等を参考に設定を行いました。
B)スポーツ協会加盟団体の登録者数は、人口減や高齢化による減少と、退職をきっかけに時間に余裕の持てる世代が健康維持で運動を始めることを想定し、2022年までの成り行き値を1割減とした。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 | 2. 行政(町、県、国)の役割 |
|---|---|
| ・スポーツや運動に関心を持ち、教室やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。<br>・スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。<br>・指導者となり、さらには後継者を育成する。<br>・町のスポーツ推進計画に関心を持ち、今後町の進むべき方向性を認識し、できることに協力・参加する。 | ・スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動に取り組むきっかけと、機会の提供を行う。<br>・体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツや運動を行う場を提供する。<br>・スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。<br>・スポーツ推進計画を広く町民に周知し、町のスポーツに対する方向性を認識してもらう。<br>・町のスポーツ関連団体のあり方を再度確認し、それぞれの特性を活かした団体の活性化・組織化を支援する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・2022年度に国のスポーツ基本計画が策定された。<br>・2020年度に群馬県スポーツ推進計画が見直され、2021年度からの新たな推進計画が策定された。<br>・2022年度にみなかみ町スポーツ推進計画を見直し、2023年度からの新たな推進計画に沿って推進していく。<br>・少子化が進み、スポーツ少年団の単位団の維持が困難になりつつある(特に団体スポーツ)。<br>・休日における中学校部活動の地域移行について、令和5年度から7年度の3年間を改革推進期間として、地域の実情に応じ可能な限り早期の実現を目指し取り組むよう文科省のガイドラインに明記されている。 | ・老朽化の進む施設が多く、修繕や設備の機能向上を求める要望がある。<br>・子どもや高齢者が気軽に体を動かせる場の提供が求められている。<br>・町教委等が主催するスポーツや運動に関する行事について、町民の半数以上はスポーツ等に親しむ良い機会と考えている。<br>・町民アンケートでは、トレーニングジムやウォーキング専用コース、多目的に利用できる公園を望む回答が多い。また、医療費削減のため、健康教室やストレッチ体操教室などを定期的に実施して欲しい。<br>・部活動地域移行については、先進的な少年団の指導者からどのようにするのか問い合わせはあるが、具体的にどのようにするのか、したいのかについては不明の状況。一般住民や保護者からは今のところ特に意見・要望等は出ていない。 |

| 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 主管課 | 名称 | 生涯学習課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 丸山　浩文 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、令和3年度は43.9、令和4年度は50.4%と増加している。新型コロナウイルス感染症の警戒度が比較的低くなったことの影響によるものと考えられる。また、「以前はしていたが、現在はしていない」と回答した人の割合は、令和3年度は23.9%、令和4年度は20.1%と減少している。<br>②スポーツ協会の登録者数は、令和3年度は19団体1,233人、令和4年度は19団体1,175人と減少している。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①国と比較すると、週１回以上運動・スポーツをしている人の割合は、令和４年度実態比較で、国52.3%に対して、町は50.4%と下回っており、各々の年代別での検証では、50代・60代が国を大きく下回っている。<br>■みなかみ町　全体50.4%、20代53.8%、30代43.5%、40代53.7%、50代37.2%、60代46.5%<br>■国　全体52.3%、20代49.2%、30代44.7%、40代45.9%、50代47.8%、60代56.5%<br>②沼田市スポーツ協会と比較すると、会員数・団体数共に沼田市は前年と同じで、みなかみ町は会員数が減少している。ただし、沼田市はコロナ禍において各競技部の総会が開催できていないため、人数の把握が困難であると報告を受けている。<br>■みなかみ町　(R3) 19団体1,233人　→　(R4) 19団体1,175人（58人減・前年比95.3%）<br>■沼田市　(R3) 32団体4,437人　→　(R4) 32団体4,437人（前年比100%） |
| ③目標の達成状況 | ☑ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>☐ 目標値を大きく下回った。 | ①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、令和4年度50.4%と目標値55%には到達していない。<br>②スポーツ協会加盟団体・登録者数は、人口減少や高齢化及びコロナ禍の影響で、目標値20団体1,250人を下回っている。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | スポーツ意欲の高揚 | A | 地域スポーツ協会設置数 | 団体 | 実績値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | | | 目標値 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 |
| | | B | スポーツ少年団の団数/団員数 | 団体/人 | 実績値 | 18/438 | 19/426 | 19/438 | 20/460 | 23/532 | 25/517 | 20/478 |
| | | | | | 目標値 | | 17/411 | 17/400 | 17/390 | 18/380 | 18/380 | 18/380 |
| 2 | スポーツ機会の充実 | A | スポーツ協会加盟団体の教室開設数 | 教室 | 実績値 | 43 | 43 | 48 | 48 | 46 | 43 | 45 |
| | | | | | 目標値 | | 43 | 43 | 43 | 44 | 44 | 44 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | スポーツ環境の整備 | A | 体育施設利用者数 | 人 | 実績値 | 89,503 | 126,393 | 144,711 | 131,056 | 60,455 | 51,581 | 84,271 |
| | | | | | 目標値 | | 89,500 | 89,600 | 89,700 | 89,800 | 89,900 | 90,000 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | スポーツ意欲の高揚 | ①第2次スポーツ推進計画(案)の目標「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合を50%以上とする」計画を達成する。<br>②スポーツに取り組む人の裾野を広げるため、地域のスポーツ活動を推進する組織の立ち上げが必要である。<br>③少年期のスポーツ機会の創出(民間と連携) | ①コロナウイルスに配慮して、スポーツイベントを企画する。<br>②町教委・スポーツ推進委員を中心に地区体育委員の再構築を含め、地域スポーツを推進する組織づくりについて検討する。<br>③スポーツ少年団への支援を引き続き進める。 |
| 2 | スポーツ機会の充実 | ①生涯を通じ健康な生活を送るために、継続的なスポーツの取り組みが出来る機会を創出する必要である。<br>②スポーツの普及においてスポーツ協会の担う役割は大きいが、活動の継続や維持が困難な団体もあり、協会の活性化が必要がある。 | ①スポーツ協会及び関係部署と連携し、健康維持のための教室やスポーツイベントを開催する。<br>②スポーツ協会加盟団体の教室や大会に誰もが気軽に参加できる体制を再構築する。競技性も重要だが、初心者でも参加しやすい協会を目指す。 |
| 3 | スポーツ環境の整備 | ①安全かつ継続的にスポーツが行えるよう、各体育施設の点検を進め維持管理を図る。<br>②コロナ禍において、ひとりでトレーニングができるため各体育施設のトレーニングルームの利用者が増加した。施設整備や備品等の更新を順次行い、利便性の向上を図る必要がある。 | ①トレーニング機器や備品等の点検・交換を定期的に行う。<br>②利用者の要望を真摯に聞き、計画的に整備・改修を進める。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 寺間運動公園管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 548,749 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 都市公園(H16年8月告示、運動公園)に係る維持管理事業である。指定管理者は、群馬スノーアライアンスである。 | 野球場のグランド整備を行ったことにより、快適に利用できるようになった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 管理上の問題発生(対処)件数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 都市計画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 4 目 4 | 野球場等の施設が老朽化しており、修繕が必要である。 | 計画的な施設整備を検討する。 | 0 | 0 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 体育協会活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,469,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 町民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。スポーツ協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。 | コロナの影響でスポーツ協会が主催する大会等が中止となったため思うような活動ができなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | 協会主催・競技団体主催大会の事業数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 1 | 人口の減少により、特に団体競技の存続が厳しい。競技スポーツを普及する上でスポーツ協会の役割は大きく、協会の活性化は大変重要である。 | コロナウイルス感染対策を講じたうえで活動をしていく。部活動の地域移行の受け皿として、スポーツ少年団活動との連携を進め、活動が活性化するようサポートしていく。 | 25 | 67 / 事業 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | スポーツ推進委員会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,549,864 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 町におけるスポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員を委嘱するとともに、事務局運営事務を行う。 | コロナの影響により会議もイベントも例年通りには実施できなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | スポーツ意欲の高揚 | | | 活動回数(会議回数) | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 1 | 委員が主体的となり、積極的に活動できる体制整備を整えていく必要がある。 | コロナウィルス感染症が収束しないと活動は難しい。 | 1 | 7 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | スポーツ少年団活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 512,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | みなかみ町スポーツ少年団事務局業務また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務 | コロナウイルス感染拡大につき、スタートコーチ(指導者養成)講習会が中止となった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | 各スポーツ少年団参加児童数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 1 | 指導者資格が日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格に統一される。2023年11月までに指導者個人が移行手続きを行う。 | スタートコーチへの移行サポートをする。部活動の地域移行の受け皿として機能できるよう、連携を図ると伴に活動の活性化につながるようしっかりとサポートし、団員減少をくい止める。 | 517 | 478 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | スポーツ教室事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 501,984 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 子育て健康課と共催し、「おとなの運動教室」（40～64歳対象）を実施 | 少しでも興味を持ってもらえるよう、楽しみながら身体を動かすプログラムを設定したり、県内で活躍している指導者を起用したりする。感染症対策を徹底し、安心安全な教室を実施した結果、教室数は倍増した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | スポーツ教室開催回数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 1 | 働き盛りの年代を対象とし、身体不活動の減少とクオリティ・オブ・ライフの向上が課題。 | 教室参加申込をWebで行えるシステムの構築。気軽に参加できる環境を整備。 | 9 | 18 / 回 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 体育振興費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,776,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。 | コロナウィルス感染症のため実施事業は少ないが、申請に対し補助金を交付することができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | 申請（交付）件数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 1 | 事業を実施できる団体等の育成。 | 地区・行政区等で補助金を活用してもらえるよう周知をしていく。 | 2 | 4 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | プール開放事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19,520 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 毎年、学校等の夏休み期間中に新治B＆G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。 | 桃野小学校のプール開放は、コロナウィルス感染症のため実施できなかったが、B＆G海洋センターはカヌーとSUPの体験会として開催できた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | スポーツ機会の充実 | | | 利用者数・開放日数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 2 | 沼田市民プール、B＆G海洋センター、桃小プール開放事業の連携を図り、利用者の利便向上を図る。熱中症や新型コロナ等の防疫対策。 | 桃野小は更衣室が狭いためコロナウィルス感染症が収束しないと実施は難しい。あらかじめ水着着用で着てもらうなどの工夫が必要。 | 0・0 | 0・0 / 人・日 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 体育施設管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 26,847,208 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 緑地広場ホッケー場、北部グラウンド、南部グラウンド、大中島運動公園テニスコート、名胡桃体育館、南部体育館、北部体育館、月夜野弓道場、大穴多目的広場、湯原多目的広場、新治武道場、入須川社会体育館、新治中央運動公園（野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）、月夜野多目的広場等の社会体育施設の維持管理を行う事業 | 総合グランド野球場のスプリンクラー、新治中央運動公園トイレ浄化槽の修理等を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 施設利用者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 2 | 関係者への説明・理解<br>老朽化した施設設備の維持修繕。 | 体育施設維持計画に基づき、老朽化が著しい施設より順番に修繕にあたる。 | 35961 | 52430 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 総合体育館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,474,865 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 月夜野地区体育施設の拠点施設で、臨時職員4名で日程調整をして、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出業務を行っている事業。 | バスケットゴールの改修を実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 施設利用者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 月夜野地区体育施設のスポーツ器具・用具が老朽化しているため買い換えなどを進める必要がある。特に吊り下げ式のバスケットゴールは修理部品がないため、壁取り付け式に改修したい。また、臨時職員４名体制であるが勤務は1名なので事務室内での事務しかできない。 | 老朽化した備品の計画的な更新の実施。老朽化した施設や、LED化等計画的に実施を検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 2 | | | 6361 | 15622 | 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 新治B&G海洋センター管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,842,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 新治Ｂ＆G海洋センターの管理運営業務 | 遊泳利用を避け、カヌー＆SUP体験会を開催し老朽化による負傷等を防止した。財団事業に積極的に取り組み、5年連続で特A評価を獲得した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 施設利用者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 老朽化が著しく、施設の外壁やプールサイドのタイルが破損している。 | 引き続き、財団事業への積極的参加を進め、特A評価を維持する。機能的なことも含め大規模改修を視野に入れて計画をしていく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 2 | | | 5322 | 8168 | 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 水上社会体育館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,367,828 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 22 | 生涯スポーツの推進 | 施設の維持管理を行う事業。施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出を行っている。 | 体育館外壁の崩落防止の修繕を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | スポーツ環境の整備 | | | 施設利用者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 体育館北側の外壁が老朽化により崩落し、駐車車両や通行者に危険な状態。公民館及び体育館の照明が水銀や蛍光灯のため更新が必要。 | 湯原地区の整備計画が決まらないと整備が困難な状態だが、住民の利用に支障の来さないように小修繕等を実施し、利便性の向上を図りたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 6 目 2 | | | 4344 | 8051 | 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | Ⅳ | 豊かな心と文化を育むまち | 主管課 | 名称 | 生涯学習課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 丸山　浩文 |
| 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 関係課 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民<br>②町内の文化財 | ①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。<br>②適切に保存される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 文化財の保存 | ①保存に携わっている人<br>②町内の文化財 | ①積極的に保存活動を行う。<br>②適切に保存される。 |
| | 2 | 文化財の活用 | ①町民<br>②町内の文化財 | ①文化財に関心を持つ。<br>②広く周知される。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・文化資産の総括的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。
・町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。
・文化財施設とそこで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 地域の伝統芸能に参加している町民の割合 | % | 実績値 | 8.5 | 19.1 | 18.3 | 17.9 | 17.2 | 13.5 | 14.1 |
| | | | 目標値 | | 8.4 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 8.3 |
| B | 指定文化財の数 | 件 | 実績値 | 102 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 |
| | | | 目標値 | | 103 | 103 | 103 | 104 | 104 | 105 |
| C | 地域で継承されている伝統芸能の数 | 件 | 実績値 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| | | | 目標値 | | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能（祭りや神楽、獅子舞など）に参加する」と回答した人の割合
B）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
※国、県、町の指定を受けている文化財の数
C）直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

**目標値設定の考え方**

A）伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前世より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現在地域の行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。
B）経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。
C）教育委員会が把握している地域の伝統芸能（太々神楽・獅子舞等）は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用に協力する。<br>・地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 | ・建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。<br>・後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。<br>・町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。<br>・文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・文化財の老朽化が進行している。今後も定期的に補修していかなければならない。<br>・人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。<br>・文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 | ・月夜野郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。<br>・文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。<br>・予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいと要望がある。<br>・町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。<br>・町内には、まだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。<br>・エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹遺産群など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が一層望まれる。<br>・町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。<br>・町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。 |

| 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 主管課 | 名称 | 生涯学習課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 丸山　浩文 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成30年度が18.3%、令和元年度が17.9%、令和2年度が17.2%、令和3年度は13.5%、令和4年度は14.1%。目標値よりは依然として高いがコロナ前と比較すると低い。いまだにほとんどの活動が自粛されていることが要因と考えられる。<br>②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと、平成29年以降103件を維持できている。<br>③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成28年以降30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。ただし、令和2・3年はコロナのため神社の祭典等は行えていない。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。<br>また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。<br>※令和5年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位：件)<br>みなかみ町　国：8　県：22　町：73　計：103<br>沼田市　国：3　県：15　市：73　計：91<br>片品村　国：3　県：4　村：53　計：60<br>川場村　国：0　県：5　村：5　計：10<br>昭和村　国：0　県：2　村：19　計：21 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☐ 目標値を大きく下回った。 | ①地域の伝統芸能に参加している町民の割合は、目標値の8.3%を大きく上回り14.1%であった。<br>②指定文化財の数は、目標値の103件を維持できた。今後も文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。<br>③地域で継承されている伝統芸能の数は、目標値の30件を維持できた。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文化財の保存 | A | 文化財の保護活動者数 | 人 | 実績値 | 672 | 705 | 1,616 | 271 | 241 | 201 | 721 |
| | | | | | 目標値 | | 650 | 640 | 630 | 620 | 610 | 600 |
| | | B | 適切に保存される文化財の数 | 件 | 実績値 | 102 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 |
| | | | | | 目標値 | | 103 | 103 | 103 | 104 | 104 | 105 |
| 2 | 文化財の活用 | A | 資料館の入館者数 | 人 | 実績値 | 1,164 | 960 | 1,009 | 964 | 897 | 214 | 996 |
| | | | | | 目標値 | | 1,050 | 1,000 | 950 | 900 | 850 | 800 |
| | | B | 文化財の見学者数 | 人 | 実績値 | 68,331 | 21,684 | 26,470 | 29,236 | 18,818 | 12,318 | 19,404 |
| | | | | | 目標値 | | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 21,500 | 21,500 | 21,000 |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み(案)

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 文化財の保存 | ①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進めることが必要である。<br>②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではないため支援が必要がある。 | ①文化財建造物（旧戸部家住宅、雲越家住宅、猿ヶ京関所跡等）の改修計画を作成する。<br>②保存会活動に積極的な古馬牧の人形浄瑠璃、羽場日枝神社の獅子舞等については財政的・事務的な支援を行い、より確実な後継者育成・普及に努める。 |
| 2 | 文化財の活用 | ①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。<br>②町内の資料館は展示方法に変化が無く、定期的に展示替えを行う等の工夫を凝らす必要がある。 | ①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。<br>②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを継続するとともに、町内に点在する資料館等の統合計画も検討し、文化財の活用を図る。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 月夜野郷土歴史資料館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,180,724 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 月夜野郷土歴史資料館の管理運営 | 若山牧水企画展を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | 来館者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 展示内容を毎年、変更し、マンネリ化を防ぐ。 | 企画展示、展示替えを毎年行い、展示内容のマンネリ化を防ぐ。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 3 | | | 214 | 205　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 水上歴史民俗資料館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 27,284 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 水上歴史民俗資料館の管理運営 | 利根商・JR連携事業の「駅からハイキング」に協力し、水上歴史民俗資料館をコースに入れた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | 来館者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。<br>玄関軒先の老朽化が著しい。 | 授業や観光イベントによる資料館活用を増やす。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 3 | | | 0 | 65　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 雲越家住宅資料館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 457,079 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 雲越家住宅資料館の管理運営 | コロナ以前の開館体制に戻したが、依然として一般客の入館はきわめて少ない。教育旅行や学校からの利用は原則、受けている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | 来館者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 基本的に入館者数はきわめて低い。しかし、資料館自体が国指定であるため、現状を維持しなければならない。 | 国指定文化財であることから中身を改変することが難しいが、ルールに基づいたうえで展示替え等を行い、見学しやすい環境作りに努める。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 3 | | | 150 | 135　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 永井宿郷土館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 683,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 永井宿郷土館の管理運営を永井国指定管理に出している。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | 来館者数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 3 | | | 269 | 394　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 猿ヶ京関所資料館管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,221,349 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 猿ヶ京関所資料館の管理運営 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | 入館者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 3 | 特になし | 特になし | 703 | 762 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 文化財保護総務事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 107,481 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究・文化財公開を行う。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | 資料館（月夜野・水上・雲越・猿ヶ京・永井）見学者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 4 | コロナのため、文化財調査委員のレベルを高めるための研修活動が行えない。<br>文化財調査委員の高齢化が目立つ。 | 若手の文化財調査委員を探す。 | 1,336 | 1,561 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 文化財啓発事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 99,406 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 従来は文化財の保護が重視されていたが、近年は活用も含めた施策の展開が求められている。この啓発事業により観光資源としての活用を含めた啓発事業を行う。 | 利根商・観光商工課・観光協会と積極的に連携し、高校生による名胡桃城址のジオラマを作製や駅からハイキング等を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | 名胡桃城址来場者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 4 | 活用に際しては、一過性ではなく恒常的な活用を進めることが求められる。 | 町民と観光客に文化財を身近に感じてもらうため、資料館の展示替えを行ったり、パンフレット等文化財の広報に取り組む。 | 11,438 | 18,407 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 町指定文化財管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,037,208 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。 | 文化財指定のレベルを保つため、これ以上はあまり指定しない。しかし、所有者等の文化財を大切にする意識も保つため、指定文化財とは別の文化財制度を検討する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | 月夜野郷土歴史資料館見学者数（町指定文化財を展示している） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 4 | 所有者から文化財指定してほしいという要望がコンスタントにある。 | 文化財調査委員会議において、指定文化財にかわりみなかみ町地域遺産制度の創設を提案した。 | 214 | 205 / 人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 県指定文化財管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,172,835 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。 | ○猿ヶ京関所跡・・・玄関引き戸修繕の見積済み。<br>○名胡桃城址・・・令和5年度に直営作業員に依頼する。<br>○相俣のさかさザクラ・・・令和5年度に直営作業員に依頼する。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | 主な文化財の見学者数（名胡桃城址） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 4 | ○猿ヶ京関所跡・・・要 玄関引き戸修繕。<br>○名胡桃城址・・・見学路に枯れ木あり。要伐採。<br>○相俣のさかさザクラ・・・本体とは別の蔓が巻いている。 | 猿ヶ京関所跡については、茅葺き屋根の傷みが著しくなっている。毎年、少しずつ修繕を実施することにより、なるべく大規模改修しなくて済むようにする。 | 12,049 | 18,407　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 国指定文化財管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,497,215 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、町内には8件の国指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | 国指定文化財のある資料館見学者数（雲越家・水上・月夜野） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 4 | 国指定文化財の老朽化が目立ちはじめている。<br>○雲越家住宅・・・茅葺き屋根、消防用設備<br>○旧戸部家住宅・・・茅葺き屋根、消防用設備<br>○矢瀬遺跡・・・遺跡復元施設（復元住居等） | 旧戸部家住宅については、湯原地区再整備計画の進捗状況を考慮しながら改修していく必要があるが、雲越家住宅、矢瀬遺跡については、毎年少しずつ修繕を行うことにより、数千万以上の大規模改修をしなくて済むよう、計画的に修繕を行う。 | 364 | 405　人 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 埋蔵文化財調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。 | 日常的な調査研究等 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | 埋蔵文化財包蔵地確認（照会） | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 4 | いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備をしておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。 | 今後も周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業（特に太陽光パネル関係）があることが考えられるため、常に調査研究を行い発掘調査に備える。 | 18 | 26　件 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 12 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | V | 地域をささえるひとづくり | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |
| 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 関係課 | 生涯学習課　生涯学習係 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 平和や人権への意識を高め、お互いを尊重する。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 人権意識の高揚 | 町民 | 人権についての正しい理解と認識を深め、意識を高める。 |
| | 2 | 相談・保護体制の強化 | 人権侵害を受けた人 | 人権に関するトラブルや悩みを解決できる。 |
| | 3 | 男女共同参画の推進 | 町民 | 自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる。 |
| | 4 | 平和意識の高揚 | 町民 | 平和への意識を高める。 |

**施策の基本方針**

・町民の人権に対する意識を高めるとともに、相談・保護体制を強化することで、人権侵害の軽減を図ります。
・男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にとらわれずあらゆる分野において個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指します。
・核兵器廃絶平和の町として、平和の問題を町民の身近な問題としてとらえられるようメッセージを発信していきます。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 過去1年間に、人権侵害を受けた町民の割合 | % | 実績値 | 5.3 | 4.7 | 4.3 | 4.3 | 5.1 | 4.1 | 5.3 |
| | | | 目標値 | | 5.3 | 5.2 | 5.2 | 5.1 | 5.1 | 5.0 |
| B | 全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合 | % | 実績値 | 87.2 | 87.4 | 88.2 | 88.8 | 88.4 | 90.9 | 89.4 |
| | | | 目標値 | | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）数値が低くなれば、人権への意識が高まり、お互いを尊重しているといえるため成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合
B）町として、「核兵器廃絶平和の町宣言」を行っており、宣言の中で「私たちは、すべての核兵器の速やかな廃絶を求め、真の恒久平和が実現することを願い、」としているため、成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※全ての核兵器を速やかに廃絶すべきであると感じていますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

**目標値設定の考え方**

A）2016年度以前の実績から成り行きでは5.3%となるが、人権啓発を充実させ、2022年度は5.0%を目標とする。
B）2016年度以前の実績から成り行きでは毎年0.2%の減となるが、平和式典・戦没者追悼式を充実させ、2022年度は90%を目標とする。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・平和や人権を身近に感じ、意識を高める。<br>・町民がお互いに尊重しあい、思いやる意識を高める。<br>・性別にかかわりなく、社会のあらゆる分野における活動に参画する。<br>・ロシアのウクライナ侵攻により平和に対する意識の変化がある。 | ・平和や人権に関する啓発活動を学校や生涯学習の場で行う。<br>・性別にかかわりなく、社会活動に参画し、活躍できる環境をつくる。<br>・児童や高齢者、障害者などへの虐待の実態を把握し対策を講じる。<br>・遺族会から忠霊塔の統合（月夜野・水上・新治地区）の要望がある。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・戦後70年以上経過し、戦争を知る世代が高齢化している中で、町主催の「平和式典・戦没者追悼式」を毎年行っているが、年々参加者が減少している。<br>・児童や高齢者、障害者などへの虐待に対する認識が広まる。<br>・性的少数者に対する理解が進む。<br>・ロシアのウクライナ侵攻により、平和への意識の変化がある。 | ・遺族会会員が亡くなると、子・孫がいても戦没者との関係が遠いので脱退を希望する人が多い。<br>・平和の尊さと戦争の悲惨さを次世代に伝えていくために、戦争に関する報道写真などを展示する等の企画をしてはどうか。<br>・遺族会から忠霊塔の統合（月夜野・水上・新治地区）の要望がある。 |

| 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 主管課 | 名称 | 町民福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 中西　紀子 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☑ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①過去１年間に人権侵害を受けた町民の割合は5.3%で、前年度より1.2ポイント増加している。<br>②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合は89.4%で、前年より1.5ポイント減少した。 |
| ②他団体との比較 | ☑ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①他市町村のデータがなく、比較できないが、内閣府の「人権に関する世論調査（令和4年8月調査：調査は5年毎）」によると「今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがある住民」の割合は27.8%となっている。町の町民アンケートによる人権侵害を受けたことがあると答えた割合は5.3%であった。<br>②町独自のアンケート調査のため、他団体との比較は難しい。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①今年度の人権侵害を受けた町民の割合は目標値5.0%に対し、実績値5.3%で目標を下回った。<br>②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合の目標値は90.0%に対し、実績値で89.4%で目標を下回った。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 人権意識の高揚 | A | 人権講演会参加者数 | 人 | 実績値 | 80 | 296 | 200 | 210 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | 目標値 | | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 相談・保護体制の強化 | A | 人権に関する相談件数 | 件 | 実績値 | 28 | 13 | 17 | 24 | 14 | 16 | 22 |
| | | | | | 目標値 | | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 男女共同参画の推進 | A | 審議会・委員会等における女性登用率 | % | 実績値 | 14.4 | 16.7 | 17.2 | 20.6 | 20.6 | 24.9 | 24.1 |
| | | | | | 目標値 | | 17.0 | 19.6 | 22.2 | 24.8 | 27.4 | 30.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | 平和意識の高揚 | A | 平和式典・戦没者追悼式参加者数 | 人 | 実績値 | 140 | 123 | 129 | 112 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | 目標値 | | 140 | 140 | 140 | 140 | 140 | 140 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 人権意識の高揚 | ・効果的な普及啓発活動の実施 | ①町民に関心をもってもらいやすいテーマでイベント等を行う。<br>②人権擁護委員による啓発活動、人権教育の場を設ける。 |
| 2 | 相談・保護体制の強化 | ・福祉まるごとサポートセンターが令和５年４月に設置される。町民にさらなる周知を行い、気軽に相談してもらえるようにする。<br>・認知症や、障害等により判断能力が充分でない人の権利や財産を守る成年後見制度の利用が高まっている。 | ①福祉まるごとサポートセンターが設置された。今後多様化する相談に関係機関と連携し対応を行う。<br>②プライバシーを守れる相談室を確保する。<br>③令和５年度中に社会福祉協議会による法人後見制度の立ち上げを行う。 |
| 3 | 男女共同参画の推進 | ・男女共同参画社会及び多様性社会に対する更なる理解と意識の醸成を行う必要がある。 | ①男女共同参画のみならず、性的マイノリティ等、多様性社会についての理解を深める。 |
| 4 | 平和意識の高揚 | ・戦後78年が経過し、大戦を知らない世代が大半となっており、戦争を伝える活動が大切となっている。<br>・遺族会が高齢化し、会員が減少している。 | ①コロナ禍で戦没者追悼式平和式典が３年開催できなかった。３カ所の忠霊塔に町当局と遺族代表がお参りし、追悼を行った。令和５年度は町内の葬儀場にて戦没者追悼式を行う予定でいる。 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 日本非核宣言自治体協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 日本非核宣言自治体協議会に参加し、核兵器の廃絶、平和宣言を呼びかけるとともに、自治体間の協力体制を確立する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 平和意識の高揚 | | | 会員自治体数・宣言自治体数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 342・1653 | 353・1664 / 団体・団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 自衛官募集事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 59,713 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 自衛官又は自衛官候補生の募集に関する広報宣伝や募集に関する事務を行う | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 平和意識の高揚 | | | 自衛隊入隊者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 限られた時間で効率的に事務を行うため、事務事業の行動計画をつくる。 | 特になし | 0 | 1 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 人権擁護委員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 122,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 前橋地方法務局沼田支局管内の人権擁護委員で構成されている沼田人権擁護委員協議会へ負担金を支出している。同協議会は町内の小中学校で人権教室、特設人権相談所や心配ごと相談所などの相談業務、また町が主催で行う人権啓発講演会で啓発活動をしている。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 相談・保護体制の強化 | | | 開催回数（会議・研修会） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 人権擁護委員協議会の事務局である前橋地方法務局沼田支局と町と情報共有の方法を検討する。 | 特になし | 6・2 | 7・3 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 平和式典・戦没者追悼式事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 122,633 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 戦争により犠牲になられた方々への哀悼の意をあらためて表すと共に、平和の尊さを次世代に伝えるために実施する事業。<br>令和4年度はコロナウィルスのため大規模な式典は中止し町長及び遺族会役員数名による忠霊塔を巡回して参拝する形式で実施した。 | 平和祈念式典及び戦没者追悼式の在り方について、遺族会役員と協議し、令和5年度以降、平和祈念式典は廃止し、追悼式の会場についても見直しを行う予定 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 平和意識の高揚 | | | 式典参加者数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 遺族の高齢化等により、式典に参加する人数が減少。千羽鶴作成依頼先の、町内中学校では、生徒減少により負担となっている。 | 式典の実施方法を工夫する。 | 0 | 6 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 遺族会活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 230,893 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | みなかみ町遺族会は戦没者遺族の福利厚生を目的とした組織であり、令和3年度までは町で事務局運営を行っていたが、任意団体であり、県内ほとんどの市町村が社協へ事務局運営が移管されていることを考慮し令和4年度以降みなかみ町社会福祉協議会へ事務局を移管した。<br>したがって現在は補助金の支出及び行政支援が必要となる場合の窓口となている | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 平和意識の高揚 | | | 県戦没者追悼式の参加人数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 遺族の高齢化等による町遺族会員の減少 | 引き続き、社会福祉協議会と連携して運営を支援していく。 | 0 | 0 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 特別弔慰金支給事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 45,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | 戦没者の遺族に対して国が支払う弔慰金について、5年ごとに請求が行われ、その受付窓口として各市町村が対応する | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | 平和意識の高揚 | | | 請求件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 障害・福祉　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 3 項 1 目 1 | 特になし | 特になし | 9 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 人権教育推進協議会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 135,939 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 24 | 平和と人権の尊重 | みなかみ町人権教育推進協議会（社会教育委員）の運営及び各種研修会等への参加、人権に関するポスターの展示や人権啓発に関するイベントなどを行い、人権教育の啓発・振興に努める。 | 今年度も町内小中学生を対象に「人権に関するポスター」を募集した。表彰式等は中止となったが、本庁舎1階での作品展示と町広報誌等に入賞作品を掲載した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 人権意識の高揚 | | | 人権ポスターの応募者数 | |
| 組織名 | 生涯学習　課 | 生涯学習　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 10 項 5 目 1 | 町内小中学生に「人権に関するポスター」を描いてもらい、人権を考えるよいきっかけとなっているが、その他（特に成人）に対する人権教育を推進する場が少ない。 | 現在は小中学生へのポスター募集のみになっているが、町民福祉課と連携し、ポスター展示等、より広い世代へ人権教育を推進していきたい。 | 32 | 29 / 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 9 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | V | 地域をささえるひとづくり | 主管課 | 名称 | 観光商工課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 鈴木和幸 |
| 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町外の人・団体<br>②町民 | 町に魅力を感じ、相互のまちづくりに協力する。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 交流連携機会の創出 | 町内外の人・団体 | 幅広い分野に交流機会を提供する。 |
| | 2 | 交流連携の強化 | 交流連携している町内外の人・団体 | 交流人口を増やしながら、信頼関係を深化させる。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・提携団体数を増やすことから、交流事業内容の深化へと考え方をシフトし、密な交流が図れるよう検討します。<br>・交流をおこなう双方にとって効果的な交流のあり方を考え、実行に努めます。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 54.0 | 53.7 | 55.2 | 49.3 | 46.1 | 52.4 |
| | | | | 目標値 | | 25.0 | 30.0 | 35.0 | 40.0 | 45.0 | 50.0 |
| | B | 友好協定を締結している団体と交流したことのある町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 5.9 | 7.8 | 6.6 | 8.3 | 5.3 | 9.5 |
| | | | | 目標値 | | 10.0 | 12.0 | 14.0 | 16.0 | 18.0 | 20.0 |
| | C | 友好協定都市住民でみなかみ町を知っている人の割合 | % | 実績値 | 実績なし | - | - | 87.5 | 91.0 | 89.0 | 93.0 |
| | | | | 目標値 | | 65.0 | 70.0 | 70.0 | 75.0 | 75.0 | 80.0 |
| | D | 友好協定都市住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合 | % | 実績値 | 実績なし | - | - | 69.1 | 57.0 | 63.0 | 72.0 |
| | | | | 目標値 | | 5.0 | 10.0 | 10.0 | 15.0 | 15.0 | 20.0 |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※あなたは、みなかみ町が以下の企業や自治体等と連携協定や、友好都市協定を締結していることを知っていますか。→「はい」と回答した人の割合<br>B）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※あなたは、友好都市との交流事業に参加したことがありますか。→「はい」と回答した人の割合<br>C）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。<br>交流イベントの際にアンケートを実施して把握<br>D）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。<br>交流イベントの際にアンケートを実施して把握 |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A）これまでの連携協定・友好都市協定の締結や、交流活動等が今後徐々に町民に知れ渡っていくと推測し、2022年度には2人に1人が認識していると考え、目標値を50%とする。<br>B）連携協定・友好都市協定の締結が広く知れ渡ることにより、自ら交流しようと行動に移す町民が微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が何らかの交流に取り組むと考え、目標値を20%とする。<br>C）友好協定都市との交流イベントには継続的に取り組んでいることから、友好都市住民には広く認知されていると推測し、2022年度には80%を目標とする。<br>D）交流イベントに積極的に取り組んでいることにより、本町に訪れようと行動に移す友好都市住民が今後微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が来訪したことがあると考え、目標値を20%とする。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・交流事業に積極的に参加し、交流相手に町の魅力等をPRする。<br>・交流事業をきっかけに知り合った相手や団体等との交流を継続させ、参加していく。 | ・町民及び町内の団体等に対し、交流する機会を提供し、交流事業を支援する。<br>・交流を通じてまちづくりを積極的に行う、または関心を持つ人材を育成し、人的ネットワークを構築する。<br>・交流が継続し、より発展していくよう支援する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・既締結団体等との交流内容がモノの交流からヒトの交流に変化しつつある。具体的にはモノを介した事業者同士のマッチングから派生して人的な交流の輪への広がりを見せている。<br>・過去2年間、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、海外との交流は、一切おこなうことができなかったが、感染状況が改善してきたことから、外国人観光客の受入れ再会や入国者数の緩和が実施されている。 | ・台湾台南市へは多くの町民が「町民旅行」を利用して訪問し、交流を深めており、今後も継続して交流が図られることが望まれている。<br>・国内の自治体に関しては、観光・物産の交流に留まらず、環境や文化などの分野での交流が望まれている。<br>・議会からも活発な交流を継続して欲しいとの声がある。 |

| 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 主管課 | 名称 | 観光商工課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 鈴木和幸 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は、令和3年度46.1%、令和4年度は52.4%で6.3ポイントの増となった。<br>②友好協定を締結している団体と交流したことのある町民の割合は、令和3年度5.3%、令和4年度は9.5%で4.2ポイントの増となった。<br>③友好都市の住民でみなかみ町を知っている人の割合は、令和3年度89.0%、令和4年度93.0%で4.0ポイントの増となった。<br>④友好都市の住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合は、令和3年度63.0%、令和4年度72.0%で9.0ポイントの増となった。<br>※連携協定を締結している団体と協定締結年度<br>三国コカ・コーラボトリング株式会社(平成24年度)、オークヴィレッジ株式会社(平成30年度)、株式会社JR東日本企画(令和元年度)<br>※友好協定を締結している団体と協定締結年度<br>さいたま市(平成16年度)、取手市(平成21年度)、聯合国際学院(平成22年度)、東京都中野区(平成24年度)、台湾台南市(平成25年度)、中国長榮大学(平成25年度)、麗澤大学(平成27年度)、東京都三宅村(平成28年度)、伊奈町(平成29年度) |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①近隣自治体における企業との連携としては、沼田市がミズノ株式会社と包括連携協定を締結し、スポーツを通じて健康で豊かな生活をおこなうことを目的に「テラス沼田」において、スポーツジムを展開するほか、各種スポーツスクール等を開校している。<br>②大学との連携は、川場村が東京農業大学との間で地域活性化と同大学の教育・研究の充実に寄与することを目的に包括連携協定を締結している。<br>③近隣市町村における国内交流事業においては、川場村と東京都世田谷区、昭和村と神奈川県横浜市、沼田市と東京都新宿区などの交流が展開されている。<br>④みなかみ町は友好都市として国内において、埼玉県さいたま市、茨城県取手市、東京都中野区、埼玉県伊奈町、東京都三宅村の１区２市１町１村、海外に台湾台南市の１市と物産の交流を中心に観光、環境等の分野で活発な交流を図っており、交流の水準は高い。<br>⑤群馬県商工会連合会が主体となって台湾・タイをターゲットにした販路拡大のための物産交流調査を継続的に実施している。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は、目標値50.0%に対し、52.4%で目標値を2.4ポイント上回った。<br>②友好協定を締結している団体と交流したことがある町民の割合は、目標値20.0%に対し、9.5%で目標値を10.5ポイント下回った。<br>③友好都市住民でみなかみ町を知っている人の割合は、目標値80.0%に対し、93.0%で目標値を13.0ポイント上回った。<br>④友好都市住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合は、目標値20.0%に対し、72.0%で目標値を52ポイント上回った。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 交流連携機会の創出 | A 交流事業の回数 | 回 | 実績値 | 28 | 46 | 28 | 38 | 6 | 19 | 38 |
| | | | | 目標値 | | 28 | 28 | 28 | 30 | 30 | 30 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 交流連携の強化 | A 交流事業への町民の参加者数 | 人 | 実績値 | 160 | 169 | 124 | 189 | 18 | 112 | 158 |
| | | | | 目標値 | | 160 | 160 | 170 | 170 | 180 | 180 |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み(案) | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 交流連携機会の創出 | ①友好都市や連携企業との交流事業における町民参画の機会提供<br>②各種交流イベントにおける人的交流の再開 | ①友好都市や連携企業とのイベント開催情報を町民に広報し、交流事業に対し町民の積極的な参加を促す。<br>②友好都市住民を対象にMINAKAMI HEART payのプレミアムポイント付与（新聞折り込み等により周知）を実施し、コロナ収束後の誘客に向けPRを強化する。 |
| 2 | 交流連携の強化 | ①友好都市や連携都市との協働事業を町民や相手先住民へ啓発する取組<br>②新型コロナ収束後、友好都市との交流について物産交流から人的交流への拡大 | ①連携自治体との協働取り組み事業の内容を広報等の媒体を使って周知する。相手側の自治体内においても「みなかみ町」を知ってもらうため、広報等を活用して観光情報等の相互周知に協力いただくよう依頼する。<br>②観光・商工分野を中心に友好都市の事業者と町内事業者の事業者交流の場を提供すると共に、各種イベントにおいて、「MINAKAMI HEART pay」の積極的な普及をおこない、町への訪問を促す。 |
| 3 | | | |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 全国源流の郷協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 50,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 源流の持つ豊かな自然環境の保全に務めるとともに、源流資源の役割と機能を広く国民に訴え、国民的な理解を広げる。会員市町村等との交流連携を進め地域振興を図る。<br>協議会設立日：平成17年11月30日<br>（現在）会員：16市町村、協賛会員1団体 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | 協議会等出席回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 加盟団体は関西から九州まで点在しており、事業実施場所が遠隔地であることが多く、なかなか参加できない。 | 協議会の各事業へ参画する。 | 1 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 利根川源流水源地域ビジョン事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,070,176 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム管理者と共同で策定する行動計画である。組織として「利根川源流水源地域ビジョン推進協議会」がある。 | 活動団体・ダム管理者・コンサルタント等との調整業務及び会議への出席。<br>各種事業への支援。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | 協議会等出席・開催回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 事業を進める上で国に事業予算を確保することが求められている。イベント補助金として助成してもらう方法を協議する。 | 水源地域の活性化のための新規活動の策定及び現在行われている活動を継続していく。 | 4 | 4 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 地域づくり事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 382,242 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 賛同、参画するダム関連協議会へ負担金を支払い、協議会に参加することで、交流連携の推進を図る。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | 負担金支払い件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 課題なし | 特になし | 2 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 全国川サミット連絡協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 200,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 利根川源流である本町は水源地として5つのダムを有している。首都圏の水瓶として内外へアピール必要性から協議会へ参加し、利根川や江戸川流域の人と人の繋がりを深める。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | 川サミット参加回数・参画団体数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 民間交流を促進する上で、町民の参加をどのように推進するかが課題である。 | 物産や民間交流の機会を増やしていく。 | 1・13 | 1・13 / 回・団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | スポーツ・健康まちづくり推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,330,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | スポーツ・健康まちづくり宣言~笑顔っていいよね~を具現化するため、企業等と連携したプロジェクト「みなかみハピネス計画」による統一的なイメージを持たせた事業を展開する。 | 各種事業内容の再検討を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交流連携の強化 | | | ハピネス計画賛同参画企業数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 観光振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 9 | | ハピネス計画スタートから年数が経ち、連携企業との契約が終了する等で事業内容を再検討する必要がある。 | R4年度で本事業及び基金条例は廃止を行い、継続する事業についてはそれぞれ他の事業で行う。 | 2 | 1　社 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 町のうた推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 44,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 新町5周年を迎えるに当たり、町民から歌詞を公募し、平成21年10月に条例で町の歌が制定された。曲名は「ふる里みなかみ」と「心の旅」である。<br>町のうたを媒体として全国に町を宣伝する。 | 平成22年11月より、水上駅、後閑駅の発車ベルのメロディーとして使用する覚え書きをJR東日本高崎支社と締結した。防災無線のメロディーとして令和4年10月まで使用していた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | PR活動回数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 親善大使を使ったPRイベントは、費用が掛かる。別の方法で歌を広めていくことを考える。 | 条例で定められた町の歌として周知・活用をしていく。 | 0 | 0　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 地域連携事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 369,600 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | ①舞台芸術によるまちづくり実践事業　②東日本連携センターイベント使用料　③北関東・新潟地域連携軸推進協議会への参加 | 東日本連携センターを活用して町の特産品（さくらんぼ・ブルーベリー・りんご・野菜などの地場産品）をPRするため「みなかみ町の夏の味覚展」、「みなかみ秋の味覚展」年間2回定期的に開催した。このイベントには、道の駅・商工会・観光協会・谷川岳インフォメーションセンター・町内の事業者など各方面から参加した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | 公演支援、イベント開催、研修会、意見交換会 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 8 | | 関係団体との密接な連携 | 東日本連携フォーラムにおいて決定された連携都市間との共同事業に積極的に参画することで関係各都市へ向け広く町の情報発信を行う。 | 2 | 2　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 友好都市交流事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,521,904 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 本町と友好都市提携を締結している団体等が実施する各種イベントに参加し、町の魅力や観光資源をPR、農産物や加工品など生産者が直接出向くなど人と人の交流を行う。 | コロナ禍であったが、秋になると友好都市との交流イベントが復活してきた。各市町村に出向き特産品の販売を行った。事業者交流会が再開したし、年度末には、3年ぶりに台湾からの旅行客が訪れた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交流連携の強化 | | | ・友好都市交流38回・友好都市 6市町村 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 8 | | 友好都市からの交流人口の増加を進めていくことが課題である。 | 友好都市の都市住民と町民の民間同士の交流を発展させる。 | 19・6 | 38・6　回・団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 地域間交流事業費補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 200,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 町の豊かな自然や多様な歴史、伝統、文化、産業等を活かし、創造的、個性的な地域づくりのために実施する地域間交流事業に対し、補助金を交付する。 | コロナ禍以前に行われていたサッカーフェスティバルが再開した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 交流連携の強化 | | | 交流事業件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 8 | 補助事業の内容の周知と他の助成金との調整 | 現状のサッカーフェスを継続していくと共に、新たなイベントの誘致を目指す。 | 0 | 1 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 高原千葉村施設等活用事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 25 | 交流連携の推進 | 施設廃止により令和3年1月1日より民間に土地建物の貸付契約を行い、健全な運営ができるようにサポートしていく。 | 令和3年度よりキャンプ場としての運営を始めることができた。PCBについては、令和4年度当初予算に盛り込み、来年度処理する予定。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 交流連携機会の創出 | | | 利用者人数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 8 | 施設の適切な保全と民間事業者の創意工夫による施設運営が課題である。また、低濃度のPCBが残っているため、早急に処理をする必要がある。 | PCBの処分を実施した。 | 3,610 | 3,892 / 人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 7 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | V | 地域をささえるひとづくり | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |
| 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 関係課 | 地域整備課　用地・管理係 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | ①町民<br>②町外の人 | ①町で暮らし続ける。<br>②町に移住する。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 町の魅力と情報の発信 | 町民、町外の人 | 町の魅力を知り、住みたいと感じる。 |
| | 2 | 移住定住環境の整備 | 町民、町外の人 | 居住するための条件が整う。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

**施策の基本方針**

・移住定住に関する情報提供や相談体制を整えるなど、町の魅力発信を強化します。
・空き家等を活用した住宅や宅地の供給や移住定住を支援するための新たな制度を創設するなど、移住定住しやすい環境を整備します。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 転入者数/転出者数 | 人 | 実績値 | 422/600 | 401/555 | 411/580 | 384/549 | 472/593 | 450/528 | 498/596 |
| | | | 目標値 | | 430/615 | 423/610 | 427/595 | 430/580 | 433/565 | 436/550 |
| B | 移住に関する相談件数 | 件 | 実績値 | 33 | 25 | 63 | 86 | 191 | 166 | 173 |
| | | | 目標値 | | 30 | 35 | 50 | 66 | 82 | 100 |
| C | 移住者数/移住世帯数 | 人/世帯 | 実績値 | 66/29 | 63/28 | 64/28 | 26/15 | 50/18 | 64/30 | 46/24 |
| | | | 目標値 | | 69/30 | 69/30 | 69/30 | 69/30 | 92/40 | 115/50 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため成果指標とした。
総務省の住民基本台帳関係年報調査票により把握
B）相談件数の増加により、町への移住を考える人への情報発信ができているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
C）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため成果指標とした。
「転入」窓口アンケートにより把握
※令和元年度までは町民福祉課及び各支所の窓口における転入手続き時の「転入アンケート」の集計結果を指標として目標値を設定している。任意のアンケートであるため、窓口の来客等の状況によっては提示・回収が不規則となり正確な把握が困難となる。また、移住したきっかけが町の移住支援を受けてのものかは把握できないことから「みなかみ町移住支援が効果的であったか」の検証もできない状況であった。よって令和2年度から指標を「町の支援を受けた移住（空き家バンク補助、子育て住宅補助、新幹線通勤費補助、移住支援金、移住オンライン相談・窓口相談・アテンドで移住した人など）」を指標の実績値としている。

**目標値設定の考え方**

A）成り行きでは、転入者は減少するため若者の定住しやすい環境を整備し2022年度436人を目指す。また、転出者は2022年度、成り行き値600人となるため550人に止めたい。
B）相談件数が増加すれば、移住件数も増加するため2022年度100件を目指す。
C）成り行きでは、横ばいのため2022年度には115人、50世帯の移住者を目指す。

**施策の目的・目標達成のための役割分担**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・町に住み続ける。<br>・移住者の周辺住民は、移住者が地域にとけ込みやすい環境をつくる。 | ・住む場所として、町を選んでもらえるような情報の提供や支援を行う。<br>・「群馬県地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課」「ぐんま暮らし支援センター」「移住・交流情報ガーデン」と連携した移住情報の提供を行う。<br>・移住相談窓口を充実させ、ワンストップで対応できるようにする。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・日本の人口は2011年（平成23年）頃から自然減に突入しており、一方で首都圏への一極集中は続いている。<br>・2014年（平成26年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、全国的に移住が促進され、市町村間の競争が激しくなっている。<br>・「空家等対策推進特別措置法」の施行により、空き家等の有効活用が求められる。<br>・群馬県より移住・定住者の定義について、統一的な見解が示され、R元年度よりそれを踏まえたアンケートを行っている。<br>・令和2年3月にJR東日本企画と包括連携協定を締結した。<br>・町では令和元年度に第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。<br>・令和3年度観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」モデル地域として採択。ワーケーションプログラム、情報発信ツールの開発 | ・若者の転出を憂慮し、働きたい・魅力ある雇用の場を確保してほしいとの意見が多くある。<br>・「空き家の情報が少ない」「若者が定住できるまちづくり」などの意見がある。<br>・賃貸物件が少ない、あっても古い、町営住宅もあるが制限があることから入居できないなど魅力的な賃貸住環境の提供ができていない。 |

| 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①住民基本台帳の転入者数は、令和2年度472人、令和3年度450人、令和4年度498人である。転出者数は、令和2年度593人、令和3年度528人、令和4年度596人である。転入から転出を差し引いた社会増減数は、令和2年度△121人、令和3年度△78人、令和4年度△98人と推移している。<br>②移住定住に関する相談件数は、年々増加し、令和2年度191件、令和3年度166件、令和4年度173件となっている。移住への関心が高まっていることが考えられる。<br>③移住者数は、令和2年度50人、令和3年度64人、令和4年度46人で、移住世帯数は令和2年度18世帯、令和3年度30世帯、令和4年度24世帯である。<br>令和元年度以前の移住者数の把握方法は、町民福祉課の転入者を対象とした窓口アンケートを実施していたが指標にするには精度が低く、また、移住したきっかけが町の移住支援を受けてのものかは把握できないことから「みなかみ町移住支援が効果的であったか」の検証もできない状況であった。令和2年度から「町の支援を受けた移住」に指標を切り替え、空き家バンク補助、子育て住宅補助、新幹線通勤費補助、移住支援金、移住オンライン相談・窓口相談・アテンドの集計を実績値としている。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①令和4年群馬県移動人口調査結果(令和3年10月～令和4年9月)による人口増減率(社会増減＋自然増減)を県内で比較すると、県内市町村平均△0.68%のところ、本町は△1.99%と県下27位(ワーストワンは高山村の△5.26%)、近隣市町村は、沼田市△1.43%(23位)、片品村△2.47%(30位)、川場村△1.52%(24位)、昭和村△0.15%(6位)である。<br>②令和4年の人口に対する転入者の割合を県内で比較すると、県内市町村平均3.8%のところ、本町は3.46%で県内20位、近隣市町村は、沼田市3.08%(25位)、片品村3.42%(22位)、川場村1.87%(33位)、昭和村6.7%(4位)である。<br>③令和4年の人口に対する転出者の割合を県内で比較すると、県内市町村平均3.74%のところ、本町は3.9%と県内では16位、近隣市町村は沼田市3.46%(22位)、片品村4.26%(12位)、川場村2.57%(34位)、昭和村5.84%(5位)である。結果的に人口に対する転出者数が県内他市町村と比較して高く、逆に転入者数が少ないことで社会減少率が高い傾向にある。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>☑ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①転入者数は目標値436人に対し、498人と62人多く、転出者数は550人に対し、596人で、46人上回った。総数では、目標値114人の転出超過に対し、98人と目標値を低い数値で推移した。しかし、恒常的な社会減少は続いている。<br>②相談件数は目標100件に対し、173件となり目標を大きく上回った。また、移住相談から現地アテンド、SNSを活用した日々の相談など伴走しながら移住を実現することで効果は出ている。また伴走支援の中で新幹線通勤費補助金、移住支援金、空き家等活用促進補助金を案内することで活用に結びついた。<br>③移住者数・世帯数は目標を下回る結果となった。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 町の魅力と情報の発信 | A | 移住定住に関する町ホームページへの延べアクセス件数 | 件 | 実績値 | 40,000 | 39,808 | 40,824 | 33,605 | 51,897 | 33,400 | 39,780 |
| | | | | | 目標値 | | 40,000 | 42,000 | 44,000 | 46,000 | 48,000 | 50,000 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 移住定住環境の整備 | A | 住み続けたいと思う町民の割合 | % | 実績値 | 67.6 | 69.2 | 66.0 | 64.9 | 64.9 | 62.1 | 63.9 |
| | | | | | 目標値 | | 68.0 | 68.0 | 68.5 | 69.0 | 69.5 | 70.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 町の魅力と情報の発信 | 移住に関する情報発信の充実 | 移住コンシェルジェを活用した受け入れ体制を充実する。住まいの案内、住宅供給の安定化を図るための新規整備、空き家利活用、分譲・発掘を積極的に取り組む。移住相談会については、東京での相談会の他、リモートによるweb相談会を実施し、移住視察時の地域のつながりを作るアテンドを行う。また相談者のタイミングに合わせたSNS活用のどこでも、いつでも相談できる体制を継続する。 |
| 2 | 移住定住環境の整備 | ①移住定住者向けの住環境整備<br>②移住定住に向けた新しい働き方の普及と起業支援 | ①空き家調査の成果を活用し、空き家バンクの登録件数を増やす。また、需要の多い賃貸物件の空き家バンクへの登録を促進し、移住を支援する。空室となっている町営住宅を有効に活用するため、用途廃止を計画的に進め、若者世帯及び若年者の定住促進を図る。<br>遊休町有地・民有地を活用した官民連携型の定住促進住宅の建設を実施し、さらに賃貸入居者が将来、町内で新築住宅を建設するための土地の提供を行う。<br>②テレワークセンターminakami、さなざわのテラスにサテライトオフィスやテレワーカーの誘致を図る。さらに若年層や任期終了後の地域おこし協力隊員の定住が進むようローカルベンチャー創出育成支援事業を推進することで、必要な支援を行う。また、新幹線通学支援金制度の普及及び産業振興を図る事業継承を推進する。 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 特定地域づくり事業協同組合支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,666,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 26 | 移住定住の促進 | 町内においてマルチワーカー（季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事）に係る労働者派遣事業を行う事業協同組合の運営に対して、財政的に支援を行う事業。設立支援においては1／2、運営経費の支援においては3／4が、国の交付金及び特別交付税によって措置される。（根拠法令：人口急減地域特定地域づくり推進法）<br>本制度を活用することで、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場をつくり、地域内外の若者等の移住・定住の促進と地場産業の活性化を推進する。 | 少子高齢化、人口減少が進む過疎地域において、移住・定住を含む新たな働き方の創造と労働力の確保を図るため、県内第一号となる特定地域づくり事業協同組合を設立した。 | 事業実績 | |
| | 基本事業 02 | 移住定住環境の整備 | | | 雇用者数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | 本町の労働特性として、冬季、夏季に必要な労働力のピークがあるが、パート、アルバイトの短期労働者に依存しているため通年雇用による安定的な雇用、移住・定住に結び付いていない。 | 早期に従業員が採用され、二極化しているピーク時を繋ぐ新たな働き方のモデルを実現すると共に、移住・定住セミナー等において移住先での職の提供を行う。 | 0 | 0 / 名 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 移住機会創出事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 17,199,990 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 26 | 移住定住の促進 | 住環境を整備して移住者を呼び込み、町の自然や魅力に触れあってもらうことで定住につなげる。空き家バンクによる土地・建物を商品化し、活用できる物件はホームページ等でPRする。 | 後閑地内、旧老人センター跡地を官民連携による定住促進住宅事業の開始をため、企画案を作成し、事業化を図った。今後は公募型プロポーザルを実施する。 | 事業実績 | |
| | 基本事業 01 | 町の魅力と情報の発信 | | | 定住者数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | 移住者を定住につなげるためには、どのような仕組みをつくれば良いか。<br>そのためには、先進地の情報を数多く集め、参考にしながら町の魅力を高める必要がある。 | 賃貸住宅の供給を上げるため、賃貸物件建築を対象とした補助事業の整備。その後、定住を図るために市街地を中心とした分譲地化も併せて行うことで良いバランスとなりライフイベントごとの住宅供給を可能とする | 64 | 46 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 空き家等活用促進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,417,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 26 | 移住定住の促進 | ・町内に存する空き家等の有効利用を通して町民と町外居住者等の交流拡大及び定住促進を図るため、空き家バンク制度を設置し空き家・空き地の情報を広く公開するもの。公開は町のホームページに掲載し周知を図る。<br>・空き家等の物件の取引は群馬県宅地建物取引業協会沼田支部等の協定を締結した団体に仲介を依頼する。<br>・物件の購入及び賃借を希望する場合はホームページを閲覧し、興味のある物件の仲介をする空き家バンク制度に登録する不動産業者に連絡する。<br>・物件を売却及び賃貸を希望する場合は該当物件を空き家バンクに登録し情報を公開する。 | 物件登録数を増やすために、H27から事前調査委託料を確保した。今後、活動量、町広報での情報提供依頼を随時行う必要がある。 | 事業実績 | |
| | 基本事業 02 | 移住定住環境の整備 | | | 物件成約数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | 「空き家バンク登録物件新規開拓業務委託」を実施。町内空き家所有者288件にアンケート送付、内109件の現場確認、所有者電話ヒアリングを行い空き家バンク物件登録促進、課題抽出を行った。 | 町内の空き家の状況を随時確認。利活用できる物、できない物で線引きが必要。さらに需要のあるエリアを選定し、そのエリア内にある空き家所有者に空き家利活用を促す。 | 19 | 14 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 地域おこし協力隊事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 60,156,380 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 施策 26 | 移住定住の促進 | 都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方自治体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み。 | 定住率がKPIとして考えるのであれば任期中のフォローが重要であり、任期終了後の職と住まいの問題を解決する必要がある。受入団体・協力隊をコミュニケーションを取り、任期終了後に引き続き団体で活動する者や起業をした者が出てきた。令和4年度現在の定住率は58%。全国でみると53% | 事業実績 | |
| | 基本事業 01 | 町の魅力と情報の発信 | | | 地域おこし協力隊隊員数（4月1日現在） | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | 直ぐに成果が現れる事業ではないので、今後は隊員数を増やし、様々なメニューでの活動を進めることが必要である。 | 協力隊の増加とともに業種も幅広くなっている。観光や教育、農業など主管課が責任を持ちながら「町事業の推進を行う上で協力隊と連携を図る」という思いで事業を進めていく必要がある。そのためには協力隊事業のとりまとめをする企画課と事業を進める主管課と分けていく必要がある。 | 12 | 14 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000014 | 新幹線通勤通学支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,291,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 本町への移住を促進するため、移住者を対象として、通勤手当等でサポートされない部分の新幹線通勤費の補助を行う。 | リモートワークなど実施している移住検討者との相談の中、他市町村と差別化するために補助事業の案内を行った。結果、移住者を増やすきっかけになり、申請者数も増えてきている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 移住定住環境の整備 | | | 補助金交付件数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | | 首都圏で生活をする若年層、子育て世代等に向けて有効な事業周知を行う必要がある。事業の説明だけではなく、本町に移住することで得られる新たなライフスタイルを伝えられるかが課題である。 | 通学費補助金内の定住応援奨励金の対象者に不公平感が生じているため是正する必要がある。また、移住業務は企画力などが必要な場面が多々あることから決まった固定化された事務である補助事業はシステム化を図り簡素化する必要がある。 | 6 | 7 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | ふるさとテレワーク推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,511,801 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 26 | 移住定住の促進 | ①新しいヒトの流れ（本町に何度も繰り返し訪れてもらう）、②地場産業の活性化（都市部企業等の専門スキルの活用により、地域課題を解決させる、本町の地域資源を活用した地域ビジネスを創出する。）、③遊休資産の活用（都市部企業等の勤務先・常駐先として、町内の遊休資産を活用する。）を目的としてサテライトオフィスの誘致を行う。 | 主となる拠点であるテレワークセンターMINAKAMIが都市計画用途地域内(第一種低層居住地域)であることから事務所機能を設けるため、建築基準法48条許可を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 町の魅力と情報の発信 | | | 利用テレワーカー数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 移住・交流推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | | 施設を整備しただけでは都市部からの誘致は不可能。みなかみならではの魅力（そもそも都市部人材にとっての魅力とは？）を見出し、どのように伝えていくかが課題である。 | 令和5年度からテレワーク拠点として新たに周知を図るとともに施設環境の整備を行っていく。 | 1438 | 140 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 町営住宅長寿命化事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 37,884,400 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 公営住宅等長寿命化計画作成指針に基づき町営住宅長寿命化計画を策定、この計画により計画修繕を行い長寿命化を図る。 | 長寿命化計画で削減目標戸数を設定、計画修繕対象を減らしさらに対象予算の平準化を図った | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 移住定住環境の整備 | | | 長寿命化修繕工事数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 5 目 1 | | 公営住宅の戸数が多く群馬県からは管理戸数を減らす検討をするよう指示がある。今年度策定する長寿命化計画では用途廃止する住宅を選定する必要がある | 用途廃止や譲渡処分する棟を選択しその後の利用方法を検討していく | 3 | 3 / 棟 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 町営住宅維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 43,105,455 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 町営住宅の不具合や老朽化に伴う修繕を行い施設運営の継続性や一定水準の質の確保を図る。 | 長寿命化計画を策定し目標管理戸数及び用途廃止予定住棟を設定した | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 移住定住環境の整備 | | | 公営住宅の棟数（特公賃の棟数） | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 8 項 5 目 1 | | ストック推計プログラムの活用により当町における公営住宅の戸数が多いことが判明、令和3年3月に策定した削減計画により用途廃止する住宅を選定した。 | 長寿命化計画に定める計画修繕を実施する。また、譲渡の見込める住棟を優先し、用途廃止に向けた取り組みを行う。 | 42（4） | 42（4） / 棟 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 町営住宅運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 31,609,189 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 職員数の減少のため公営住宅法47条管理の特例を適用し群馬県住宅供給公社に管理代行委託することにより町職員の事務負担の軽減を図る | 委託先に指導を継続して行った | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 移住定住環境の整備 | | | 町営住宅入居戸数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 5 目 1 | 住民（入居者）サービスの質の低下を招かないよう委託先に指導を徹底していかなくてはならない。 | サービスの質を維持するために必要な住戸の集約を図る | 318 | 308 / 戸 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000016 | 移住定住促進住宅維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 340,684 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 26 | 移住定住の促進 | 町営住宅の空き部屋を用途廃止し、当町に定住を希望する低所得者以外の者に期間限定で賃貸借することで移住定住を促す。 | インターネットや広報にて周知を図った | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 移住定住環境の整備 | | | 定住促進住宅管理戸数 | |
| 組織名 | 地域整備　課 | 用地・管理　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 8 項 5 目 1 | 単身者を入居可能にしたため満室となったが、定住に結びつくのかどうか疑問が残る。 | 最長7年間は入居可能なため、継続して維持管理を行う。 | 6 | 6 / 戸 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 21 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | V | 地域をささえるひとづくり | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |
| 施策 | 27 | 町民による地域づくりの推進 | 関係課 | | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町民 | 地域づくりを担う。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 地域づくりを担う意欲の向上 | 町民 | 自ら地域づくりを担う意識が高まる。 |
| | 2 | 担い手の育成 | 町民 | 地域づくり活動のリーダーを輩出する。 |
| | 3 | 活動しやすい環境づくり | 町民 | 地域づくり活動をしやすくなる。 |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・少子高齢化に対応した地域活動の継続とともに、更なる充実を図るため、町民の地域づくりに対する理解を深め、担い手の育成と取り組みやすい環境づくりを推進します。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | 地域づくり活動に関心を持っている町民の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 48.2 | 50.0 | 46.6 | 47.7 | 45.5 | 50.8 |
| | | | | 目標値 | | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 |
| | B | 地域づくり活動に参加したことがある町民の割合 | % | 実績値 | 44.7 | 57.0 | 59.8 | 58.5 | 51.1 | 50.2 | 51.4 |
| | | | | 目標値 | | 50.0 | 60.0 | 63.0 | 66.0 | 70.0 | 70.0 |
| | C | まちづくり活動補助金を活用した事業件数 | 件 | 実績値 | 14(※1) | 37 | 57 | 59 | 53 | 41 | 42 |
| | | | | 目標値 | | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成につながると考え成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※あなたは今後、地域づくり活動を行ってみたいと思いますか。→「はい」と回答した人の割合<br>B）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成につながると考え成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※過去1年間に、地域づくり活動を行ったことがありますか。→「はい」と回答した人の割合<br>C）事業件数が多ければ、活動が活発に行われていると考え、成果指標とした。<br>まちづくり団体活動支援補助金等、国・県・町補助金の活用事業件数<br>（※1については、まちづくり団体活動支援補助事業とコミュニティ助成金事業のみの実績件数である。） |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A）地域づくり活動に関心を持つ住民は比較的多いと推測される。内容をよく理解し、また関心を持ち続けてもらえるよう、目標値80.0%とした。<br>B）道路清掃（道普請）やお祭りなど地域で行う活動に参加する町民は多いが、自主的な地域づくり活動に参加する町民は少ないと推測される。啓発活動やリーダーの育成を進めることにより、地域住民が主体となって行う地域づくり活動が増え、参加者も増加すると考え、目標値70.0%とした。<br>C）町独自の活動補助金を活用して、安定的に事業を行える環境づくりを目指すため、申請件数が減少せず横ばいで推移していくと考え、目標値を40件とした。 |

| 施策の目的のための役割分担・目標達成 | 1．町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2．行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・地域づくりへの関心や意識を高め、地域コミュニティやテーマコミュニティなどの活動に積極的に参加する。<br>・地域の課題解決に向けた取り組みや、ニーズに沿った活動を地域住民が主体となって行う。 | ・地域コミュニティやテーマコミュニティの住民自治活動を支援する。<br>・町民や地域づくり団体に国や県の地域づくりに関する補助金助成制度を周知するとともに、町独自の支援制度を通して地域づくり活動を支援する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1．施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2．施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・著しい人口減少や急速な少子高齢化により、地域の草刈りや祭りなどの行事を継承することが困難になり、コミュニティの維持が懸念される。<br>・若者の流出や少子化に伴い、コミュニティのリーダーが不足する可能性がある。<br>・地域づくりに対する国及び県費補助金の予算が減少する傾向にあるが、合併振興基金を活用した町独自の各種支援制度が充実してきた。<br>・ここ数年、町民の地域づくりに対する意識が向上し、自助・互助・共助の精神が見直されつつある。 | ・地域コミュニティの継続が困難になりつつあるとの意見が寄せられている。<br>・まちづくりの定義や活動内容のとらえ方が人によって異なり、その結果、まちづくりとは何なのか分からないとの意見もある。<br>・「きれいな花のある町」「花苗の配布」などの活動に対して、事業を継続して欲しいとの意見がある。 |

| 施策 | 27 | 町民による地域づくりの推進 | 主管課 | 名称 | 企画課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 小池　俊弘 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>☐ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①地域づくり活動に関心を持っている町民の割合は、令和元年度46.6%、令和2年度47.7%、令和3年度45.5%、令和4年度50.8%で前年比5.3ポイント増加した。<br>②地域づくり活動に参加したことがある町民の割合は、令和元年度58.5%、令和2年度51.1%、令和3年度50.2%、令和4年度51.4%と対前年比1.2ポイント増加した。<br>③まちづくり活動補助金を活用した事業件数は、令和元年度59件、令和2年度53件、令和3年度41件、令和4年度42件で前年度と比べ1件増加した。コロナ禍の影響もあり、イベント等の実施については実施時の感染状況を考慮し判断している。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☐ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①近隣市町村で「まちづくり基本条例」を制定しているのは、みなかみ町だけである。県内では太田市、玉村町、伊勢崎市が自治基本条例等を制定している。<br>②まちづくり協議会の補助金は、みなかみ町の独自の制度である。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☐ 目標値を多少下回った。<br>☑ 目標値を大きく下回った。 | ①地域づくり活動に関心を持っている町民の割合は、目標値80.0%に対し50.8%であった。<br>②地域づくり活動に参加したことがある町民の割合は、目標値70.0%に対し51.4%で、コロナ禍の影響もあり事業実施時点での、感染状況により中止となるイベント等もあった。<br>③まちづくり活動補助金を活用した事業件数は、目標値40件に対し42件であった。まちづくり協議会が33件（全体事業2件、月夜野支部13件、水上支部7件、新治支部11件）、一般コミュニティ助成事業が1件、地域コミュニティ施設整備補助事業6件（高日向・上石倉・今宿・笠原・鹿野沢・小川区水沼）、まちづくり活動団体支援事業が2件であった。 |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域づくりを担う意欲の向上 | A | まちづくり団体活動支援補助金の申請件数 | 件 | 実績値 | 14 | 10 | 12 | 10 | 8 | 5 | 2 |
| | | | | | 目標値 | | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 担い手の育成 | A | リーダーの人数（町内のNPO法人） | 人 | 実績値 | 19 | 19 | 17 | 17 | 18 | 17 | 18 |
| | | | | | 目標値 | | 30 | 30 | 30 | 32 | 32 | 32 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 活動しやすい環境づくり | A | 活動しやすいと感じている団体リーダーの割合　※2019年度から調査実施 | % | 実績値 | 実績なし | － | － | 25.0 | 66.7 | 71.4 | 68.0 |
| | | | | | 目標値 | | 55.0 | 60.0 | 65.0 | 70.0 | 75.0 | 80.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み（案） | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域づくりを担う意欲の向上 | 多くの団体が構成員の高齢化に不安を抱いている。また、団体設立から10年～20年経過する団体が70%を占め、活動の評価、見直し、改善ができないとの課題を感じている団体もある。 | 総務省や内閣府等が作成する「団体活動の手引き」や「事例集」等を活用し、内発的な取組の改善を図り、住民ニーズに則した活動を展開することで、構成員の意欲の向上に取り組む。<br>また現在実施している活動を、SDGsの視点から評価し、自らの活動が「すべての人を取りこぼすことのない持続可能な取り組み」につながっていくか認識し、意欲の向上につなげていく。 |
| 2 | 担い手の育成 | 地域づくり活動に参加をしたことがある人の割合は、新型コロナウィルス感染症の影響もあり、51.4%と回復しきれていない。各団体の取組をアピールする手法や団体間連携により、関係する住民を多少なりとも増加させ、参画意識の向上、更には新たな担い手となるべく人材の発掘が課題と考える。 | SDGsの視点で自らの活動を評価できるよう、まちづくりに携わるメンバーの研修会を実施し、SDGsへの理解度を向上させる。<br>また、固定的なメンバーで活動するだけでなく、各団体間で相互にイベント開催の案内を行うなど、新たな関係者の洗い出しに力を入れるほか、地域住民だけでなく、外部人材をコーディネーターとして招聘し担い手となる住民の育成支援を行っていく。 |
| 3 | 活動しやすい環境づくり | 各団体が取り組む活動内容を広く周知することが理解と関心を生み出すものと考える。町広報誌やホームページ、SNS等を活用し、町として支援するべく広報活動の在り方を模索したい。 | 活動に対する広報活動や普及活動に対する指導・助言を行える人材による相談会の開催、県NPO支援室等の活用を提案していきたい。<br>花苗の配布を「協働のまちづくり」として位置付け、継続していけるよう実施方法の検討を進める。 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | コミュニティ助成事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,080,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 27 | 町民による地域づくりの推進 | 自治総合センターが補助しているコミュニティ助成事業に採択された自治会等への補助および、群馬県市町村振興協会が補助しているコミュニティ助成事業に採択された自治会等への補助 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 活動しやすい環境づくり | | | 事業採択件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 特になし | 自治総合センター及び群馬県市町村振興協会の助成金事業が継続する限りは町も継続する。 | 1 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 地域コミュニティ施設整備補助事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 4,830,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 27 | 町民による地域づくりの推進 | まちづくりを支え合う自主的及び自立的なコミュニティ活動を支援するため、その活動の拠点となる施設整備事業を補助する。<br>補助金の上限1,000千円（補助率3/5）<br>まちづくり事業審査会により審査実施 | 内規を定め、一度申請すると5年間は申請できない旨伝えている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 活動しやすい環境づくり | | | 交付（申請）件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 同じ行政区からの補助要望が多い。 | 制度等の周知を図り、申請内容の速やかな審査により円滑な事業の実施を支援する。 | 0 | 6 / 件 |

令和　5　年　7　月　3　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | まちづくり団体活動支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,529,999 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 27 | 町民による地域づくりの推進 | まちづくりを支え合うコミュニティ活動を支援するため、自発的な発案による地域の課題解決のためのまちづくり事業に対して補助金を交付する。<br><まちづくり団体補助金＞補助金の上限100千円（補助率10/10）<br><まちづくり協議会補助金＞補助金額900万円 | 統一ルールは、支部ごとに運営方法等に違いがあるため、現段階では調整することが難しい。そのため、3支部連携による全体事業を実施し、連携体制の構築を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 活動しやすい環境づくり | | | まちづくり活動補助金を活用した事業件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | まちづくり協議会運営に関する統一ルールづくりが必要である。 | 3支部連携による全体事業を継続的に実施し、連携体制の強化を図る。 | 34 | 32 / 件 |

令和　　年　　月　　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 地域づくり協議会等参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,199,448 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 27 | 町民による地域づくりの推進 | 群馬県地域づくり協議会会費負担金<br>全国山村振興連盟群馬県支部負担金<br>利根地方総合開発協会負担金<br>地域活性化センター負担金 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 活動しやすい環境づくり | | | 協議会等出席回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 課題なし | － | 1 | 1 / 回 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 5 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | VI | 効率的で効果的な行政運営 | 主管課 | 名称 | 財政課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　市治 |
| 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 関係課 | 税務会計課 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 町の財政 | 計画的に運営される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 積立基金の活用 | 積立基金 | 効果的に活用される。 |
| | 2 | 財源の確保 | 財源 | 確保される。 |
| | 3 | 公共施設の効率的な運営 | 公共施設 | 効率的に運営される。 |
| | 4 | 町有資産の利活用による財源の確保 | 普通財産（土地） | 有効活用される。 |

**施策の基本方針**

・自主財源の安定的確保と財源の効率的な活用を図りながら、計画的な財政運営を推進します。
・非効率的な公共施設の管理や運営を見直すとともに、統廃合等を推進し、公共施設の有効活用を図ります。

**施策の成果指標**

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 積立基金現在高（普通会計） | 百万円 | 実績値 | 7,947 | 7,878 | 7,393 | 7,353 | 7,182 | 7,878 | 8,304 |
| | | | 目標値 | | 7,616 | 7,103 | 6,433 | 5,634 | 5,015 | 4,479 |
| B | 公共施設数（インフラ施設を除く） | ㎡ | 実績値 | 実績なし | 192,495 | 192,721 | 201,645 | 201,262 | 234,508 | 230,162 |
| | | | 目標値 | | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

**指標設定の考え方と実績値の把握方法**

A）積立基金現在高の推移により、財政運営状況を表す指標として適切であるため成果指標とした。また、他団体との比較もしやすい。
B）公共施設（道路や上下水道管路等のインフラ施設を除く）の面積の推移により、施設運営状況を表す指標として適切であるため成果指標とした。

**目標値設定の考え方**

A）歳出及び歳入決算額の見込値の積算に連動して算出。行財政運営の構造改革の段階的な実施により歳出削減を推進し、積立基金現在高の減少を抑制する。
B）公共施設の統廃合を推進し、施設数の削減に努める。2018年度以降に個別施設計画を策定し、具体的な目標値を設定する。

**施策の目的のための役割分担・目標達成**

| 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|
| ・税金や使用料・保険料・負担金等を自主的に完納する<br>・町の財政運営に関心を持ち、財政状況を知る。 | ・最小の経費で最大の効果を上げられるよう、コスト、経営意識を持ち、バランスのとれた財政運営を行う。<br>・財政の実態を分かりやすく公表し、税の意義や役割を正しく伝える。<br>・税収等の確保に努める。 |

**施策を取り巻く状況**

| 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|
| ・普通交付税の合併算定替による加算措置が令和2年度で終了、財政調整基金の一般会計繰り入れにより、財政調整基金残高は減少している。<br>・高齢化に伴い介護・医療など社会保障費が増加している。<br>・耐用年数が超過している町有建築物等が増加傾向にある。<br>・新型コロナウイルス感染症は、世界的なサプライチェーンの混乱を引き起こし、原油や食料などの価格が上昇した。ロシア・ウクライナ情勢は、原油や天然ガスなどの価格上昇につながり、輸送費の高騰も招いた。円安は輸入品の価格上昇を加速させた。<br>・地域経済や住民生活の支援のため、国は地方創生臨時交付金を地方自治体に交付し、町は緊急支援策を講じている。 | ・屋内型施設の整備、老朽化した町有施設の改修要望や議会（常任委員会）では施設の統廃合等を含めた行財政改革が喫緊の課題であるとの認識が持たれている。<br>・老朽化施設を改善して欲しい。<br>・補助金や助成金の使途について、透明性が求められている。 |

| 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 主管課 | 名称 | 財政課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　市治 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>☑ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>□ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①積立基金現在高は、平成29年度7,878百万円から令和2年度7,182百万円と減少傾向にあったが、令和3年度7,878百万円、令和4年度8,304百万円と前年対比で426百万円5.4%増加している。両年度とも新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、事業の停止による歳出抑制や寄附金等歳入の増加が要因である。ただし、特定目的金は増加しているが財政調整基金は前期計画当初から約13億円減少している。新たに創設した町立小中学校統合学校教育施設整備基金への積立を勘案しても、約6億円が減少している。今後の行政需要を適切に把握し、安定した財政運営を図る必要がある。<br>②公共施設数(面積)は、平成29年度192,495㎡から令和3年度234,508㎡と増加し、令和4年度は218,436㎡と16,072㎡減少した。令和4年度の減少は温泉街の施設解体が主な要因であった。この5ヶ年では旧高原千葉村及び湯原温泉街の再生に係る施設を取得し、山形県鼠ヶ関の町有地を譲渡するなど大規模な動きがあった。町の財政状況を勘案すると、更なる未利用財産の貸付や譲渡に取り組み、また、目的を達成した施設や老朽化した施設等は、統廃合などを検討する必要がある。なお、動産については、官公庁オークションを利用して2件の売却を行った。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>☑ ほぼ同水準である。<br>□ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①令和2年度の住民1人あたりの積立基金現在高は本町393千円、県内町村317千円、沼田市92千円、片品村425千円、川場村411千円、昭和村731千円である。<br>令和3年度の住民1人あたりの積立基金現在高は本町439千円、県内町村353千円、沼田市114千円、片品村523千円、川場村438千円、昭和村872千円である。<br>②住民1人あたりの公共施設面積(㎡)は、平成29年度末9.99㎡(沼田市6.00㎡)、令和2年度末11.10㎡(沼田市6.07㎡)、令和3年度末13.21㎡(沼田市6.06㎡)と、近隣地方公共団体と比較して上昇率が高い傾向にある。<br>【※算出方法:財産に関する調書:公有財産_建物面積合計／年度末現在の住民基本台帳人口】<br>この5ヶ年の時系列で比較しても、沼田市がほぼ横ばいに対して、町は3.22ポイント増加している。ともに住民基本台帳人口は減少傾向にあるが、公有財産の建物面積合計は沼田市が減少しているのに対し、みなかみ町は大幅に増加していることが要因となっている。保有施設の適正化のため、今後も統廃合や除売却など含めた有効活用等を進める。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>☑ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>□ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①積立基金現在高は、目標値の4,479百万円を3,825百万円上回り8,304百万円となった。主な要因は、国税収入の補正に伴い実施された再算定よる地方交付税の増額及び寄附金等である。また、新型コロナウイルス感染拡大対策の影響により予定していた事業の一部が、未実施や規模縮小となり一般財源が抑えられたためである。<br>②毎年度減少させる目標に対して基準年度以降は財産が増加していることから、目標を下回っている。旧高原千葉村の施設取得、中学校統廃合のための施設整備及び除却を予定している温泉街の宿泊施設取得が主な要因となっている。また施設の削減については老人センターや第三保育園等の除却を実施している。<br>施設等の削減に努めているが、政策的判断により数字的には成果が向上していない結果となっている。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 積立基金の活用 | A | 積立基金繰入金 | 百万円 | 実績値 | 329 | 843 | 1,059 | 952 | 1,030 | 427 | 601 |
| | | | | | 目標値 | | 831 | 1,013 | 1,170 | 1,299 | 1,119 | 1,036 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 財源の確保 | A | 町税徴収率(現年課税分/滞納繰越分) | % | 実績値 | 97.2/5.1 | 97.7/10.8 | 97.9/4.5 | 97.8/4.4 | 95.3/5.2 | 98.1/17.3 | 97.7/5.2 |
| | | | | | 目標値 | | 97.5/10.0 | 97.7/10.8 | 98.0/11.5 | 98.1/11.6 | 98.2/11.7 | 98.3/11.8 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | 公共施設の効率的な運営 | A | 公共施設削減率(普通財産・建物) | % | 実績値 | 実績なし | 7.45 | 4.83 | △ 113.3 | △ 1.18 | 0.0 | 0.0 |
| | | | | | 目標値 | | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | 町有資産の利活用による財源の確保 | A | 普通財産(土地)売却面積(単年) | ㎡ | 実績値 | 実績なし | 296.4 | 26.0 | 2,279.7 | 3,065.0 | 10,771.9 | 174.8 |
| | | | | | 目標値 | | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ |
| | | B | 普通財産(土地)貸付面積(累計) | ㎡ | 実績値 | 341,224 | 341,237 | 259,721 | 261,181 | 262,699 | 268,529 | 271,652 |
| | | | | | 目標値 | | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ | ↗ |

## 今後の課題と取り組み(案)

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 積立基金の活用 | ①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の影響により基金全体額は増加したが、財政調整基金残高は漸減しているため、今後の行政需要を見込み適正な額を積み立てる必要がある。<br>②特定目的基金の計画的な活用を図る必要がある。 | ①財政調整基金残高の維持のため、財政、行財政改革両担当が連携を図り、財政運営の適正化のために計画の作成を進める。<br>②各基金の課題等の整理を行い基金を活用するための計画を作成し、計画的に運用する。 |
| 2 | 財源の確保 | ①今後、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の縮減・廃止にあわせて、歳入歳出の改善策を検討する必要がある。<br>②安定的かつ適正な税源の確保を図る。<br>③将来にわたって継続的かつ安定的な行政サービスを提供していくため、地方税や交付税のほか、歳入を確保する。 | ①将来的に持続可能な行財政基盤を確立するため、中長期的な財政見通しをたて、財政健全化の取り組みを推進する。<br>②税の徴収は、県と連携し徴収率(収納率)の向上に努める。<br>③町の特色を生かした取り組みと、効果的な宣伝に努め、ふるさと納税制度(個人寄附及び企業版ふるさと納税)を活用し収入を確保する。 |
| 3 | 公共施設の効率的な運営 | ①保有する財産が増え、維持管理経費及び担当職員の業務も増加しており、財政的負担と、職員数減少により一人あたりの管理業務の負担が増えている。<br>②今後の新規投資(取得、建設)による町有財産の増加が維持管理費等のコスト増加を招く恐れがある。 | ①未利用施設の休止、廃止等を推進し、各施設の機能の重複を減らす方策など、施設に応じた具体的な取り組みを進めるとともに、可能な限り最小限の費用で維持管理する。<br>②新たに取得等を検討する財産については、必要性や妥当性及びライフサイクルコスト等を勘案し、優先的に着手する事項を判断する仕組みを検討する。 |
| 4 | 町有資産の利活用による財源の確保 | 学校統廃合等による空き施設の増加、人口減少や感染症対策による低利用施設の増加など、未利用・低利用財産等が増加傾向にある。 | 未利用等財産のうち、不動産については売却及び有償貸付等、活用を推進することで収入を得る。動産については、官公庁オークションを利用して売却を進める。 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000026 | 入札・契約管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 462,628 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 入札参加資格登録簿の整備、請負業者選定委員会の開催。<br>契約業務の指導助言、法令・通知等の情報提供。 | 入札参加資格者名簿の更新。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 審査会付議件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | 電子入札の普及啓発、客観点制度の充実、総合評価方式の導入、履行検査導入の検討 | 更なる電子入札の普及と推進を図る。 | 333 | 312 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | 予算編成・執行等管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,194,758 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | ・各課の予算要求を取りまとめ効果的な予算を編成。<br>・財務会計システム保守管理の業務委託。 | ・当初予算要求時に行財政改革推進係と連携した事務事業　ヒアリングの実施<br>・当初予算要求時に実施未定の事業は、内容や実施の可否　など再検討を行う期間を設けるため、予算要求を見送る　方法に変更 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 一般会計予算編成回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 3 | ・行財政改革基本方針に基づく予算編成の実施<br>・一般財源の削減 | ・財政調整基金に依存しない予算編成<br>・事務事業の平準化 | 6 | 9 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000033 | 新地方公会計整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,413,738 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）を整備・分析し、住民等へ公表する。 | より早く正確に財務書類を作成することを目的に、当該業務についてアウトソーシングを行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 作成財務書類数<br>（一般4表・全体4表・連結4表） | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 3 | 迅速かつ正確に財務書類を作成し、住民へわかりやすく公表することが求められている。 | 財務書類の活用方法について、調査研究を行う。 | 12 | 12 / 表 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 地方債元金償還事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,984,151,613 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 借り入れた地方債元金の償還。 | 実質公債費比率の分析や今後の数値の試算を随時行っている。<br>償還期間短縮前の借入が順次償還終了していくため、交付税措置額と元利償還金実額の差額は圧縮していき、実質公債費比率は段階的に改善する見込みである。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 償還額（一般会計） | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 12 項 1 目 1 | 償還期間短縮のため、すべての借入について償還期間10年（据置期間なし）としているが、償還期間短縮前と短縮後の借入について、現在、償還サイクルが一部重複していることや、交付税措置上理論値算入となる臨時財政対策債のウェイトが大きく、交付税措置額と元利償還金実額に乖離が生じていることなどが実質公債費比率を押し上げる要因となっている。 | 地方債は将来に負担を残す（後年度に返済金を残す）ものであるため、適正な借入及び償還計画を管理しなければならない。<br>事業の財源として活用しつつ、地方債残高を継続的に減少させるため、今後も、当年度の借入額は当年度の償還元金を上回らないよう管理していく。 | 19.9 | 19.8 / 億円 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000019 | 地方債利子償還事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19,291,391 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 借り入れた地方債利子の支払い。 | 実質公債費比率の分析や今後の数値の試算を随時行っている。<br>償還期間短縮前の借入が順次償還終了していくため、交付税措置額と元利償還金実額の差額は圧縮していき、実質公債費比率は段階的に改善する見込みである。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 償還額（一般会計） | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | 償還期間短縮のため、すべての借入について償還期間10年(据置期間なし)としているが、償還期間短縮前と短縮後の借入について、現在、償還サイクルが一部重複していることや、交付税措置上理論値算入となる臨時財政対策債のウェイトが大きく、交付税措置額と元利償還金実額に乖離が生じていることなどが実質公債費比率を押し上げる要因となっている。 | 地方債は将来に負担を残す(後年度に返済金を残す)ものであるため、適正な借入及び償還計画を管理しなければならない。<br>事業の財源として活用しつつ、地方債残高を継続的に減少させるため、今後も、当年度の借入額は当年度の償還元金を上回らないよう管理していく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 12 | 項 1 | 目 2 | 0.3 | 0.2 | 億円 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 固定資産税・都市計画税賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,121,195 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | ●固定資産税の賦課・徴収に関すること<br>●固定資産税課税台帳の整備に関すること<br>●固定資産税システムの保守管理・業務委託・借上に関すること | 土地・家屋の大量の課税台帳や、賦課徴収のデータ管理は電算によることが必須となる。より合理的な業務となるよう、調査・入力に取り組んだ。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 課税物件数（土地・家屋のみ。償却は集計不可） | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 税務　課 | 資産税　係 | 現体制での業務量は上限に近い状態にある。精度の高い均衡ある課税を行ため、適正な電算システムの利用・業務委託は不可欠である。更に合理性、効率性も求め高度な賦課を行う。 | 大量の課税データと評価情報の管理は、電算による管理が必須であり、適切に取り扱えるよう、事務能力・入力技術を向上させたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 | 項 2 | 目 2 | 11,511 | 11,549 | 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 固定資産課税客体調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 29,002,812 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 固定資産税・都市計画税の課税客体を把握、調査を行う。毎年業務固定資産客体調査業務委託<br>①データ更新地番図異動修正、画地認定データ更新・条件計測、家屋図修正・照合整理・家屋資産番号入力、地番図評価分割データ入力ほか<br>②土地家屋情報管理システム保守<br>③鑑定評価委託（時点修正） | 従来より3年ごとの評価替えの業務を、業者委託も含め計画的・合理的に行ってきた。その結果、令和6年度評価替えに向け、2年次における業務のスムーズな執行に繋がった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 地番・家屋・画地異動処理件数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 税務　課 | 資産税　係 | 統合型GISによる地図データの共有は地番図の精度向上が必要である。専門的な業者への委託によりプラットホームを作成しなければならない。また、3年毎の評価替え業務を行うには、現状では限界があるため、他課との連携による情報共有も必要である。 | 3年ごとの評価替え時における課税客体の調査は、大量に一括に行う事業であり、2年次に事業費が嵩むことになるが事業計画的には適当であると思われる。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 | 項 2 | 目 2 | 3,621 | 2,708 | 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 公図管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 950,785 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 公図のデータ変更と発行管理 | 土地評価に関する基礎情報としての公図情報の管理は必須であり、異動処理を継続して行う必要がある。また、国土調査の成果としての座標の管理も行っている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 公図データ異動処理（分筆・合筆等）筆数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 税務　課 | 資産税　係 | 土地課税の基本データであり、過去の国土調査の成果であるが、管理体制等の再考及び費用対効果及び統合型GIS運用開始時の混乱回避。 | 土地評価及び町民の資産管理上公図情報更新の維持は必要と思われるが、国土調査の成果である座標の管理について検討する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 | 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 | 項 2 | 目 2 | 1,564 | 881 | 筆 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 個人住民税賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,054,540 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 個人の前年所得に基づき、町県民税を賦課し徴収する事業。前年所得の把握・賦課額決定・納税通知書発送・特別徴収・普通徴収の異動処理、督促状送付、還付・充当処理。 | 徴収率の向上のため、未指定事業者に対し電話や窓口で特別徴収の推進を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 納税義務者数 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | 徴収率を上げるため、平成29年度から個人住民税の特別徴収一斉指定の推進を行ってきたが、事務が複雑、処理が面倒などの理由で特別徴収をしていない事業所が見受けられる。 | 特別徴収の対象となる事業者に対し、更なる推進に努める。 | 9,705 | 9,658 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 確定申告相談事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 7,660,204 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 申告前の課税資料の整理、データ入力。所得税法による確定申告期間中(2/16から3/15)に所得税、住民税申告相談業務を行う。申告後のデータ移行。 | 17会場から3会場へ集約を行い、新型コロナウィルス感染症対策を講じた。<br>日によっては対応職員数を減らすなど、会場の混雑状況により調整した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 申告者数 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | 新型コロナ感染防止対策として申告会場の集約を行い、さらに職員の負担軽減を図る。また電子申告の普及を図る。新治会場は施設の老朽化(雨漏り)により相談会場として心配な面がある。 | 税務署とのデータ連携を進め、職員の負担軽減を図る。<br>今後、担当課による施設の改修工事について確認のうえ、申告相談会場として使用可能か判断する。 | 1,550 | 1,536 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 法人住民税賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,770,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 町内に事業所又は事務所を有する法人に税を課税。また町内に寮、保養所を有する法人で町内に事務所又は事業所を有しない法人にも均等割を課税。 | 税務署や県と連携して、期限内申告・納税を促し、納税意識を高めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 法人事業数 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | 期限内に申告・納税がされず、賦課及び調定業務が遅れてしまう。 | 税務署・県と連携をして適正課税に努める。 | 678 | 673 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 軽自動車税賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,938,006 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 4月1日に軽自動車等の所有者又は使用者に税の賦課徴収。新規登録、廃車等の異動。賦課決定、納税通知書発送。督促状発送。減免申請受理。課税保留処理。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 課税台数(当初) | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | 課題なし | 引き続き、登録車両の正確な把握と登録を行い、適正課税に努める。 | 11,923 | 11,832 / 台 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 入湯税賦課徴収事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 165,550 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 特別徴収義務者から毎月の申告書の提出と納税。申告書受理、申告書の審査及び内容確認、賦課及び調定。 | 適正に申告・納付をして頂くよう文章・電話催告を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 納税義務者数 | |
| 組織名 | 税務　課 | 住民税　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | 期限内に申告・納税がされず、賦課及び調定業務が遅れてしまう。 | 入湯税は観光費用などに充当する目的税であるため、周知をしていく。 | 100 | 96 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 滞納整理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,435,229 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 納期限を過ぎても納付のない者に対し、文書・電話・訪問催告等を行い納付を促す。それでも納付されない場合に、財産調査を行い、滞納処分等の滞納整理を実施する。 | コロナ関係で、滞納者への接触が制限されていたので、文書・電話催告を重点的に行った。<br>滞納処分（差押）については積極的行い、前年度を15件上回った。<br>長期・高額滞納者に対する調査・方針等の検討を行ったが、数字に表れる結果は出なかった。<br>係員のスキルアップのため、係内研修（OJT）を複数回行ったが、目に見える成果には繋がらなかった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 催告書発送件数・差押件数 | |
| 組織名 | 税務　課 | 収納　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | 当町は観光地であるが、景気の低迷や新型コロナにより宿泊客が減少し、ホテル・旅館の経営も悪化し納税について厳し状況にある。<br>群馬県内の市町村においては、収入未済額・徴収率ともに非常に悪い状況でもある。<br>滞納整理の体制が出来ておらず、徴収職員の専門的な知識が乏しい。 | 新規滞納者に対して、早い段階での催告等の実施する。<br>長期・高額滞納者に対する調査や方針検討を継続し、取る（滞納処分）・落とす（執行停止）を見極め、適正な滞納整理行っていく。 | 3,438・25 | 3,230・40 / 件・件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 町税収納管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,600,740 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 町の主たる歳入の一つである町税（個人・法人住民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税等）の調定・収納・徴収状況並びに滞納者管理等を含めた総合管理業務。 | 本年度（令和4年度）システムの更新を行ったが、更新前と使い勝手は余り変わらなかった。<br>新年度（令和5年度）からの納付方法の拡充で、必須の対象税目は、軽自動車税・固定資産税であったが（他は任意）、町県民税・国民健康保険税を含めた4税について拡充の改修ができた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 町税収納額・収納率 | |
| 組織名 | 税務　課 | 収納　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 2 目 2 | システム事業者が限られているため、委託料・使用料などの金額が適正であるか分からない。また、システム改修をすると、別途費用がかかるため、より良いシステム構築に費用対効果の検証が必要になる。 | システム業者と、より良いシステムの構築を図るため、定期的に意見交換や交渉を行う。<br>現在の収納方法のほか、納税者のニーズに合った納税方法の検討をしていく。 | 3,313・84.63 | 3,423・85.81 / 百万円・% |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000027 | 公金出納事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,277,711 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 納付された税金等を指定金融機関から受け、財務会計システムに入力して収入通知書を作成し担当課へ送致。<br>支出命令等を仕分けして、小切手を振り出し各債権者へ支払う。<br>歳計現金、歳計外現金、各種基金を預金等の安全で有利な方法で管理。 | 伝票審査時の支払先（振込先口座）確認の徹底。<br>手引書等による起票者への指導。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | ・取りまとめた納付書件数<br>・調定票・支出命令書の処理件数<br>・町税・負担金等の口座振替件数 | |
| 組織名 | 会計　課 | 会計　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 4 | 今後見込まれる公金収納等の事務に関する各種手数料の新設及び引き上げを踏まえ、振込エラーの削減。 | 事務量の増加に伴う職員体制の見直し。 | 49,524<br>42,948<br>72,044 | 47,767<br>42,331<br>71,976 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000025 | 監査委員事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 363,751 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | ①例月出納検査<br>②決算審査(7月)<br>③定期監査(年1回)④工事監査(年1回)<br>住民監査請求が提出された場合は、必要な書類を作成し、監査を実施する。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 財源の確保 | | | 検査回数(例月・決算・定期工事等) | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 6 目 1 | 課題なし | － | 12.1.2 | 12.1.2　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 本庁舎維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 45,012,960 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 本庁舎等の燃料費・光熱水費・電話料の支払、修繕の実施、また、庁舎内各設備の保守点検等を委託により行い、適切に維持管理する。 | 無停電電源装置(UPS)更新設置、電気機械室浸水対策防水壁設置、議場傍聴室緊急避難口設置、非常灯交換工事、電話機基板修繕、エレベーター昇降機安全対策、照明器具等電気設備改修、水道漏水修繕等を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 修繕箇所 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 5 | 経年劣化による不具合が電気設備、空調設備、水道給排水設備等で多々生じている。 | 業務に支障が生じないよう、点検を含め改修すべき所は早めに修理する。庁舎設備の経年劣化が激しいため設備の大規模改修か交換工事を実施する時期にある。 | 11 | 11　箇所 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 水上支所管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,680,896 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 水上支所等の維持管理運営 | 庁舎の部分的な修繕・改修(暖房用ボイラーの配管漏れ修理・屋根の雨漏り修繕等)を実施し、窓口対応の体制を維持するため、支所員に出勤管理をお願いしながら業務運営を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 窓口来庁者数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 水上支所住民　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 14 | 現庁舎を改修し使用し続けるのか、他の施設に移転するのか方針を出せるのかが課題となる。 | 湯原地区公共施設等最適化基本計画が策定され、支所を含めた総合的な整備打ち合わせを進めている。併せて、今後の支所機能のあり方(業務範囲や出張所への移行の有無等)を協議・考察していく必要がある。 | 8094 | 8602　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 新治支所管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 9,732,266 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 来庁者が安全で快適に用務が足せる環境の提供、また職員が円滑に業務に携われるよう、支所庁舎の設備・機器等に関し、経済性を考慮しながら維持管理を行う。 | ・支所敷地内の危険木伐採。<br>・庁舎内冷暖房設備の最低限の修繕。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 窓口来庁者数・修繕件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 新治支所住民　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 14 | 支所庁舎及び冷暖房設備等の老朽化に、最小の予算で安全と効率的な環境を確保していくか。支所周辺木の老朽化による枝折れ・倒木等の危険を、いかにして回避していくか。 | 避難所を兼ねていることから、庁舎および冷暖房設備等の老朽化に伴う改修を検討する。 | 5541・9 | 6303・3　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 土地開発公社運営支援事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,260,151 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 土地開発公社の運営費（役員報酬・分譲地販売促進費・事務費等）の補助金を支出する事業 | － | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 補助金交付回数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 13 項 2 目 1 | | 課題なし | － | 2 | 2　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 普通財産管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 5,318,330 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 普通財産である町有地及び施設の適正管理及び利活用を進めることを目的とする事務事業である。 | 町有地内の倒木危険性のある立木について伐採を行うなど一部について重点的に対策を実施した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 管理土地面積・管理建物面積 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 行財政改革推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 5 | | 最低限の維持管理で対応しているが管理等の委託料が増大する可能性がある。<br>特に広大な町有地の保全管理が難しい状況である。 | 効果的な維持管理のほか、不要財産については活用、売却を進める。 | 4,104,896・17,342 | 4,111,621・17,342　㎡・㎡ |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 行政財産一括管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,366,806 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 効率的に行政財産を一括管理する。①危険物取扱者関係、②森林国営保険手続き、③町有建物災害共済手続き、④機械等共済手続き、⑤建築物及び建築設備定期調査業務他 | | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 共済加入施設数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 行財政改革推進　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 5 | | 無し | | 194 | 193　施設 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 旧猿ヶ京小学校管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 239,729 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 28 | 計画的な財政運営の推進 | 地域の活性化と地域のコミュニティ施設として位置づけ、最適な管理運営方法を実施する。または最適な借受者を選定し土地建物使用貸借契約を締結する。 | 特になし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 公共施設の効率的な運営 | | | 利用人数 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 7 | | 利用者増加に対する対策。 | 特になし。 | 4,743 | 7,887　人 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 5 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | VI | 効率的で効果的な行政運営 | 主管課 | 名称 | 財政課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　市治 |
| 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 関係課 | 総務課　秘書係/企画課　企画調整係/議会事務局 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 行政サービス | 機能が向上される。 |

| 基本事業 | | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 事業効果の向上 | 施策、基本事業 | 効果を高める。 |
| | 2 | 広報広聴体制の充実 | 町民 | 町政を知り、意見や要望を提示する。 |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・PDCAサイクルの考え方に基づき、町民のニーズに沿った事業を展開するとともに、事務の効率化を図ります。 |
|---|---|

施策の成果指標

| | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 年度目標を達成した施策の成果指標の割合 | % | 実績値 | 39.0 | 38.8 | 48.7 | 51.8 | 36.3 | 43.9 | 41.0 |
| | | | 目標値 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| B | 納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていると感じている町民の割合 | % | 実績値 | 41.7 | 39.1 | 39.9 | 40.1 | 44.9 | 46.4 | 48.3 |
| | | | 目標値 | | 40.0 | 42.0 | 44.0 | 46.0 | 48.0 | 50.0 |
| C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A）施策ごとの成果指標の目標値が達成されていれば行政サービスの向上が図れたといえるため成果指標とした。<br>B）直接的な設問であり、数値が高まれば行政サービスが向上したと考えられるため成果指標とした。<br>町民アンケート（翌年度実施分）により把握<br>※納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていますか。→「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合 |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A）第1次総合計画後期基本計画中の目標達成状況などを総括し、第2次総合計画前期基本計画において各施策の成果指標や目標値の改善を図った。すべての施策の成果指標において目標達成を目指す。<br>B）過去の町民アンケートによると、十分に提供されていると感じている町民の割合は半数に満たない割合で推移してきている。現状値を基準とし、毎年度2ポイントの上昇を目標として、2022年度には50%を目指す。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・町政の動向に関心を持つとともに、さまざまな機会を通じて町政に対し意見や要望を表明・提案する。<br>・行政サービスの見直しについて理解・協力し、その一役を担う。 | ・行政としての現状・課題等を積極的に町民に伝え、情報の共有を図る。<br>・町民が簡易に意見を提示できるような環境づくりに努める。<br>・行政サービスの取捨選択と改善を図る。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・町民等の町政に対する要望が複雑・多様化している上、行政需要は増加している。<br>・職員数の減少により、職員一人一人の事務量が増加してきている。そのため施策や事務事業の自身による客観的評価の重要性が増しており、改善や見直しへの積極的な取り組みが必要になりつつある。また、一部の職員個人への負担の偏向が見込まれる。<br>・定型業務をDXにより自動化・省力化し、複雑・多様化する非定型業務（地域の課題等）への対応は職員の専門性を発揮することが必要となる。<br>・市町村窓口業務の民間委託やDXの推進等により利便性が向上しつつある。 | ・SNSを活用した情報発信が求められている。<br>・回覧文書などが文字ばかりで読みづらい。絵やグラフを交えた文書に改善して欲しいとの意見がある。<br>・町民はそれぞれ良い意見をたくさん持っているので、話し合いのできる場を設けて欲しいとの意見がある。<br>・町民の要望を町政に反映して欲しいとの意見がある。<br>・定型業務について、デジタルを活用した自動化や省力化へのニーズがある。<br>・町民アンケートの貴重な意見への対応が求められる。 |

| 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 主管課 | 名称 | 財政課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 林　市治 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| | 実績比較 | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | ☐ かなり向上した。<br>☐ どちらかといえば向上した。<br>☑ ほとんど変わらない。（横ばい状態）<br>☐ どちらかといえば低下した。<br>☐ かなり低下した。 | ①年度目標を達成した施策の成果指標の割合は平成29年度38.8%、令和3年度43.9%、令和4年度は41.0%となり、前年度に比べ2.9ポイント減少した。コロナ禍の中、今まで自粛されていた活動が徐々に再開され、消防防災・生活安全等の指標が未達成になったことが要因と考えられる。<br>②納めた税金の対価として、行政サービスが十分に提供されていると感じる町民の割合は平成29年度39.1%、令和3年度46.4%、令和4年度48.3%、と、前年度に比べ1.9ポイント上昇した。<br>年齢別では、40歳代が47.5%から38.9%（8.6ポイント）と下降した。20歳代、30歳代では10ポイントを超えて上昇し、50歳代以降の年代では、小幅な上昇となった。令和4年度、新型コロナウイルス感染症によるサプライチェーンの混乱、ロシア・ウクライナ情勢の影響による原油や天然ガスなどの価格上昇、また、円安等による物価上昇もあり、子どもや住宅など生活費にかかる負担が大きい40歳代の数値が下降したと考えられる。その他の年代では子育て世代給付金、みなかみハートペイプレミアムポイント付与、エールみなかみ商品券などが物価高騰以上に支援策がアンケート結果に反映されたことが要因と考える。 |
| ②他団体との比較 | ☐ かなり高い水準である。<br>☑ どちらかといえば高い水準である。<br>☐ ほぼ同水準である。<br>☐ どちらかといえば低い水準である。<br>☐ かなり低い水準である。 | ①年度目標を達成した施策の成果指標の割合について、他団体との単純な比較は難しい。<br>②納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていると感じている町民の割合については、公表されていないため比較できない。<br><br>※業務の効率化に有効と考えられるDXの推進状況については、県内では群馬県を始め、前橋市、沼田市、渋川市、中之条町、嬬恋村などがアドバイザー等外部の有識者の知見を生かして取り組み始めている。証明書等のコンビニ交付は、県内19市町村に続いて取り組み、地域通貨は県内2番目に導入するなど、積極的に取り組んでいる。また税や手数料の支払いには、地域通貨による決済やキャッシュレス決済ができるよう対応している。今後もDXについては、住民の利便性の推進、人口減少や職員数減少等に対応するため推進する。 |
| ③目標の達成状況 | ☐ 目標値を大きく上回った。<br>☐ 目標値を多少上回った。<br>☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>☐ 目標値を大きく下回った。 | ①全82成果指標中、現状で数値を把握できない指標を除く目標を達成した指標の割合は41.0%となった。コロナ禍の中、今まで自粛されていた活動が徐々に再開され、完全に戻りきれない活動や、活動を再開した反動で消防防災・生活安全等の目標達成が困難となったことが目標値を下回った要因と考えられる。<br>②納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていると感じる町民の割合は48.3%で、目標値を1.7ポイント下回る結果となった。令和4年度、新型コロナウイルス感染症による世界的なサプライチェーンの混乱、ロシア・ウクライナ情勢の影響による原油や天然ガスなどの価格上昇、それに伴う電気料の高騰、あわせて円安等による生活関連物資等の物価上昇などが生活に影響を与えたことが要因と考える。ただし生活支援策の実施により影響が限定的になったと考えられる。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 事業効果の向上 | A | 年度目標を達成した基本事業の成果指標の割合 | % | 実績値 | 実績なし | 実績なし | 51.6 | 54.9 | 40.4 | 33.7 | 40.2 |
| | | | | | 目標値 | | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 広報広聴体制の充実 | A | 必要な行政情報を入手できている町民の割合 | % | 実績値 | 55.8 | 53.5 | 56.5 | 54.6 | 58.2 | 61.0 | 59.9 |
| | | | | | 目標値 | | 55.0 | 57.0 | 59.0 | 61.0 | 63.0 | 65.0 |
| | | B | 町政に自分の意見を提示したことがある町民の割合 | % | 実績値 | 6.4 | 5.9 | 8.1 | 5.1 | 8.6 | 9.7 | 8.3 |
| | | | | | 目標値 | | 6.0 | 6.0 | 7.0 | 8.0 | 9.0 | 10.0 |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 4 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み（案）

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み（案） |
|---|---|---|---|
| 1 | 事業効果の向上 | ①町の予算等資源を効果的に活用するため、根拠に基づく政策立案、事業の制度設計を推進する必要がある。<br>②人口減少、少子高齢化、職員数減少等の状況において、事業の目的達成に向けて、的確な行政資源の配分と効果的な取り組みが求められている。 | ①数値的な根拠を明確にしたうえで、事業の目標を設定し、適切な事務事業の立案と実施ができる仕組みを構築する。<br>②事務事業の執行のための手段として、DXを各種事業の一部に有効的に取り入れ、生産性の向上に努める。 |
| 2 | 広報広聴体制の充実 | ①だれもが容易に取得できる情報の提供が求められている。<br>②町民が町政に対し意見を提示しやすく、また意見がどのように反映されたかを知る環境づくりが求められている。 | ①広報みなかみをアプリで配信し、紙媒体を支持する高齢者層に加え、スマートフォンで情報を取得したいと考える世代に対応する。<br>②町ホームページ内、問い合わせフォームの充実。 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 区長会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 19,227,568 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 60地区3支部制で、区長相互の親睦を図り、区内の円滑なる運営に資するため、町行政に協力し、住民とともに歩む健全なまちづくりを目標に事業実施している。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 広報広聴体制の充実 | | | 総会役員会開催数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | コロナ禍における行事の見直しと、区長に対する伝達事項の効率的な周知方法の確保を図る。 | なし | 1 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 官報・新聞等購読事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,000,974 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 常日頃の社会一般的な情報を得るために、新聞を購読し日々の情報を収集するもの。<br>国の告示である官報を購読し、国の法改正情報等を得るもの。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 購読先件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | 課題なし | なし | 12 | 13　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 群馬県情報化推進協議会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,940,974 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 群馬県で共同利用しているLGWAN回線の負担金支払いと情報化推進協議会への参加により情報を共有している。 | 特になし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 総会、研修会等出席回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | 群馬県において第2次セキュリティクラウドの導入が行われるため、システム更新にかかる負担金増が見込まれる。 | 県内自治体と民間企業で構成されている協議会のため、引き続き参画していく。 | 2 | 2　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 庁内基幹系システム運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 87,831,068 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 住民台帳、町税等の賦課徴収、医療福祉等の住民情報に直結する各システムのネットワーク及び通信機器の保守を行う。また、各拠点を結ぶ回線網の調達を行う。 | 標準化へ向けて情報収集等を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 契約業務数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | GCCにより基幹系システムのリプレイスの提案を受けたが、いわゆる主要17業務標準化への「更新が可能」という段階であり、実機への搭載はまだ先になる見込みである。 | 令和7年度のシステム標準化へ向け、スケジュールを立て準備を進めていく。 | 82 | 90　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 庁内情報系システム運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 43,672,327 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 施設間ネットワークやグループウェアを管理するとともに、文書管理システム、行政事務用パソコンの管理運営事務を行っている。 | 情報系システムのリプレイスにより従前システムの不具合等を改善し、利便性の向上を図った。また、定期的に事務用パソコンを更新して、業務効率の改善を図っている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 契約業務数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 情報系システムのリプレイスにあたり、DX推進を図るため、より使いやすくかつセキュアなシステム構築を目指す。 | 高セキュリティの無線LAN化を進め、働きやすい職場環境の実現に努めていく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | | | 6 | 6　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 情報公開・個人情報保護事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 51,600 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 町が保有する公文書を町民等の請求により開示する。 | 開示請求に当たって、関係各課と連携し情報共有を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 広報広聴体制の充実 | | | 開示件数・請求件数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 請求件数の増加が見込まれる中、資料担当課との連携並びに開示請求者との連絡調整の重要性が増している。 | 手続等について改めて各課に周知し情報共有を行う。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 2 | | | 16・20 | 4・14　件・件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 総務渉外事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 905,643 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 町長等特別職が公務をスムーズに行えるよう日程調整と管理を行う。来客者等の接待や公務上発生する交際費・旅費等についての事務処理を行う。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 日程調整依頼件数 | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 総務　課 | 秘書・広報　係 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | | | 1,026 | 1,154　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 行政情報発信事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,311,105 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 様々な媒体を用いて広く行政情報を発信する事業 | 広報紙の記事に二次元コードを掲載することでホームページと結びつけ、より詳細な情報を利用者に提供した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 広報広聴体制の充実 | | | 広報みなかみページビュー数（みなかみ町ホームページ） | |
| | | | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | |
| 組織名 | 総務　課 | 秘書・広報　係 | 正確でより詳細な情報の提供 | 広報紙配信アプリ「マチイロ」を活用した情報発信 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 2 | | | 7936 | 8767　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 住民意識調査（町民アンケート）事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 334,455 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 第2次みなかみ町総合計画で定めるまちづくりに取り組み、平成30年度より前期基本計画を策定し、引き続き行政評価を行っている。総合計画で定めた目標の達成状況を毎年度把握し、まちづくりをより効果的に展開するために実施する。 | 同一世帯に連続しアンケートが届かないように配慮し、多くの町民の意見を取り入れてきた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 広報広聴体制の充実 | | | アンケート回収率 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 2 | 調査結果の精度を高めるため、回収率を低下させない。<br>「設問数が多く回答が大変である。」「毎年ではないがよく当たる。」等の意見がある。 | 令和5年度より、後期基本計画が策定されたため、設問内容の見直しを行うとともに、アンケートの調査方法について検討を図る。調査対象者の検討や、紙ベースからインターネット回答への転換等を進めていきたい。 | 46.81 | 49.1 / % |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 総合計画策定事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,027,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 第2次総合計画の前期基本計画が令和4年度をもって終了となることから令和5年度を初年度とした後期基本計画を策定するための事業 | 施策会議を実施し基本計画（案）を作成。その後、3回の審議会で審議を実施し答申案を作成。答申案をもとに、後期基本計画を策定。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 施策会議 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | 前期基本計画の取り組み状況を整理したうえで、後期基本計画の策定。 | 年度ごとに、それぞれの施策ごとに進捗状況の確認を実施する。進捗状況の確認については実施方法や内容の検討を行う。 | 0 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 政策調査研究事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 293,426 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 企画段階の事務事業を調査研究するための事業<br>【具体的には】<br>・先進地視察、調査研究、研修会への参加など | 三菱地所、日本自然保護協会との連携協定に向けた意見交換を行い、三者により「自然資源の活用と保全に関する連携協定」の調印を実施。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 視察、調査、研修会等実施件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | 既存事務事業の検討は各事務事業の中で行う。緊急性のあるもので調査研究が必要なものだけに対応する。 | 政策アドバイザーや環境政策アドバイザーと連携し相談機会を増やし、指導助言を受け、既存事業で取り組めていない分野における調査研究を行う。 | 2 | 4 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000024 | SDGs未来都市普及啓発事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 499,609 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | SDGs未来都市計画の推進とSDGsの周知活動 | SDGsパートナー制度の運用方法を検討し、SDGsパートナーの募集を開始した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 周知活動（研修会、イベント等） | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | SDGsパートナー制度の運用方法と認知度。 | みなかみ町SDGsパートナー制度を周知し、普及を図る。<br>第2期総合戦略の推進、ユネスコエコパークの推進と連携しながら進捗管理に努める。 | 0 | 6 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 光ファイバー網管理運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,793,247 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 町民誰もが光通信を使用できるよう、藤原地域と猿ヶ京地域へ光ファイバー網を整備。NTTの交換局を使用するための使用料・NTTの電柱を使用するための保守管理委託料を支払う。断線等の対応はNTTが行う。<br>また高齢者向けのスマホ・パソコン教室を開催し、町民のICTリテラシー向上を推進する。 | 保守管理委託業務契約を締結する相手方と、令和6年4月1日無償譲渡について協議・準備をスタートしました。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 延べ加入世帯数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | 環境整備後10年以上が経過し、ランニングコストを含めた財政面や安定したサービスの提供が課題となっている。 | 業務に精通している民間事業者に資産を譲渡することにより、ランニングコストの削減とサービスの安定供給に務めていく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | | | 490 | 490　世帯 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000032 | 情報化推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,939,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 自治体専用のコミュニケーションツールである「LoGoチャット」を利用することで、職員同士のメッセージやファイルのやり取りが簡易にでき、職員の業務効率の改善を図る。職員がLGWAN環境で簡単にアンケートや申請・申込フォームの作成・集計ができる「LoGoフォーム」を利用することで、住民からの各種申込やアンケートなどをネット上で受け付けることができ、住民サービスの向上・職員の業務効率の改善を図る。 | LoGoチャット：会計年度任用職員など利用希望者のアカウント数の追加を行うとともに、利用していないアカウントの精査・削除を行った。<br>また、群馬県を中心に協働調達制度の検討を行い、次年度以降経費の節減ができないか検討を行った。<br>LoGoフォーム：初めてフォームを作成する職員などに対してフォームの作成支援を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | LoGoフォーム作成件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | LoGoチャット：当初は正職員に限定していたが、会計年度任用職員などの利用希望者が増加し、アカウント数の増加に伴い利用料が増加している。<br>LoGoフォーム：利用している職員が比較的限定されている。 | LoGoチャット：メール、電話との連絡手段の棲み分けを明確にし、業務改善を図るため利用を促進する必要がある。<br>群馬県の協働調達制度に参画し、費用の節減を図る。<br>LoGoフォーム：職員に対して、フォーム活用の周知や作成支援を行う必要がある。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | | | 87 | 164　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 行政改革推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,290 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 行財政改革を推進するための事業 | 過去の取り組み状況を情報収集した。また、有識者への相談を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 見直し事業数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 行財政改革推進　係 | 事務事業のあり方の見直しと慢性的な財源不足の解消 | 着手すべき課題の絞り込みと、効果的な取り組みができるものを選定できるようにする。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | | | － | －　事業 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000020 | みなかみ幸せ創生本部事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,609,890 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 地方創生のため、総合戦略を策定し推進する。推進会議、評価会議、シティーマネージャ制度の活用、地方創生交付金の活用などを執行する。 | 総合戦略評価会議を開催し、事業の達成度を検証した。概ね的確に事業管理が行われているとの意見を得ている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 評価会議数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | 総合戦略のKPIは、未計測及び仕組みを構築して計測するものは仕組みの構築が未実施のため数値化できないものが多くある。また、アクションプランは担当部署が明確でないので事業の推進が曖昧となっている。 | 令和6年度末で現行総合戦略の計画期間が満了するのと、デジタル田園都市国家構想に基づく戦略見直しが必要となることから、県戦略の見直し等との整合を図りつつ策定替えに向け取り組む必要がある。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 6 | | | 0 | 1　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000033 | 産官学金連携調査研究事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,761,371 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 湯原温泉街の景観を害する廃屋の撤去 | 産官学金包括連携のよる事業の必要性、及び跡地利用の方針検討 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 事業効果の向上 | | | 自然と調和のとれた街並みの再生 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 官民共創　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 期間限定事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | | 特になし | 撤去後の跡地利用の方針を産官学金包括連携協定に基づく議論検討、地域住民の意向反映により地域住民、観光客に裨益するよう活用を図る。 | 0 | 100 / % |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 議会だより発行事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,083,560 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 29 | 事業効果の向上の推進 | 議会広報紙を発行し、町民へ議会情報を分かりやすく正確に伝える。 | 図や表及び写真を多用し、閲読しやすい紙面とした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 広報広聴体制の充実 | | | 発行回数、発行部数、意見収集回数、アンケート実施回数 | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 1 項 1 目 1 | | 町民に分かりやすい紙面編集 | 誰にとっても見やすく読みやすい紙面にするため、文字フォントとコントラストを見直し視認性を高めたい。 | 4.7600.4.0 | 4.7500.4.0 / 回・部 |

# 施策マネジメントシート（2022年度の振り返り、総括）

| 作成日 | 2023 | 年 | 6 | 月 | 5 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 基本目標 | VI | 効率的で効果的な行政運営 | 主管課 | 名称 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |
| 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 関係課 | 財政課　行財政改革推進係 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 施策の目的 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|
| | 組織 | 効果的に機能する。 |

| 基本事業 | 基本事業名 | 対象 | 意図 |
|---|---|---|---|
| 1 | 効果的な組織運営 | 組織 | 効果的に機能する。 |
| 2 | 人材の育成 | 職員 | 資質を向上させる。 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

| 施策の基本方針 | ・多様化・高度化する行政ニーズに的確に対応するため、組織の見直しや効果的な人員配置を図ります。<br>・職員の資質の向上や意識改革を図るための人材育成に取り組みます。 |
|---|---|

| 施策の成果指標 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | 町の職員数 | 人 | 実績値 | 245 | 240 | 233 | 225 | 220 | 215 | 212 |
| | | | | 目標値 | | 240 | 235 | 225 | 235 | 240 | 240 |
| | B | 職位に求められる能力を発揮していると評価された、評価項目の割合 | % | 実績値 | 85.5 | 84.5 | 87.6 | 88.6 | 90.0 | 86.4 | 75.1 |
| | | | | 目標値 | | 85.0 | 86.0 | 87.0 | 88.0 | 89.0 | 90.0 |
| | C | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | |

| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | A）適正な職員定員管理状況で行政サービスを提供することが、効率的であるといえるため成果指標とした。特に職員数が多いことからこの数値を把握する。また、人口と産業構造の二つの要素を基準とした類似団体と普通会計レベルで比較が可能。<br>B）人材育成基本方針を基本に設定されている能力行動基準に対し、各段階において期待される能力、姿勢を発揮したと評価された割合が高いほど、職員の意識改革と能力・資質の向上が図られたと考えることができるため成果指標とした。<br>人事評価能力評価結果により割合を把握 |
|---|---|
| 目標値設定の考え方 | A）職員数については、定年延長の導入等に伴う増減や再任用職員数の動向を考慮した上で設定。【（人口1万人あたり職員数（普通会計））類似団体平均：88.68人（2017.4.1）、沼田市：75.47人（2017.4.1）、みなかみ町：108.40人（2017.4.1）】<br>B）2016年度（平成28年度）能力評価の結果、期待される能力・姿勢を十分発揮したと評価した割合は、85.5%という結果となった。この割合を基準として、毎年度1ポイントの上昇を目標値として、2022年度には90%を目指す。 |

| 施策の目的・目標達成のための役割分担 | 1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 | 2. 行政（町、県、国）の役割 |
|---|---|---|
| | ・組織の見直しや職員の育成について理解・協力し、その一役を担う。 | ・少人数で効果的なサービスが提供できる組織・体制づくりに努める。<br>・職員一人ひとりの資質や能力向上のための育成を推進する。 |

| 施策を取り巻く状況 | 1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ | 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ |
|---|---|---|
| | ・定年退職年齢の引き上げが可決・成立した。<br>令和5年度退職者から定年延長が開始され、令和13年度に65歳定年となる。<br>・会計年度任用職員制度が令和2年4月1日に施行された。<br>・第10次定員モデルが国から示され活用を図るように指導・助言がされた。 | ・町民アンケートでは、3分の2(強)の町民が職員の応対・接遇に好感を持っているという結果ではあったが、自由記述欄には、職員のレベルアップや職員の応対・接遇に不満がある等の意見が寄せられている。<br>・休日勤務や時間外勤務の増加などについて、人員不足や民間委託の検討などの状況について意見が出された。 |

| 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 主管課 | 名称 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 課長 | 高野　明夫 |

## 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 実績比較 | | 背景・要因 |
|---|---|---|
| ①時系列比較 | □ かなり向上した。<br>□ どちらかといえば向上した。<br>□ ほとんど変わらない。(横ばい状態)<br>☑ どちらかといえば低下した。<br>□ かなり低下した。 | ①職員数は、平成22年度297人から令和4年度212人と12年間で85人減少しており、令和3年度215人からは3人の減少となっている。職員数減少の要因については、行財政改革行動指針に基づき実施した勧奨退職(平成27年度まで)、その後早期希望退職(平成28年度から)の推進、新規職員の採用抑制等、組織のスリム化・効率化を推進してきた結果といえる。<br>②「職位に求められる能力を発揮していると評価された、評価項目の割合」は、平成30年度87.6%、令和元年度88.6%、令和2年度90.0%と年々上昇していたが、一転、令和3年度は86.4%、令和4年度には75.1%とかなりの下降が見られた。これは、評価基準の変更に加え、人事異動やコロナ禍による業務量の変化などが影響していると思われる。<br>③新型コロナウイルス感染症の影響から、オンラインでの会議や研修等が増加したため、庁舎内各会議室にオンライン会議用の機器を設置し移動時間の短縮など利便性の向上を図った。また、ビジネスチャットやインターネットからの申込フォームの活用などに加え、テレワーク用端末を導入することにより、この方面での事務の効率化は進展している。 |
| ②他団体との比較 | □ かなり高い水準である。<br>□ どちらかといえば高い水準である。<br>□ ほぼ同水準である。<br>☑ どちらかといえば低い水準である。<br>□ かなり低い水準である。 | ①令和4年4月1日現在の利根沼田管内市町村の職員数(一般行政職)は、沼田市327人、川場村43人、昭和村69人、片品村63人、みなかみ町155人である。人口規模及び産業構造が類似している団体との人口1万人当たりの職員の平均数を比較すると、平均77人に対し、みなかみ町は88人となり、＋11人となっている。なお、利根沼田管内市町村における類似団体との人口1万人当たりの職員の平均数との比較は、沼田市▲9人、川場村▲62人、昭和村▲41人、片品村▲48人と なっており、いずれも平均よりも少ない職員数となっている。本町のように面積が広く、行政サービスが広範囲に及ぶことを考慮すると、一概には比較できないが、適正な行政規模と少数精鋭による行政運営は不可欠となっている。<br>　一方で国は、「第10次定員モデル」を取りまとめ、本モデルにおける参考指標の活用により、主体的かつ適正な定員管理の一助となるよう指導・助言がなされている。本試算では、定員モデル174人に対して本町は155人となり、▲19人となっている。(国保や後期高齢、介護などの特別会計に従事する職員14人を含めると169人であり、▲4人となる。)<br>②平成26年に地方公務員法が改正され、平成28年4月からいずれの自治体においても人事評価制度が導入されたが、団体ごとに指標が異なるため、単純比較ができない。みなかみ町では、平成21年度から人材育成基本方針に基づいて人事評価制度を導入し、職員研修についても研修実施計画に基づき計画的に実施している。 |
| ③目標の達成状況 | □ 目標値を大きく上回った。<br>□ 目標値を多少上回った。<br>□ ほぼ目標値どおりの成果であった。<br>☑ 目標値を多少下回った。<br>□ 目標値を大きく下回った。 | ①職員数については、今までの勧奨・早期希望退職等の推進による減少と新規採用職員の抑制により、目標値を上回る212人となった。なお、目標値(240人)は定年延長を見据えた数値となっている。2023年度から2年ごとに1歳ずつ定年が延長されるため、今後、定員管理上において職員数の増減を注視していく必要がある。本町の行財政運営に必要となる職員数について、地域の実情を踏まえた定員管理計画の見直しを行い、適正な定員管理 を図っていくことが重要となる。<br>②「職位に求められる能力を発揮していると評価された、評価項目の割合」については、目標値90.0%に対し実績値75.1%と、大幅に下回る結果となった。<br>③職員数が減少する中で、感染症対策(予防や経済対策など)や地域からの要望事項など、新たな行政課題が増えてきている。想定を上回るの業務量の増加や新規事業に対する職員の不安感が、自己肯定感の低下へと結びつき、その結果として、能力評価や有給休暇の目標値未達成に繋がると考えられる。 |

## 基本事業の成果指標

| | 基本事業名 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 効果的な組織運営 | A | 職員の年次有給休暇消化率 | % | 実績値 | 30.4 | 31.3 | 33.3 | 31.9 | 31.1 | 31.5 | 30.1 |
| | | | | | 目標値 | | 30.0 | 31.0 | 32.0 | 33.0 | 34.0 | 35.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 2 | 人材の育成 | A | 職員の応対・接遇に好感を持てると感じている町民の割合 | % | 実績値 | 64.0 | 65.5 | 65.4 | 65.5 | 64.0 | 68.3 | 68.0 |
| | | | | | 目標値 | | 66.0 | 67.0 | 68.0 | 69.0 | 70.0 | 70.0 |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| 3 | | A | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |
| | | B | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | | 目標値 | | | | | | | |

## 今後の課題と取り組み(案)

| | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---|---|---|---|
| 1 | 効果的な組織運営 | ①DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進により、庁内業務の効率化・合理化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく必要がある。<br>②働き方改革の観点から、多様な働き方の検討・推進を図る必要がある。 | ①DXを推進するために人材面の充実を図り、情報収集体制及び整備体制を確立することにより、業務の効率化・合理化を実現する。<br>②有給休暇や夏季休暇等を取得しやすい環境づくりに努め、計画的な取得を促すことにより、ワークライフバランスの充実を図る。 |
| 2 | 人材の育成 | ①年々複雑・多様化していく業務に対し、職員一人ひとりの資質向上を図る必要がある。<br>②職員減や業務多様化に伴う負担増から、職員の健康面や精神面のサポートをより充実させる必要がある。 | ①職員の資質向上を図るため、多様な職員研修へ参加する機会を提供するとともに、研修実施計画と人事評価制度を連動させた人材育成を行う。<br>②健康面や精神面のサポートを行うため、各種研修や相談の機会を設け、不安感の解消を図る。 |
| 3 | | | |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 利根沼田広域市町村圏整備組合運営費負担事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 11,968,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 利根沼田広域市町村圏での市町村の共同処理事務事業 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 利根沼田市町村数（構成団体数） | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | 課題なし | なし | 5 | 5 / 団体 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 町村会参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,184,897 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 職員採用申込者の統一試験（職員採用第一次試験）の事務を委託。職員共済（任意・長期・自動車）の加入・継続等の事務処理 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 職員採用試験応募者数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | 課題なし | なし | 19 | 11 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 事務用品・器具類管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,114,470 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 職員の事務処理に必要なコピー用紙などの事務用品や封筒の調達・在庫管理や負担金の支払いなど行っている。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 単価契約・リース契約件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | 課題なし | なし | 93 | 94 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 全国町村会総合賠償保険事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,412,661 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 町が所有、管理する施設地等において、町等の業務遂行上の過失に起因する事故について損害を総合的に補填する保険事業。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 示談件数・損害賠償申請件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | 課題なし | なし | 0・0 | 2・2 / 件・件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000005 | 町村職員等弔慰金保険事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,136,500 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 全国町村会及び郡町村会による弔慰金(保険金)等の事業。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 被保険者数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | | | 244 | 218 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000022 | 自治体委託業務等災害補償保険事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 177,600 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 地方公務員法改正により、特別職非常勤職員ではなくなった区長や青少年育成推進員等が、委託業務や有償ボランティア活動中に災害を被った場合に行う災害補償保険事業。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 町保険加入者数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 1 | | | 138 | 138 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 公文書保存活用事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,300 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 県及び県内の市町村を会員とする団体で県及び県内の市町村が保存している公文書等を歴史資料として保存活用することを目的としている。 | 課題に対する取り組みなし。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 協議会出席回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 公文書管理法の施行により、公文書管理条例の策定を見据え、公文書の適切な保存活用のため、協議会で得られた情報を活かしていかなければならない。 | 引き続き内容を検討していく。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 2 | | | 1 | 1 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000009 | 法制執務事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,092,831 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 町の条例、規則、要綱及び規程の制定改廃を行う。また、公布された条例等例規を紙媒体の例規集とデータによる例規システムとして整備する。 | 一部改正等が作成できるシステムの試行的な活用について職員に周知した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 例規審査件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 事務の根拠となる法令を解釈するためには法制執務の知識が必要である。システムを利用する際にも知識が必要なため法制執務の研修も必要となる。 | 各課職員においても一部改正等の起案ができるようシステムの活用を図っていきたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 1 目 2 | | | 140 | 165 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 行政行為相談事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,925,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 業務を遂行する中において、契約の有効性などリーガルチェックを必要とする案件や、企業や個人との紛争解決を図る事案が生じている。そのため、専門的な知識を有する弁護士と委託契約を行い、相談や調査等を依頼している。 | 問題事案や相談案件が発生した場合、処分課より聞き取り調査を行った後、必要に応じ顧問弁護士と協議を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 相談件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | 直近2年間において、訴訟案件や相談件数の増加が顕著となっており、それに比例して、訟務に費やす時間が増加してきている。 | 今後、相談件数の大幅な減少は見込まれないことから、担当課において相談内容を精査し、弁護士との協議回数を調整する。なお、緊急を要する案件については、早急に対処する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | | 12 | 16　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000012 | 職員給与等管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,938,200 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | ①職員給料・諸手当を計算・確定し支給する。<br>②各種給与関係調査（給与実態調査等）に対し、報告する。<br>③人事給与システムを運用する。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 給与等支給回数<br>・各種調査報告回数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | 課題なし | なし | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | | 14・29 | 14・22　回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000015 | 非常勤職員公務員災害補償事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 90,975 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 職員が公務上の災害（負傷・疾病・傷害又は死亡）又は通勤による災害を受けた場合、その災害により生じた損害を補償し、必要な福祉事業を行う。 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 療養及び休業補償件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | 課題なし | 事故が生じた際は、担当課と連携を取りながら医療機関等との対応を滞りなく実施する。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | | 1 | 0　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000018 | 人材活用管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 193,832,155 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 会計年度任用職員を採用し、一元管理することにより、正規及び再任用職員等を効率的、効果的に配置する。 | 各課とのヒアリングを実施し、事務事業と会計年度任用職員の必要性について確認し、適正な配置を図った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 管理対象の臨時職員数・会計年度任用職員数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | 会計年度任用職員の必要性も含め、事業の民間委託など事務事業の見直しも必要となってくる。 | 会計年度任用職員の来年度の任用について早い時期に各課の意向を確認し適正な配置を行っていきたい。 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 | 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | | 78 | 90　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 職員健康管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,472,659 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 職員の健康管理のため健康診断・ストレスチェックを実施する。<br>職員の人間ドックの申し込み、受診日程調整等職員の人間ドック利用者に対する助成金交付 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | | | 受診職員数<br>（健康診断（正規）・健康診断（臨時）・人間ドック） | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | 課題なし | なし | 39・33・187 | 38・34・171　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 職員研修事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 2,952,485 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 新規採用職員等を推薦する指定制研修、様々な研修に希望して参加する希望制研修、町が主催する人事評価研修等の町主催研修等を実施する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により町主催研修をはじめ多くの研修を実施することができなかった | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | | | 研修参加職員数<br>（他団体主催・町主催） | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 1 | | 研修の成果が少しでも職員に伝わるよう工夫を凝らして事業を進めていくことが重要 | 新型コロナウイルス感染症により、これまでのような研修が開催できないということを念頭におき今後の研修のあり方、開催方法等を検討していきたい。 | 58・92 | 68・107　人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 公平委員会運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 57,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | ・職員の給与、勤務条件に関する措置の要求を審査・判定し必要な措置を執る。<br>・職員に対する不利益な処分についての不服申し立てに対する裁決又は決定をする。<br>・職員の苦情に対し必要な処理・措置を行う。 | 群馬県市町村公平委員会が設置され、令和2年度末までに、44団体（地方公共団体・一部事務組合）が加入した。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 人材の育成 | | | 委員会開催件数<br>（みなかみ町措置案件） | |
| 組織名 | 総務　課 | 人事　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 15 | | 課題なし | 群馬県市町村総合事務組合が公平委員会の事務処理を一括して行う。 | 0 | 0　件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000013 | 公用車維持管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 36,834,466 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 町有自動車の適切な維持管理のための事業<br>・公用車点検、タイヤ管理、自動車共済事務、事故処理、修繕対応、経費支払い事務等 | 定期点検・タイヤの摩耗チェックや夏冬交換など、職員が安心して使用できるよう安全の確保に努めた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 管理対象車両台数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度　単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 5 | | 職員に対し、「公用」車の意味を再認識させたうえで利用してもらう必要がある。また、各課の公用車管理担当には、車両管理をより身近な作業と認識してもらう必要がある。 | 庁舎の分散化により、増車を求められるが、利用実態を把握して、適切な台数管理により減車に移行したい。 | 277 | 284　台 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000021 | 公用車整備事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 公用車の適切な更新を行うための事業 | 公用車の必要性を確認し、購入を控えた。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 整備（更新）台数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 消防・防災　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 5 | | 各課各職員のニーズを十分把握したうえで車種選定などに必要な情報収集を求められる。 | 公用車の購入については、必要性及び車種の適正を精査する。 | 1 | 0 / 台 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000017 | 指定管理者制度事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 12,412 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 30 | 効率的な組織運営の推進 | 公共施設の指定管理者選定委員会の開催、指定に関する事務全般、指定管理者の実績報告及び協定等の取りまとめ。 | 各施設の運営状況の検証及び指定管理料の精査。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 効果的な組織運営 | | | 審査実施件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 財政・契約　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | | 各施設の指定管理制度導入効果を検証及び適切な管理運営方法の検討。 | 指定管理者制度導入基本方針の改訂。 | 7 | 2 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 選挙管理委員会事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 915,382 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 選挙時、定時登録時、議決が必要な案件が生じた場合に、選挙管理委員会を開催する。<br>選挙人名簿の調製、選挙の執行、管理<br>在外選挙人名簿の調製 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 選挙 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 委員会開催件数 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 課題なし | なし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 4 目 1 | | | 6 | 10 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 参議院議員選挙事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 15,139,987 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 適正な選挙執行（明るくきれいな選挙）<br>有権者が投票に来てもらえるような環境作りと、啓発活動による周知 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 選挙 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 投票率 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 課題なし | なし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 4 目 2 | | | － | 55.95 / % |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000010 | 町長・町議会議員選挙事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 22,724,662 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 適正な選挙執行<br>有権者が投票に来てもらえるような環境作りと、啓発活動による周知 | なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 01 | 選挙 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 投票率 | |
| 組織名 | 総務　課 | 総務　係 | 課題なし | なし | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 4 目 11 | | | － | 71.39 / % |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000011 | 基幹統計調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 498,534 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 各種統計調査の調査区設定、調査員の選任、調査員説明会の実施、調査対象者からの問い合わせ対応、調査票の審査、調査票等の提出、整理、各種統計調査資料の提供等。 | 調査員説明会をを通じて周知を徹底し、新型ウイルス感染症対策も含め、対面で行う調査業務を減らした。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 完了した調査件数 | |
| 組織名 | 総合戦略　課 | 企画　係 | 各種統計調査において、オンライン回答が可能となってきているが、利用する人が少ない。 | オンライン回答の普及。調査票回収率の向上。 | 令和 3年度 | 令和 4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 | 款 2 項 5 目 1 | | | 3 | 6 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000008 | 人口動態調査事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 27,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の届出に基づいて人口動態調査票を作成する。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | | | 出生・死亡・死産・婚姻・離婚の累計（1～12月） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 3 目 1 | | 課題なし | 課題なし | 418 | 503 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000006 | 印鑑登録事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 646,800 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 個人の財産、権利を保護するため住民の申請に基づき登録、証明書の発行 | 使える印鑑の確認や本人確認を条例通り厳格に行っている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | | | 登録件数・証明書発行件数 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 3 目 1 | | 制度に反する要求に対しての対応処理、法律改正など、制度のPR・広報の実施・毅然とした事務処理が求められる。 | 現行通り。 | 621 4,623 | 552 4,419 / 件 枚 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 戸籍管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,122,444 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 日本国民の出生から死亡まで、家族法上の身分関係を戸籍に登録・公証する。 | 窓口人員が増えたので、知識の継承に取り組んだ。来客に少し余裕を持って対応できるようになった。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | | | 処理件数（届出・証明書発行）【戸籍事件表】 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 3 目 1 | | 人員が足りない。<br>継続的な知識の積み重ねが必要。 | 知識の継承を継続するため、短期間の異動を減らす。 | 1,027・9,487 | 1,032・9,177 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 住民基本台帳ネットワーク管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 6,684,304 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 平成11年住基法改正により、行政機関に対する本人確認情報の提供など市町村の区域を越えた事務処理を行うため、各市町村の住民基本台帳をネットワーク化したもの。 | GCCによる年10回の整合性の確認や毎日のエラー確認によって、安定した運営を行っている。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | | | 広域交付住民票発行枚数<br>戸籍附票本籍地受信人数<br>（1～12月） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 3 目 1 | | 広域システムのセキュリティー対策と安定運営 | 現在の取り組みを行っていく。 | 12 1,032 | 16 1,141 / 件 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 住民基本台帳管理事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 20,916,818 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 住民の居住関係の公証、住民に関する行政サービスの基礎とするため、届出に基づき台帳を編成。 | 窓口に於いて丁寧に来客へ説明を行い、申請書にも工夫を行った。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | | | 処理件数（届出・証明書発行）【年報】 | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 3 目 1 | | 制度に反する要求に対しての対応処理、法律改正など、制度のPR・広報の実施・毅然とした事務処理が求められる。 | 現在の取り組みを継続して行い、広報等でも広めていきたい。 | 1,898 8,967 | 2,401 8,700 / 件枚 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | パスポート発行事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 0 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | パスポート発給申請受理・交付事務（法定受託事務） | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 03 | 戸籍・住基 | | | パスポート申請件数（1～12月） | |
| 組織名 | 町民福祉　課 | 住民・戸籍　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 3 目 1 | | 課題なし | 課題なし | 44 | 84 / 件 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | ふるさと納税推進事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 274,866,328 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | ふるさと納税制度を通じた寄付の案内、受入、御礼等の事務を行い町の施策の財源とする。 | 寄付窓口の拡大。返礼品の拡充。広告宣伝。 | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 04 | ふるさと納税 | | | 寄付金額 | |
| 組織名 | 観光商工　課 | 商工振興　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 2 項 1 目 6 | | 返礼品の返礼割合を3割以下にするよう総務省から指導があり、5割で運用してきたときと比較して納税額が大幅に落ち込んでいる。 | 寄付窓口を拡大しつつ、返礼品を拡充する。また、効果的な広告宣伝を実施していく。 | 685,281 | 600,080 / 千円 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000001 | 議員報酬・福利厚生事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 84,873,833 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 議員報酬及び期末手当を支給する。<br>議員共済年金・福利厚生事務全般。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 議会 | | | 議員数（年度末） | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 1 項 1 目 1 | | 課題なし | - | 17 | 14 / 人 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000004 | 議長渉外事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 229,580 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 議長の公務上発生する交際費・旅費等についての事務処理。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 議会 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 行事等参加回数 | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 1 項 1 目 1 | | | | 47 | 77 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000007 | 町村議会議長会等参画事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 189,205 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 群馬県町村議会議長会等と協力し合い組織力を維持する。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 議会 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 総会・研修会等開催日数 | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 1 項 1 目 1 | | | | 3 | 13 / 日 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000003 | 常任委員会等運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 465,700 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 委員会開催のための議事調査・関係機関調整・準備・運営。<br>行政視察や受入行政視察の調整・準備・対応。<br>委員会記録作成。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 議会 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 委員会開催数 | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 1 項 1 目 1 | | | | 76 | 55 / 回 |

令和　5　年　7　月　4　日作成　　（令和　　年　　月　　日更新）

| 事務事業 | 000002 | 議会本会議運営事業 | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 591,427 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 施策 | 31 | 施策体系外 | 議事調査・口述作成、議員・各課の連絡調整、会議録作成関係、傍聴関係。 | 課題なし | 事業実績 | |
| 施策体系 基本事業 | 02 | 議会 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | 議会開催数 | |
| 組織名 | 議会事務局　課 | 庶務・議事　係 | 課題なし | － | 令和　3年度 | 令和　4年度 / 単位 |
| 事業期間 継続事業 | 会計 1 款 1 項 1 目 1 | | | | 6 | 9 / 回 |

# 令和４年度　主要施策の成果報告書

発行年月：令和５年８月
発　　行：群馬県みなかみ町
編　　集：企画課
〒379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑３１８番地
TEL.0278(62)2111　FAX.0278(62)2291
http://www.town.minakami.gunma.jp/